圍碁・將棋

四段 增位九皐	最新說明 碁道大觀	菊判 和綴入	201	一、五〇 一八	大文館	一月	▲上下二卷に分ち初めて石を握る人にも解るやう問題を掲載して解說せるもの。
四段 增位九皐	圍碁評の評	菊判 和綴入	146	一、二〇 一二	大文館	六月	▲東京大阪の新聞紙上に登載された戰譜の講評感想に對する野澤七段の反駁批評を收錄す
名人 本因坊秀哉	新案詰碁 死活妙機	菊判 和綴	94	一、〇〇 八	大阪屋號	三月	▲新案詰碁百二十餘題悉くを實戰上のものを基礎として說く。
四段 增位九皐	科學的原理創定 互先碁の合理化	菊判 和綴入	258	二、〇〇 一八	大阪屋號	三月	▲互先定石を整理して場合問題に檢討し尙ほ定石の組織及運用に就ての新說上下二册。
五段 井上保申	再訂無疵 圍碁の道しるべ 圍碁定石稽古本	菊判 和綴	61	六〇 六	大阪屋號	五月	▲圍碁の手引書。
七段 岩佐銈	初めての人の圍碁の手びき	菊判 和綴入	130	八〇 一二	大阪 文進堂	五月	▲四ツ目殺しから始まつて圍碁の一般を說けるもので、碁局と對局其他。
四段 增位九皐	科學的原理創定 互先碁の合理化	菊判 和綴入	258	二、〇〇 一八	大阪屋號	三月	▲互先定石を整理して巧みに場合問題を檢討す。上下二卷。
七段 野澤竹朝	野澤竹朝全集(1) 科學的新解 實戰秘訣 互先布石正法	菊判 和綴	133	一、二〇 八	斯文館	六月	▲其儘實戰に用ひられる石立の祕訣を紹介せるもの。
七段 野澤竹朝	野澤竹朝全集(2) 科學的新解 互先定石 一間夾正法	菊判 和綴	135	一、二〇 八	斯文館	六月	▲基は何處が一番宜いか其他。
七段 野澤竹朝	野澤竹朝全集(3) 實戰應用 置碁布石正法	菊判 和綴	141	一、二〇 六	斯文館	十二月	▲實戰を應用せる置碁の布石正法を說けるもので、九子局第一圖其他。
四段 高橋清致	圍碁の魂 一手千盤	菊判 和綴	136	一、二〇 八	大阪屋號	一月	▲置碁の精神打ち方等を講述した書で、置碁（石の形外廿項）互先（三間挾）外十七項。
圍碁同志會編	最新講評 互先石立軌範	菊判 和綴	96	八〇 四	大阪屋號	十月	▲互先石立に就ての精細なる講說。

圍碁同志會編	最新講評 置碁石立軌範 六子・四子・二子	菊判 和綴	90	八〇 四	大阪屋號	十月	▲六子、四子、二子の部を收めて平易に解說せるもの。
圍碁同志會編	最新講評 置碁石立軌範 七子・五子・三子	菊判 和綴	92	八〇 四	大阪屋號	十月	▲七子、五子、三子の石立を極めて平易に解說す。
圍碁同志會編	最新講評 置碁石立軌範 九子・八子	菊判 和綴	10[illegible]	八〇 四	大阪屋號	十月	▲置棋の定石中最も普通なるものを卷頭に錄し八子、九子を收む。
高木樂山	誠文堂十錢文庫 聯珠初段になるまで	三五判 並製	117	一〇 二	誠文堂	二月	▲從來の定跡講義に捉はれない新樣式の定跡講義を述べたもの。
聯珠新報主幹七段 平岩米吉	聯珠銀月必勝法	四六判 上製	68	八〇 四	聯珠白日會	四月	▲聯珠の基本形中最簡易の珠形を述べて、その先手全勝の法を詳述せるもの百五十五局。
聯珠新報主幹七段 平岩米吉	聯珠花月必勝法	四六判 上製	60	八〇 四	聯珠白日會	六月	▲銀月の姉妹篇、同じく先手全勝の法を詳述す。百四十六局。
讀賣新聞社編	日本將棋 選手權爭奪大棋戰	菊判 並製	238	七〇 六	讀賣新聞社出版部	五月	▲金易二郎八段と木見金次郎八段の對局、金子金五郎七段と花田長太郎八段の對局外三。
土居市太郎編	將棋 選細講 平手の卷—上卷	新四六判 和綴	120	八〇 六	大阪屋號	一月	▲棋界に定評ある名著たる棋聖天野宗步師の原著「將棋精選」を土居八段が一般の人々の
土居市太郎編	將棋 選細講 平手の卷—下卷	新四六判 和綴	88	七〇 六	大阪屋號	一月	▲爲にわかりやすく平手定跡の極意を講述せるもの。上卷一より十、下卷十一より。
土居市太郎編	將棋 選細講 上卷—自飛香落至六枚落	新四六判 和綴	165	一、〇〇 六	大阪屋號	一月	▲六枚落、五枚落、四枚落、二枚落、飛香落を收む。
八段 土居市太郎編	御城將棋詳解	新四六判 和綴	156	八〇 六	大阪屋號	四月	▲舊幕時代年中行事の一として知られた御城將棋の解說をなせるもの。
八段 土居市太郎編	初心獨習 詰將棋講義 上卷	新四六判 和綴	142	七〇 六	大阪屋號	四月	▲手筋の說明及び策源の解釋をなした詰將棋の講義書。
八段 土居市太郎編	初心獨習 詰將棋講義 下卷	新四六判 和綴	152	七〇 六	大阪屋號	五月	▲下卷には五十一番から百番までを收め講述す。

八段 土居市太郎	將棋陣立くずし	新四六判 和綴	178	一、〇〇 六	大阪屋號	十一月
將棋新報社編	名人詰將棋百番	新四六判 和綴	132	六〇 六	大阪屋號	四月
將棋新報社編	將棋步式 附錄・御城將棋補遺	新四六判 和綴	80	四〇 四	大阪屋號	二月
將棋新報社編	將棋絹篩 —將棋獨稼古合卷—	新四六判 和綴	102	四〇 四	大阪屋號	二月
將棋新報社編	定跡奥義將棋祕傳	新四六判 和綴	135	八〇 六	大阪屋號	四月
關根金次郎	飛車落角行落勝敗祕訣	新四六判 和綴	168	一、〇〇 六	大阪屋號	二月
谷ヶ崎治助	三人將棋	四六判 並製	175	五〇 六	國際將棋研究會	十二月
溝呂木光治	誠文堂十錢文庫 將棋はめて千態	三五判 並製	121	一〇 二	誠文堂	四月

麻雀

榛原茂樹	麻雀精通	四六判 函入 布裝	488	一、七〇 一二	春陽堂	三月
菅野容夫	麻雀戰術 イイ 一しゃん聽 テイン	四六判 函入 上製	376	一、八〇 一二	文雅堂	六月
廣津和郎	誠文堂十錢文庫 麻雀必勝法	三五判 並製	114	一〇 二	誠文堂	四月
川崎備寛	誠文堂十錢文庫 麻雀高等新戰術	三五判 並製	123	一〇 二	誠文堂	三月

▲筋違ひ角、相櫓の對陣外四十八章にて陣立法及び其破壞法を平易に說く。

▲古今十名人の作物中より各十番づゝを選び收む。

▲名人大橋宗英の定跡集。

▲福島順喜七段の定跡集。

▲大橋家々元將棋祕傳記、伊藤家々元將棋嚴祕錄及び天野宗步口傳、立摩駒組法收載。

▲明治四十一年より大正五年に至る十年間の棋譜中より飛、角落ちの七十五局を編纂す。

▲三人將棋創定の宣言、盤の定法並に製法、三人將棋段級手合割規定其他にて說述。

▲素人連の最も多く指す部類の筱手を殆んど網羅せるもの。

▲麻雀と日本人、麻雀發達小史、競技法、得點、戰術外二章及附錄。—改訂版—

▲數理に立脚した合理的な麻雀戰術を說けるもので、牌の價値外七章。

▲麻雀必勝の理論を明らかにせるもので、敵の手中を知ること其他。

▲謂ゆる戰術の意義、豫備的知識、戰術各論第一期の戰術外二章。

空閑錄	誠文堂十錢文庫 麻雀超スピート上達法	三五判 並製	114	一〇 二	誠文堂	一月
長尾克	誠文堂十錢文庫 麻雀初段になるまで	三五判 並製	127	一〇 二	誠文堂	四月
川崎備寛	誠文堂十錢文庫 麻雀早和り法とガメクリ法	三五判 並製	111	一〇 二	誠文堂	三月

謠曲・端歌

わんや編輯局編	諸流狂言名寄集	四六六 信大紙 和	5	三〇 二	わんや書店	一月
小島和泉	歌澤と端唄集	菊半截 上製	310	六〇 四	大阪文進堂	十一月

▲短時日に上達し得るやう麻雀戰術を說けるもので、研究的開牌外七章。

▲麻集を分り易く說けるもので、初級編、中級編、高級編其他。

▲多くの實例を掲げてその各々の場合を解說せるもので、早知り法外一編。

▲和泉、大藏、鷺流の名寄及び和泉、大藏の稽古順表と三流曲目異同表に總索引附。

▲哥澤及歌澤から端唄の總てを紙數の限りに集載した物。

趣味・通・食道樂

高橋義雄	茶道實演錄	菊判 函入 並製	368	二、五〇 一二	慶文堂	九月
藤井浩祐	通叢書 犬通	四六判 上製	146	七〇 六	四六書院	五月
趣味ブック刊行會編	趣味の集印帖	菊半截 布裝	61	三五 二	河內書店	五月
小菅薔村	サインブック	四六倍判 函入 洋布	50	一、〇〇 一八	宵郊社	三月
時事新報社編	たばこ	四六判 布裝	140	七〇 六	時事新報社	十一月
門倉國輝	通叢書 喫茶とケーキ通	四六判 上製	132	七〇 六	四六書院	五月

▲國民新聞に掲載せる茶道記を收錄せるもので、熱海不寒庵外六十二篇。

▲犬と藝術、日本の犬と西洋の犬、犬の見方犬の種類外八篇。

▲裏面に自由日記欄を設けた集印帳。

▲親しい人や有名な人の手寫や署名などが書けるやうになつたもの。

▲政界煙話（小泉又次郎）煙草と文學（厨川蝶子）包裝と意匠（杉浦非水）外二十篇。

▲どうすれば旨く飲めるか、どうすればよい菓子ができるかに中心をおいて說く。

大谷光瑞	食	洋函四六布入判	416	二、八〇 一三	大乘社支部	二月	▲誤られたる現時の料理、料理の眞價、各種料理の概觀、食品論其他食物に就て論述。
松崎天民	誠文堂十錢文庫 京阪食べある記	並三五製判	128	一〇 二	誠文堂	一月	▲大阪を主として京都、神戸、名古屋其他に及んだ關西食味の印象記。
松崎天民	誠文堂十錢文庫 東京食べある記	並三五製判	113	一〇 二	誠文堂	一月	▲日本料理、西洋料理、支那料理、鰻其他東京の喰べ物屋行脚記。

手品・隱藝

松旭齋天勝	誠文堂十錢文庫 素人手品一百種	並三五製判	111	一〇 二	誠文堂	二月	▲誰にも出來る極めて簡單な手品一百種の種明しで、御錢を用ゐるもの其他。
三澤隆茂	趣味の奇術	洋函三六布入判	237	一、〇〇 六	博文館	三月	▲小奇術、貨幣の奇術、カードの奇術、ハンカチーフの奇術其他にて趣味の奇術を收む。
櫻川忠七	誠文堂十錢文庫 モダン宴席かくし藝	並三五製判	131	一〇 二	誠文堂	一月	▲一寸したナンセンス、バタ臭き一圓、手品らしきもの、卽席劍舞外十一篇。

漫談・漫畫

寺田瑛	街頭のさゝやき	上函四六製入判	319	一、五〇 一〇	四條書房	十二月	▲報知新聞に掲載せるナンセンス二百五十篇を收めたもので、美術季節其他。
吉岡鳥平	スポーツ漫畫漫文 筆のホームラン	背函四六布入判	316	二、〇〇 一二	日本スポーツ研究會	八月	▲早慶戰素描、リーグ戰珍風景、百年後の陸上競技、スポーツ百馬鹿其他の漫畫漫文集。
岡本一平	誠文堂十錢文庫 漫畫と漫文	並三五製判	139	一〇 二	誠文堂	一月	▲民衆畫の今昔、漫畫式若返り法、當世百馬鹿、學生漫畫外八篇よりなる漫畫漫文集。
岡本一平	世界漫畫巡禮	布函四六裝入判	415	一、五〇 一二	先進社	四月	▲世界一周漫畫漫文集、子供漫畫漫文集の二篇を收む。
岡本一平	新水や空 ―政治篇―	布函四六裝入判	414	一、五〇 一二	先進社	一月	▲政治時事漫畫文集で、議會に出入する畫家の手記、普選早わかり、傍聽人比例外六十篇

岡本一平	政治漫畫	布函四六裝入判	418	一、五〇 一二	先進社	二月	▲續政治漫畫漫文集、漫畫漫文雜篇集の二篇より成る。
田口鏡次郎編	文藝名作漫畫	上函四六製入判	298	一、三〇 一二	合同書房	四月	▲坊ちゃん、痴人の愛其他の名作に岡本一平池部鈞、外數氏の漫畫を配せるもの。
田口鏡次郎編	漫畫明治大正史	上函四六製入判	278	一、三〇 一二	合同書房	四月	▲明治大正史を北澤樂天、清水對岳坊、長崎拔天其他數氏が漫畫化せるもの。
荒井一壽	教育漫畫 軍隊生活	洋函四六倍布入判	85	一、三〇 一八	軍武書院	四月	▲軍隊生活の實相を漫畫化せるもので、起床武器手入、速歩行進其他。
寢惚亭馬雁	まんだん まんぐわ 浮世床膀競べ	上函三六製入判	254	八〇 六	博文館	三月	▲輕妙洒脫なまんだんに河原久仁於畫伯の漫畫を收めたもの。
渡邊武雄	漫畫漫文 川柳片ゐくぼ	布函三六裝入判	213	一、〇〇 八	東方書院	六月	▲輕妙洒脫なる渡邊畫伯の漫畫を配して川柳と漫文を收めたもの。
村上春草	赤毛布ナンセンス	上四六製判	304	八〇 六	日本書院	五月	▲時計の鎖がだらり、滑稽バナナ物語、百圓札は夢其他失敗話滑稽話四十八篇落語五篇。

獵奇・實話

新潮社編	現代獵奇尖端圖鑑	洋函四六倍布入判	292	二、八〇 一八	新潮社	四月	▲エロにグロにナンセンスにあらゆる尖端的な風景を綜合的に展開した獵奇の大繪卷。
時代世相研究會編	變態風俗畫鑑	洋函新菊布入判	158	一、八〇 一八	時代世相研究會	七月	▲眠れる顏、ボルジアの毒其他を改めた畫鑑エロとは何か外十篇の解說併載。
北川草彥	女の匂ひと香	布四六倍裝判	270	三、五〇 一八	春陽堂	五月	▲男は女を嗅ぐ、乳房は藝術的象徵、西洋情愛綺談集外九篇。―發賣禁止―
岸弘	初夜の研究	洋函四六布入判	163	一、〇〇 八	日日書房	九月	▲初夜、初夜權はどうして生じたか？ 文學に現はれた初夜外三章。
酒井潔	降靈魔術	上函四六製入判	340	一、八〇 一二	春陽堂	四月	▲魔術に關する研究で、降靈魔術、妖幻夜譚天狗雜老外五章。

高橋桂二	現代女市場	上四六倍判製	494	一、三五八	五月
春野陽次郎	鐵の貞操帶	並四六判製	349	一、二五〇	四月
田中、直樹	モダン・千夜一夜	菊半裁洋布	198	一、三〇六	四月
泉 圭次	ネオ・デカメロン	並三六判裝	125	特一、八〇〇	八月
原比露志	デカメロン讀書 港々の獵奇街	並四六判製	167	六〇〇	二月
酒井 潔編	讀物讀書(3) 異國風景 浮世オン・パレード	上四六倍判製	71	一、八〇〇	二月
山内 一焕	エログロ讀書 戀態エロ・ナンセンス	並四六判製	195	七五〇	七月
西尾信治編	東京エロ・オン・パレード	並四六判製	121	三五〇	四月
山内 一焕	エログロ讀書 モダン戀愛デパート	並四六判製	202	七五〇	九月
根岸榮隆	エロス・セリーズ(1) 毛	並四六判製	176	五〇〇	六月
和田信義	エロス・セリーズ(2) 國際秘密賣買株式會社商品	並四六判製	164	五〇〇	七月
高村源雄	アメリカインターナショナルスパイクラブ 米國の國際間諜室	並四六判製	246	五〇〇	五月
小笠 夢坊 小野金次郎 著 千井 諭男	讀物 探偵實話集(1) 愛慾層に踊る	並四六判製	316	一、二〇〇	五月
赤爐閣	▲明治初期の公設市場、市場を巡る女性哀史 現代私娼の卷外十六篇。				
春陽堂	▲巴里の淫賣婦、ジャズの魅力、我國賣淫の源、南歐エログロ外二十四篇。				
チップ・トップ書店	▲電球が女を殺した話、拾圓札の女の話、ピルデングと女の脚の話其他。—發賣禁止—				
文松堂	▲性器崇拜の迷信が生んだ悲劇、禮割の行はれる風景外十九篇。—發賣禁止—				
風俗資料刊行會	▲歡樂を追ふて船は南へ、噴火口の上に踊るマルティニク、南米の港々外七篇。				
竹酔書房	▲漫畫漫文小譚などを收めたもので、海水浴珍景職業別細君操縱術其他五十餘篇。				
二松堂	▲モダン令嬢跳躍記、キネ魔ガール出沒記、ステップの踏み違ひ外九篇。—發賣禁止—				
昭文閣	▲大東京の近代色、銀座のお巡さんの惱み、派出看護婦の内面外廿篇。				
第3書房	▲樂屋懸愛のトリック、不良ガール告白記、有閑マダム倶樂部外六篇。—發賣禁止—				
燎原社	▲動物と毛、毛の性的興奮性と變態性慾、犯罪と毛髪外七篇。				
燎原社	▲子供といふものは、無心に近い大勇士、若夫婦の家の經濟外十四篇。				
泰光堂	▲小説風に記逃した米國間諜物語。				
	▲港々に女あり、世界の艶笑、淺草でかめろん、シベン萬歳外一部。				

國枝義雄譯	エログロ讀書(1) アメリカの尖端喜劇集	並四六判製	190	七五〇	二月
南龍一	エログロ讀書 花嫁オン・パレード	並四六判製	169	七五〇	二月
小松眞人	エログロ讀書 カフエ女給の裏おもて	並四六判製	187	七五〇	二月
野崎三郎	エログロ讀書 艶魔兒盜ざんげ	並四六判製	197	七五〇	二月
一瀬直行	淺草文藝 彼女とゴミ箱	上製四六判入製	257	一、二〇〇	交蘭社
山口勝一	探偵實話 現代捕物帳	上四六判製	418	一、二〇〇	大衆文館
荒木(マネキン・ボーイ)千秋	銀座で戀の鬼ごつこ	並四六判製	180	六〇〇	赤爐閣
酒井潔	日本歡樂鄉案内	並四六判製	358	一、三五〇	竹酔書房
二松堂	▲明るい部屋、ジエロスヒア微笑み給ふ、夏の日の出來事外七篇。				
二松堂	▲エロ、グロ結婚風俗さま〴〵、シヤムのグロの風俗外十篇。				
二松堂	▲カフエに投げ出されたエトロスを蒐錄せるもので、學生街のカフエ外十篇。				
二松堂	▲說教强盜妻木松吉、尼殺し大來龍雲、女優一家壓殺事件外五篇。				
交蘭社	▲淺草新風景、淺草戰線ABC、淺草動物行進曲外二部。				
大衆文館	▲現兵庫警察署長平田氏の捜査主任、刑事課長時代の探偵實話を收めたもの。				
赤爐閣	▲ある令嬢の婿選び、愛のすみれ草、不良青年と警官の問答外七篇。				
竹酔書房	▲東京歡樂鄉案内、大阪歡樂鄉案内、横濱歡樂鄉案内外一編。—改訂版—				

一八、婦人・家庭

婦人修養

書名	著者	形體裝幀	頁數	定價	送料	發行所	發行月	内容大意
婦人と公民生活	長崎縣社會教育課長 唐仁原景盛述	四六判並製	50	三三	社會教育協會	八月	▲日常生活と政治、立憲政治、婦人公民權其他四章にて婦人と公民生活に就て論述。
日本女性讃話	婦人講座(16) 中田信子	四六判並製	60	三五	社會教育協會	八月	▲野村望東尼、奥村五百子、湘烟中島俊子、靜寛院宮外三篇。
婦人と美術	婦人講座(19) 一氏義良	四六判並製	51	二五	社會教育協會	十月	▲生活と美術、日本畫の話、西洋畫の話、彫刻、工藝の話外二篇。
婦人と園藝	婦人講座(15) 有川ヒサエ	四六判並製	65	二五	社會教育協會	六月	▲婦人と園藝、人生と植物、草花の栽培、栽培上の實例の四篇にて述ぶ。
尊き花・尊き實	民業文庫(52) 山脇房子	四六判並製	36	二〇	社會教育協會	六月	▲女性としての心掛けを說けるもので、富士の姿を心として外七篇。
女性黎明	三輪田高等女學校長 三輪田元道	四六判上製	501	一、二〇	萬里閣	二月	▲一般女性に就ての思想問題社會問題婦人問題等を說けるもので、現代の婦人問題其他。
當來社會と婦人の覺醒		四六判上製入	350	一、三〇	丁酉出版社	九月	▲婦人の不平等的地位を論じ、婦人運動、現代の倫理道德上の婦人の地位に及ぶ。
結婚の話		四六判並製	74	二〇	帝國教育會出版部	十二月	▲結婚の注意、結婚の意義目的より理想的結婚まで最も忠實に記述せるもの。

御遠隔よりの——
御手紙による御註文は
是非當店、通信販賣部へ！

○新刊案内、雜誌總目錄、各種內容見本等は御申越次第差上げます。

東京市神田區錦町三ノ一八
株式會社 東京堂書店
通信販賣部
電話神田(25)三三九二番
振替口座東京二七〇番

家事・家政

三宅やす子	新女性叢書	嬢學令	上菊半截製	253	八〇	四	實文館	月 六
東京府立第一高等女學校長 川源三		結婚生活 ―その理想と其の現實―	四六判洋布入	162	一、〇〇	一、〇〇	明治圖書株式會社	月 五
宇野木忠		臺所經濟學	四六判並製	270	一、一〇	一八	日本評論社	月 五
松村金助		女性經濟知識	四六判布入裝	209	一、一〇	一三	森山書店	月 五
家庭文化研究會編	家庭寶典	婦人の心得置くべき知識	四六判上製入	199	一、二五	一二	いろは書房	月 二
主婦之友社編輯局編		家運繁榮の祕訣百ケ條	菊判並袖珍製	129	一、三五	二	主婦之友社	月 二
川崎市		岡示結婚及臺所の改善と其の復興	四六判並製	150	八〇	六	明文堂	十一月
主婦之友社編輯局編		模範家計簿 ―（附錄＝掛買ひ帳）―	菊判上横製	220	一、二五	八	主婦之友社	十 月
太田菊子		必ず貯金の出來る家計簿	洋菊判布表紙	150	一、四五	六	婦女界社	十一月
富山房百科事彙編輯部編		日本家庭大百科事彙 第四卷	菊判並製	600	特五、五〇	四五	富山房	十一月

▲結婚した男女の夫婦生活を中心として說けるもので、家庭座談會、外一編結婚講話。

▲令嬢篇、戀愛・結婚篇、現代思潮篇、相談に答へて、隨想篇等女性への諸篇を收む。

▲衣食住の重なるものに付いて問屋制度、小賣制度の内容を調査して述べたもの。

▲女性と經濟、物價の知識、配給經濟の解說デパート經濟學外七編。

▲正しい家事の知識、社會と科學の知識、醫療衛生の知識外六編。附和服の着方其他。

▲主婦は一家の禍の神となるべし、鏡の曇る家には幸運が來ぬ外九十八ヶ條。

▲結婚の改善、葬儀の改善、臺所の改善、風呂場、便所の改善、盆踊の復興。

▲記入が簡單で、決算にも手間取らず、わけなく貯金のできるやうになる獨特の内容。

▲經濟を中心に編纂した家計簿、必ず貯金の出來る祕法十種を公開。

▲頁の關係上本卷に收載を省略した補遺約五千餘頁に索引を加へたもの。

禮式・作法

小平久馬		日本婚禮式	上菊製	306	一、五〇	一四	泰文館	月 九
岡實		結婚生活の理想	四六判並製	145	一、〇六	六	文造堂	十 月
三宅やす子	古實新式	婚禮式圖解	上菊半截製	145	一、〇六	六	實文館	月 六
船渠共立女學校長 ミルス		西洋の社交と禮儀	上菊半截製	173	八五	六	ヘラルド社	月 七
小山茂	クロモシーリズ	洋食の作法	四六判並製	66	三〇	二	三省堂	月 四
花月庵鶴友	小笠原流	包結のしるべ	大菊和綴入	270	二、〇〇	二二	大文館	月 九
小笠原千代子	小笠原流	折紙と水引の掛方	菊和綴入	234	一、三五	二二	太陽社	十二月

▲一切の婚禮式の外に一般禮式性の教育、九星の相性、化粧の仕方、着附の仕方其他。

▲神宮奉齋會統一の禮式を根據として、それに古實の長所を參酌して著せしもの。

▲西洋の社交的知識を說いた書。

▲洋食作法の一般的注意、家庭に於ける英佛の日常の食事、テイパアテイに招かれた場合

▲吾々の祖先が久しい歳月の裡に育てい來た美しい傳統の禮式である結方包方の集大成。

▲上下二卷にて小笠原流の折紙と水引の掛方を說ける書で、紙包の折方其他。

育兒・お産

醫學博士 田村均		育兒讀本	四六判布表紙	285	一、三〇	二	婦人之友社	月 二
醫學博士 三田谷啓		我子の愛育法	四六判背布入	252	一、〇〇	一	婦女界社	月 三
東京帝大學教授 關寛之	婦人講座(31)	幼兒の心理と教育	並四六判製	57	二五	二	社會教育協會	月 四
文學士 平田一華藏	愛兒教養	母の學校	四六判上製入	550	一、八〇	一八	章華社	月 四
京都市教育會編	家庭教育	母のために ―幼兒の卷―	四六判洋布入	227	一、一〇	一一	明治圖書株式會社	月 五
葛原しげる	先生ごろ調べごろ	幼童記錄	三六判洋布	304	一、〇〇	六	輝文堂書房	二 月
育兒科學研究會編	正しき理解と正しき育て方	赤ん坊	四六判並裝	450	一、八〇	一四	育兒科學社	二 月

▲小兒期の分類、小兒の死亡率、健康な初生兒、赤痢と急性腸カタル外五十九編。

▲母の感化、コドモ觀察法、乳兒の教育、自然とコドモの教育外廿五章。

▲育ちゆく兒童の身心の概觀、幼稚園に兒童を入れるべきか外三編。

立派な子供を育む家庭、理想的な子供、幼稚園と小學校外三章。

▲家庭の主婦として讀むべき理想的家庭教本自覺の卷、理解の卷、實際の卷よりなる。

▲小さな髪結ひ、兄さんの早退、遠足、三年生の先生、上衣のボタン外二十八編。

▲瀬川博士外七氏が讀み易く書かれた姙娠と育兒の解說。附錄に育兒書譜「生ひ立ちの記」

文學士 平田華藏	改訂增補 愛兒のメンタルテスト（一名我が兒の智慧の測り方）	四六判上製函入	400	一、五〇 一六	章華社	三月	▲兒童の一般知能、特殊知能の測定法。生後三月より十六歲兒迄。
主婦之友社編輯局編	姙娠と育兒の月々の心得	三六判折疊式		三〇 四	主婦之友社	二月	▲さきに雜誌「主婦之友」十四卷十號の附錄として發行せるものゝ堅牢版。
醫學博士 岡村鼎二	姙娠とお產の知識	四六判上製函入	104	一、〇〇	大阪 文翫堂	十一月	▲如何して何時姙娠するか、姙娠中母體に起る變化、姙娠中の攝生法外十二章。

裁縫・手藝

女子技藝研究會長 梶山彬	趣味と實用 家庭裁縫講座	菊判洋布函入	256	八〇 二	好文館	三月	▲裁縫と女德、衣服寸法の概定法、一ツ身衣服の仕立方外六十九章。
武藏高等學校教授 現代高等技藝女學校校長 本間良助	創造主義 和洋裁縫の統一	四六判並製	106	五〇 四	南光社	三月	▲創造主義の教授とはどういふ事か、從來の裁縫教授とはどこが違ふか外十六編。
松村豐 今村品子	メートル鯨尺對比 家庭和服新裁縫書 附錄正しい氣附	菊判洋布函入	312	二、五〇 一八	盛林堂	一月	▲實物寫眞及び挿繪を多く入れ和服裁縫の知識と技術を說ける書。單衣之部以下十編。
大妻高等女學校教授 南雲ハツヨ	新らしい和服の仕立方	菊判洋布函入	266	一、二〇 一八	岡村書店	一月	▲裁縫實習について一般的の心得、單衣物、涎掛と子供前掛十五章にて論述。
東京女子專門學校教授 牛込ちゑ	婦人講座(8) 和服裁縫の話	四六判並製	72	一五 二	社會教育協會	九月	▲將來の家庭に於ける裁縫、基礎知識、實際の方法、外二編にて叙述。
菅谷喜代子	婦人講座(12) 家庭と洋裁	四六判並製	63	一五 二	社會教育協會	三月	▲婦人服と子供服とについて實際の知識を說けるもので、婦人の洋裝美外六章。
關西ミシン學院教授 佐野末子	家庭實用 ミシン裁縫新書	菊判洋布函入	194	一、〇〇 一二	日本出版社	一月	▲機械の說明より說き起しミシン裁縫の一般を收め藝術的ミシン刺繡に迄及んだもの。
佐野末子	春夏秋冬 モダン實用男女兒服	菊判背洋布函入	415	二、三〇 一八	元文社	四月	▲經濟的な子供服に就いて述べたもので、生地の取扱ひ方、必要品其他。
永田信枝 阿久津竹子	新型 毛絲の編物	菊判並製函入	62	八〇 八	文理書院	十一月	▲容易に編物を會得出來るやう丁寧に說明せる書で、編絲の卷方其他。—新訂增補版—

主婦之友社編	カード式 毛絲編物新型集	四六倍判上製	80	特一、七〇 一、四〇	主婦之友社	十一月	▲配色を原色で現はし新型百種の編み方及基礎編四十一種に詳細な說明を施す。
婦女界社編	編物の最新型獨り案內	四六倍判洋布	142	八〇 六	婦女界社	十二月	▲赤ちやん用の編物、三四歲から五六歲用の編物其他數百種の編方を紹介す。
日本女子大學教授 高木美代子	美しい子供用毛絲編物集	新菊判上製函入	90	一、二〇 一二	實業之日本社	一月	▲子供物を主とした毛絲編物を圖入りにて述べたもので基礎編みの編み方以下廿四項。
家庭生活改善會技藝部長 樋口歌代子	圖解でわかる 新型の毛編物	四六判背洋布	223	九五 八	三輪書店	十一月	▲編物の知識、基礎編篇、應用編篇、製作篇の四篇にて述ぶ。
矢野フサヨ	あみもの基本集 棒針後篇	菊判並製函入	113	一、二〇 一二	培風館	二月	▲前編の棒針編方を應用した模樣の基本あみを輯めたもの。
矢野フサヨ	鉤針 あみもの實物集	菊判並製函入	254	二、二〇 一八	培風館	二月	▲基本編應用の實物集で、基本實物篇、毛絲製品取扱ひ方、模範實物篇の三篇。
編物研究會編	美しい毛絲の編物	菊判並製函入	66	八〇 八	文理書院	十一月	▲基礎編（日の取り方外卅三章）應用編（赤ちやんの帽子外廿七章）—新訂增補版—
東京女子師範學校講師 上村百代	系統的刺繡の精說	菊判洋布函入	201	三、五〇 一四	教育研究會	十月	▲從來の日本刺繡を順序を追つて述べ終りにフランス刺繡其他に言及す。
東京女子高等師範學校講師 上村百代	最新歐米の刺繡	菊判洋布函入	70	二、〇〇 一二	教育研究會	十二月	▲其用具材料が簡單に得られるフランス刺繡に就て述べたもので、フランス刺繡外八章。
內山光弘	第一集 折紙人形の折方	四六倍判軟	25葉	三、〇〇 一八	小光社	四月	▲內山氏の考案になる折紙の基本形狀の解說廿六種及折紙を收めたもの。
小出春江 山本千惠	クレープペーパー 造花の仕方	菊判上製函入	165	特二、〇〇 一、五〇	文理書院	十二月	▲小學兒童にも出來るクレープペーパーの造花に就て說ける書。—新訂版—
主婦之友社編輯局編	主婦之友實用百科叢書(3) 實用手藝品の作り方	三六判上製	127	六〇 四	主婦之友社	二月	▲實用手藝品中特に新味あるもの五十餘種を選びその作り方を詳しく說明せるもの。
共立女子專門學校講師 河野富子	婦人講座(10) 婦人と手藝	四六判並製	53	一五 二	社會教育協會	一月	▲手藝發達の徑路、趣味としての手藝、手藝品の扱ひ方外五項にて講述した小冊子。

生花・諸藝

主婦之友社編	池坊と古流の 生け方寫眞集	菊判 上製	108	九〇 八	主婦之友社	四月	▲池坊と古流の二流の生け方寫眞集で、池坊生け方の順序其他。
光雲齋雄甫	池の坊流 生花のおしへ	菊判 和函綴入	175	一、五〇 二二	太陽社	十二月	▲上下二巻にて池の坊流生花の道を說けるもので、草木生け方外二篇。
南浦仙舟	池坊生花のおしへ	菊判 上函製入	230	一、七〇 二三	大阪 文進堂	二月	▲池坊流宗家華務華督の重職にある著者の初歩より祕傳にいたる迄の著書。全二冊。
野鶴齊玄甫	未生流生花のしるべ	菊判 和函綴入	212	一、七〇 一八	大文館	六月	▲上巻、中巻、下巻の三冊にて未生流生花の大道を說く。附四季投入と盛花。
去風流宗家 西川一草亭	茶の話 華の話 茶心花語	四六判 上函製入	265	一、五〇 二二	實業之日本社	三月	▲茶の湯の話（日常生活と茶の湯外十篇）生花の話（文人生けの話外五篇）

料理

主婦之友社 編輯局編	經濟で美味い 家庭料理千種	四六判 洋函布入	634	特一、七〇 二四	主婦之友社	十月	▲最近二三年間に雜誌「主婦之友」に發表して好評を博せる料理中一千種を選び收む。
コーツ	榮養家庭西洋料理	菊判 布函裝入	224	一、七〇 二二	春陽堂	十二月	▲榮養研究所より學ばるゝ事、如何にして此の教を應用すべきか外三章。
前東京府立女子專門學校教授 栗原玉子	民衆文庫（47） 正月の料理	四六判 並製	37	一〇 二	社會教育協會	一月	▲正月向きのお料理に就て說明したもので、來客用祝儀膳獻立以下六項
小林完	誠文堂十錢文庫 小學兒童お辨當百種	三五判 並製	95	一〇 二	誠文堂	三月	▲子供の食べ物に就ての注意、各種の變り辨當と副菜の調理法外五篇。
本山荻舟編	美味廻國	四六判 布函裝入	346	一、八〇 二二	四條書房	四月	▲「食料お國自慢」を增補改題した書で各地の料理法と附錄に荻舟料理雜話十五篇を收む。
佐藤紅霞	世界カクテル百科辭典	四六判 洋函布入	441	四、五〇 二二	萬里閣	四月	▲現今世界に流行しつゝある「調合酒」及び「無酒精飲料」の處方を說明せる辭典。

川崎甫	おいしい 漬物のつけかた	四六判 布函裝入	160	一、〇〇 八	泰文館	十月	▲蔬菜や果物の漬物に就て平易に說けるもので漬物の準備外六十篇。
龜岡泰躬	果物の調理と飲物の作り方	四六判 布裝	215	一、五〇 八	講談社	八月	▲果物の調理、飲物の作り方及その種類、產地、季節などの知識を述べたもの。
堤伊六	圖入式 最新和洋菓子製法	四六判 布函裝入	194	一、五〇 二二	朝日書房	五月	▲各家庭に最も適切なものを選び其の方法を實際に應用出來る樣に詳述せるもの。

化粧・衣裳

賀川豐彥	化粧と衣裳の心理	四六判 並製	229	八〇	銀座書房	十月	▲化粧の心理、衣裳の心理、日常生活と衣裳の心理、婦人の臺所の四篇にて論述。
山本久榮	婦人講座（17） 婦人と整容	四六判 並製	67	一五 一	社會教育協會	八月	▲婦人必須の心得としての整容に就て述べたもので、皮膚について外四章。
須藤三石	民衆文庫（58） 整容十話	四六判 並製	36	一〇 二	社會教育協會	十二月	▲氣苦勞のないやう、運動を怠るな、澤山眠るやう、齒牙を大切に外六篇。
日本女子美容術學校長 北原十三男	實際美容術	菊判 背函革入	364	二、五〇 一八	婦女界社	六月	▲基礎學について、お化粧の巻、毛髮の巻、正式の美容術の巻外九篇に說述。
ハリー・牛山	新女性叢書（11） モダン化粧室	菊半截 洋布	284	八〇 四	寶文館	五月	▲美への憧れ、女性美の創造、健康と美容への食物、容姿の流行外八章。

【兒童書類】

兒童劇各種
お話書類
遊戲・競技
唱歌・舞踊
童話・童謠
兒童叢書
兒童科學
課外讀物
副讀本類
其他各種

本出版年鑑を御覽になります方々に

弊閣刊行の兒童書類は本年鑑中に收錄されてをりま
す。その大部分は毎年一回の讀書週間に良書として
推薦を受けたものです。

【圖書目錄送呈】

東京市麹町區下六番町四八

厚生閣書店

〔振替東京五九六〇〇番〕
〔電話九段三二一八番〕

新刊圖書目錄及既刊の詳細に就ては

直接弊閣へ御照會下さいますれば早速御送り申上げ
ます。尚弊閣では上掲の外教育・文藝・電氣等各種圖
書を刊行してをります。

一九、兒童書類

童話

著者	書名	形體裝幀	頁數	定價錢 送料錢	發行所	發行月	內容大意
佐藤一英編	兒童文學 第一册	菊判並製	333	二、〇〇 八五	文教書院	七月	▲豚泥棒（福士幸次郎）人にすにすぐれた藝（宇野浩二）三つの望み（佐藤一英）外十九篇。
濱田廣介	ひろすけ兒童讀本 一の一	新菊判上製	188	七〇 八〇	岡村書店	十月	▲ヒト、リンゴ、カセ、ココヘスワルハ、コウシノツノ外一年生程度の童話七十四篇。
濱田廣介	ひろすけ兒童讀本 一の二	新菊判上製	214	七〇 八〇	岡村書店	十月	▲世界諸國の童話から資料をぬいたものを主とせる童話集で、コイヌトコネコ外廿三篇
濱田廣介	ひろすけ兒童讀本 二の一	新菊判上製	221	七〇 八〇	岡村書店	十二月	▲日ニホユリ、まつば、それでもいいわ、ほしのうた、青い舟外六十二篇。
小谷良德編	お話讀本 尋常一學年A	四六判上製	146	八五 八五	創元社	九月	▲モモタラウ、アンアクチヤガマ、カチカチヤマ、ジタキリスヅメの四篇を收む。
小谷良德編	お話讀本 尋常一學年B	四六判上製	148	八五 八五	創元社	九月	▲ハナサカヂヂイ、一スンボフシ、サルカニキンタラウの四編を收めた童話集。
小谷良德編	お話讀本 尋常二學年A	四六判上製	136	八五 八五	創元社	九月	▲しろうさぎ、こぶとり、うしわか、ものぐさ太郎外一篇を收めた童話集。
小谷良德編	お話讀本 尋常二學年B	四六判上製	140	八五 八五	創元社	九月	▲くらげのおつかひ、カミサチトヤマサチ外二篇を收めた童話集。

小谷良徳編	お話讀本 三年生	四六判 雨入 背洋布	172	五〇八	創元社	十二月	▲三つの望み、勇猛なちび仕立屋、汽車を救つた少女外一篇の面白いお話集、
小谷良徳編	お話讀本 四年生	四六判 雨入 背洋布	190	五〇八	創元社	十二月	▲木樵夫婦の願ひ、三本の金の毛、景虎の知勇、コセットの話外一篇の童話集。
小谷良徳編	お話讀本 五年生	四六判 雨入 背洋布	186	五〇八	創元社	十二月	▲イワンの馬鹿、ジャントピエール、山椒大夫外一篇を收めた童話讀本。
小谷良徳編	お話讀本 六年生	四六判 雨入 背洋布	194	五〇八	創元社	十二月	▲面白い童話集で、勝利の叶び、樂聖ベエトオヴエン外二篇。
奥野庄太郎	一年生の文庫	菊判 雨入 並製	732	二、五〇二二	文化書房	十月	▲オツキサマトクモ、ワタクシノガツコウ、カメノオドリ外七册の童話集。
奥野庄太郎	二年生の文庫	菊判 雨入 並製	652	二、五〇二二	文化書房	十二月	▲アサノ山ノボリ、春が來た、バラノツボミお花の子もり外六册より成る讀物集。
奥野庄太郎	三年生の文庫	菊判 雨入 並製	760	二、五〇一八	文化書房	五月	▲山男と熊、三人の兄弟、四つのたから其他子供の好む面白いお話を十册に分け收む。
奥野庄太郎	四年生の文庫	菊判 雨入 並製	903	二、五〇一八	文化書房	六月	▲お爺さんとさくら草、良吉と蟲、世界の大火事外七册より成る四年生への讀物集。
金塔社編輯部	一年生の世界童話	四六判 上製	160	四〇六	金塔社	九月	▲オナカガヤブレタ、ゾウノカニタイヂ、ヒトクヒバアサン外八篇の童話集。
金塔社編輯部	二年生の世界童話	四六判 上製	178	四〇六	金塔社	九月	▲まめたらう、おぢざうさまとむすめ、やみよのからす外五篇の童話集。
金塔社編輯部	三年生の世界童話	四六判 上製	168	四〇六	金塔社	九月	▲地の下のお姫さま、からすの和尚、猿のお嫁さん外七篇の童話集。
金塔社編輯部	四年生の世界童話	四六判 上製	174	四〇六	金塔社	九月	▲いきかへつた王女、お墓のぴわうた、ばかとおひめさま外五篇の童話集。
金塔社編輯部	五年生の世界童話	四六判 上製	185	四〇六	金塔社	九月	▲魔法くらべ、三郎次物語、人魚と王子、もぐさ太郎の四篇を收めた童話集。

金塔社編輯部	六年生の世界童話	四六判 上製	176	四〇六	金塔社	九月	▲白鳥姫物語、魔女の呪、青蜥蜴、薔薇子と雪子外童話二篇。
大戸喜一郎 川名芳郎	カタカナドウワ トンチトンベエ	四六判 上製	200	五〇六	金蘭社	七月	▲ネギチガヒ、トンチトンベエ、セウベンチシナイ日外十五篇のお話集。
大戸喜一郎 川名芳郎	カタカナドウワ トンマノトン吉	四六判 上製	200	五〇六	金蘭社	十月	▲トンマノトンキチ、キンイロノハナ、トウキヤウコトバ外十四篇のお話集。
大戸喜一郎 川名芳郎	カタカナドウワ オヤオヤ三太夫	四六判 上製	200	五〇八	金蘭社	八月	▲オヤオヤ三太夫、クビノヤスウリ、大キナコエトチヒサナコエ外十三篇の童話集。
大戸喜一郎 川名芳郎	カタカナドウワ ナンデモ先生	四六判 上製	200	五〇六	金蘭社	八月	▲ナンデモ先生、猫のネンブツ、アチイ鳥、チシヤウサンノクスリ外十一篇の童話集。
川名芳郎	ヨイコニナル讀書 チウギノハナシ	四六判 上製	180	五〇八	金蘭社	九月	▲木ニカイタウタ、イクサノ神サマ、ケツシノユウシ外七篇を收めた童話集。
大戸喜一郎 川名芳郎	ヨイ子ニナル讀書 オヤカウカウノ話	四六判 上製	180	五〇八	金蘭社	九月	▲曾我キヤウダイ、行燈繪チカイテ、クリスマスノオクリモノ外七篇を收めた童話集。
久米元一	カタカナ オヤコウコウノハナシ	四六判 上製	190	五〇八	金の星社	十一月	▲クツミガキの少年、コウコウアメヤ、小サイシヨクコウ外六篇。
金の星社編	カタカナ童話文庫(5) コウコウスズメ	四六判 上製	175	五〇一〇	金の星社	六月	▲コウコウスズメ、トンマノオテガラ、天人ノハゴロモ外九篇の童話集。
大木篤夫	繪噺世界幼年讀書(5) ネコトネズミ	新四六判 上製	61	四五六	采文閣	十二月	▲愉快なアフリカのおはなし「ネコトネズミ」を收めたもの。
大木篤夫	繪噺世界幼年讀書(2) チイサイアカイヅキンサン	四六判 上製	60	四五六	采文閣	十一月	▲フランスで有名なお話、美しい繪がフイルムの様に展開される。
大木篤夫譯	繪噺世界幼年讀書(3) ミエバウノヒヨツコ	新四六判 上製	61	四五六	采文閣	十一月	▲大さな教訓をふくんだスペインの名高いお話「見得坊のヒヨツコ」を收めたもの。
大木篤夫譯	繪噺世界幼年讀書(4) ウタフフクロ	新四六判 上製	61	四五六	采文閣	十一月	▲面白くて教訓的なスペインの古いお話「ウタフフクロ」を改めたもの。

大木篤夫	繪噺世界幼年叢書(5) キンノトリヰノブクロ	新四六判 洋布	30	六 四五	栄文閣	十二月	▲チエッコ・スロヴァック童話の代表的な「金の鳥の胃袋」を收めたもの。
大木篤夫	繪噺世界幼年叢書(5) シンデレラ	新四六判 洋布	31	六 四五	栄文閣	十二月	▲かはいさうな、さうして幸福な少女の物語で、一名「ガラスノ靴ノオ話」。
大木篤夫	繪噺世界幼年叢書(7) ヒツジトクリスマス	新四六判 洋布	60	六 四五	栄文閣	十二月	▲クリスマスを前にして村を逃げ出した哀れな羊とその仲間達を描ける童話。
畑米吉	カタカナ童話	四六判 上製函入	176	六 三〇	大阪 新星社	十一月	▲ツキノウサギ、ホネナシクラゲ、ミツバチノハリ、サルノカホ、外三十篇。
畑米吉	タノシイ童話	四六判 上製函入	176	六 三〇	大阪 新星社	十一月	▲ウサギトカメノカケクラ、ヒトツカミノアワ、バカナゲナン、外十五篇。
畑米吉	アタラシイ童話	四六判 上製函入	176	六 三〇	大阪 新星社	十一月	▲ロバトウシト、ウシニナッタオヤコ、イヌニナッタキヨウダイ外十篇。
畑米吉	オモシロイ童話	四六判 上製函入	176	六 三〇	大阪 新星社	十一月	▲エンドウノキヨウダイ、ヤナギトソバ、クリプリークラプリー外三十八篇。
畑米吉	メヅライ童話	四六判 上製函入	176	六 三〇	大阪 新星社	十一月	▲ユキノオバサン、コビトノクツヤ、ウサギノハナヨメ、ヒメトカヘル外十三篇。
樋口紅陽	ひらがな童話	四六判 上製函入	176	六 三〇	大阪 新星社	十一月	▲おつきさまとうさぎ、こびとのたから、うぐひすのがつかう外五篇。
畑米吉	めづらしい童話	四六判 上製函入	176	六 三〇	大阪 新星社	十一月	▲せむしのかぢや、はごろものがたり、かぜとたいやう、天のいはと外七篇。
畑米吉	おもしろい童話	四六判 上製函入	176	六 三〇	大阪 新星社	十一月	▲あたまのさくら、うさぎのはなよめ、ゆびのたらう、むすめとかに外九篇。
藤川淡水	あたらしい童話	四六判 上製函入	176	六 三〇	大阪 新星社	十一月	▲らくだのかんげいかい、おほへこみのわうさま、ほうびのダイモンド外三篇。
山口行雄	たのしい童話	四六判 上製函入	176	六 三〇	大阪 新星社	十一月	▲ばかしあひ、吉雄さんとがま、ししとしか、にはとりとねこ、いばりきつね外二十篇。

久米元一	ひらがなだいかいはなし(4) イソツプものがたり	四六判 上製函入	158	八 五〇	金の星社	六月	▲たびびととくま、よわむしのうさぎ、としとつたライオン外卅三篇。
信田秀一	ひらがなだいかいはなし(5) ガリバーものがたり	四六判 上製函入	178	一〇 五〇	金の星社	三月	▲一度は小人國に二度目は大人國に流されたガリバー冒險物語。
杜修之介	ひらがなだいかいはなし(6) アライビヤ・ナイト	四六判 上製函入	185	一〇 五〇	金の星社	三月	▲不思議なアラデインのランプの話やまはうの馬等面白いアラビヤ夜話を收めたもの。
杜修之介	カタカナひらがな一二年文庫(4) タメニナルハナシ	四六判 上製函入	175	八 五〇	金の星社	八月	▲小サイオ母サン、ナゲツケタインキツボ、カクレタコウコウ外七篇の童話集。
杜修之介	カタカナひらがな一二年文庫(8) ためになるはなし	四六判 上製函入	168	八 五〇	金の星社	八月	▲いさましい犬、ゐなくなつたリリー、お金の雨、なみだのあと外五篇の童話集。
杜修之介	カタカナひらがな一二年文庫(9) おやこうこうのはなし	四六判 上製函入	178	八 五〇	金の星社	十二月	▲かぢやのむすこ、かうかうな兵隊さん、かんしんなおとうふや外六篇の童話集。
後藤江村	ひらがなどうわ もりのくろんぼ	四六判 上製函入	209	六 五〇	日吉堂	三月	▲せつぶんのおに、かつぱのきづぐすり、もりのくろんぼ外九篇の童話集。
大戸喜一郎・川名芳郎編	學年童話・一年生の卷 氷ノ王サマ	四六判 上製	204	六 五〇	金蘭社	二月	▲キツネタイヂ、イツシンノチカラ、ロバニナツタチバサン外十三篇。
大戸喜一郎・川名芳郎編	學年童話・三年生の卷 けむり仙人	四六判 洋布	196	六 五〇	金蘭社	一月	▲けむり仙人、釜どろ、泣き出した金佛さま慾ばりのむくい外十二篇の童話集。
大戸喜一郎・川名芳郎編	學年童話・四年生の卷 ながはな小人	四六判 洋布	204	八 五〇	金蘭社	三月	▲うそつき、けちん坊、ながはな小人、殿られる覺悟外十二篇の童話集。
大戸喜一郎・川名芳郎編	學年童話・五年生の卷 嘘つき大作	四六判 上製函入	204	一〇 五〇	金蘭社	三月	▲火事が氷る、天狗のお禮、嘘つき大作、殿さまの占ひ外十一篇の童話集。
大戸喜一郎・川名芳郎編	學年童話・六年生の卷 地獄の役人	四六判 上製	200	六 五〇	金蘭社	三月	▲且那さんずゐとく寺、地獄の役人、名優の情け、酒仙人外九篇の童話集。
樋口紅陽譯	模範兒童文庫 教訓童話 イソツプ物語	菊半截 上製	409	六 五〇	三輪書店	三月	▲獅子と鼠、仔山羊の頓智、死神と老人、不注意の犬、水浴する少年外二〇四篇。

樋口紅陽	模範兒童文庫	日本童話選集	菊半截	405	三輪書店	三	▲大正桃太郎、太郎さんと蟬と蟻、招きの鈴浦島太郎、舌切雀外十三篇。
樋口紅陽譯	模範兒童文庫	ロビンソン漂流記	菊半截	449	三輪書店	三	▲私の生立、ヤルモウスの大暴風、海賊船其他より成るロビンソン漂流記物語。
樋口紅陽譯	模範兒童文庫	小人國と大人國	菊半截	421	三輪書店	三	▲かリヴーの旅行物語で、小人國旅行、大人國旅行の二編。
樋口紅陽譯	模範兒童文庫	千一夜物語	菊半截	418	三輪書店	三	▲シエヘラザアドが國王の無謀な心を變らせる爲に話した物語のうち面白いものを譯出。
歌川小雨譯	模範兒童文庫 支那童話	西遊記	菊半截	378	三輪書店	三	▲花果山の石猿、金斗雲と七十二變化、吸ひ瓢箪外廿五項より成る西遊記物語。
久米元一	金の星兒童文庫(21)	王子の冒險	四六判	166	金の星社	四	▲王子の冒險、トル物語の二篇の童話を收む。
久米元一	金の星兒童文庫(22)	魔法の村	四六判	156	金の星社	五	▲可愛らしいピーター少年を主人公とせる物語で、きちがひの音樂家外十項。
久米元一	金の星兒童文庫(23)	勇しい騎士と王女の話	四六判	139	金の星社	七	▲イギリスの有名な作家スコットの作「メリスマン」をやさしく書直したもの。
永橋卓介編	世界童話讀本(16)	ユダヤ童話集	布裝	302	金蘭社	三	▲ヨセフ物語、葡萄酒のききめ外十六篇を收めたユダヤ童話集。
金蘭社編輯部編	新世界童話文庫	ねこの島	四六判	204	金蘭社	十	▲クラフウ王と魔法使、奇妙な兵士、ねこの島、賢い少女外七篇の童話集。
金蘭社編輯部編	新世界童話文庫	不思議な島	洋裝	204	金蘭社	十二	▲貧乏神、金の杓子、二人の囚人、不思議な島、不孝な子たち外七篇の童話集。
金蘭社編輯部編	新世界童話文庫	赤い種白い種	四六判	204	金蘭社	十	▲赤い種白い種、卵ほどの穀粒、詐欺の三十一番目、狼外八篇の童話集。
本地正輝	少年少女讀書(1) 物語の愛集	お母さん！	四六判	212	豐江堂	十一	▲母の愛・偉大な母の愛・その大慈大悲をしみじみと胸に感じさせる美しい物語十數編。

本地正輝	少年少女讀書(2) 兒童語彙集	兄さん！	四六判	243	豐江堂	十一	▲兄弟姉妹・親といふ樹から出た上枝下枝が互に睦み合ひ勵まし合ふ姿を描く。
本地正輝	少年少女讀書(3) 父の愛集	お父さん！	四六判	256	豐江堂	十一	▲太陽の光にも譬ふべき父の愛を描いた作者一流の泥ぐましい名編を集む。
本地正輝	少年少女讀書(4) 友情集	友と友	四六判	258	豐江堂	十一	▲友情物語集。
本地正輝	少年少女讀書(5) 兄弟愛集	先生！	四六判	254	豐江堂	十一	▲師弟の間に醸される至高至純の人情美に取材した物語集。
本地正輝	少年少女讀書(6) 主從愛集	酋長を守れ	四六判	276	豐江堂	十一	▲主從の間に湧く信頼と忠實の物語集。
本地正輝	少年少女讀書(7) 動物談集	金貨の袋	四六判	222	豐江堂	十一	▲可憐な動物の美しい劇的物語。
本地正輝	少年少女讀書(8) 發明發見集	夜の星	四六判	217	豐江堂	十一	▲發明と發見がどんなに人類の生活が向上させるかを描かれた作集。
本地正輝	少年少女讀書(9) 隣人愛集	土人の唄	四六判	218	豐江堂	十一	▲隣人愛の話と物語十數篇を收む。
本地正輝	少年少女讀書(10) 愛國集	手のない兵士 物語	四六判	233	豐江堂	十一	▲勇しい物語、哀切な物語、歷史に取材した實話文藝的に扱つた物語等を收む。
日本國語教育研究會		新生讀本 上	菊並製	120	育成館	四	▲尋一より尋六全六卷、挿繪に彩色を施したる兒童文學書。
日本國語教育研究會		新生讀本 下	菊並製	120	育成館	七	▲尋一より尋六全六卷、挿繪に彩色を施したる兒童文學書。
畑米吉		童話一年生	四六判	165	新星社	十二	▲ツキノウサギ、ホネナシクラゲ、ミツバチノハリサルノカホ、アノイハト外四〇篇。
畑米吉		童話二年生	四六判	165	新星社	十二	▲おつきさまとうさぎ、こびとのたから、うぐいすのがつかう外五篇。

畑米吉	童話三年生	四六判上製函入	165	三五	六	大阪 新星社	十二月	▲犬の仇討、父を尋ねる子、太郎の夢、惡人の涙、子供の行くへ、負ふた子に外一篇。
畑米吉	童話四年生	四六判上製函入	165	三五	六	大阪 新星社	十二月	▲白紙太郎、玉子のお花見、雨の卯太郎、眠り藤、逆さ浦島。
畑米吉	童話五年生	四六判上製函入	169	三五	六	大阪 新星社	十二月	▲蟻と山男、三匹の鬼、商人アゾフ、沙漠の嵐、驢馬さん、ステペンの出世外六篇。
畑米吉	童話六年生	四六判上製函入	167	三五	六	大阪 新星社	十二月	▲マッチ賣の少女、ロビンフッドの話、小さき彫刻家、王の處方箋外六篇。
畑米吉	一年生の童話	四六判上製	240	五〇	六	大阪 新星社	四月	▲アメモリ、オニノコアトリ、五平ノシュッセ、マヌケ三吉、クモノヤケド外十五篇。
畑米吉	二年生の童話	四六判上製	240	五〇	六	大阪 新星社	四月	▲いざなぎいざなみ物語、人くひ婆、せむしの鍛冶屋、羽衣物語、娘と蟹外十四篇。
畑米吉	三年生の童話	四六判上製	240	五〇	六	大阪 新星社	四月	▲謎問答、玉取物語、目玉の入れかへ、歌よみ娘、物臭太郎、智惠くらべ外十三篇。
畑米吉	四年生の童話	四六判上製	240	五〇	六	大阪 新星社	四月	▲小さな捕虜、歸つた息子、ロビンフッド物語、孝女白菊、牧場のお君外八篇。
畑米吉	五年生の童話	四六判上製	240	五〇	六	大阪 新星社	四月	▲嘘ぎらひな王、緋牡丹、鯉になつた僧、強勇サムソン、銀燭臺、物いふ瞳外八篇。
畑米吉	六年生の童話	四六判上製	240	五〇	六	大阪 新星社	四月	▲神のみぞ知る、妖術、烈士荊軻、金髮王女神鵝、陸麿、運命の泉、流れ矢。
藤田淳	ギリシヤ神話	四六判洋布函入	576	二、五〇	一二	文化書房	一月	▲ギリシヤ神話を面白く書かれたもので、世界のはじめ、黄金の咀外四十六篇。
藤田淳	バイブル物語	四六判洋布函入	565	二、五〇	一四	文化書房	九月	▲舊約及び新約物語を平易に面白く書いたもので天地のはじめ外九十三篇。
濱田廣介	新譯 キリスト物語	新菊判背洋布函入	544	二、八〇	一八	富山房	一月	▲わかりよくキリストを物語つた書で、祭司カザリヤと天使以下九十三項。

谷口武	兒童圖書館叢書 こどもエスさま	四六判上製函入	272	一、一〇	一〇	玉川學園出版部	十二月	▲小さい子供もに分るやうにイエスに就て述べたもので、クリスマス外四十三項。
高瀨無絃	聖者童話選集	四六判背洋布函入	324	一、五〇	八	新生堂	八月	▲エヂプトの聖マリア、聖ルウダンのかくまひ、聖ゴンサルヴオの橋外廿一篇。
益本重雄	新編 ベンハー物語	四六判洋布	339	一、八〇	一二	文教書院	四月	▲イエスの十字架の愛を以て神の王國の榮光あることを敎へた長篇物語。
藤田淳	ニーベルンゲン物語	四六判並製	252	一、〇〇	八	文化書房	十一月	▲北ヨーロパの神話で、獨逸文學最古の「ニーベルンゲンリード」を物語つたもの。
ビハリ・ボース 澁澤青花譯	印度頓智百譚	四六判上製函入	340	一、九〇	一二	厚生閣	九月	▲印度中世以後のユーモアと頓智に富んだ民話を收めたもので、賢い返答外百十三篇。
村野孝顯	板子のボート	四六判上製	350	一、五〇	一〇	代々木書院	十二月	▲東洋、印度、日本の實話傳説を兒童藝術化せんとして書いたもの。
チエマチエンコ作 本間七郎	ソヴエート童話集 陽のあたる家	新菊判並製	112	一、〇〇	一二	往來社	三月	▲陽のあたる家、猿の遊び場、駱駝とおゝむポーリと仔猫、最初の裂外四篇。
ボビンスカヤ著 大澤省三・森野二郎譯	世界ピオニーロ叢書(1) ピオニーロの生活	四六判上製函入	234	一、〇〇	八	世界社	六月	▲サヴエートのピオニーロ達の生活をやさしく書いたもので、信號ラッパ外十九項。
エクトマルロー作 楠山正雄譯	少年ルミと母親 ―家のない兒―	菊判上製函入	774	二、八〇	一八	冨山房	二月	▲哀れな流浪の物語を書いた佛蘭西文學の代表的傑作「サン・ファミーユ」の完譯本。
谷口武	兒童圖書館叢書 アンデルセン童話選集	四六判上製函入	284	一、一〇	一〇	玉川學園出版部	十二月	▲アンデルセンの數多い作品中から特に傑出せる十篇を選び收めたもので、赤い靴其他。
ウィーダ作 關猛譯	兒童圖書館叢書 フランダースの犬	四六判上製函入	134	一、〇〇	一二	玉川學園出版部	四月	▲犬を主人公とした物語で、生ひ立ち以下悲しい出來事まで十四項。
水島周平	少年陸軍兵生活	四六判上製函入	208	八〇	八	金星堂	五月	▲櫻木武雄といふ少年兵を中心として入營の狀況、歩兵、騎兵其他に分けて記述す。
岡本清纓	むしばの會議	四六判並製	139	五〇	四	齒苑社	六月	▲齒の衞生知識を織り込んだ童話及び童話劇集で、國際むし齒會議外十五篇。

吉田勸治編	おばなし 動物の知慧	菊判布裝	80	一、〇〇 八	金星堂	十二月	▲ネズミノイタヅラ、ネコノクフウ、イタチノクラ外卅七篇のおばなし集
蘆谷蘆村	口演資料 童話武勇篇	四六判函入洋布	308	一、三〇 一二	大阪 駸々堂	十二月	▲一番初めの大將、ギデオンの劍、ハンスのたから、鴉の武士外八篇の童話集。
蘆谷蘆村	口演資料 童話友愛篇	四六判函入洋布	318	一、三〇 一二	大阪 駸々堂	十二月	▲ヴエニスの商人、神様に養はれた孤兒たち女王様のお客外十二篇の童話集。
蘆谷蘆村	口演資料 童話興國篇	四六判函入洋布	301	一、三〇 一二	大阪 駸々堂	十二月	▲國曳き、戰爭ぎらひな大將、文覺と頼朝、アフリカ王外九篇の童話を收めたもの。
最上哲夫編	日本を知る叢書(5) 少年源氏物語	四六判函入洋布	308	一、〇〇 一〇	金蘭社	十二月	▲日本文學の最高峰と云はれる源氏物語を子供向に平易化せる書で、五月雨の降る夜其他。
永橋卓介	金蘭社名著文庫 少年あゝ無情	四六判函入上製	168	五〇 一〇	金蘭社	二月	▲ジャンヴアルジャンの哀れな物語。
豐島次郎	金蘭社名著文庫 少年平家物語	四六判洋布	198	五〇 六	金蘭社	一月	▲平家王國の誇、鹿が谷の會、平家盛なとき重盛の諫言外十篇より成る平家物語。
大戸喜一郎	金蘭社名著文庫 日本海大海戰	四六判函入洋布	204	五〇 一〇	金蘭社	五月	▲日露戰爭のときの日本海々戰を描寫せるもの、附錄海軍の話。
最上哲夫	金蘭社名著文庫 少年三國志	四六判函入洋布	192	五〇 一〇	金蘭社	四月	▲關羽や張飛や劉備や孔明等が大活躍する千變萬化極る所ない興味深い物語。
田中・實	金蘭社名著文庫 少年水滸傳	四六判函入洋布	184	五〇 一〇	金蘭社	四月	▲支那四大奇書の一つで、勇しくもあれば時に又涙なくては讀めぬ痛快な物語。
小野政方	せかいの 秀でた少年少女の話	四六判函入上製	198	五〇 六	岡村書店	十二月	▲尋常三年以上の少年の讀物として著君の宗教的良心を多分に窺う事の出來る童話。
小野政方	せかいの 優れた少年少女の話	四六判函入上製	200	五〇 六	岡村書店	十一月	▲十歳以上の兒童に與へる事の出來る面白い内に眞面目な眞劍味を持つ心の糧。
國民新聞社編	頭を下げなかつた少年	四六判上製	250	八〇 一〇	平野書房	四月	▲國民新聞の子供の頁に掲載された小川未明先生外諸先生の有名な童話を集めたもの

上野緖誠	生命の花	四六判洋布	350	一、五〇 一〇	京都 法藏館	四月	▲サンアツ家を劇化したるもの、内容は十二ヶ月にわかつて二十六篇。
濱田勝次郎	宗教童話集(1) 笛	四六判並製	180	七〇 八	文書堂	十月	▲神様とジャガ芋、この父この子、神様になつたヨハネ、石ごめ外卅四篇の宗教童話集。
濱田勝次郎	宗教童話集(2) 祈る子供達	四六判並製	172	七〇 八	文書堂	十月	▲生命の復活、少年默示錄、迷信に亡された王様、子供の世界外十八篇。
上澤謙二	幼年クリスマス童話集	四六判函入上製	239	一、三〇 八	新生堂	十二月	▲クリスマスのお菓子、びつくり樅の木、ヒカーリお星様外十三篇。
上澤謙二	上澤謙二物語集(7) ひとり祈れば	四六判函入上製	174	六〇 六	新生堂	六月	▲ジャムのびん、大きな塀の小さな孔、ぐるぐる過し、ひとり祈れば外六篇の物語集
野村正雄	まさを童話集(1) 鼻ののびた王様	四六判上製	197	八〇 八	ロゴス書院	十二月	▲鼻ののびた王様、不思議なお蕎麥の燒餅、わがまゝ殿様、竹丸物語外八篇の童話集。
西山庸平	姉と弟	四六判上製	174	六〇 六	雄文閣	十一月	▲加藤先生を中心としての少年少女達の學校生活を描ける童話。
野邊地天馬	公爵の白兎	菊半截並製	59	二五 二	新報社	十二月	▲宗教味の豐かな童話集「公爵の白兎」ほか七篇を收む。
童話作家協會	日本童話選集 第六輯	菊判布裝	400	二、五〇 一二	丸善株式會社	十二月	▲小さき方の全人的完成へさしのばす温き手創作童話の淨土、日本の童話の代表年刊集。
小川未明	未明童話集 第五卷	菊判函入上製	408	二、五〇 八	丸善株式會社	七月	▲天下凧、草原の夢、さびしいお爺さんたち青いランプ外卅九篇の童話集。
島崎藤村	をさなものがたり —少年の讀本—	四六判背洋布	221	七〇 六	研究社	四月	▲林檎、黒いお家、霜燒が痛い、雀の來る窓米つき蟲の言草外七十七篇。
土屋由岐雄	童話集 東京を買つた屑屋さん	菊判函入上製	172	一、五〇 一〇	展望社	十二月	▲お白粉をつけた乞食、東京を買つた屑屋さん、瘤取爺外七篇の童話集。
間山秀麿	創作童話集 フエアリーの贈物	四六判函入上製	152	一、三〇 八	文書堂	十一月	▲妖精の贈物、お人形のおめゝ、見えなくなつた雌鷄外九篇の童話集。

著者	書名	體裁	頁數	定價	發行所	月	摘要
高瀬無紹	創作童話集 二つの太陽	上函入 四六判 製	200	一、〇〇 二〇	新生堂	四月	▲二つの太陽、小さき傳道者、サンタの三吉爺さん外十五篇を收めた童話集。
武井孝子	いのちの寶珠	上製 四六判	371	一、三〇 八	中道館	三月	▲いのちの寶珠、正直な大工さん、元氣な達雄さん、風のいたづら外十六篇の童話集。
宇野浩二	花の首輪	布函入 四六判 装	340	一、三九 二〇	講談社	十月	▲花の首輪、さとり爺さん、狼よりも虎よりも、熊虎合戰外九篇の少年少女讀物集。
佐藤紅綠	夾竹桃の花咲けば	布函入 四六判 装	297	一、三〇 二〇	講談社	七月	▲溫い繼母の愛に導かれてゆく少女照子を主人公とせる少女小說。
佐藤紅綠	一直線	布函入 四六判 装	336	一、三二 二〇	講談社	七月	▲少年主人公島本雄三の純眞にして不屈な人格を描ける少年小說。
池田宣政	輝く凱旋像	布函入 四六判 装	394	一、三〇 二〇	講談社	十月	▲輝く凱旋像、忠犬ミロールド、形見の萬年筆、靴磨きの少年外廿篇の短篇讀物集。
加藤武雄	海に立つ虹	布 四六判 装	286	一、三〇 二〇	講談社	五月	▲貧しい中からも勉强して望を達する恭助を中心に少年少女の爲に書かれた小說。
北川千代	絹糸の草履	布函入 四六判 装	343	一、三〇 一〇	講談社	十月	▲父の心、絹糸の草履、春に叛く、光代の新年、母います外十六篇の少女小說集。
吉川英治	神州天馬俠 前篇	布函入 四六判 装	407	一、三〇 二〇	講談社	九月	▲大英雄信玄の孫で僅か十五歲の小英雄伊那丸の壯烈なる物語。—普及版—
吉川英治	神州天馬俠 後篇	布函入 四六判 装	379	一、三〇 二〇	講談社	十一月	▲其の後の伊那丸をはじめ武田家の忠臣の活躍を描く。—普及版—
吉川英治	龍虎八天狗 第四卷	布函入 四六判 装	234	八五 八	博文館	六月	▲第四卷は追擊篇、陽炎篇、空闘篇、生別篇水天篇外七篇より成る最終篇。
大佛次郎	鞍馬天狗 山嶽黨奇談 下卷	布函入 四六判 装	348	一、六〇 二〇	先進社	二月	▲下卷は山嶽黨の追跡から始め其首領の最後と鞍馬天狗杉作少年其他の活動を描く。
野村胡堂	幻術大試合 梵天丸五郎	布函入 四六判 装	348	一、三〇 二〇	博文館	五月	▲道中の卷、江の島の卷、小田原の卷、試練の卷、復讐の卷等より成る長篇物語。

繪本・漫畫

著者	書名	體裁	頁數	定價	發行所	月	摘要
婦女界編輯部編	動く繪本 お伽の森	上函入 新菊判 製	94	二、五〇 二四	婦女界社	四月	▲孔雀になつた女王様、お閻魔泣かせ、大入道小入道、はこぶれ其他歌とお話十篇。
婦女界社編	パノラマ繪本—汽車の卷—	並製 四六倍判		六〇 六	婦女界社	八月	▲さしこみ人形十五枚を附した汽車の繪本、讀み物「最初の汽車」。
婦女界社編	パノラマ繪本—動物園の卷—	上製 四六倍判		八五 二二	婦女界社	八月	▲ライオンとトラ、シマウマトキリン其他を收めた繪本、狐の惡智惠外讀物一篇併載。
婦女界社編	パノラマ繪本 サーカスの卷	並製 四六倍判		六〇 六	婦女界社	九月	▲さしこみ人形十七枚を附したサーカスの繪本。讀物「虎の六さん」。
岡本歸一	岡本歸一傑作集 モヘンコドモヱ集	上製 菊倍判	22圖	五〇 八	東京社	十二月	▲嘗て雜誌「コドモノクニ」に畫いた故岡本歸一畫伯の傑作廿二圖を收錄せるもの。
宮尾しげを	漫畫のお祭	布函入 四六判 装	207	一、三〇 二〇	講談社	八月	▲コロコロ三郎、キザリノフジトザン、ゆでたまご、母をたづれて外四十六篇。
田河水泡	漫畫常設館	布函入 四六判 装	207	一、三〇 二〇	講談社	八月	▲豆の丞武者修業、續人造人間、のらくら二等卒、風船狸外十三篇。
清原ひとし	漫畫の豆太郎	上函入 四六判 製	220	一、〇〇 一〇	草文社	八月	▲豆太郎の卷、八太郎の卷、とんすけの卷の三篇より成る漫畫漫文集。
宮尾しげを	漫畫とびだんご	上函入 四六判 製	176	一、〇〇 一〇	草文社	三月	▲曾呂利新左衞門、底拔け頓助、珍野八重菊武者修業外一篇の漫畫繪本。
岡本一平	子供漫畫 平氣の平太郎	布函入 四六判 装	248	一、二〇 八	栄文閣	三月	▲平氣の平太郎、豆吉の豆自動車、新いろはがるた、ちいさい時の人成其他の漫畫漫文。

童謠・童話劇

著者	書名	體裁	頁數	定價	發行所	月	摘要
北原白秋	白秋童謠讀本 尋一ノ卷	上製 四六判	151	八〇 八	栄文閣	十一月	▲アカイトリコトリ、カヤノミ、タウモロコシトスズメ外六十八篇の童謠集。

偉人・物語・美談

北原白秋	白秋童謠讀本 第二ノ卷	四六判	155	八〇	栄文閣	十一月	▲しんにふせい、おさそひ、とんぼのめだまやまみち、ヒーナッツ外五十九篇。
北原白秋	白秋童謠讀本 第三ノ卷	四六判	164	八〇	栄文閣	十二月	▲おうた、虹と仔馬、お人形燒く家、お窓のお父さん、お月夜外五十六篇の童謠集。
北原白秋	白秋童謠讀本 第四ノ卷	四六判	157	八〇	栄文閣	十一月	▲子供の村、太陽系あそび、葡萄の蔓、たうきび、夕燒とんぼ外五十七篇。
北原白秋	白秋童謠讀本 第五ノ卷	四六判	162	八〇	栄文閣	十二月	▲梨の花、草いきれ、かなかな蟬、ねんねの騎兵、つむぎぐるま外五十八章。
北原白秋	白秋童謠讀本 第六ノ卷	四六判	165	八〇	栄文閣	十二月	▲海の向う、からたちの花、影ぼふし、水のそば、待ちぼうけ外四十九章。
國民新聞社學藝部編	少年少女詩集 第一卷	袖珍	256	六四	平野書房	四月	▲國民新聞の子供の頁に發表せる西條八十氏選にかゝる少年少女の詩を收錄せるもの。
横本楠郎 川崎大治編	プロレタリヤ童謠集 小さい同志	四六判	128	七四	自由社	七月	▲岡一太、米村健、牧耕助、川崎大治、松山文雄外四氏のプロレタリア童謠を收む。
全生學園兒童編	第四輯 影	四六判	108	三四	長崎書店	六月	▲全生病院に居る癩の兒童の詩文集。
長尾豐	お話劇集	四六判	250	一、三〇	文化書房	十一月	▲兒童のための劇に就て述べたもので、お話から劇へ、お話劇の二篇。
野尻二太郎	毛利元就傳	四六背洋	388	二、〇〇	大同館	二月	▲戰國時代の英雄毛利元就に就いて平易に述べたもので元就の少壯年時代外十一篇
濱田壽郎	楠正行の忠烈	四六洋	396	二、〇〇	大同館	一月	▲正成の遺訓を守つて、遂に四條畷の夕嵐に花と散つた楠木正行の生涯を敘めたもの。
佐々木貞之	聖德太子御傳	四六布裝	438	二、〇〇	大同館	三月	▲太子とその時代、太子とその文化事業外一編。

林	勇	少年	右大臣源實朝	四六洋布入判	372	二、〇〇	大同館	七月	▲鎌倉三代將軍源實朝の生涯を平易に述べたもので、鎌倉の右大臣外六篇。
春藤與市郎		少年	石田三成と關ヶ原役	四六洋布入判	472	二、〇〇	大同館	四月	▲石田三成の生涯及び關ヶ原役の眞相を述べたもので、石田三成の出世外二篇。
神谷敏夫		少年	坂本龍馬の生涯	四六洋布入判	415	二、〇〇	大同館	四月	▲海援隊長、劍豪、志士等としての龍馬を描けるもので、少年時代外五篇。
中村金藏		少年	伊藤博文公傳	四六洋布入判	438	二、〇〇	大同館	十二月	▲明治の元勳伊藤博文公の實傳で、公の祖先生ひ立ち、ロンドン密航外十一篇。
高木英一郎		少年	輝く白虎隊	四六洋布入判	529	二、〇〇	大同館	十一月	▲日本武士道の精華としての白虎隊に就て述べたもので、鍛へられた會津武士道外四篇。
志垣寬		少年	日本武勇傳	四六上製入判	270	一、〇〇	文化書房	十二月	▲木村又藏、大力又兵衞、飯田覺兵衞、後藤又兵衞、坂田金時外七篇の物語集。
川名芳郎		少年	乃木大將	四六洋布入判	200	五〇	金蘭社	五月	▲乃木大將の少年時代より殉死まで及將軍の德、將軍夫人の熱誠を平易に述べたもの。
豐島次郎		少年	西鄕隆盛	四六洋布入判	204	八〇	金蘭社	六月	▲偉人西鄕南洲の生涯をやさしく述べたもので、征韓論敗る外廿三章。
川名芳郎		少年	白虎隊	四六洋布入判	200	八〇	金蘭社	六月	▲江戸幕府衰ふ、會津征討の大命、世良參謀の暗殺、白虎隊の出陣歎願外十項。
最上哲夫		少年	水戸黃門	四六洋布入判	196	八〇	金蘭社	六月	▲お百姓の光圀公、鮫川渡船場の事、荒寺にて妖怪退治の事其他六項。
山野虎市編		少年少女世界偉人物語(一)	オレンボナ	四六上製入判	156	五〇	金の星社	八月	▲英雄ナポレオンの傳記で、少年時代、小さい伍長、エヂプト遠征外七項。
久米元一		少年少女世界偉人物語(二)	ルンコルン	四六上製入判	175	五〇	金の星社	九月	▲ケンタツキー州の百姓から遂にアメリカの大統領となつたリンコルンの傳記。
三井信衞		少年少女世界偉人物語(三)	ワシントン	四六上製入判	171	五〇	金の星社	十月	▲大偉人ジョーヂ・ワシントンの波瀾に富んだ生涯を述べたもの。

三井信衞編	少年少女世界偉人物語（4）コロンブス	四六判函入上製	165	五〇 八	金の星社	十月	▲あらゆる艱難とたゝかつて大成せるコロンブスの物語で、嬉しや陸の姿外十一章。
入交總一郎編	少年少女世界偉人物語（7）ナイチンゲール	四六判函入上製	162	五〇 八	金の星社	十二月	▲ナイチンゲールの涙ぐましい親切の一生を物語つたもので、小さい看護婦外十項。
東京高等師範學校附屬小學校主事 佐々木秀一	力行の龜鑑 黒偉人物語	四六判函入上製	241	一、五〇 一二	厚生閣	一月	▲黒色人が生み出した空前の偉人ブーカー・ワシントンの一生を紹介せるもの。
松本浩記	少年 フオード傳	四六判函入洋布	307	一、五〇 一二	文化書房	十二月	▲アメリカ現代の代表人物ヘンリー・フオードに就て述べたもの。
松本浩記	兒童修身偉人傳 ―尋常三年用―	四六判函入布装	474	一、八〇 一四	文化書房	十月	▲尋常小學修身書巻三にあらはれたる重なる人物の全傳を掲げたもの。
松本浩記	兒童修身偉人傳 ―尋常四年用―	四六判函入布装	475	一、八〇 一二	文化書房	六月	▲尋常小學修身書巻四にあらはれたる重なる人物の全傳を述べたもの。
松本浩記	兒童修身偉人傳 ―尋常五年用―	四六判函入布装	454	一、八〇 一二	文化書房	七月	▲尋常小學修身書巻五にあらはれたる重なる人物の全傳を述べたもの。
松本浩記	兒童修身偉人ノ傳 ―尋常六年用―	四六判函入布装	450	一、八〇 一二	文化書房	七月	▲楠木正行、フランクリン其他尋常六年の修身書にあらはれた重なる人物の全傳を收む。
芦間圭	エライヒトノ 八ツノコロ	四六判函入背洋布	318	一、〇〇 一二	文化書房	十月	▲八つのころの傳人の話を選んだもので、アラキハクセキ、エヂソン外卅一篇。
芦間圭	えらいひとの 九つのころ	四六判函入背洋布	352	一、〇〇 一二	文化書房	十月	▲昔の偉い人々の九つの頃の事柄を選んだもので、池田光政、武田信玄外二十六篇。
芦間圭	えらいひとの 十歳のころ	四六判函入上製	362	一、〇〇 一二	文化書房	十一月	▲昔の偉い人々の十歳の頃の事柄ばかりを收めたもので、石合戰（德川家康）外廿六篇。
芦間圭	えらいひとの 十一歳のころ	四六判函入上製	334	一、〇〇 一二	文化書房	十一月	▲昔の偉い人々の十一歳の頃の事柄を選び收めたもので、月に雲（一休和尚）外卅二篇。
芦間圭	えらいひとの 十二歳の頃	四六判函入背洋布	368	一、〇〇 一二	文化書房	十二月	▲昔の偉い人々の十二歳の頃の事柄を選び收めたもので、人供奴（伊藤博文）外廿八篇。

山中峰太郎	敵中横斷三百里	四六判函入布装	388	一、三〇 一二	講談社	三月	▲日露戰役當時の事實談敵中横斷三百里、弓張嶺月下の夜襲、殉國の少年間諜外六篇。
海軍少佐 中島武	空中戰英雄物語	四六判並製	255	一、三〇 六	海軍研究社	六月	▲空中に勇名を馳せた幾多の戰士の活動振りを描けるもので、勇往邁進其他。
岡本瓊二	飛行家物語 空飛ぶ巨人	四六判函入上製	270	一、〇〇 一〇	文化書房	十二月	▲空の王者リンバーグ、空の女王ルース・ジヨンソン、日本人東善作外二篇。
關根文之助	山室軍平先生	四六判並製	122	三〇 四	アルパ社	十月	▲救世軍の山室軍平中將の傳記で、卵絶つ、食事と感謝、朝起きの掃除其他より成る。
三石文一	實話 一太郎やあい	四六判函入上製	208	八〇 六	兒童教育社	六月	▲小學四年の讀本にある「一太郎やあい」の事實談で、母と子外十章。
野崎敬輔	實話 水兵の母	四六判函入上製	214	八〇 八	兒童教育社	十一月	▲國定讀本にあるほんとうのお話「水兵の母」の物語で、水兵の母と子外廿項。
芦間圭	實事物語 小學一年生美談	四六判函入上製	184	九〇 一〇	養文堂	三月	▲感激性に富んだ尋常一年生の實在美談で、ガウノモノ、タカラノカバン外十篇。
蘆間圭	實事物語 小學二年生美談	四六判函入上製	184	九〇 八	養文堂	四月	▲小學二年生の事實美談を收めたもので、よひの明星外八篇。

哲學・數學物語

中島義一	こども哲學叢書（6）こども宗教論 ヨルダンの流	四六判布装	234	一、五〇 八	文數書院	十月	▲牛頭天王のお守、苦しい時の神頼み、達磨さんのような坐禪外十六篇
中島義一	こども哲學叢書（7）こども人生觀 スフインクスの謎	四六判布装	231	一、五〇 八	文數書院	十一月	▲一少年由二君の思索の跡を辿つて解り易く人生觀を述べたもので、仕合の押賣其他。
藤原安治郎	少年數學史 上巻	菊判函入洋布	298	二、〇〇 一四	教育研究會	十月	▲興味ある算術の歴史物語で、大昔の數の話指算の起原、十進法の歴史外十五章。
藤原安治郎	少年數學史 下巻	菊判函入洋布	343	二、五〇 一四	教育研究會	十二月	▲小學校で學ぶ算術の歴史に就て述べたもので、算術の三大不思議外二十一章。

歷史物語・學習書

中島孤島	こども世界歷史（下卷）	新菊判 背洋布	478	十二月	富山房	▲下卷はアメリカ發見から世界戰爭の後までを述べたもの。		
中田千畝	日本建國物語	四六判 上製入	423	三月	丁未出版社	▲古事記を中心として日本建國の物語をやさしく述べたもので、この世の始外十九章。		
高橋立身	子供國史 神代の日本	四六判 上製	217	十月	雄文閣	▲「古事記」のお話をやさしく書いたもので日本のたん生、伊那佐の小濱外十六篇。		
小林博	自習研究 少年國史讀本（上卷）	四六判 洋布入	536	八月	大同館	▲國史のことを分り易く碎いて書いたもので天照大神、神武天皇外三十篇。		
小林博	自習研究 少年國史讀本（下卷）	四六判 洋布入	584	九月	大同館	▲下卷は織田信長、豐臣秀吉、德川家康、後光明天皇外十七篇より成る。		
前東京高等師範學校教授 北垣恭次郎	尋常小學 國史年表	三六判 並製	100	三月	實業之日本社	▲地神五代、皇室の御略系、蘇我氏其他を收めたる尋常小學國史年表。		
奧野庄太郎	各科學習室文庫 日本歷史物語（全三十冊）	四六判 並製入	1076	五月	中文館	▲日本神代物語、源平時代物語、日本文化發達物語外廿七册に分け收めた日本歷史物語。		

地理物語・學習書

橋本賢康	少年日本地理文庫（關東地方）	四六判 上製入	281	五月	厚生閣	▲新日本文化の源泉地たる關東地方に就いて說いた少年日本地理文庫の終篇。		
橋本賢康	少年日本地理文庫（樺太地方）	四六判 上製入	247	二月	厚生閣	▲わが國極北の地樺太を述べた小學校や中等學校の地理の副讀本。		
橋本賢康	少年日本地理文庫（汽車の旅）	四六判 上製入	252	六月	厚生閣	▲關東州及南滿洲に就ての概觀、地勢、氣候政治、產業其他を述べたもの。		
橋本賢康	少年日本地理文庫（山めぐり）	四六判 上製入	258	六月	厚生閣	▲瀨戶內海の島、太平洋の島、東支那海の島、日本海の島、オホーツク海の島。		
西龜正夫	趣味の地理 學習旅行文庫（川めぐり）	四六判 布入	254	五月	厚生閣	▲十勝日本の川、北日本の川、西日本の川、新領土の川等に分けて解りやすく說述す。		
西龜正夫	趣味の地理 學習旅行文庫（船の旅）	四六判 布入	252	六月	厚生閣	▲北海めぐり、南洋ゆき、横濱から神戶へ、健康こども船外二篇にて船の旅を說く。		
西龜正夫	趣味の地理 學習旅行文庫（沼めぐり）	四六判 布入	256	六月	厚生閣	▲子供が興味を以て讀んで行く間に地理的の知識が養はれるやう說ける書。		
西龜正夫	趣味の地理 學習旅行文庫（空の旅）	四六判 布入	252	七月	厚生閣	▲空中旅行の記錄を收めたもので、東京青森間、東海道、四國、九州線其他。		
西龜正夫	趣味の地理 學習旅行文庫（夏の日本）	四六判 布入	255	八月	厚生閣	▲常夏の國、風の國、海水浴、涼しい高原、北國の海岸其他にて夏の日本につき說述。		
西龜正夫	趣味の地理 學習旅行文庫（冬の日本）	四六判 布入	251	九月	厚生閣	▲暖かい冬、南の島、出湯の里、雪の國、北邊の冬等五篇にて冬の日本に就て說く。		
西龜正夫	趣味の地理 學習旅行文庫（地理と索引）	四六判 布入	145	十二月	厚生閣	▲學習旅行文庫の別卷として地圖と索引とを收めた書。		
宮下正美	旅で見た 自然界の不思議	四六判 洋布	330	十月	文教書院	▲いたちの智慧、横着なカツコウ鳥、愉快な朝鮮のノロ狩り外動物のお話廿九篇。		
宮下正美	旅で見た動物の生活	四六判 洋布	332	八月	文教書院	▲自然の不思議に關係したお話を收めたもので、地下で續く三つの湖外四十一篇。		
カーペンター著 久米元一譯著	少年少女地理物語 世界めぐり	四六判 上製入	267	九月	金の星社	▲地球、エスキモー、極地と赤道、アフリカ訪問十篇より成る地理物語。		
大戶喜市郎	金儲社名智識叢書 前世界探檢	四六判 洋布入	180	四月	金蘭社	▲南米のアマゾン河上流に前世界の動物を探檢に行くお話。		

相良德三	私の歐洲土產話	四六判 上函入製	313	一、五〇 一二	玉川學園出版部	五月
						▲小さい人達のために書かれたヨーロッパの旅行記で、船に乘る其他。

理科物語・學習書

柚木卯馬	少年少女 面白い理科物語	四六判 洋函入布	421	二、三〇 一二	文化書房	二月
堀尾實善	理科傳說物語	四六判 上函入製	202	一、二〇 一二	文化書房	六月
小川格	理科童話 飛行機	四六判 上函入製	319	一、三〇 一〇	育成館	一月
柚木卯馬	少年少女 理科漫談	四六判 上函入製	295	一、三〇 一〇	育成館	一月
科學知識普及會	エヂソン繪話	四六判 並製	90	五〇 六	科學知識普及會	十二月
松平道夫	少年少女 科學物語 天地の不思議	四六判 上函入製	279	七〇 一〇	金の星社	九月
前田晁	ファブル ゑばなし 昆蟲の生活	菊判 布裝	104	一、〇〇 一〇	金星堂	十一月
水谷まさる譯著	ファーブル蟲物語 第一卷	四六判 上函入製	308	一、五〇 一二	厚生閣	二月
今田謹吾譯著	ファーブル蟲物語 第二卷	四六判 上函入製	304	一、五〇 一二	厚生閣	三月
千葉省三譯著	ファーブル蟲物語 第三卷	四六判 上函入製	290	一、五〇 一二	厚生閣	三月
須崎邦武譯著	ファーブル蟲物語 第四卷	四六判 上函入製	328	一、五〇 一二	厚生閣	三月
						▲面白い理科物語集で、チヨコレートの話、雷樣のお話、アルミニユームの話外十二篇。
						▲自然界各方面の神話傳說を收めたもので、黃水仙の神話、烏の神話、外七十八篇。
						▲世界一の大ポケツト、飛行船の討入、新案辨當函、空の港等十九項。
						▲蓄音機とラヂオの喧嘩、雷樣をつかまへた話、同行二人慣性旅行等四十項目。
						▲エ翁祕書長ミドクロフト氏の原著を邦譯したもので三百十一コマの繪で一生を描寫す。
						▲海の話、恒星の記、暑さ寒さの起る譯、山の話外十篇の科學物語を收む。
						▲ファブルの昆蟲記のうちから日本の兒童達に親しい蟲の生活を分り易く譯せるもの。
						▲ファーブルの昆蟲記のうちからその代表的なものを選んで面白く書き改めたもの。
						▲ファーブルの昆蟲記のうちの黃金ぐも類、螢其他を選んで面白く書き改めたもの。
						▲第三卷はくそむし、聖大玉押こがね、廣頸玉押こがね其他を收む。
						▲第四卷は蟬とかまきりと吻の長い象鼻蟲の一つおほほしざうむしの三種を收む。

鎌田賢吉譯著	ファーブル蟲物語 第五卷	四六判 上函入製	310	一、五〇 一二	厚生閣	三月
濱田廣介譯著	ファーブル蟲物語 第六卷	四六判 上函入製	300	一、五〇 一二	厚生閣	三月
栗原登	子供のための發明發見家物語	四六判 洋函入布	568	二、三〇 一二	文化書房	六月
松山思水	少年科學讀本 世界大發明物語	四六判 上函入製	190	五〇 一〇	金塔社	十二月
平田潤雄 秋田保郎	少年科學讀本 飛行機と操縱の仕方	四六判 上函入製	208	五〇 一〇	金塔社	十二月
平田潤雄 秋田保郎	少年科學讀本 戰爭と新兵器の話	四六判 上函入製	178	五〇 一〇	金塔社	十二月
平田潤雄 秋田保郎	少年科學讀本 電氣發明物語	四六判 上函入製	183	五〇 一〇	金塔社	十二月
工藤善助	電氣實驗と電氣玩具の作り方	四六判 上函入製	196	一、五〇 一二	厚生閣	六月
工藤善助	科學實驗と科學玩具の作り方	四六判 上函入製	220	一、五〇 一二	厚生閣	六月
平田潤雄 秋田保郎	理科遊びと玩具の作り方	四六判 上製	248	八〇 六	文明社	六月
橫山文司	少年技師ハンドブック(14) セメントと面白い應用品の作り方	三六判 洋布	226	七五 六	誠文堂	一月
山田義郎	少年技師ハンドブック(17) 易しい工藝品の作り方	三六判 洋布	279	七五 六	誠文堂	四月
大町文衛	少年技師ハンドブック(18) 博物標本の作り方	三六判 洋布	249	七五 四	誠文堂	六月
						▲第五卷は蜂についての面白い話を收めたもので、蠅取蜂のペンペツクス外十篇。
						▲第六卷は松の木行列蟲、天牛、大瓢簞ごみむし等を面白く書いたもの。
						▲望遠鏡の發明者ガリレオ、萬有引力の發見者ニユートン外十四篇の發明發見家物語。
						▲蒸汽機關の發明、輕氣球と飛行機、電信と電話、發電機の發明外十二篇。
						▲飛行機はどうして飛ぶか、飛行機の發明由來、直上飛行の話外廿二章。
						▲兵器物語、戰車の話、毒ガスの話、煙幕の話、殺人光線外十三篇。
						▲雷の話、電氣の正體、電信はどうして通信されるか外廿一篇。
						▲專ら電氣學に關する實驗とその面白い模型玩具の作り方を述べたもの。
						▲機械學と化學に關する實驗と面白い模型玩具の作り方を述べたもの。
						▲日常容易に實驗の出來る理科材料を教科書に關係させて集錄し其實驗方法を說く。
						▲セメントに關する知識を說けるもので、コンクリートの知識外五編。
						▲やさしい工藝品について其作り方を說明せるもので木彫工藝外二編。
						▲植物及び鑛物等のすべての種類に亘つての採集法と標本製作法を說く。

工學士 小泉武夫	圖解 やさしいラヂオの作り方	菊半截 上製	148	六〇（四）	寶文堂	一月	▲よりよい受信機の作り方に就いて述べたもので、製作工具と其の取扱法外三十章。
橫山文司	少年技師ハンドブック(16) 化學と實驗 面白い應用品の方り方	三六判 洋布	209	・七五（四）	寶文堂	二月	▲造化の驚異、やさしい化學の原理、化學應用品の作り方、簡單な化學實驗の四篇。
淺井武雄	圖解 電氣玩具の作り方	菊半截 上製	136	六〇（六）	寶文堂	五月	▲電氣を應用した玩具の作り方を説いたもので、磁氣の話外二編。
理學士 加納八郎	圖解 科學玩具の作り方	菊半截 上製	149	六〇（六）	寶文堂	五月	▲活動寫眞機の作り方、蓄音機の作り方、寫眞電送の原理外廿二篇。
深山晃	圖解 厚紙玩具模型の作り方	菊半截 上製	145	六〇（六）	寶文堂	五月	▲玩具編、模型編の二編に大別して厚紙玩具模型の作り方を圖解せるもの。
市村豐	圖解 上手な寫眞の撮り方	菊半截 上製	189	六〇（四）	寶文堂	六月	▲寫眞の歴史と其の發達、寫眞の寫し方、現像及定着法外十三章。
平野清司	圖解 セルロイド應用模型の作り方	菊半截 上製	134	六〇（四）	寶文堂	六月	▲セルロイドの加工法を平易に説けるものでセルロイド加工法外八編。
理學士 長沼恭一	圖解 蒸汽玩具の作り方	菊半截 上製	136	六〇（四）	寶文堂	六月	▲科學と手工及實際の工作の三方面より説けるもので、蒸汽物語外一編。
秋間保郎	圖解 ラヂオと科學模型の作り方	四六判 函入 上製	240	九五（三）	寶文堂	六月	▲ラヂオの原理、ラヂオ受信機の製作、科學電氣玩具外一篇、附錄物のはじまり其他
讀賣新聞ラヂオ技術部 川野義雄	性能の良いラヂオ受信機の解説と作り方	四六判 函入 布裝	215	一、三〇（一六）	寶文堂	七月	▲受信機の構成とその部分品の解説及製作法故障の發見法等を述べたもの。
奥村一一	圖解 軍艦・航空母艦・潜航艇の作り方	菊半截 上製	157	六〇（四）	寶文堂	六月	▲模型軍艦の知識、模型軍艦推進機關の作り方、模型軍艦の作り方外二章。
奥村一一	圖解 汽船・モーターボート ヨットの作り方	菊半截 上製	133	六〇（四）	寶文堂	七月	▲汽船模型の作り方、ヨットの作り方、モーターボートの作り方外二章。
秋間保郎 平田潤雄	圖解 電氣蒸氣玩具と模型の作り方	四六判 函入 上製	252	九五（八）	寶文堂	八月	▲解りやすい電氣の知識、電氣玩具と模型の作り方蒸氣玩具と模型の三編。

相澤次郎	圖解 人造人間の作り方	菊半截 上製	158	六〇（四）	寶文堂	八月	▲人造人間の心臓、人造人間の皮膚、人造人間の委外三章にてロボットの作り方を説く。
增井健吉 淺井武雄	圖解 モーター・變壓器の作り方	菊半截 上製	136	六〇（四）	寶文堂	七月	▲模型電動機の原理及び其製作法を平易に述べたもので、モーターの作り方外一編。
秋間保郎 平田潤雄	圖解 科學玩具と模型の作り方	四六判 函入 上製	236	九五（八）	寶文堂	七月	▲飛行機模型の作り方、よく走る電車の作り方、時計の作り方、外七十六篇—普及版—
清水隆	圖解 新しい科學玩具の作り方	菊半截 上製	153	六〇（六）	寶文堂	十月	▲各種玩具の作り方を説いたもので、水鐵砲と吸揚ポンプ、汽車外十七篇。
加納八郎 秋間保郎	最も新らしい科學玩具の作り方	三六判 洋布	148	七〇（四）	日本科學模型研究會	九月	▲寫眞のうつるわけとレンズの試驗、實物幻燈の作り方外卅篇
加納八郎 秋間保郎	最も新らしい電氣玩具の作り方	三六判 洋布	152	七〇（六）	日本科學模型研究會	六月	▲模型電氣機關車の作り方を述べたもので、電氣機關車早わかり外二編。
加納八郎 秋間保郎	最新 ラヂオ受信機とテレビジョンの作り方	三六判 洋布	206	七〇（六）	日本科學模型研究會	七月	▲ラヂオ早わかり、ラヂオ受信機の作り方外二篇にて説述せるもの。
加納八郎 秋間保郎	最も新らしい飛行グライダーの作り方	三六判 洋布	125	七〇（四）	日本科學模型研究會	八月	▲科學界の粹グライダーの作り方に就て述べたもので、グライダの設計と作り方其他。
加納八郎 秋間保郎	最も新らしい模型飛行機の作り方	三六判 洋布	150	七〇（四）	日本科學模型研究會	五月	▲讀んですぐ役立つやうに模型飛行機の作り方を説けるもの。
平田潤雄 秋間保郎	一圓で出來る模型飛行機の作り方	三六判 洋布	152	七〇（四）	日本科學模型研究會	十月	▲一圓で模型飛行機一臺が出來るやう記述せるもので、初歩の模型飛行機の作り方外二編
加納八郎 秋間保郎	誰にも出來る理科標本の作り方	四六判 函入 上製	202	一、二〇（一二）	三成社	四月	▲新しい材料で誰にも出來るやう理科標本の作り方を説けるもの。
厚生閣編輯部編	少年昆蟲採集法	新四六判 函入 洋布	146	一、〇〇（六）	厚生閣	四月	▲昆蟲採集をする人の爲の知識を説けるもので、採集に行く前の仕事外十六篇。
下泉重吉 高橋敬三	實驗本位 課外理科文庫 —海の動物—	四六判 函入 並製	113	五〇（八）	課外理科文庫刊行會	七月	▲飼つて面白い動物、岩の多い海岸の採集、海の動物の保護色外十二篇。

藤澤六馬	實驗本位 課外理科文庫 ―海藻の採集―	四六 函入 並製	105	八 五〇	課外理科文庫刊行會	七月	▲色刷の圖を澤山挿入して說明せるもので、海に生える草外五篇。
尾形藤治	實驗本位 課外理科文庫 ―昆蟲の採集―	四六 函入 上製	99	六 五〇	課外理科文庫刊行會	八月	▲觀察と實驗とを本位に說けるもので、昆蟲と人生、蝶の採り方外十三章。
下泉重吉	實驗本位 課外理科文庫 ―動物園の研究―	四六 函入 上製	128	八 五〇	課外理科文庫刊行會	十一月	▲動物園の見方、動物の分類、猿の類、カンガルーの類外十七章。
酒井恒	實驗本位 課外理科文庫 ―カニとエビの生活―	四六 函入 上製	98	八 五〇	課外理科文庫刊行會	十一月	▲あかてがにとその一族、かくれて棲むもの卵から横這ひまで外廿章。
東京成蹊學園訓導 栗山重	小學五年生の理科 ―問と答―	菊倍判 並製	103	八 三五	國民教育普及會	九月	▲小學五年の理科書第一課より第五十一課迄を實驗觀察本位に問と答の部に分け收む。

國語學習書

岡村啓太郎	三段仕上げの國語	四六倍判 並製	99	六 三五	文教書院	四月	▲基本力養成時代、實力練磨時代、難問への發展の三段より成る六年生中心國語練習帳。
春陽堂編輯局編	昭和兒童の讀方 ―第五學年後期―卷十	菊判 並製	192	六 五〇	春陽堂	九月	▲第五學年後期用の讀本の文を深く讀み味へる樣說けるもの。
春陽堂編輯局編	昭和兒童の讀方 ―第六學年後期―卷十二	菊判 並製	225	六 五〇	春陽堂	九月	▲小學國語讀本第六學年後期用の各課に文の見方、語句の研究其他を施す。

算術學習書

廣島高等師範學校訓導 山本孫一	一日五題主義 力の算術 ―尋一前期用―補題と宿題	四六倍判 並製	49	六 二〇	博文館	五月	▲尋常一年算術教科書前期用の問題を裏面から見て作り直したもの。
廣島高等師範學校訓導 山本孫一	一日五題主義 力の算術 ―尋二前期用―補題と宿題	四六倍判 並製	44	六 二〇	博文館	五月	▲一日五題主義をとつて補題及宿題を收めた尋二前期用練習帳。
廣島高等師範學校訓導 山本孫一	一日五題主義 力の算術 ―尋三前期用―補題と宿題	四六倍判 並製	44	六 二〇	博文館	四月	▲一日五題主義をとつて補題及宿題を收めた尋二前期用練習帳。

廣島高等師範學校訓導 山本孫一	一日五題主義 力の算術 ―尋四前期用―補題と宿題	四六倍判 並製	44	六 二〇	博文館	四月	▲一日五題主義をとつて補題及宿題を收めた尋二前期用練習帳。
廣島高等師範學校訓導 山本孫一	一日五題主義 力の算術 ―尋五前期用―補題と宿題	四六倍判 並製	44	六 二〇	博文館	四月	▲一日五題主義をとつて補題及宿題を收めた尋五前期用練習帳。
廣島高等師範學校訓導 山本孫一	一日五題主義 力の算術 ―尋六前期用―補題と宿題	四六倍判 並製	44	六 二〇	博文館	四月	▲一日五題主義をとつて補題及宿題を收めた尋六前期用練習帳。
佐藤武	小學兒童 算術日日學習帳 ―二年・前期―	菊判 並製	110	六 三〇	第一出版協會	三月	▲教科書の補充整理を目的に編める學習書で加減法乘法の二部及び解答。
佐藤武	小學兒童 算術日日學習帳 ―三年・前期―	菊判 並製	106	六 三〇	第一出版協會	三月	▲加法減法、乘法除法の二部及び解答の部より成る尋三前期の學習書。
佐藤武	小學兒童 算術日日學習帳 ―四年・前期―	菊判 並製	108	六 三〇	第一出版協會	三月	▲整數、小數の二部を收めた尋四前期の學習書。
佐藤武	小學兒童 算術日日學習帳 ―五年・前期―	菊判 並製	110	六 三〇	第一出版協會	三月	▲整數小數、分數の二部より成る尋五前期の學習書。附錄解答之部。
佐藤武	小學兒童 算術日日學習帳 ―六年・前期―	菊判 並製	106	六 三〇	第一出版協會	三月	▲比、步合算の二部より成る尋六前期の學習書。附錄解答之部。
東京女子高等師範學校訓導 岩下吉衞	作業主義 兒童算術問題集 ―尋三―	四六判 並製	104	四 三五	明治圖書株式會社	五月	▲尋常三年生に適した算術の實際問題を收めたもので、オ金外百三章。
東京女子高等師範學校訓導 岩下吉衞	作業主義 兒童算術問題集 ―尋四―	四六判 並製	112	四 三五	明治圖書株式會社	五月	▲尋常四年生に適した算術の實際問題を收めたもので、買物外百十一章。
東京女子高等師範學校訓導 岩下吉衞	作業主義 兒童算術問題集 ―尋五―	新四六判 並製	120	四 三五	明治圖書株式會社	六月	▲私の學校の生徒、矩形、直方體の箱、平行六面體其他を收めた算術問題集。
東京女子高等師範學校訓導 岩下吉衞	作業主義 兒童算術問題集 ―尋六―	新四六判 並製	120	四 三五	明治圖書株式會社	六月	▲正方形の邊と對角線、三つの正方形、球と圓柱其他より成る尋六算術問題集。
佐藤武	實力養成 算術學習書	菊判 並製	383	八 七〇	日東書院	一月	▲中等學校受驗準備用としての算術學習書で整數及び小數外四編。

圖畫・手工・作法學習書

小阪田嶺三長弘	三段仕上げの算術	四六倍判並製	55	一三五	一月	文教書院	▲六年生を中心としての算術仕上げの練習帳で、第一仕上げ基本力養成時代其他。
春陽堂編輯局編	入學試驗練達の算術	四六判背洋布	333	一三五	九月	春陽堂	▲諸等數、分數其他四篇に分けて問題を收め着眼點を明示し解き方の過程を示す解答。
學習指導研究會編	中等學校入學準備系統的算術の學び方	四六判並製	283	一三五	四月	栄文閣	▲小學校上級生の自學補習教科書で、整數及小數、諸等數外五編。
柘植茂三郎	中等學校入學算術試驗標準解答集 —昭和六年—	四六判並製	136	一四五	一月	希望堂	▲算術問題を收めて解答を施せる中等學校受驗準備書で、整數小數諸等數外四篇。
板倉賛治編	高等科用自習畫帖 一	四六倍判並製	40	一三〇	九月	講談社	▲色の調和と明暗（宮下孝雄）圖案のあらはし方（萬富三）外三十七圖。
板倉賛治編	高等科用自習畫帖 二	四六倍判並製	40	一三〇	九月	講談社	▲紙鑵（小林古徑）網代港（板倉賛治）西瓜と梨（板倉賛治）外三十七圖。
板倉賛治編	高等科用自習畫帖 三	四六倍判並製	40	一三〇	九月	講談社	▲極く初歩のものから少し手のこんだものに及ぶ百餘種の折紙の圖を主とした折り方圖解
本多功	折紙 —上—	四六判上製	90	一四〇	十二月	工政會出版部	▲國民として心得おくべき禮儀作法に就いて述べたもので、日常の心得外廿六章
相島龜三郎	學習資料百科全書兒童の作法	四六判洋布	221	一、一八〇	二月	東洋圖書株式會社	
千珠教育研究會編	全國中等學校入學試驗問題答案集 —昭和六年度—	菊判並製	799	二九五	六月	交盛館	▲本年度全國中學校高等女學校實業學校に於て施行した入試問題を中心として解答を施す
學習法研究會編著	中學校女學校實業學校全國入學試驗問題集及模範解答	菊判並製	591	二九〇	六月	湯川弘文社	▲全國中等學校の中主要なる學校の昭和六年度の入學考査問題を收錄せる準備書
芳進堂編	東京府各學校入學考査問題及模範答案 —昭和六年度—	四六判並製	685	一、〇三〇	六月	芳進堂	▲東京府管内の各種中等學校および百三十校の昭和六年度入試問題及模範答案を蒐錄す

入學試驗問題集

光文堂編輯部編	東京府入學考査問題と模範答案 —昭和六年度—	四六判並製	533	一九八	六月	光文堂	▲東京府管内百五十餘校の入學考査問題を集めた入學準備書。
學習指導研究會編	東京府中等學校入學考査問題集 —昭和六年度—	菊判並製	59	二一〇	十月	栄文閣	▲東京高師附屬中學校以下世四中等學校の入學考査問題集。
春陽堂編	中等學校入學試驗問題及び模範解答 —昭和六年度—	四六判並製	414	一四八〇	六月	春陽社	▲昭和六年度の東京府内及神奈川縣下の各師範中學校實業學校の入試問題に解答を施す。
春陽社編	東京府中等學校入學試驗問題及び模範解答 —昭和六年度—	四六判並製	369	一八〇	六月	春陽社	▲昭和六年度の東京府内及神奈川縣の女子師範、中等學校の入試問題を集錄解答す。
南光社編	全國男女師範學校第二部入學試驗問題集	四六判並製	534	一、一〇	七月	南光社	▲全國男女師範學校第二部昭和六年度の入學試驗問題を收錄せるもの。
受驗研究社編輯部編	全國師範學校入學試驗解答 附問題集 —第二部用—	菊判並製	489	一、三五〇	六月	受驗研究社	▲六年施行された全國師範學校第二部入試問題を教科別に分類して解答を施す。
駿々堂編	全國師範學校入學試驗問題集と模範解答 —第一部用—	菊判並製	571	一、三八	六月	大阪駿々堂	▲六年度の全國師範學校に於て施行された試驗問題を集錄して解答を附せる書。
南光社編	全國師範學校入學試驗問題集	四六判並製	446	一、三〇	七月	南光社	▲昭和六年度全國男女師範學校入學試驗問題を收錄して解答を施す
栄盛館編	全國師範學校入學試驗問題答案集 第二部 —昭和六年度—	菊判並製	416	一、三〇	六月	交盛館	▲六年度全國師範學校で行はれた入試問題を集錄しそれに標準答案を附せるもの。
文祥堂編輯部	官公私立中等學校 近畿入學試驗問題集	菊判並製	280	一四三	五月	文祥堂	▲中學校、女學校、實業學校、師範學校揭載採錄校二一二校。
文祥堂編輯部	官公私立中等學校 京濱入學試驗問題集	菊判並製	71	一三〇	五月	文祥堂	▲中學校、女學校、實業學校、師範學校揭載採錄校四九校。
文祥堂編輯部	官公私立中等學校 中部入學試驗問題集	菊判並製	229	一四三	五月	文祥堂	▲中學校、女學校、實業學校、師範學校揭載採錄校一九八校。
文祥堂編輯部	官公私立中等學校 中國入學試驗問題集	菊判並製	259	一四五	五月	文祥堂	▲中學校、女學校、實業學校、師學學校揭載採錄校一八三校。

文祥堂編輯部	官公私立中等學校 四國入學試驗問題集	菊判並製	259	四五八	大阪 文祥堂 五月
文祥堂編輯部	官公私立中等學校 九州入學試驗問題集	菊判並製	219	四五八	大阪 文祥堂 五月

▲中學校、女學校、實業學校、師範學校掲載採錄校一八三校。

▲中學校、女學校、實業學校、師範學校掲載採錄校一六一校。

文學博士 坪内逍遙著 （好評嘖々）

歌舞伎あれこれ

菊判絹布裝函入
本文二百五十頁
コロタイプ版・石版・寫眞版・凸版八十面
定價三圓五十錢
郵送料十八錢

歌舞伎研究家必讀の大論文

歌舞伎はわが國體に次ぐ世界に於ける**ユーニーク**な存在である。こんな尨雜な、不思議な**舞臺藝術**は世界の他のどこの國にも、どんな時代にもなかつた。歌舞伎は野生のまゝの純然たる**民衆藝術**として、連綿三百年の間些かの中斷もなしに同じ系統を追つて進化し、而も從橫に發展した。で西洋諸國が前後千何百年もかゝつて、めい〳〵で分擔して、意識的努力の結果、やつと獲得した**劇的要素**の有る限りが歌舞伎には自然に、半無意識的に備はつてゐる。それだけに、其本質も、其歷史も複雜で、やゝこしくて、到底、**言語や文章**だけで之を釋明することは容易でない。況んや**簡單に具體的**に敍說する事をやである。著者博士夙に此點に留意せられ、幸ひにも傳存してゐる種々の**古畫を利用し、一瞥下に三百年の進化**を歌舞伎劇場の內外に亙つて、備さに**看取**せしむべく工夫された。畫證史話と題された所以である。而して其畫證は**外國劇場**のそれとの比較にさへも及んでゐる。劇に關する研究書は內外とも近來頓に增加しつゝあるが、本著の如きは前例が無い。**挿畫八十餘圖**。

坪内逍遙著

近世畸人傳 その他

四六判函入上製美本
挿圖コロタイプ數葉
定價一圓八十錢
送料十二錢

東京市神田區錦町
株式會社 東京堂版
振替東京二七〇番

限定出版でこそ
できる豪華版！
本文・全部アート紙刷
巧緻を極めた
最優秀原色版十二葉
多年の蒐集による
寫眞版九一二凸版三三
團伊能著

概觀 歐洲藝術史

いはゆる代表的作品にのみ音調づけた嘆賞的な史話ではない。この書は史前時代からアメリカ近代にわたる歐洲美術三千年の發展推移を辿りながら新人團氏があくまで美術史家（アートヒストリアン）として成遂げた檢討の足跡でありまた豐穰なその作品に親しく觸るゝ著者のセンシビリテイの尊い記錄である。

—送料・內地・四五・領土・七五—

定價七圓八十錢　裝幀・背皮頗る雅麗　四六倍判・七二〇頁

富山房　東京市九段坂下　振替東京五〇一番

內容見本　●御申込次第進呈●

昭和六年度主なる

非賣品圖書目錄

（本目錄は內務省發行の納本目錄によつて調査した主なる非賣品圖書である。）

哲學・神書・宗教

發行月	著者	書名	形體	頁數	發行所
1	二宮讓外二氏	哲學思溯	四六判	六七七	吳市公民講座
3	ラスキン著 御木本隆三譯	ラフアエル前派主義	四六倍	七八	東京ラスキン協會・使命社
3	松山直藏	北宋五子哲學 附朱子晩年定論辯證	菊判	一六〇	懷德堂記念會
4	小笠原秀實	西洋倫理學	菊判	三四一	民文社
7	橋本五雄	川合清丸全集第一卷 三道並行篇	菊判	五〇八	川合清丸全集刊行會
8	橋本五雄	川合清丸全集第七卷 諸子百家門	菊判	四七〇	川合清丸全集刊行會
9	上村眞肇	三性三無性說及五重唯識觀を中心として見たる中道思想に就いて	菊判	九二	杏林舍
10	松村光庸	哲理姓名學精義	菊判	一九一	哲理姓名學會本部
1	愛知縣寶飯郡神職會	神社を中心としたる寶飯郡史	菊判	九〇九	愛知縣寶飯郡神職會
3	明倫舍	手島堵庵全集	菊判	四三六	明倫舍
3	服部融泰	藏文大日經語彙	菊判	一四〇	西藏譯經典出版所
3	磯ケ谷紫江	墓碑史蹟研究	菊判	一三八八	後苑莊
3	上田覺城	照遍和尙全集（第二輯）	菊判	五八六	照遍和尙全集刊行會
3	稻葉圓成	日本佛教學協會年報 第三年	菊判	三八七	日本佛教學協會西部事務所
4	鈴木澄衛	高野山弘法大師御遠忌奉讚會誌	四六判	四八四	高野山弘法大師御遠忌奉讚會
4	鈴木松太郎	淺間文書纂	菊判	五七四	淺間神社社務所
5	山崎潔	甲賀の道	菊判	三九四	天理教甲賀大教會
6	金田戒定	蓮門眞譯五重本米講義	菊判	二〇〇	土川觀學宗學興隆會
7	辻善之助	大乘院寺社雜事記（二）	菊判	四三一	潮書房
7	上田覺城	照遍和尙全集（第四輯 天臺部第二）	菊判	六三三	照遍和尙全集刊行會
8	北尾日大	日蓮宗大系 日蓮門下十一派綱要	四六判	四五八	大林閣
8	井上惠底	日蓮宗大系 日蓮門下の殉教史	四六判	三〇二	大林閣
8	高田惠忍	日蓮宗大系 日蓮宗の安心	四六判	三〇二	大林閣
8	鈴木一成	日蓮宗大系 日蓮聖人正傳	四六判	三一六	大林閣
8	守屋貫教	日蓮宗大系 日蓮主義と近代思想	四六判	二九四	大林閣
8	松平俊子	日蓮宗大系 日蓮主義と女性	四六判	二九一	大林閣
8	望月歡厚	日蓮宗大系 法華經講話	四六判	三二一	大林閣

教育・語學・辭書

- 東京市役所　東京市教育提要　四六判　六〇〇
- 湯原元一　新制實業修身教本教授參考書　菊判　四六判　五五〇
- 尋常小學補材指導書（第三學年）　學習指導大系刊行會　菊判　約四〇〇
- 岩田僊太郎　隨想錄時と世　四六判　三一六　晩成處
- 岩田僊太郎　隨想錄時と人　四六判　二五八　晩成處
- 三村親信　教育勅語と教育の淵源　菊判　二八四　大日本國家族協會
- 尋常小學補材指導書（第四學年）　學習指導大系刊行會　菊判　約三〇〇　帝國地方行政學會
- 大澤稚休　口頭綴り方の實際　四六判　三九〇　日本綴方教育研究會
- 古墳　菊判　寫眞四八枚　東書院
- 能樂研究所　花傳第六花修　菊判　約五〇　能樂資料布會
- 木崎愛吉　賴山陽先生眞蹟百選　四六倍　二〇〇　審美書院
- 帝室博物館　帝室博物館年報（昭和五年自一月至十二月）　菊判　二〇〇　帝室博物館
- 北田內藏司　山陽先生百年祭記念遺芳帳　四六倍　一三二　審美書院
- 齋藤嘉太郎　京阪畫家の印象　四六判　三五九　大每美術社
- 常盤大定　東洋文庫論叢第十三支那に於ける佛教と儒教道教　四六倍　七五〇　東洋文庫
- 林義昌　黃檗宗法令（第二卷）　菊判　二〇〇　黃檗宗務本院
- 飯田良傳　時宗宗典（第二卷）　四六判　二五四　平凡社
- 橋本五雄　神道叢門（上）　川合清丸全集第二卷　菊判　四九六　川合清丸全集刊行會
- 神の手引（上）　天理教教義及史料集成部　菊判　四六判　二九三　天理教教義及史料集成部
- 水原堯榮　高野山存藏經目錄　高野山存藏經第二號　菊判　四六判　四七六　森江書店
- 高島康昭　神字起源解　菊判　四六判　一五四　世界大組國史期成會
- 辻善之助　大乘院寺社雜事記（第二）　菊判　一五四　三教寺院
- 福島縣二勞働學校の新經營　勞働用語標準　菊判　四六判　一三　勞働教育研究會

文學

- 東京市役所　東京市役所編纂　菊判　六〇〇
- 金　東京帝國大學文科大學國文學會　菊判　五五〇
- 栗　帝國地方行政學會　菊判　四〇〇
- 日　帝國地方行政學會　菊判　三一六
- 佐　帝國地方行政學會　菊判　二五八
- 今　帝國地方行政學會　菊判　二八四
- 萩　帝國地方行政學會　菊判　二八四
- 小　帝國地方行政學會　菊判　二八四
- 前　帝國地方行政學會　菊判　二八四
- 高　帝國地方行政學會　菊判　二八四
- 木　帝國地方行政學會　菊判　二八四
- 金　帝國地方行政學會　菊判　二八四
- 重　帝國地方行政學會　菊判　二八四
- 重松清行　拓川集　書簡篇　三五倍　二〇四　拓川會
- 重松清行　拓川集　日記篇　三五倍　二一〇　拓川會
- 金田一京助　金田一京助アイヌユーカラの研究（第一册）　東洋文庫論叢第十四ノ一アイヌユーカラ叙事詩　四六倍　四三四　東洋文庫
- 金田一京助　金田一京助アイヌユーカラの研究（第二册）　東洋文庫論叢第十四ノ一アイヌユーカラ叙事詩　四六倍　一〇二四　東洋文庫
- 栗原源治　壺中觀　菊判　五三〇　壺庵不二齋
- 日野宗悅　遺殘者　四六判　三〇〇　ドーム協會
- 佐佐木信綱　桂の落葉　卷物　佐佐木信綱家
- 萩野仲三郎　春秋正義景鈔（正宗學本六冊一組）　四六倍　文求堂
- 今泉定介　西宮記（第一）　外一氏　菊判　二七三　六合館
- 軟派獵奇群書　菊判　四三　壺陽社
- 秋　較　隨筆　四六判　二四六　の華會
- 小林澄兄　川合敎授還歷記念論文集　菊判　八一三　川合敎授還歷記念祝賀會
- 柳宗悅　プレイク論集　菊判　二四　俱王堂

美術・技藝・音樂

- 小川晴腸　日本美術史先史（原始時代）　日本考古圖錄大成（11）　四六倍　約三〇〇　飛鳥園
- 香取秀眞　佛具　日本考古圖錄大成（10）　菊判　寫眞五三枚　東書院
- 石田茂作　塔婆　日本考古圖錄大成（12）　菊判　寫眞四八枚　東書院
- 島田貞彥　古墳　菊判　寫眞二八枚　東書院
- 能樂研究所　花傳第六花修　菊判　約五〇　能樂資料布會
- 木崎愛吉　賴山陽先生眞蹟百選　四六倍　二〇〇　審美書院
- 帝室博物館　帝室博物館年報（昭和五年自一月至十二月）　菊判　二〇〇　帝室博物館
- 北田內藏司　山陽先生百年祭記念遺芳帳　四六倍　一三二　審美書院
- 齋藤嘉太郎　京阪畫家の印象　四六判　三五九　大每美術社

歷史・傳記・地誌

- 鈴木覺馬　嶽南史（第一卷）　菊判　二一四〇　嶽南史刊行會
- 第三十四銀行　小山健三傳　菊判　九〇〇　第三十四銀行
- 淺田みか　山村雅子　菊判　五八七　山村保三家
- 中村唯一　物外三好愛吉先生　菊判　七三六　三好愛吉先生弔慰會
- 坂田幹木　谷口房藏翁傳　菊判　六九七　谷口房藏翁傳記編纂會
- 澤本健三　聖上御聖德錄　四六判　一二五〇　聖德奉讚會
- 宮崎賢一　松浦詮伯傳（上）　菊判　五三四　松浦伯鐙編纂所
- 宮崎賢一　松浦詮伯傳（下）　菊判　六五三　三峯會
- 小河正儀　三峰下岡忠治傳　菊判　六三六　朝陽會
- 農林省　日本林制史資料（山口藩）　菊判　寫眞五三枚　東書院
- 岩下清周　傳　菊判　三六一　故岩下清周君傳記編纂會
- 樋山光四郎　歷代聖勅傳　菊判　一四〇　偕行社
- 上司先生記念事業　上司先生傳資料　四六判　四〇〇　厚生閣
- 吉備群書集成（第四輯）　菊判　四〇〇　吉備群書集成刊行會
- 蓮生觀善　弘法大師傳　菊判　七〇九　弘法大師一千百年御遠忌事務局
- 堀內信　南紀德川史（第四冊）　菊判　六九五　南紀德川史刊行會
- 松井等　東洋史精粹（第十二卷）　菊判　三四　共立社
- 農林省　日本林制史資料（小倉藩白井藩）　菊判　約八〇〇　朝陽會
- 武田秀雄　我等の知れるスペリー博士　外數氏　四六判　四七七　スペリー博士顯彰編輯委員會
- 森田敬太郎　吉備群書集成（第八輯）　菊判　約六〇〇　吉備群書集成刊行會
- 池田宏　元寇の新研究　東洋文庫論叢第十五ノ一　四六倍　四五八　東洋文庫
- 中島俊司　醍醐雜事記　菊判　六五五　醍醐寺
- 七條憲　唐大和上東證傳　四六倍　一〇〇　古典保存會事務所
- 弘津史文　鞍と鐙　四六判　五〇　弘津史文家
- 山田清太郎　多兵衛を中心に　四六判　六六二　一四　一ッ橋
- 森田敬太郎　吉備群書集成（第七輯）　菊判　一七四　吉備群書集成刊行會
- 澤本健三　聖上御聖德錄　四六判　一二五〇　聖德奉讚會
- 宮崎賢一　類聚符宣抄　菊判　約四二〇　宮內省圖書寮

非賣品圖書目錄

9	宮内省圖書寮	壬生新寫古文書	菊判	約二七〇	宮内省圖書寮
9	農林省	日本林制史資料—和歌山藩—	菊判	六三〇	朝陽會
9	太田清	賴山陽全書(全集上)	菊判	九三二	賴山陽先生遺蹟顯彰會
9	大森盛太郎	北河内郡史蹟史話	四六判	三九八	大阪府北河内郡教育會
9	若山善三郎	尾張國遺存織田信長史料寫眞集	四六判	五七	名古屋遺故會
9	前田家編輯部	加賀藩史料第四編—自寛文三年至元祿元年—	菊判	一〇一八	東興社
10	橋本博	駿河史料(第九編)	四六判	二四四	静岡郷土研究社
10	小田省吾	朝鮮小史	菊判	一〇五	葛庵記念財團
10	太田清	賴山陽全集文集	菊判	約一〇〇〇	賴山陽先生遺蹟顯彰會
10	農林省	日本林制史資料—彦根藩、會藩—	菊判	二九八	朝陽會
10	木藏好尙	百年記念 賴山陽先生	菊判	一二七八	賴山陽先生遺蹟顯彰會
10	森田敬太郎	吉備群書集成—九 吉備温故秘錄—	菊判	約五〇〇	吉備群書集成刊行會
12	小川渉	會津藩教育考	菊判	六七三	會津藩教育考發行會
12	旭川市役所	旭川市史稿(上卷)	菊判	七三四	旭川市役所
12	旭川市役所	旭川市史稿(下卷)	菊判	五四八	旭川市役所
12	隱れたる教育家編纂委員	隱れたる教育家	菊判	約三〇〇	隱れたる教育家編纂事務所
12	埼玉縣	埼玉縣史第二卷—奈良平安時代—	菊判	五九八	埼玉縣
12	横濱市役所	横濱市史稿(政治篇一)	菊判	九三四	横濱市役所
.0	横濱市役所	横濱市史稿(政治篇二)	菊判	六〇〇	横濱市役所
12	伏見宮家	貞愛親王事蹟	菊判	五四二	伏見宮家
12	伏見宮家	貞愛親王逸話	菊判	一七六	伏見宮家
6	静岡市役所	静岡市史(第一卷)	菊判	八五八	静岡市役所
3	静岡市役所	静岡市史(第二卷)	菊判	六八三	静岡市役所
12	静岡市役所	静岡市史(第四卷)	菊判	七九六	静岡市役所
12	池田文痴庵	森永航空宣傳史	菊判	二〇〇	森永製菓株式會社
3	佐々木健三郎	東京府消防歴史(附名鑑)	菊判	八〇一	日本史蹟編纂會
2	松波寅吉	南國周遊	菊判	二四七	著者
2	岩本雪太	教育家の目に映じたる歐米南洋鮮支事情	菊判	二七八	福徳生命保険株式會社
2	井川市太郎	丹波及丹波人	四六判	九四〇	丹波青年社
3	橋本博	駿河志料(第八篇)	四六判	二一七	静岡郷土研究會
4	板垣邦器	臺灣見物滿鮮漫歩	四六判	二七四	著者
,	本郷區役所	本郷區勢要覽(昭和五年)	四六判	一五三	本郷區役所
5	伊東尾四郎	企救郡誌	菊判	五一〇	著者
5	長崎史談會	長崎名勝圖繪	四六倍	五八四	藤木博英社
5	廣島市役所	廣島市水道誌	四六倍	一〇八三	廣島市役所
6	石川縣	石川縣史第四編	菊判	一三八七	石川縣
6	南滿洲鐵道株式會社	Second Report on progress in Manchuria to 1930	四六倍	二九七	南滿洲鐵道株式會社
7	カウンツ著 市島謙吉譯	自動車にて赤露を探る	四六判	一六一	文明協會
7	若泉小太郎	樺太紀行北緯五十度の旅	四六判	三三四	五光社
7	篠田皇民	自治團體之沿革	四六倍	六五四	東京民新聞社
7	東京本所區	本所區史	菊判	二一八	巖松堂
7	平野町公益會 吉村省次郎	平野郷町誌	菊判	四五五	平野町公益會 吉村省次郎

7	安川第五郎	歐米半歳之旅路	四六判	一八七	丸の内書店
8	長岡市役所	長岡市史	菊判	一〇二〇	長岡市役所
8	加藤盛慶	東京淀橋誌考	菊判	五五八	武藏野郷土史學會
9	外務省通商局	ドミニカ共和國事情	菊判	一一〇	外務省通商局
9	クレース著 内田寛吉譯	南洋	菊判	六六八	郷生南洋記念財團會
10	山田惣太郎	山田博二追想錄 憧れの山へ	四六判	三四四	山田家

政治

1	長野朗	一九三〇年支那年史	菊判	五九	支那問題研究所
1	藤井新一	現代政黨の社會階級關係史編	四六判	一四八	文明協會
2	内山順太郎	革命的支那外交と日本	四六判	八三	鳳文社
2	山本熊太郎	濱口内閣に於ける地方議會の狀況經濟調査資料	菊判	一四八	政友會會報局
2	永岡涼風	問題の日月潭	四六判	約四五九	臺灣研究會
2	山本熊太郎	濱口内閣の不況及失業對策と地方財政	菊判	一九八	立憲政友會
3	長野朗	新興支那の中樞上海	四六判	一三三	支那問題研究所
6	小久保喜七	貴衆院に於ける豫算協賛權論戰	四六判	八九	文昭堂
6	河原彌三郎	民政黨總覽	四六倍	四六六	民政黨總覽編輯所
6	衆議院事務局	第五十九回帝國議會衆議院報告	菊判	二九七	衆議院事務局
6.	河原彌三郎	若槻内閣	四六倍	一六四	若槻内閣編纂所
6	野崎政助	若槻大内閣	四六判	二九二	八部俱樂部
7	東京府	東京府史 行政篇—第四卷	菊判	八八八	東京府
9	長野朗	日本國民の生存と滿洲	四六判	五四五	支那問題研究所
9	百々五郎	民政黨政策講演集	四六判	五〇五	立憲民政黨本部
10	陸軍省調査課	支那の排日侮日に就て	四六判	一二四	陸軍省調査課
10	陸軍省調査課	滿蒙諸懸案に就て	四六判	三〇	陸軍省調査課
10	陸軍省調査課	滿洲事變概要	四六判	二二	陸軍省調査課
10	陸軍省調査課	滿洲不安の實相	四六判	二二	陸軍省調査課
10	陸軍省調査課	米國カリビアン政策と滿洲問題	四六判	一六	陸軍省調査課
10	陸軍省調査課	滿洲事變發生後に於ける排日侮日に就て	四六判	一七	陸軍省調査課
10	樋山米四郎	陸軍常識普及文庫 陸軍軍備に關する講話集	菊判	一五九	偕行社
12	衆議院事務局	第五十九回帝國議會衆議院議事摘要—上、中、下卷—	菊判	二、三三四 一〇五	衆議院事務局
12	貴族院事務局	昭和六年十二月增訂 貴族院要覽(乙)	菊半截	六八二	貴族院事務局
12	若槻内閣編纂會	若槻内閣	菊半截	六三三	若槻内閣編纂會

法律

2	松山哲二	債權法各論	四六判	三八一	高等試驗聯盟本部
4	遞信省	遞信判例集	菊判	八一六	遞信省
4	司法省調査課	司法資料第百六十號 少年保護司指針	菊判	二一二	司法省調査課
5	司法省刑事局	第五十九回帝國議會刑事補償案ニ關スル速記錄	菊判	二九三	東京統計局

6	司法省調査課	司法資料第百六十一號 米國イリノイ州に於ける不定期利子渡並に罰金放に關する調査	菊判	五八〇
7	司法省調査課	司法資料第百六十二號 一九二九年末現行 カリフォルニア州刑法（前篇）	菊判	三四九
8	高田貞雄	民事訴訟法（第一篇）	菊判	二一〇
9	淺井龍	耕地事業施行便覽	菊半截	六九二
9	折戸太市郎	佛國保險契約法、獨逸私營保險法獨逸保險契約法	菊判	一三一
9	司法省調査課	司法資料第百六十三號 一九二九年末現行 カリフォルニア州刑法（後篇）	菊判	三二三
10	板倉勝朝	所謂會社設立の構想に就て	菊判	四二七
10	司法省調査課	司法資料第百六十四號 昭和六年法令全書第九號別冊 對獨賠償諸協定	菊判	二四六
10	內閣印刷局	昭和六年法令全書（第九號）	菊判	七七七
10	內閣印刷局	加藤先生還曆祝賀論文集	菊判	三五五
12	菊井雉夫			八七九

經濟

2	園田新六	關稅の免除に就て	菊判	三四八
3	玉木爲三郎	保險約款集 附貿易生命保險法令	四六判	五九五
3	谷口壽太郎	國產愛用運動概況	菊判	二一〇
5	エス、トムソン著 石丸藤太譯	地方稅制の改正と其の事務取扱	四六判	一五五
6	亞細亞の人口問題		四六判	二一八
7	日本經濟研究所	日本經濟變遷大系	菊判	五〇〇

3	白鳳社	生命保險會社協會		
8	繁田淺二	生命保險會社協會		
8	楠原祖一郎	廣島縣自治協會		
9	福場保洲	文明協會		
12	竹越與三郎	朝風社		

7	二萬石用水普通水利組合役場	二萬石用水史料	菊判	五二四
9	大藏省	昭和五年日本外國貿易年報 上篇	四六倍	三八九
9	折戸太市郎	保險國營に關する參考資料 2	菊判	一九九
10	名古屋高等商業學校編	名古屋高等商業學校創立第拾周年記念論文集	菊判	約七〇九
12	松尾百一郎	電力會社の會計	菊判	二八四
12	小野武夫	近世地方經濟史料 7	菊判	六四三
12	小野明治	家屋稅調査制定記念史	四六倍	約二〇〇〇

2	二萬石用水普通水利組合			
9	大藏省	生命保險會社協會		
10	名古屋高等商業學校	名古屋高等商業學校		
12	文閣	昭文閣		
12	近世地方經濟史料刊行會	近世地方經濟史料刊行會		
12	中央評論社	中央評論社		

社會

3	赤松克麿	社會民主々義とは？ 勞働組合とは？	四六判	四八
5	村木長昌	思想善導論	菊判	七四
8	繁田淺二	勞働問題研究特別資料第一輯 最近の勞働爭議（上卷）	菊判	一六九
8	楠原祖一郎	關西勞働事情研究資料彙報第一輯 最近の我國勞働爭議事情 附勞働團體の一般的理勢力	菊判	二八
9	福場保洲	社會思想の研究及批判	四六判	三三五
10	安藤次郎	露西亞年表稿本	菊判	一六五
12	竹越與三郎	明日はどうなる	四六判	二七六

3	海軍勞働德山燃工會教育部			
5	名古屋公衆圖書館			
8	社會問題調査所			
9	關西勞働事情研究所			
10	安藤次郎家			
12	平凡社			

產業・統計

3	大道弘雄	國產の精華	四六判	二三三
4	內務省土木局	第二十二回電氣事業要覽 昭和六年三月	四六倍	五六六
5	農林省水產局	露領漁業關係統計 附工船蟹漁業	四六倍	二六五
5	寺尾辰之助	明治林業逸史	菊判	八八四
5	寺尾辰之助	明治林業逸史（增篇）	菊判	五一六
6	司法省刑事局	日本帝國司法省第五十五 刑事統計年表（昭和四年）	四六倍	八一
6	東京市役所	東京市產業統計年鑑 第二回昭和四年	菊判	七二七
7	文部大臣官房文書課	日本帝國文部省第五十五年報 自昭和二年四月至昭和三年三月	菊判	各約四五〇
7	大阪市社會部調査課	大阪市勞働年報	菊判	二一四
7	商工省保險局	日本經驗生命表 生命保險標準死亡表	四六倍	約三〇〇
7	加藤强	樺太と漁業	四六判	三三二
9	笠森傳六	佛獨白諸國農村の瞥見 修明會叢書第十號	菊判	約一一三
10	橫濱市役所	橫濱市第廿四回統計書 昭和六年刊行	菊判	約六〇〇
10	大阪府	昭和四年大阪府統計書	四六倍	八九四
10	田代衛	白耳義國獨立百年紀念リエージ產業科學萬國博覽會	菊判	五〇二
12	田邊高雄	第三回化學工業博覽會誌	四六倍	三四二

交通・兵事・叢書

2	香川鐵一	譯文勞農赤軍步兵操典 第二部	四六判	三三四

2	朝日新聞社			
5	內務省土木局			
5	農林省水產局			
7	大日本山林會			
7	大日本山林會			
7	司法省刑事局			
8	東京市役所			
9	文部大臣官房文書課			
9	大阪市社會部調査課			
9	商工省保險局			
10	樺太定置漁業組合			
10	啓明會			
10	橫濱市役所			
10	栗田書店			
10	日本產業協會			
10	第三回化學工業博覽會誌編纂部			

2	陸軍士官學校	兵器學之參考 前編	菊判	三〇八
5	笠松眞太郎	交通事業の經營 交通研究資料第十輯	四六判	三五二
5	深澤多市	秋田叢書（第八卷）	菊判	五三六
7	上原好雄	步砲飛協同ニ關スル研究 卷一 陣地攻撃	菊判	二七四
7	上原好雄	步砲飛協同ニ關スル研究 卷二 防禦遭遇戰	菊判	二二四
7	樋山光四郎	軍事講話資料集	菊判	三四〇
8	深澤多市	秋田叢書（別集・江見澄集3）	菊判	五一二
9	南部叢書刊行會	南部叢書（索引）	菊判	約一五〇
9	庄司選	師團及步兵通信連絡ノ組織ト運用 第二編應用	菊判	三八四
9	庄司堯	師團及步兵通信連絡ノ組織ト運用 第一編原則	菊判	四三一
9	安西理三郎	陸軍野戰砲兵學校 砲兵戰術講授錄	菊判	二五三
10	藤卷正之	日光叢書（御巡幸日記一）	菊判	五〇七
10	關戸高三郎	國有鐵道資料集覽 昭和六年版	四六判	二〇〇

2	禪屋良輔			
5	日本交通協會			
5	秋田叢書刊行會			
7	兵書出版社			
7	偕行社			
7	秋田叢書刊行會			
7	南部叢書刊行會			
8	陸軍步兵學校將校集會所			
8	陸軍步兵學校將校集合所			
9	軍事學指針社			
9	東照宮社務所			
10	鐵道技術社			

數學・理學・工學

3	日本鑛山協會	日本鑛山協會資料第十七輯 鑛夫宿舍の建築に關する調査報告	四六判	四四一
3	廣田精一	黃田精一先生遺稿 單位風	菊判	五〇四
4	畠中士郎	建築土木資料集覽 昭和六年用	四六判	五三七
4	地質調査所	海外鑛物調査報告第十一號 文部之部	菊判	九七
5	小倉博	學術研究第十一 昭和五年十一月廿六日の北伊豆地震と地質構造との關係	四六倍	五四

3	日本鑛山協會			
3	廣田精一			
4	畠中士郎			
4	地質調査所			
5	日本鑛山協會			
5	電氣學校			
5	建築土木資料集覽刊行會			
5	地質調査所			
5	齋藤報恩會學術研究總務部			

5	木下辰夫	日本水產動植物圖集	四六倍	一五〇	大日本水產會
5	日本學術協會	昭和五年度日本學術協會報告(六)	四六倍	九五一	日本學術協會
7	川端重五郎	琵琶湖產魚貝類	菊判	一九八	川端重五郎遺稿頒布會
8	帝室博物館復興翼賛會	東京帝室博物館建築懸賞設計圖集	四六判		帝室博物館復興翼賛會
8	李松憲相	化學工業年鑑(一九三二年)	四六判	五一二	化學工業時報社
10	沼田德一	米國種收養乾燥論	菊判	二九四	西條地方煙草耕作組合

醫學

1	帝大内日本外科寶函編輯室	日本外科寶函	四六倍	約五〇〇	帝大内日本外科寶函編輯室
2	松浦齋	廣島藥業史	菊判	五八六	藥業組合
8	慶應義塾大學醫學部	慶應義塾大學醫學部十週年記念誌	四六倍	二七六	慶應義塾大學醫學部
10	岡山醫科大學	岡山醫科大學紀要—第二十卷—	四六倍	二八五	岡山醫科大學

家庭・娛樂・雜

2	平田辰雄	花道古書集成—第五卷—	菊判	約三三四	大日本華道會
5	前田拼之助	料理する人の爲に	四六判	七六八	日本婦女割烹講習會
1	靜嘉堂文庫	靜嘉堂文庫漢籍分類目錄	菊判	四九二	靜嘉堂文庫
2	京都市役所	大禮奉祝會記要	菊判	一九二	大禮奉祝會
2	青木武雄	明るい日本を目ざして	四六判	一六二	報知新聞社
3	井上昇	日本無藥醫師錄(昭和六年版)	四六倍	一四二	日本無藥醫療研究會
3	中川隆司	高等官高等官待遇職員錄	菊半截	九九〇	三秀出版社
3	後藤武夫	帝國信用錄—第二十四版昭和六年四月刊行—	菊判	一五〇〇	後藤武夫家
5	古賀傳吉	放送講演集(第一輯)	四六判	六九六	日本放送協會北海道支部
5	茨城縣	昭和四年陸軍特別大演習並地方行幸茨城縣記錄	四六判	一〇六三	茨城縣
5	靜岡縣警察部編纂	靜岡縣行幸警衛記錄	四六倍	七四四	靜岡縣警察部
6	坂野鎌次郎	愛知縣會社總覽	菊判	三九二	名古屋日日新聞社
7	東京府	昭和大禮東京府記錄—上、下卷—	菊判	各約三五〇	東京府
8	萬國工業會議	萬國工業會議報告	四六倍	一二六	萬國工業會議
9	新田宗盛	大東京構成の人及其事業	菊判	約八七〇	帝國時事通信社
9	清水繁隆	慶應義塾々誌	四六判	約一五〇〇	慶應義塾々誌編纂部
9	中山龍次	歐米に於ける放送事業調査報告	菊判	三五九	日本放送協會關東支部
9	杉謙三	四海兄弟	四六倍	約一五〇〇	四海兄弟社
10	田中筆次	岡山縣教育功勞者名鑑	四六倍	約一〇〇〇	岡山縣教育會
10	松井桂陰	新聞及廣告人大觀祖錄	四六判	約三〇〇	新聞之日本社
10	篠田雀	自治沿革史昭和風土記—十二—	四六判	三八八	東京都新聞社
12	安藤仁隆	商工信用錄	菊半截	約六〇〇	興信所
12	東大文學部新聞研究室	新聞研究室第一回研究報告	菊判	二三四	良書普及會
12	藤廣ユキ	昭和大典記念日本婦德の鑑	四六倍	約一五〇	東京婦人新聞社
12	警察協會愛知支部	明治二十四年濃尾大震寫眞帳	四六判	約一〇〇	警察協會愛知支部
5	長長成	名古屋公會堂[illegible]	菊判	約二〇〇	名古屋公會[illegible]

昭和七年 日記類

(昭和七年用より新發賣の日記は〇印を附す)

日記名	體裁	定價	送料
◇博文館◇			
當用日記	大形背革	一・六〇	一四
同	大形上製	一・二〇	一四
同	中形總革	二・二〇	一二
同	中形背革	一・一〇	一二
同	中形上製	八〇	一二
同	中長形上製	七〇	八
同	小形上製	七〇	八
○當用日記	小形豪華版	七〇	八
○當用日記	小形上製	五〇	八
半圓當用日記	中形上製	五〇	一二
橫線當用日記	中形上製	九〇	一二
同	中長形上製	八〇	八
英文當用日記	中形上製	九〇	八
英文懷中日記	三五判總革	七五	四
懷中日記	細長形上製	五〇	四
同	細小形上製	三五	二
同	袖珍上製	三五	四
同	袖珍並製	二五	四
ポケット日記A	三五判總革	一・一〇	四
同 B	三五判總革	九〇	四
同 C	同二冊總革	一・八〇	六
同 D	寸珍總革	五〇	二
同 E	寸珍總革	六〇	二
同 F	寸珍總革	四五	二
同 G	寸珍總革	五五	二
同 P	寸珍總革	五〇	二
同 S	寸珍布製	六五	二
橫線ポケット日記H	三五判總革	一・二〇	四
同 K	寸珍總革	六五	二
同 T	三五判厚革	一・三〇	四
自由日記重寶日記	中形上製	六〇	一二
婦女日記	中形上製	七〇	一二
◇婦人之友社◇			
家庭日記	中形上製	八〇	一三
小學生日記	中形厚表紙	四五	八
家計日記	中形厚表紙	五〇	八
家庭出納帳	中形厚表紙	五〇	八
○新掌中日記	袖珍上製	四五	二
○園藝日記	小形上製	八〇	八
主婦日記	四六判厚表紙	六〇	八
少年日記	四六判上製	五〇	六
少女日記	四六判上製	五〇	六
家計當座帳	四六半截布製	二〇	二
家計簿	菊判厚表紙	六〇	八
◇文運堂◇			
農業日誌	四六判洋布	八〇	一三
家庭婦人日誌	四六判洋布	七〇	八
實用日誌	袖珍革製	二〇	二

實用日誌（菊半截三五判）三〇 六
臺所勘定帳（四六判洋布）四〇 六
豫定日誌（袖珍判革）五〇 二

◇ライオン齒磨本舗◇

ライオン當用日記（中形洋布）八〇 一二
同 普及版（中形布製）五〇 一〇
同（小形洋布）五〇 八

◇福洋社◇

○育兒日記（四六判全革製）一〇・〇〇 二三
○同（四六判特製版）五・〇〇 二三
○同（四六判上製版）二・〇〇 一四

◇第一書房◇

自由日記（菊判新型革製）三・〇〇 一八
○手帳日記（三四判革製）五〇 二

◇日本評論社◇

甲種新日記（日附入四六判布）一・〇〇 一二
乙種新日記（日附無四六判洋布）一・〇〇 一二

◇春秋社◇

俳人日記（菊半截布）一・二〇 八
軍隊日記（菊半截布製）七〇 六

◇寶文館◇

その日その日（四六判布製）八〇 一〇
令女日記（四六判布製）八〇 一〇

◇希望社◇

心の日記（四六判洋布）八〇 一三
同（四六判上製）五〇 四

◇研究社◇

英文自由日記（四六判革製）六〇 一〇
新英文日記（三五判革製）八〇 六

◇三省堂◇

ポケット日記（袖珍判革）四〇 二
○當用日記（四六判布製）一・二〇 一〇

◇雄山閣◇

書道日記（四六倍判洋布）一・二〇 一〇
○同 書道日記（菊判洋布）一・〇〇 一四

◇富文館◇

備忘日記（菊半截布）五〇 一〇
自治日記（四六判布製）五〇 八

◇建設社◇

自由日記 建設社日記（菊判布製）一・〇〇 一四
○詩歌手帳（寸珍判布製）三〇 四

◇至誠堂◇

自由日記（四六判洋布）八五 一〇

◇新潮社◇

新文藝日記（新四六判布製）六〇 一〇

◇紅玉堂◇

短歌日記（四六判布製）一・二〇 八

◇立命館◇

○新短歌日記（四六判洋布）一・二〇 一〇

◇弘文社◇

ニコ〳〵日記（四六判洋布）一・二〇 一〇

◇柳沼書店◇

クリスチャン・ダイアリー（菊半截）九〇 六

◇日用書房◇

五ヶ年當用日記（四六倍判洋布）二・五〇 三三

◇オーム社◇

○電氣家日記（袖珍革製）九〇 二

◇富民協會◇

新農家日記（四六判並布）八〇 一四

◇味の素本舗◇

新家庭日記（四六判布製）八〇 一二

◇國民中學會◇

學生日記（三五判洋製）九〇 六

◇文藝春秋社◇

文藝自由日記（菊半截布製）五五 一〇

◇朝日新聞社◇

少年少女アサヒ日記（四六判上製）五〇 八

◇主婦之友社◇

家計簿（菊判並製）六〇 六

◇泰東閣書房◇

○最新家計簿（菊判上製）五〇 六

◇大學日記出版社◇

○大學自由日記（四六判洋布）一・〇〇 一二

◇近江セールズ會社◇

○メンソレー日記（四六判並製）二〇 一四

◇共益商社◇

○音樂日記（四六判洋布）五〇 八

◇野ばら社◇

生立の記錄（菊判布）一・五〇 一八

◇日本女子商業學校◇

家計簿（大判上製）一・一〇 一二

◇素人社◇

○俳句自由日記（菊半截洋布）七〇 六

◇婦女界社◇

○家計簿（菊判並製）四〇 九

◇新橋堂◇

卓上備忘暦（一號A新型上製）九〇 一〇
同（一號B）八〇 一〇
同（二號B）六〇 一〇
同（新型A）七五 一〇
同（新型B）七五 一〇
同（新小型）四五 六
同（一號A別製）一・一〇 一四
同（一號B外）八〇 一一
同（新型A別製）一・一〇 一〇

◇改善社◇

當用日記（中形上製）五〇 一〇
同（中形）八〇 一〇
同（小形上製）三五 四
超當用日記（中形革）一・〇〇 一〇
○當用日記（大形上製）二・〇〇 一三
自由日記（中形上製）五〇 一〇
同（小形）三五 四
超自由日記（中形革）二・〇〇 一〇
中學生日記（中形上製）五〇 八

學生日記	(中形上製)	五〇	八
○淑女日記	(中形上製)	五〇	八
趣味の日記	(菊半戰上製)	五〇	八
○軍隊日記	(菊半戰上製)	三五	六
○自由日記	(大形上製)	九〇	一〇
○豆當用日記	(袖珍上製)	二五	四
○豆自由日記	(袖珍上製)	二五	四

◇積善館◇

當用日記	(中形上製A)	八〇	一〇
同	(中形上製B)	八〇	一〇
同	(中形特製)	一・一〇	一二
同	(中形革製)	二・〇〇	一二
同	(小形上製)	七〇	八
同	(小形特製)	九〇	八
同	(大形上製)	一・二〇	一八
同	(大形特製)	一・六〇	一八
同	(新形上製A)	七〇	六
同	(新形上製B)	七〇	六
同	(菊半戰布製)	四五	六
新當用日記	(小四六洋布A)	六〇	八
○同	(小四六洋布B)	六〇	八
横線當用日記	(四六判上製)	九〇	一〇
同	(四六判特製)	一・三〇	一〇
新式當用日記	(新形上製)	九〇	一〇
同	(新形特製)	一・五〇	六
懷中日記	(四六半戰上製)	二五	二
同	(四六半戰特製)	三五	二
同	(細長形新形A)	四〇	二
同	(細長形新形B)	四〇	二
同	(細長形紳士用)	六五	二
實式懷中日記	(袖珍上製A)	三五	二
同	(袖珍上製B)	三五	二
同	(袖珍特製)	五五	二
實用ポケット日記	(三五判上製)	六五	四
同	(三五判上製)	一・〇〇	四
○ポケット當用日記	(四六半戰)	五〇	四
隨筆日記	(四六判上製A)	七五	一〇
同	(四六判上製B)	七五	一〇
同	(四六判特製)	一・〇〇	一二
文藝日記	(四六判上製)	九〇	一〇
小學生日記	(四六判上製)	三五	六
婦人日記	(四六判上製A)	八〇	一〇
同	(四六判上製B)	八〇	一〇
徒然日記	(菊半戰布製)	六〇	六
新式實用家計簿	(菊判横罫)	八〇	八
同	(菊判縱罫)	八〇	八
○新家政簿	(菊判背洋布)	五〇	八
卓上日記	(函入上製)	一・〇〇	一四

同潤會 住宅課長 法學士 細木盛枝先生著

家作を貸す秘訣

新刊發賣!! 全く驚く、いくら製本しても千、二千、三千と毎日全能力を擧げて製本しても、すぐ賣り切れとなる、この熱狂的の大歡迎は何を語るか???

正に家主の受難時代である!! 空家が多い、たまに貸せば家賃が滯る。或は引越料まで請求せられる。法律の裁きに訴へても六七ヶ月の日子を要し、且つ多額の費用がかゝる。

大衆運動は尖鋭化し、借家人組合の攻勢は益々力強く 眞に家主の受難時代である。本書は著者多年の經驗に基いて、貸家經營の大道を說けるもの、在來の法律解說書にあらず、眞に家作主秘寶の虎の卷である。家作主諸君、一讀實行而してこの難局を打開せられんことを希望す。

藏前工務所長 石津三次郎先生述

六大都市 建築手續早わかり

好評卅八版出來 定價金七拾五錢 送料六錢

四六判最上製函入全一冊

定價 貳圓五拾錢 (送料廿二錢)

發行所 東京神田表神保町 文理書院 振東京一三九三六 電神田一五二〇

新刊・重版書目一覽・

東京神田表神保町二
振替東京一三九三六番
電話神田一五〇四六二番

田口書店

用器畫の講義と其原理	白根津千治 齊川吾朗	菊判上製 二五〇頁	函入	完	二・五〇
受驗 代數學精要	小田信夫	四六判假製 特價各一・二〇 上下二冊完			
受驗 代數學問題集成	初等數學研究會	四六判 假製	完		二・六五
代數學問題類集	文理書院編輯局	四六判 假製	完		二・五〇
幾何學問題類集	同	同			二・三〇
受驗 幾何學問題集成	初等數學研究會	四六判 假製	完		一・五〇
詳解 漢和大辭林	久保天隨	小型特製 二〇四〇頁 函入	總皮特製 背皮特製 二〇四〇	完	四・〇〇
國語書取と文法正誤法	岩井良雄	四六判上製 全一冊完			一・七〇
近世國文の解釋	津波古充計	菊判上製 全一冊完			二・三〇
玉かつま・鈴屋集新釋	同	同			二・五〇
方丈記新釋	久永祐藏	同			一・三〇
作文の原理	平田義雄	四六判假製 全一冊完			一・五〇
女子作文の作り方	同	四六判上製 全一冊完			一・六五
クレープペーパー 造花の仕方	小出春江 山本千惠	菊判上製 函入	完		一・五〇
美しい毛絲の編物	東京編物研究會	菊判假製 函入	完		一・八〇
新型毛絲の編物	永田信枝 阿久津武子	同			一・八〇
あらゆる種類の願屆書式大全	林儀一郎	四六判上製 函入	完		一・五〇
信託會社實務	戸澤芳樹	菊判上製 函入	完		二・八〇
銀行貸出業務	青木萃一	同			二・五〇
本邦銀行金融變動史	岡田純夫	同			二・〇〇
實踐 原價計算	宇野信三	同			二・五〇
日本アルプス山案内	登山家 高頭仁兵衛 平野秀吉	菊判上製 函入	完		二・五〇

六四六

◇東京帝國大學文學部教授 文學博士 加藤玄智 先生 校閱 田井嘉藤次先生新著◇

詳解 古事記新考

◇◇◇◇

古書記の研究に・記傳・史傳・史徵・道別・言別等の古書を要せぬ樣に又日本書紀との比較研究を盡した特色のあるのが本書であり且つ原始宗教神話歷史文學風俗民族考古傳說及原始哲學國體國家學等の方面より新考新釋を加へたのも亦本書である。加藤玄智博士亦其研究の結晶。學的興味の無量を證されてゐる。日本最古の古典の眞性質を窮め古事記文學及古事記思想の新釋を極めんと欲するの士は一本を手にする事を忘つてはならぬ。內容敍述の方法は・標釋・釋義(各段各節)・補釋・考・並に儒後の考を加へて各四分法に依つて解釋し尙詳細なる系圖珍らしき寫眞を口繪に挿入したものである。日本の神祇文學は是に於て明かとなつた。

◇◇◇◇

全部完成

(上卷 菊判最上製 四百五拾頁 金三圓六拾錢 送料金廿二錢)
(中卷 菊判最上製 四百七拾頁 金三圓五拾錢 送料金廿二錢)
(下卷 菊判最上製 約四百頁 金三圓五拾錢 送料金廿二錢)

◇◇◇◇

◇神谷敏夫氏新著◇

最新 日本著作者辭典

◇◇◇

(本邦文藝學術界の寶塔)
(內容は六號活字三段組)

現代ほど文藝學術の普遍化した時代はない。今や其理解は文化人必須の素養として本質的に要求されてゐる。此時に當り江湖の翹望に添はんとして華々しく生れ出たのが本書である。本書は我國古今の代表的文學者作家學者の傳記に加へて特に其作風學風特別研究著作に就て懇切に解說したもので實に本邦文藝學術根基の一大集成と云はねばならぬ。其收錄範圍は中等教科書に現れた文の作者國文學史國語學史文化史等より之れを選び尙現代一流學者現文壇人及一般作者をも網羅したものである。各學校圖書館文學愛好者小中學校教師學生文檢受驗者學究者諸賢必備の快著敢て一本を座右にすゝむ。

(菊判最上製美本 紙數三百五拾頁 正價金貳圓八拾錢 送料金廿二錢)

◇◇◇◇

發行所 東京市神田區貳丁目一番地 東京振替貯金口座一三九三六番 大同館 東京堂 特約

良書の採擇は勉學の第一歩

好評嘖々たる名著敢て誇る……この内容とこの廉價

IBS 果然！學生界風靡セル名著輝キ!!!

法學通論所究	助教授	松一治	¥1.50	〒 8	
成ひ立研究	松一治		¥ .90	〒 6	
狙ひ研究	松一治		¥ .80	〒 6	
狙ひ何研究	松一治		¥ .30	〒 2	
構文譯讀本	編輯		¥ .30	〒 2	
和譯英文	雄雄		¥3.50	〒16	
英文和譯	雄雄		¥2.80	〒14	
單語・熟語・慣用法	次郎		¥1.20	〒 8	
代數學	親清		¥ .50	〒 4	
平面幾何學	總清		¥2.00	〒12	
解析幾何學	忠芳		¥1.80	〒10	
公式と圖形の利用	忠芳		¥1.40	〒 8	
物理學精義	延年		¥1.50	〒 8	
化學計算	貞二		¥2.30	〒12	
日本地理精義	貞二		¥1.50	〒 6	
世界地理精義	總良		¥1.40	〒 8	
日本歷史精義	總良		¥1.20	〒 8	
記述文解釋	金田一		¥1.20	〒 8	
遺文解釋	京助		¥1.20	〒 8	
文要解釋	京助		¥1.00	〒 6	
詳解國文の釋義	京助		¥1.00	〒 6	
詳解國文の釋義	京助		¥1.00	〒 6	
詳解國文の釋義	京助		¥1.20	〒 6	
詳解國文の釋義	京助		¥1.50	〒10	
詳解國文の釋義	京助		¥1.50	〒10	
詳解國文の釋義	京助		¥1.50	〒 8	
詳解國文の釋義	京助		¥1.50	〒 8	

東京市麹町區飯田町六丁目 健文社 振替東京44864番 總進呈

六四八

KEMBUNSHA'S LECTURE SERIES

百花爛漫たる英文學の花園！

ベネット原著	富田彬譯註	文學趣味の養成法	送價一・五〇
ディケンズ原著	鶴谷正雄譯註	クリスマス・カロル講義	送價一・八〇
ハーディ原著	濱林生之助譯註	短篇選集講義	送價二・〇〇
ポー原著	鷲河憲吉譯註	黄金虫講義	送價一・五〇
ラスキン原著	富田彬譯註	胡麻と百合講義	送價一・六〇
スティーヴンスン原著	宮田彬一譯註	寶島講義	送價二・一〇
ハーマートン原著	山本供平譯註	インテレクチュアル・ライフ講義	送價一・八〇
ラム原著	鶴谷正雄譯註	エリア隨筆講義	送價二・二〇
スティーヴンスン原著	鷲河憲吉譯註	自殺倶樂部講義	送價一・八〇
スティーヴンスン原著	鷲澤與惣譯註	ヴーヂニバス・ピュアリスクキー講義	送價二・二〇
スティーヴンスン原著	勝田孝則譯註	ドクタ・ヂーキル講義	送價一・五〇
ヂョージェリオット原著	宮田彬一譯註	サイラス・マーナ講義	送價二・八〇

KEMBUNSHA'S ENGLISH SERIES

濱林生之助監修 英語普及會編

學生英文學選

新四六型ボブリン洋裝 各冊定價八拾錢 〒六錢

フィフティ・フェイマス・ストーリズ講義
サーティ・フェイマス・ストーリズ講義
バイオグラフィカル・ストーリズ講義
ラウンド・ザ・ワールドヴィズ・ファーザ講義
イソップ物語講義
ロビンスン・クルーソウ講義
グリムズフェアリテイルズ講義
アラビアン・ナイツ物語講義
ストーリズフロム アラビアンナイツ講義

濱林生之助譯註

近代英文學叢書

對譯脚註 全十篇 各冊・四六判上製 定價八拾錢・送料二百餘頁

東京番四六六八口座 振替四四 健文社 東京市麹町區飯田町六丁目

六四九

英語・英文學界喝望の書出づ!!

最新刊　文部省督學官　金子健二先生著

英語發達史

◇菊判上製・函入・八五〇頁　定價金七圓・送料廿四錢◇
本書は英語學の史的研究の嚆矢にして著者が十有餘年の研究に成れる一大文献的名著である。本書の上梓は必ずや英語英文學界の光明たるべし。

文部省督學官　金子健二先生譯註

ローマ七賢物語　四六判特製函入　¥3.50　〒.12

英吉利中世詩。その起源の比較的古いのと東洋趣味の濃厚なのとを以て中世物語詩中隨一の佳作と稱せらる。

文部省督學官　金子健二先生譯註

英吉利中世紀　**物語詩集**　四六判特製函入　¥2.50　〒.14

悲しき戀の絆に泣く「フローリスとブランチフローア」の戀物語。……「戀に上下の區別なし」を地で行つた「賤しき楯持物語」の二篇を收む。

小樽高商教授　濱林生之助先生著

英國文學巡禮　四六判特製函入　¥2.50　〒.14

著者が滯英中に英國の鄕土文學を訪ねて歩いた旅行の思ひ出を回顧しながら綴つた名文章、文學、英文學愛好者の見逃せぬ好著。

立教大學教授　富田彬先生著

近代英文學雜考　菊判特製函入　¥2.30　〒.18

我國英文學界に於て各作家の綜合的個人研究の嚆矢！藝術に對する溢るゝ許りの理解と關心とを持てる內容に接せられよ！

燦然たり英文學の精髓!!

東京市麴町區飯田町六丁目　**健文社**　振替口座東京四四八六四番

好評嘖々！趣味と修養の寵兒!!

遊佐大佐閲　飯村大尉著　**馬術**　四六判特製504頁　寫眞挿圖百葉　定價 3.00　送料.14

始めて乘る人の入門書。騎乘家にとつては絕好の研究書だ。馬術の全般に亘つて極めて平易に解說した好參好書である。

浦上榮閲　竹內尉著　**弓道**　四六判特製450頁　寫眞挿圖百葉　定價 2.00　送料.12

武德會試驗答案集　弓道の秘傳は一々鮮明な寫眞挿圖と懇切な說明によつてあます所なし愛好家の師友として敢て薦む

池田博著　**山へ溪谷へ**　四六判總布製・468頁　寫眞挿圖60餘葉　定價 2.20　送料.12

南、北、中央アルプス、登山者の憧れの山と溪谷を紹介し正確な行程、時間、費用等を知らして親切な案內をして吳れる。もし又書中幾十の興味津々たる山のエピソード傳說を讀むならば、山小屋に焚火を圍つて語るが如く思はずして感激を覺えしめる。**これこそ日本アルプスの展望臺だ！**

全國山岳會推薦　太田行藏著　**登山**　四六判特製314頁　寫眞挿圖百葉　定價 1.80　送料.08

登山界に一大センセイションを卷起した名著。山へ行く者も山へやる者も是非一本を手にせられよ。

太田行藏著　**憧れのキヤンピング**　四六判特製250頁・寫眞三十葉　定價 1.50　送料.08

キヤンピングに必要な事項を網羅し、スポーツ書としての使命を果してゐることは勿論であるが本書の面目は生活批評精神に燃ゑてゐる點にある。

後藤新平伯題字・原田英夫著　**泰西の格言と俚諺**　三六判特製函入　定價 1.50　送料.08

人格涵養の指針！先哲偉人の叫び！昭和の聖書たり論語としての修養書。

東京市麴町區飯田町六丁目　**健文社**　振替口座東京四四八六四番

著者	書名	定價	送料
加賀谷著	英文和譯の公式	四〇	一二
同	英文和譯の公式	四〇	一二
山川著	全國の單語と熟語英文問題解釋	四〇	一二
同	英語最重要熟語カード	四〇	一二
同	英語最重要單語五千の解釋	四〇	一二
同	英語單語と成句の學び方	一三〇	一二
同	自修英作文の學び方（初級上級用）	一三〇	一二
同	自習英語初步英作文の學び方	一三〇	一二
同	自習英語初步英文法の學び方	一三〇	一二
同	英語最重要熟語解釋一千題	四〇	一二
同	全國の單語と熟語英語問題解釋カード	四〇	一二
同	英文和譯の公式	四〇	一二
同	英文和譯の公式	四〇	一二
同	漢文重讀國文要解摘解	一五〇	一二
同	漢文重讀國文要單と必須語及修辭及文例と成句所例指精解	一六〇	一二
同	漢文公式單語と問題正解詳解	一六〇	一二
渡邊共著	國漢文重要單語と必須語及修辭及文例と成句所例指精解	一六〇	一二
同	物理學最重要と着眼點	一三〇	一二
同	化學講義と着眼點	一三〇	一二
同	化學の新講義と着眼點	一三〇	一二
同	物理學公式と問題解法	一五〇	一二
同	代數學の公式と問題解法	一四〇	一二
同	物理學公式と問題解法	一五〇	一二
同	代數の公式と基本義と問題解法	一五〇	一二
同	代數の公式と基本義と問題解法	一五〇	一二
同	全國高等學校入學受驗詳細一覽表	一五〇	一二
平長雄著	英文和譯の公式	四〇	一二
野澤伊平著	新國文法	一三〇	一二
同	全國高等學校入學受驗詳細一覽表	一五〇	一二
白井光太郎著	代數學の公式と基本義と問題解法	一五〇	一二
同	代數の公式と基本義と問題解法	一五〇	一二
佐々木著	物理學代數の公式と講義と問題解法	一四〇	一二
同	化學公式と講義と問題解法	一五〇	一二
同	物理學最重要と着眼點	一三〇	一二
同	化學講義と着眼點	一三〇	一二
渡邊共著	物理學最重要と着眼點	一三〇	一二
同	國漢文公式單語と問題正解詳解	一六〇	一二
同	漢文重讀國文要單と必須語及修辭及文例と成句所例指精解摘解	一五〇	一二
森田著	漢文重讀國文要解摘解	一五〇	一二
同	國文の講義及修辭及文例と成句所例指精解	一六〇	一二
橋本齋藤著	國文の講義及修辭及文例と成句所例指精解	一六〇	一二

東京市神田區通新町二十一番地
振替東京一一一一八番
電話神田一一一一八番

東京 龍昇堂 書店

區田神市京東
二十一町通錦ツ一

番五四四三段九話電振
番一三七六京東替振
（全運代無錄口入本見容內）

東京 岡本店

東京市神田區通新町廿一番地
六番地
振替東京一一一一八番
電話神田一一一一八番

著者	書名	定價	送料
根津千治 橘仁三郎	◆算術解法講義	一・七〇	一二
根津千治 藤森良藏	◆代數學解法講義	二・五〇	一二
根津千治 中島秀次郎	◆平面幾何學解法講義	一・七〇	一二
根津千治 庄野小八郎	◆立體幾何學解法講義	一・三〇	一二
根津千治 松村定次郎 中島秀次郎	◆三角法解法講義	一・五〇	一二
中島宗治	◎代數準備の新研究（最近の試驗に必ず出る幾何學計算問題の解法）	一・六〇	一二
橘仁三郎	◎徹底的に實力を養成する幾何學解法の研究	一・一〇	一二
根津千治	◆因數分解	一・四〇	一二
同	◆軌跡	一・四〇	一二
根津千治 秋山武太郎	◎學びなくしてよく出る代數の研究編	一・一〇	一二
同	◎學びなくしてよく出る代數の研究續編	一・六〇	一二
秋山武太郎	◎增補改版わかる幾何學上卷	一・四〇	一二
同	◎增補改版わかる幾何學下卷	一・〇〇	一二
同	◎增補改版わかる幾何學（合本）	一・五〇	一二
同	◎增補改版わかる幾何學立體編	一・五〇	一二
秋山武太郎	◎增補改版わかる三角法	一・三〇	一二
根津千治	◆數學要項	一・五〇	一二
秋山武太郎	●幾何學つれづれ草	一・五〇	一二
同	◎解析幾何講義	一・五〇	一二
同	◎微分積分早わかり	一・五〇	一二
山崎榮作	●高等平面三角法	一・五〇	一二
鈴木一郎	●高等數學十講	一・六〇	一二
北村友圭	●確率及最小自乘法	一・八〇	一二
同	●實用高等數學綱要	一・八〇	一二
根津千治	●初等微分方程式附變分學	一・一〇	一二
河野德助	◎微分積分の講義	一・七〇	一二
同	●代數的解析論	一・五〇	一二
田村明一	●最近微分積分學精義	一・五〇	一二
高垣雷太郎	◎高等化學計算法	一・五〇	一二
藤原龍市	●實驗物理學講義	一・五〇	一二
同	◎新制わかる物理學	一・一〇	一二
同	◎最新わかる東洋歷史	一・一〇	一二
同	◎最新わかる西洋歷史	一・五〇	一二
坂井新五郎	◎受驗と參考對照最新わかる外國地理	一・八〇	一二
同	◎初步英語學び方極意	一・五〇	一二

羽仁もと子著作集

◆全十六巻内容◆　壹冊十四圓五十錢　壹全卷

第一巻　人間篇
第二巻　思想しつゝ生活しつゝ（上）
第三巻　思想しつゝ生活しつゝ（中）
第四巻　思想しつゝ生活しつゝ（下）
第五巻　惱める友のために（上）
第六巻　惱める友のために（中）
第七巻　惱める友のために（下）
第八巻　夫婦論附静子の巻花子の巻
第九巻　家事計篇
第十巻　家庭教育篇（上）
第十一巻　家庭教育篇（下）
第十二巻　子供讀本
第十三巻　若き姉妹に寄する
第十四巻　半生を語る篇
第十五巻　信仰の心
第十六巻　みどりご

婦人子供洋服裁縫大講習錄

（特典　實物見本無料　習講料）　◆全六巻◆　壹全卷　壹九冊　圓四十錢

植村全集

◆全八巻◆　壹冊　貳圓　全卷十四圓五十錢

1	人間篇	31	設教篇上
2	思想しつゝ生活しつゝ（上）	42	設教篇下
3	思想しつゝ生活しつゝ（中）	5	教會篇
4	思想しつゝ生活しつゝ（下）	6	信仰の生活篇
5	惱める友のために（上）	7	人物篇文學篇
6	惱める友のために（中）	8	小品篇索引
7	惱める友のために（下）		

□趣味と實用の日本料理　定價一・〇〇
□素人に出來る支那料理　定價一・〇〇
□家庭で出來る和洋菓子　定價一・〇〇
□家庭向きフランス料理　定價一・〇〇
□四季の家庭料理　定價一・〇〇
□赤坊用あみもの　定價一・〇〇
□フランス式造花とマクラメ　定價一・〇〇

東京雜司ヶ谷　婦人之友社　振替東京壹六〇〇番　電話大塚三七一八番

著名大六の評定

川合式強健術	日本主義の哲學	生活指導 學校經營の實際	高調すべき 國本教育	四大詔勅釋義	ガンヂイさんの絲車
川合式強健術創始者	早稻田大學國學院大學教授	靜岡縣女子師範第二附屬千代田小學校編纂	文學博士	文學博士	文部省督學官
肥田春充著	松永材著		野田義夫序 中野八十八著	深作安文序 國民教育振興會編	金子健二著
三六判寫眞挿入五十頁 定價二・五〇 送料一〇	キク判上製五百五〇頁 定價三・〇〇 送料一八	キク判上製二百頁餘 定價一・四〇 送料一〇	キク判上製三百六十頁 定價二・五〇 送料一八	キク判美裝八十頁 定價〇・三〇 送料〇四	四六判二百廿頁寫眞五十種挿入 定價一・三〇 送料一〇

東京市神田區神保町一ノ六　振替東京一七五三番　電話京橋三九一四番　尚文堂發行

考へ方叢書

◆中等學校受驗準備諸君の爲めに◆

			價	送
藤森良藏	中等學校受驗準備	算術學び方考へ方と解き方	一・三〇	・〇六

◆中學初年級生諸君の爲めに◆

藤森良藏	增訂新版	代數初步學び方考へ方と解き方講義	一・一〇	・〇六
藤森良藏		幾何初步學び方考へ方と解き方講義	一・〇〇	・〇六
塚本哲三		漢文初步學び方考へ方と解き方講義	一・〇〇	・〇六
塚本哲三		國文初步學び方考へ方と解き方講義	一・〇〇	・〇六

◆中學上級生並に受驗生諸君の爲に◆

藤森良藏	三訂改版	代數學び方考へ方と解き方 上卷	一・一〇	・〇八
藤森良藏	三訂改版	代數學び方考へ方と解き方 下卷	・九〇	・〇六
藤森良藏	三訂新版	幾何學び方考へ方と解き方 正編	一・二〇	・〇八
藤森良藏	訂正	幾何學び方考へ方と解き方續編	・九〇	・〇六
藤森良藏	訂正	三角法學び方考へ方と解き方	一・〇〇	・〇六
藤森良藏		カード式代數學び方考へ方と解き方 第一卷	一・〇〇	・〇八
藤森良藏		カード式代數學び方考へ方と解き方 第二卷	・八〇	・〇八
藤森良藏		カード式代數學び方考へ方と解き方 第三卷	・八〇	・〇八
塚本哲三	三訂新版	漢文學び方考へ方と解き方	一・三〇	・〇八
塚本哲二	三訂新版	國文學び方考へ方と解き方	一・三〇	・〇八
塚本哲三	改訂新版	作文學び方考へ方と作り方	一・三〇	・〇八
野原三郎		英語學び方考へ方と解き方	一・三〇	・〇八
野原三郎		英語基本單語集	一・〇〇	・〇六
野原三郎		英語問題撰集	・三四〇	
宮坂三重		物理計算法學び方考へ方ト解キ方	一・〇〇	・〇〇
近藤晉三郎	改訂增補	物理學學び方考へ方と解き方講義	一・一五	・〇八
近藤晉三郎	增補	化學學び方考へ方と解き方講義	一・三〇	・〇六
近藤晉三郎		化學計算法學び方考へ方と解き方講義	・五〇	・〇四
下泉重吉		動物學學び方考へ方と解き方	一・三〇	・〇六
植松七九郎		カード式英文和譯學び方考へ方と解き方	・八〇	・〇八
塚本哲三	カード式	書取及文法學び方考へ方と解き方	・八〇	・〇八
平川仲五郎等		初解析幾何及ぐらふ學び方考へ方解き方講義	一・六〇	・〇六
藤森良藏		數學問題練習カード	・五〇	・八〇
塚本哲三		國語漢文問題練習カード	・五〇	・八〇
藤森良藏		受驗者の取るべき道	一・三〇	・六〇
尾澤金衛	高等學校專門學校	寮歌集（樂譜付）	・六〇	・六〇
今井登志喜 今井克彥		西洋歷史學び方考へ方と解き方	一・五〇	・八〇

東京市神田區一ツ橋通り二丁目一番地
振替口座東京三六六一〇番
考へ方研究社

斷然壓卷の二大新著

明治會講師 星野武男氏著

明治天皇御製新講

本書は明治天皇の御製を現代生活の實踐原理として宣傳するものであり、著者の熱と信とその力とは從來ありふれた御製謹解の類とは全然趣を異にしてゐる。我等は日本をおいて何處に世界ありや。日本の更生は世界の復活である。明治天皇によつて日本及日本國民性を學ばんとするものは此の二書を繙かれよ。汲んで盡きざる無限の內容は著者が多年の研鑽に由つて玆に新しく現代人に呼びかける。

本書全集の特色十大

一、聖影聖筆をコロタイプ版にて卷頭に奉揭す。
二、敢むる御製宮內省本より多きこと五百餘首。
三、從來の誤り傳へられたる御製を正し嚴査精究す。
四、編纂法の最も新らしく至便なること。
五、求むる處の御製を直に拜誦し得ること。
六、物名稱呼を一々歌章の上に別記したること。
七、便利なる索引卅餘頁を附したこと。
八、御製を通じて日本の國體を鮮明すべく注意類纂されたること。
九、本文五號活字五百一頁として誰人にも愛誦し易きこと。
十、約六百頁の堂々たる背皮上布表裝箱入金字の堅牢美本なること。

四六版總布特上美本
三百五十餘頁
定價金一圓五十錢
送料 金十錢

類纂 明治天皇御製全集

◆日本國民の是非必讀必備さるべき不朽の良書として推賞さる

巷間の類書と其撰を異にし、內容牧むる歌の嚴精と、その數の多くして然も整々類別して讀者の至便を旨としたる、眞に空前の一大御製集である。

定價金貳圓五拾錢 送料金十六錢

東京市小石川區江戸川町十八
交蘭社發行
振替口座東京四〇二七九番

＝目黑書店の四大雜誌＝

月刊

奈良女子高等師範附屬小學校學習研究會編輯

學習研究

一冊、四〇 稅 〇、一五
六冊二、八〇（稅共）（增刊號共）
一二冊五、六〇（稅共）（增刊號共）

年四回

東京帝國大學文學部教育學研究室編輯

教育思潮研究

會員募集。年五、五〇（稅共）
價各一、五〇 稅、一二

年四回

廣島文理科大學廣島高等師範學校精神科學會編

精神科學

各冊、八〇 送料各、〇六
會員年 三、〇〇（稅共）

月刊

東京高等師範學校大日本體育學會編輯

體育と競技

一冊、四〇 稅、〇一五
六冊二、四〇（稅共）
一二冊四、八〇（稅共）

圖書報知 **學泉** 贈呈

東京市神田區南甲賀町五 **目黑書店發行** 振替東京二八〇九

帆足理一郎個人雜誌

人生

每月一日發行
□價一冊十五錢
半年送料共九十錢
一年送料共一圓七十錢

人間は宇宙の極小一點、而も全宇宙にその思想的全景を展開し、情意的に之を把握しうる不思議な存在だ。我等は過去經驗の與材を詮じつめて、將來の理想を建て、理想を實現せんと努力する處に人生の價値を創造し、意味を生産する。今日この混亂溷濁せる我國の思想界において健全なる生活原理ほどその必要を痛感させるものはない。茲に私が個人雜誌を發刊せんとする趣旨はこの適切なる要求に應じて、私の人生觀を披瀝し、更に古今聖賢の人生理想を讀者に紹介せんがためだ。私は月々諸君に見えて、私の立場から自由に人生の諸問題を論述し、兼ねて社會の種々相を論評するであらう。幸にして讀書子の座右の友たるをえば、本誌の光榮この上もないことである。

帆足理一郎

帆足理一郎著譯目錄

宗教と人生	（三十版）	一・五〇・一〇
哲學と人生	（十七版）	一・五〇・一〇
社會と人生	（十版）	一・五〇・一〇
教育と人生	（六版）	一・五〇・一〇
死生と宗教	（十三版）	一・五〇・一〇
優越の世界へ	（五版）	一・五〇・一〇
精神生活の基調	（十一版）	一・五〇・一〇
人生詩人ブラウニング	（七版）	一・五〇・一〇
哲學概論	（四十二版）	二・五〇・一四
教育哲學概論	（十版）	三・〇〇・一四
教育改造論	（三版）	一・二〇・〇八
ミルトン失樂園 上卷	（三版）	三・〇〇・一四
同 下卷	（好評）	三・五〇・一六
ミルトン失樂園畫集（帆足解說）	（好評）	三・五〇・一四

東京・神田・北神保町 振替東京六六二七三
新生堂
電話九段 三八二二番

實業之日本
前編輯長 有本歡之助氏著

利殖と金儲の近道

最新刊

定價 壹圓五拾錢
送料拾貳錢 布製
函入 總頁四百頁

素人金儲虎の卷

永年の體驗から一讀何人も實行出來る株式、公債、社債、貯金、預金、信託、勸業債券の利殖法、金儲法を詳述したもの

目次一班

必ず儲かる東株……人を見て投資せよ……
四分利か五分利か……金再禁止で騰ふ株……
僅一株から三萬圓……債券を安く買ふ法……
割增金が月六七十圓……佛貨四分利國債で巨利……
株主がホク〳〵した話……所得稅免除の殖產債券……
よく當る債券はどれか……一年期限か六ヶ月期限か……
年三割以上に廻した經驗……最も利子の高い据置き貯金……
定期より有利な信託預金……郵便貯金を上手に預ける法……
ボロ株を買つて儲けた話……新發行の國債を安く買ふ法……
電力株で有利有望なもの……ボロ社債を買つて儲けた話……
廿三割の高配當で儲けた話……長期もの有利か短期もの有利か……
虎の子貯金を株にふつた話……此他數十百項目あり……

東京京橋銀座西一丁目
實業之日本社發行
振替東京參貳六番

六六〇

植物採集と標本製作法

增訂版

理學博士 本田正次 共著
東京帝國大學 久內清孝 共著
醫學部囑託

本書の眞價に就ては多言を要せず藻類、菌類、地衣類などの部は夫々の專門家が著者の爲めに先生を助けて分擔執筆され如何に本書の價値を高めたか蓋し今迄にない植物採集と標本製作法の良參考書として薦む。

四六判上製二〇二頁別刷銅版四二葉
組込圖版四六圖

定價 金一圓八十錢
送料內地十二錢 其他十八錢

昆蟲標本製作法

岸田久吉 中村倭 共著

農林省農事試驗場囑託 蝶類專攻家

四六判上製二一六頁挿圖一一九圖
口繪原色版八葉

定價 金一圓五十錢
送料十二錢

動植物の研究には何を措いても先づ實物をよく知らねばならぬ。實物をよく知るには實物を手にせねばならぬそれには死んだ標本を買求めるも惡くはないが生きて居るのを採集するのが一番よい、そうすれば形や色のみか、行動習性などまでわかつて重寶である。動物では何と云つても昆蟲が一番手近であり、又最も人の氣を惹き易い、その採集は何時何處で如何にすればよいか、後日の參考等のためにする標本の製作法は如何するか、それらを一切懇切に且つ要領よく說いたものは實に本書である。本書はその外に卷頭に珍しい本邦各地の代表的昆蟲七十種を八枚の天然色原色版で示してあつて之れだけでも他に類書がまれられない所であらう。

振替東京神田七九二〇 東京淡路町一七 綜合科學出版協會 圖書目錄進呈

六六一

東京市牛込區本村町四

ロゴス書院

振替口座東京一〇三九一

土田杏村著 農村問題の社會學的基礎 定一・二〇 送・〇八

九州帝大教授 今中次麿著 政治學に於ける方法二元論 定二・八〇 送・二二

東北大學教授 法學博士 石田文次郎著 ギールケの團體法論 定一・八〇 送・一二

早大教授 西村眞次著 日本古代社會 定三・二〇 送・二二

西村眞次著 文化移動論 定二・八〇 送・二二

文學士 笛木謙治著 新譯古事記 定二・〇〇 送・二二

尾瀬敬止譯 母性と社會 定一・二〇 送・一〇

今中次麿著 政治學要論（ロゴス叢書 第一編） 定・九五 送・〇八

井野邊茂雄著 明治維新史（ロゴス叢書 第二編） 定・九五 送・〇八

東北大學教授 新明正道著 群集社會學（ロゴス叢書 第三編） 定・九五 送・〇八

野村政夫著 鼻ののびた王樣（まさを童話集 第一輯） 定・八〇 送・〇六

野村政夫著 三つの壺（まさを童話集 第二輯） 定・八〇 送・〇六

北原白秋編 赤い鳥童謠集 定二・五〇 送・二二

醫學博士 安田德太郎著 藝術と精神分析 定一・八〇 送・一二

今井末夫譯 辨證法的唯物論と精神分析 定・八〇 送・〇六

山本宣治全集

普及版

各冊 平均四五〇頁

各冊 定價一圓

第一卷 戰爭の生物學 上卷

第二卷 戰爭の生物學 下卷

第三卷 性教育

第四卷 性と社會

第五卷 現代の兩性問題

第六卷 產兒調節論

第七卷 無產者生物學

第八卷 政治論文集

七年一月版

郷土に立脚せる家事及裁縫の実際化

菊版 七四〇頁の大冊 定價 金壹圓八十錢 送料十二錢

好評益嘖々

家事及裁縫科の施設經營

菊版 美本 五八一頁 定價 金壹圓五十錢 送料四錢

教壇の寶典

裁縫の創作的學習

菊版 美本 四三〇頁 定價 金壹圓八十錢 送料十錢

東京市牛込區矢來町二十二番地

家事及裁縫社

電話牛込一三四二番 振替東京七二三八二

警視廳衛生部 古川恭衛門先生著

やさしく くわしい

各府縣

美容術受驗提要

（附 各府縣試驗問題詳解）

菊判函入 三〇四頁 定價一圓八十錢 送料十錢

新版出で、愈々好評の的となる。
四百有餘の重要問題通解を見よ！
鮮麗なる挿入寫眞版の偉容！

本書は生理、衛生、解剖より美容材料、法規等に至るまで詳細懇切に説明して如何なる初學者にも解るやう一々振假名を付け難解な所は特に詳く説明してある。又出さうな問題四百餘種に模範解答をつけ尚最近までの各府縣の試驗問題は全部集めたのみならず、諸種の手續等必要なものはことごとく集めてある。本書によつて受驗者は初めて何等の不安もなく合格の榮を得られるであらう。敢て美容術受驗者必勝の虎の卷として本書を推奬す。

東京日日新聞副主幹 島崎新太郎著

南洋へ！（蠻島を踏破して）

四六判美裝・三三三頁・寫眞版十六葉・定價一圓五十錢・送料十錢

南洋の產業に就ても、風土に就ても、生活に就ても我々は餘りに知らなさすぎる。將來吾々の開發を待つ無限の富が如何に豐富なるか、現在邦人の活躍がどの程度まで進んでゐるであらうか。或はこの島々に傳ふる千古の奇習怪俗は如何。著者は身命を賭して實地に踏查研究して本書一卷を成した。堀切拓務次官は「昭和青年好箇の讀物」として本書を推奬し、東京日日新聞は「植民地案內」としてのみでなく、興味津々たる實話風俗誌」として激賞してゐる。南洋に志を有すると否とはかゝはらず敢て一讀を祈る。

マルセル・パニヨル著
東日巴里特派員 永戸俊雄
讀賣巴里特派員 松尾邦之助 共譯

トパース

四六判・二八〇頁・定價一圓・送料八錢

小學教員トパーズの純眞なる魂は、校長の娘であり、且つ同僚であるフラッパーの女教員の爲に如何に苦しめられたか。社長の思ひ者、美貌の夫人は如何に彼の純情を惱ましたか。金と戀と純眞なる魂の爭鬪、これは永遠に新なる人生の問題であります。「トパーズ」劇はフランスに於て二ケ年間引き續き上演のレコードを作つたのみならず、世界各國に於て上演飜譯せられ、我國に於ても築地小劇場及び帝國劇場に於て湧くが如き好評を博したものであります。譯者の麗筆が又遺憾なく原著の眞價を傳へたことも又發表の誇りとするところであります。

東京市本郷區千駄木町三一 新時代社 振替東京九四二八番

書畫愛好家無二の至寶

文學博士 狩野亨吉先生
岩上方外先生 共編

書畫落款印譜大全

背皮・天金・函入
入念美本・用紙上質
印刷鮮明

△第一輯 明治以前（鳥羽僧正以來、明治維新の諸名家に至るまで、七百年間の總印譜を網羅す） 定價十二圓 送料五十六錢

△第二輯 維新以後（維新以後、明治、大正、昭和に至る故人となつた、諸名家一切を集む） 定價十二圓 送料五十六錢

狩野博士と岩上先生は現存せる美術鑑賞界の二巨頭である。その該博なる造詣と的確なる鑑識力は、如何なる書畫と雖も眞贋を斷定して未だ嘗つて誤つた事が無い、その二巨人が苦心努力前後十年の歲月を勞し、三萬圓の寫眞費用を費して、古今の畫家、儒者名家の印影壹萬數千と、落款を蒐集して全部眞物と厘毫の差もない精確の寫眞印刷となし爰に鑑定上の標準となるべき印大全を完成せしめたのである、されば本書を座右に備ふれば 如何なる書畫も直ちに眞贋を觀破し得るであらう。

發行所 東京芝南佐久間町二丁目 振替東京三四〇六〇番 武俠社

學習指導書

東京高師教官廿數氏筆執

尋常科

全十九冊　定價　四十五圓　送料　二圓

第一學期用（上卷）

	定價	送料
第一學年	一・七〇	・一五
第二學年	一・八〇	・二一
第三學年	二・〇〇	・二一
第四學年	二・五〇	・二一
第五學年	三・八〇	・二一
第六學年	三・八〇	・二一

第二學期用（中卷）

第一學年	一・八〇	・二一
第二學年	二・〇〇	・二一
第三學年	二・二〇	・二一
第四學年	二・七〇	・二一
第五學年	三・八〇	・二一
第六學年	三・八〇	・二一

第三學期用（下卷）

第一學年	一・三〇	・一五
第二學年	一・五〇	・一五
第三學年	一・五〇	・一五
第四學年	一・八〇	・二一
第五學年	二・〇〇	・二一
第六學年	二・〇〇	・二一
裁縫全學年	二・〇〇	・二一

高等科

全八冊　定價　三十六圓　送料　一圓卅錢

第一學期用（上卷）

	定價	送料
第一學年	五・二〇	・三三
第二學年	五・三〇	・三三

第二學期用（中卷）

第一學年	五・六〇	・三三
第二學年	五・七〇	・三三

第三學期用（下卷）

第一學年	四・六〇	・二一
第二學年	四・六〇	・二一
家事全學年	二・四〇	・二一
裁縫全學年	二・六〇	・二一

明日の指導に「スグ」役立つ本書である！

學期學年別分賣自由

ぜひお備へ下さい

東京銀座・振替東京一三番

帝國地方行政學會

一流專門大家の名著提供

第四高校教授 鴻巣 盛廣著	慶應大學教授 柏谷 眞洋著	文學博士 大瀬甚太郎著	東洋大學教授 關 寛之著	神宮皇學館教授 鈴木 友吉著	鳥取高農教授 井森 陸平著	唐手術師範 富名腰義珍著	使命社主幹 村田 太平著	藥草專攻理學士 松島 種美著
萬葉集全釋	柏谷獨逸自修文典	改訂 教育的心理學	玩具と子供の教育	我が國體と國民精神	プロ解放思想批判	唐手術	太陽人主義	藥草藥木速治療法
第一冊（卷一・卷二） 第二冊（卷三・卷四・卷五・卷六・卷七・卷八）								
菊判布裝函入 各冊金六・三〇 送〇・二二	中判布裝函入 金一・五〇 送〇・一二	菊判布裝函入 金五・八〇 送〇・二四	中判洋綴函入 金一・八〇 送一・二〇	中判布裝函入 金・二三 送〇・一二	中判洋綴美本 金〇〇・九〇 送〇〇・八〇	中判洋綴函入 金二・〇〇 送一・八〇	中判洋綴函入 金一・〇三 送〇・八〇	三六判洋綴美本 金一・〇〇 送一・八〇

大倉廣文堂　東京市京橋區丁目八　電話京橋五四六八　振替東京六六四

◇圖書總目錄御申込次第送呈◇

法學博士 岡田朝太郎監修	最新	六法全書	革製 定價 1.40 布製 定價 1.20	各送料 06	
山下農學博士 中村農學博士監修	實用	養鷄百科全書	定價 2.80	送料 18	
恩田農學博士序 久田賢輝著	最近	園藝十二ケ月	定價 1.80	送料 18	
濱田廣介著 利山滋畫		ひろすけ兒童讀本（全十卷）	各定價 .70	各送料 08	
小野政方著	せかいの	優れた少年少女の話	定價 .50	送料 06	
同	せかいの	秀でた少年少女の話	定價 .50	送料 06	
小川未明著	童話	海から來た使ひ	定價 1.40	送料 10	
同	童話	蜻蛉のお爺さん	定價 1.20	送料 10	
濱田廣介著	童話	河うその赤んぼ	定價 1.00	送料 08	
蘆谷蘆村著	童話	マリヤ樣のお星	定價 1.00	送料 08	
飛田忠順 小出秀世共著	最新	野球實際の知識	定價 1.00	送料 08	
小高吉三郎 池上忠共著		現代ラグビーの見方	定價 80	送料 06	
梅田晴江著	割出自在	新型毛絲編物のをしえ	定價 1.30	送料 14	
大妻コタカ序 南雲ハツヨ著		新らしい和服の仕立方	定價 1.20	送料 14	
大妻コタカ著	日常常識	禮儀作法	定價 1.00	送料 08	
醫學博士 長谷川德三著	育兒衞生	母の知識	定價 1.00	送料 08	
文學博士 佐々木信綱著		和歌の話	定價 1.20	送料 08	
大畑匡山著		式辭演說大觀	定價 1.50	送料 14	
石渡法學博士閲 岩崎法學士著	小說よりも面白い	法律實話	定價 1.50	送料 14	

◇ 東京市淺草區下平右衞門町 **岡村書店** 振替・東京一九〇六五番 ◇

◇出版圖書略目◇

明治大學教授 中島秀次郎著	學習本位	幾何學の獨力解決	定價 1.60	送料 10
同	學習本位	代數學の獨力解決	定價 1.60	送料 10
第一高等學校教授 山田惣七著	試驗によく出る	英語の解釋法	定價 1.20	送料 08
青山學院教授 佐伯有三著	分る樣に說明した	英作文の書方	定價 1.30	送料 08
本多孝一著	速成暗記	英語單語一萬五千	定價 1.40	送料 08
飯塚陽平 國府田國一共著	學習受驗	和文英譯の學び方	定價 1.10	送料 08
星野久成著	マスター・オブ・アーツ ユース・オブ・ライフ	全譯講義	定價 1.50	送料 10
英語獨修會編	英文對照	イソップ獨習	定價 1.00	送料 06
三輪義熙著	神代事蹟の大發見	神皇紀	定價 5.00	送料 27
文學士 倉野憲司著		古代文學研究	定價 2.30	送料 27
加藤文學博士序 溝口駒造著		增鏡新講	定價 2.00	送料 14
中村文學博士序 溝口駒造著		平家物語新釋 上卷 下卷	各定價 1.80	各送料 14
尾上文學博士序 永田義直著		土佐日記新講	定價 1.70	送料 14
佐藤繁作著		徒然草講義	定價 1.30	送料 10
山田草人著		譯註十八史略	定價 2.00	送料 14
久保天隨著		校刻日本外史（字解付）	定價 2.00	送料 14
桑田春風著	實用趣味	手紙文講話及文範	定價 1.50	送料 10
窪田空穗著		現代書翰文選	定價 1.40	送料 10
大畑匡山著		現代文描寫辭典	定價 1.30	送料 10

◇ 東京市淺草區下平右衞門町 **岡村書店** 振替・東京一九〇六五番 ◇

比田井天來先生題字　半田神來先生著

◆類書中この位詳細に講述せる書は他に絶對になし

大好評　訂正五版發行

實地指導 書道新講

菊判四百頁上製頗美本全一冊

書法圖解及實例手本古碑帖條幅等

三百餘種挿入

定價 金參圓 送料十二錢

これ眞の書道速修上達の實際的指導書！

平易で懇切恰も手を取り敎ゆる如く一々書法の實例を示し講述せる事、古法に則れる事、基本點畫を一大體系に組織せる事、實習を重んじたる事、文字學の指導に勉めたる事、碑帖筆蹟を提示せる事、速修上達に勉めたる事、文檢受驗の絶好なる參老書たる事、小學校中學校書方敎授の絶好資料たる事。其他幾多の特色ある斯界唯一の名著

誰でも物識りの必要があるソレには本誌が必要だ新知識の米の飯

月刊ニュース 世相展望

毎月一回一日發行　定價一冊卅錢送料二錢半年前金一圓七十錢

時々刻々に起れる事件、問題、出來事、スポーツ、映畫其他あらゆる重要問題を記錄せる社會の縮圖！卓上備忘として毎戸必備の月刊雜誌

發行所　東京市神田區錦町一丁目十六番地　振替口座東京第三四〇九番　二松堂書店

山岸守著

實驗栽培 蔬菜園藝

菊判舶來上質九百餘頁　寫眞版特別刷百餘枚入　定價六圓　送料三十錢

本書は著者が多年實驗せる各種蔬菜の最も斬新なる科學的栽培法を遍く網羅し、一々精密なる圖版又は鮮麗なる寫眞を掲げ必ず實際上効果を奏するやう懇切叮嚀に詳述せられたるものにして、眞に之れ學理と實際とを融合せしめたる類書中の白眉なれば、園藝研究家の寶典として最高最善の方法を體得すべき智囊なり。

角田安啓　米田義一　共著

實驗栽培 西瓜の研究

菊判舶來上質八百餘頁　寫眞版特別刷百餘枚入　定價五圓五十錢　送料二十二錢

斯界の大家恩田博士は本書の讃辭に曰く「著者は奈良縣に在りて西瓜栽培に從ひ造詣極めて深大、今回西瓜栽培の普及を圖らんが爲め其の栽培法・加工法・荷造法・販賣法等を詳述して本書をものせらる、所說親切能く斯業の要訣を知るに足る、蓋し時と所とを得たるものと謂ふべし。余本書の世に益する所大なるを喜ぶ。」と實に本書は西瓜栽培上最高最新の名著なり。

教育資料研究所編纂　三六判　291頁 圖說 花卉栽培法便覽　¥1.30　送料.10	加藤謙一著　菊判上質　411頁 實驗 漬物加工法　¥3.50　送料.22
教育資料研究所編纂　三六判　821頁 農藝 病蟲害防除便覽　¥1.50　送料.14	石川武彥著　四六判上質　324頁 舊約 聖書農業考　¥2.50　送料.14
教育資料研究所編纂　三六判　123頁 農藝 年中行事便覽　¥.35　送料.04	佐藤昌治編纂　三六判　1639頁 最新 園藝便覽　¥2.50　送料.22

東京市九段坂上　研友社　電話九段七七五番　振替東京二八五九九番

文學博士 吉澤義則著

國語說鈴

菊判五百八十頁上製美本 定價參圓八拾錢送料貳拾錢

吉澤博士は國語國文學界の最高權威として其の斯界に寄與せる多大の貢獻は枚擧にいとまがない。本書收むるところ國語國文の全般に亙り其の研究諸論はつきせぬ興趣の泉をなし、全篇にわたり高雅なる著者の全風貌を彷彿せしめてゐる。語源より觀たる日本學……明治の初期における綴案劃二つ……萬葉集一面觀……萬葉時代に於ける語法の任務に就いて……尚書卷第七洪範第六古訓……貫之の考へてゐた和歌の本質について……梅花の賞鑑て……等以下數十篇

文學博士 吉澤義則著 定價壹圓五拾錢 送料拾錢

國語史概說

本書は國語學の一部門としての歴史的研究の方面を受持つた我國最初の研究書にして國語の音韻、語彙、語法等の上に如何なる變遷を經て現代に至れるかを明にしたものである

生田蝶介著 定價貳圓貳拾錢 送料十錢

短歌用語小辭典

古今數千の歌例によりあらゆる用語を詳述の意味内容發辭を明解す

尾山篤二郎著

短歌論攷

四六判四六〇頁カンバス上製天金美裝 定價貳圓貳拾錢 送料拾貳錢

著者は現歌壇批評家の權威者本書にその多年の秘密を傾けたる珠玉の如き警句あり、筆端火を吐く論駁あり辛辣無二の皮肉あり又全く親切な好比評家としての邃さあり作歌道の深奥を敎導してゐる書の全貌と其の穆艶なる風說なる筆鋒と洒脫なる文藻を知り同時に大なる闘發を享くるを確信す。

吉澤博士 異本徒然草 一・二〇 送・一〇
吉澤博士 徒然草諸抄大成 五・三〇 送・二〇
田中健三 國文法概說 一・五〇 送・一〇
田中健三 國語國文法の理論と演習 一・八〇 送・一〇
長谷川善雄 女形の研究 二・二〇 送・一〇

北原白秋著 **青年日本の歌** 四六判上製三百五十頁 定價壹圓五拾錢 送料十二錢

安部忠三 短歌雜考 二・二〇 〇・一二
安部忠三 歌壇史稿 二・二〇 〇・一二
生田蝶介 短歌文法七十講 二・二〇 稅・一二
生田蝶介 百人一首の講義 一・五〇 稅・一〇
生田蝶介 昭代一萬歌集 二・四〇 稅・一四
生田蝶介 作歌入門 一・五〇 稅・一〇
橋田東聲 短歌初學 一・五〇 稅・一〇

東京市京橋區銀座西二 立命館出版部 振替東京七五三六二

川田瑞穗編

詩語集成

四六判上製美 六百六十餘頁 定價參圓五拾錢 送料十四錢

本書は其の獨特の編纂法と完全なる類別により古今數千年無限の詩語は一目瞭然として興味湧くが如く、作詩家文章家の便之に過ぐるものなし悉く平仄を付し二字句、三字句の外に二字對、三字對を併せ掲げ律詩を作るに便し作例を付す卷首に簡潔明瞭なる作法を述べ口授を借らずして詩を作るを得せしむ。

鷹取岳陽著 定價貳・貳〇 送料・一二

漢詩入門

平易に興趣ある行文を以て漢詩の作法を說いて完璧。一讀漢詩の作法の妙諦を得せしむるは本書の特色なり漢詩作法に關する凡てを網羅して完成せるものなり附錄詩作例、參考便覽諸表

松本仁著 定價壹圓五十錢 送料十二錢

俳句文法六十講

本書は俳句的用法を詳細に區分古今數百年の例句を配し詳述してゐる。

西谷碧落居著

俳句新釋

四六判上製 三百六十頁 定價壹圓五拾錢 送料十錢

古代より現代に至る代表的全作品を徹底に解明し批評せるもの無味乾燥、混迷低徊、微温的なる、認識不足の現俳壇に對する清涼劑であり俳句の眞實なる藝術的香氣と其の醍醐味を示す。

山崎靖純 金再禁止と日本經濟の大轉換 價五〇 稅六錢
高木雄二 經濟國難の眞相 卅五錢 四錢
森本一雄 滿蒙への認識 八十錢 八錢
佐野甚之助 ガンディと其思想 一・五〇 〇・一〇
內館忠藏譯 社會運動史 二・二〇 〇・一二
同 文明に對する叛逆 二・〇〇 〇・一二
內館忠藏 叙事詩劇ダイナスト 二・五〇 〇・一二
清水起正 オン・セイイング・ブリズ 一・五〇 〇・〇八
同 若き男女の爲に其他 三・〇〇 〇・一八

文學博士小西重直序 武用種吉著 **公民科教授資料** 菊判上製七百五十頁 定價四圓五拾錢 送料二十錢

萩原井泉水 俳句の道 一・五〇 〇・一〇
松本仁 俳句表現辭典 一・五〇 〇・一〇
太田亮 家系々圖の合理的研究法 二・五〇 〇・一六

東京市京橋區銀座西二 立命館出版部 振替東京七五三六二

獨逸語學雜誌

徒らに歴史の古きを誇らんとには非ず、されど過ぐる明治三十一年の黎明期より今日に至る、常に獨逸語學徒の勤嚴なる師として將又親しき伴侶として卿等の道標に灯を點しつゝ、緒に恙なく歩み來りしを悦ぶ。主幹谷口秀太郎氏は日本獨逸語三太郎中唯一の存命者、敎を受けたる者萬を以て數ふ又氏を援けて執筆する者總て斯界の權威、以て斯界の最高峯。

一部 40錢 送料 1錢	6部 2.40錢 12部 4.50錢	送料ナシ

模範獨逸語講座 上卷 下卷

谷口秀太郎單獨講述

本講座の一番の强味は單獨講述である點です。谷口先生はその長き敎壇生活中三度講座を纂まれました。本講座はその第三次の、氏としては最後のものです。氏は本講座に於て四十年にわたつて研究されたその敎授法、講述法の清算と整理をして居られます。日本人にとつて獨逸語のどこが一番理解され難いか、どこをつかめば易々とその關門をぬけられるか？それを正確に指摘し得る人が日本に何人ゐるでせう。氏こそはその一人です。……獨逸語學修者として本書を備へて置くことは絶對に必要です。キット貴方のよき師としてよき友として仕へることでせうから。**即刻內容見本を御請求下さい。**

定價 全卷 二圓五〇錢 送料一四錢
各卷 一圓三〇錢 送料一〇錢

東京・本郷・東竹町三二
振替・東京・六二六五六

日獨書院

三友社書店

（圖書目錄進呈）

東京市四谷區新宿町一の八八
振替口座東京二七一三〇番

今日の農村問題 橋本傳左衛門 永井彰一 共編 菊版 六五〇頁 三・八〇 ・二七
農村經濟の全面的檢討と農村政策の提唱

農村家政學 片岡重助著 四六版 三五〇頁 一・五〇 ・一四
生命哲學を根據とせる全人敎育の原理と實際 楢崎淺太郎序 賀集音市著 四六版 四四〇頁 二・五〇 ・一四

幼兒の心理 田中寛一校閲 丸山良二著 菊版 二四八頁 二・〇〇 ・一四
各學年繪畫テスト算術練習の實際 海老原邦雄著 菊版 三五〇頁 二・五〇 ・一四

圖畫敎育の研究と指導 石川寅治閲 山崎隆一郎著 四六版 五三〇頁 二・八〇 ・一四
手工教材創作自在趣味の厚紙細工 清水隆著 四六倍版 五十五種 二・五〇 ・一八

實演趣味の講話集 山北清次 岩田九郎 櫻懋勇 共著 菊版 五〇四頁 三・八〇 ・一八
標準學藝會 內海繁太郎著 四六版 一五〇頁（各冊） 一・〇〇 ・一〇

尋一新國語學習 鷲尾知治著 四六版 五二〇頁 二・五〇 ・一四
例話中心 細目兼用 尋一修身敎授の實際 樫葉勇著 菊版 三三〇頁 二・〇〇 ・一四
例話の活用を主としたる 尋二修身敎授の實際 樫葉勇著 菊版 三三〇頁 二・〇〇 ・一四
文檢參考 文化詳說 綜合東洋史 櫻井時太郎著 菊版 五七〇頁 四・五〇 ・二七
文檢參考 問題中心 敎育學精義 高橋勇著 菊版 五四八頁 四・五〇 ・二七
文檢參考 問題中心 敎育史精義 高橋勇著 四六版 五〇〇頁 三・二〇 ・一八
文檢參考 問題中心 修身科精義 濱野宮之助著 四六版 五六〇頁 三・二〇 ・一八
文檢參考 問題中心 心理學及論理學精義 浦木金太郎著 四六版 四四二頁 二・八〇 ・一四
陽明學精義 高瀨武治郎序 山田準著 四六版 四〇〇頁 二・五〇 ・一二

ヴン・デ・ヴエルデ著

夫婦に於ける受胎

四六版・三百餘頁・寫眞入
定價三圓・送料十二錢

第一篇　根本的態度
第一章　序論　倫理學的及神學的觀察方法に對する態度
第二章　本問題の人間社會、人種及び民族に對する意義
第三章　個人的見地より觀察せる問題
第二篇　望ましき姙娠の成功
第四章　生殖生理學
第五章　交接時の姙娠促進技巧
第六章　女性に於ける不姙
第七章　女性に於ける不姙
第八章　女性に於ける不姙
第九章　男性の陰萎——勃起缺乏
第十章　男性の陰萎——勃起缺乏
第十一章　人工姙娠
第三篇　望ましからざる受胎の豫防
第十二章　受胎、姙娠及びスペルミーンの無病菌狀態
第十三章　性交時の受胎回避の技巧
第十四章　姙娠豫防の手段と方法
第十五章　手術による一時的不姙
第十六章　一時的避姙の生物學的方法
第十七章　レントゲン及びラヂウム照光による不姙
第十八章　人口姙娠中絶問題の根本的態度に對する觀察と斷定

東京市本郷區本郷三丁目本郷ビル　平野書房　振替口座東京七六九〇六番

ヴン・デ・ヴエルデ著

完全なる夫婦

完全なる夫婦愛の源泉！

四六版三五〇餘頁解說圖入
定價　並製一圓五十錢　送料各十二錢
特製二圓五十錢

第一篇　緒言及び一般性生理
第一章　緒言
第二章　人間の一般性生理の觀察
第三章　人間の一般性生理の觀察
第二篇　特種な性生理及び解剖
第四章　成熟せる女性の性生理（第一部）
第五章　同（第二部）
第六章　同（第三部）
第七章　男女生殖器の解剖及び生理
第三篇　性交
第八章　性交の定義
年常性交の定義。前戲及び愛戲
第九章　性交（第一部）
性交生理及び技巧
第十章　性交（第二部）
性交生理及び技巧（續キ）
第十一章　性交（第三部）
性交時に於ける姿態
第十二章　性交に於ける全身現象——後戲
第四篇　高級結婚の衞生
第十三章　肉體的衞生（第一部）
第十四章　同（第二部）
第十五章　同（第三部）
第十六章　同（第四部）
第十七章　精神的衞生解說圖付

東京市本郷區本郷三丁目本郷ビル　平野書房　振替口座東京七六九〇六番

最も解り易い初等・受驗參考叢書

佐藤正治著 定價六十錢 送料六錢
最も解り易い 幾何學初步學び方解き方

佐藤正治著 定價六十錢 送料六錢
最も解り易い 代數學初步學び方解き方

佐藤正治著 定價六十錢 送料六錢
最も解り易い 三角法初步學び方解き方

佐藤正治著 定價六十錢 送料六錢
最も解り易い 算術學び方解き方

藤森鐵也著 定價一圓 送料八錢
最新代數學講義

第二高校教授 大石橋一著 定價七十錢 送料六錢
最も解り易い 受驗代數學の根柢

第二高校教授 大石橋一著 定價一圓 送料八錢
最も解り易い 受驗幾何學の根柢

石原坦著 定價八十錢 送料八錢
口語文例 受驗模範作文

益本重雄著 定價八十錢 送料八錢
受驗英語 聽取書取の急所

加藤莊一著 定價八十錢 送料八錢
最も解り易い 三、四年の英文法

監田荒次郎著 定價一圓 送料八錢
最も解り易い 受驗國文解釋の根柢

監田荒次郎著 定價一圓 送料八錢
最も解り易い 受驗漢文解釋の根柢

松山高校教授 橋本吉郎著 定價八十錢 送料八錢
最も解り易い 受驗物理學の根柢

飯田耕三著 定價一圓 送料八錢
最新刊 フイルム乾板 寫眞術の初步

發行所 東京市神田區今川小路 振替東京七〇一四六番 松榮堂

Walt-Whitman

附年譜 ホヰツトマン詩集 草の葉 第一卷

批評感想集 申込送呈

長沼重隆譯

四六判古雅美裝五七〇頁 クロース上製天金箱入 定價貳圓八十錢・送料十四錢

「草の葉」下卷近刊豫定、茲に初めて邦譯完成

新刊 トラウベルを語る

長沼重隆著 四六版寫眞版十七葉 定價一圓廿錢送料八錢

石原亨著 語法復文 複式漢文研究 (四六版) 價一、八〇 送一、一〇
平野太一著 新式國文法表解 (四六版) 價一、六〇 送一、〇四
陸軍教授 飯田傳一著 漢文 文法から解釋へ (三六版) 價一、五〇 送一、〇六
同 言志四錄 愼思錄 近思錄 選釋 (四六判) 價一、〇〇 送一、〇六
同 受驗必携 知らねばならぬ 漢文法 (三六判) 價一、三〇 送一、〇四
飯田傳一監 本庄主一修 學生文範 (三六版) 價一、二〇 送一、〇六
東京市立第一中學教頭 川島源司著 中等教育 新制物理學 (菊版) 價二、八〇 送一、一六
同 問題本位 物理の着眼點 (四六版) 價一、八〇 送一、一〇
同 問題本位 化學の着眼點 (四六版) 價一、六〇 送一、〇八

發行所 東京小石川區林町廿一 振替東京五九三七七 東興社

新刊

新漢和大字典

文學博士 宇野哲人編・四六判美裝・一九〇〇頁・特價二圓五十錢〔定價三圓三十錢 送料二十二錢〕

辭書界の王者宇野博士の苦心努力は、こゝに本字典となつて現はれた。本書は一般的知識標準として、何人にも極く**簡便に檢索することが出來る**やうになつてをり、而も**內容はきはめて詳密親切、語彙の豐富**なるまた比類なきもので、**學生諸君、實務家語君**の机上に、ぜひ一册は備へらるべきものと信ずる。先づ他と比較して見られよ。

新コンサイス和英辭典

石川林四郎編・ポケット型九六五頁・定價二圓五十錢〔送料六錢〕

ポケット和英の王と永年もてはやされてゐるコンサイス和英の大改訂版。舊版より語數一萬增加。四〇頁追加。舊版の常用語は勿論、大正十二年以後、今日に至る間新しく使用されるに至つたスポーツ用語、商用語、經濟用語、映畫、音樂、演劇用語中、最も常用價値あるものを嚴選追加し、これに適譯を附した。

新コンサイス英和辭典（ポケット版）	革	二・五〇
	クロース	二・一〇
新コンサイス英和辭典（大型版）		二・五〇
三省堂英和大辭典		三・五〇
スター英和辭典	革	一・五〇
	クロース	一・二〇
ジエム英和辭典（分冊）		一・三〇
ジエム英和・和英辭典（合本）		二・八〇
增訂明解英和辭典		一・七〇
チユーニヤ英和辭典		二・〇〇
新譯和英辭典		三・二〇
小辭林（大型版）値下定價		二・〇〇
小辭林（ポケット版）	革	二・三〇
	クロース	一・九〇
廣辭林		三・三〇
模範國漢文辭典	短期特價	一・五〇
明解漢和辭典（增訂版）		一・八〇
常用漢字の字引（最新版）		〇・五〇

東京市神田區神保町振替東京三一五五五
大阪市西區阿波座下通振替大阪八一三〇〇

株式會社 三省堂

北大教授 理學博士 池田芳郎著 定價壹圓 送料二十七錢

高等數學諸論概要

圖書目錄進呈

數學を好む人、好まぬ人、理解に惱む人々へ！

本書は中學卒業程度の學力を以つて十分に理解し得るといふことを目標として著はされました。又面白く興味を以つて數學に親しむことの出來るやうに著者獨自の工夫を凝らしてあります。高等程度諸學校の學生諸君の參考書教科書として最も適當なものであらうと信じます。或はそれ以上の學校で現に高等數學のアウトラインを捉へ、然る後に各自のテキストに就かれるならば、學校に於ける講義が頗る安易なそして愉快なものになるであらうと信じます。

又一般人士の教養の一端として本書を繙かれるならばこの上もない好適の自修教養書であると切にお薦め致します。

テール原著 菊池和夫抄譯 定價壹圓貳拾八錢 送料拾錢

無發動飛行機グライダーの知識

時は今！天空高く翔け上り、風のまにまに或は高く或は低く音もなく漂ふ快味は、想像するだけで若人の心を恍惚たらしむるでせう。

最初は無發動飛行で十五時間飛べると誰が想像出來たでせう。しかし最近では、屢々新聞紙上にも報導せられるやうに、十時間十五時間、その距離も百哩百五十哩と、時々にレコードが高められつゝあります。飛行機よりも遙かに安全で、費用も何十分の一かの廉價で手輕に自分で製作することも出來て、多くの人手や費用を要せずに飛べる。歐米では今やスポーツ界の尖端を行くものとして若人の血を湧かせ數百のクラブに男も女も大人も小供も幾十萬の人々がグライダーを樂しみつゝあります。聽て山登りやキヤンピングの樣に我國のスポーツ界にもグライダーが目醒しい進出を見せるでせう。そして本書を手にせられた方々は必ず近き將來に於て、わが新スポーツ界の先驅者として空を漂ふ彼の身に泌むやうな恍惚感を味はれることでせう。

鹿股長三郎共著	初等幾何學演習	定價	七拾五錢
		送料	十六錢
鷹部屋福平鑑修	世界橋梁寫眞圖說	價拾貳圓	五拾錢
		送料	四十五錢
鷹部屋福平著	不靜定應力理論	價	六圓五拾錢
		送料	四十五錢
新井榮吉著	サージタンク	價	六圓五十錢
		送料	四十五錢
小川敬次郎著	混凝土及鐵筋混凝土理論原理	價	六圓也
		送料	四十五錢
小川敬次郎著	混凝土及鐵筋混凝土理論應用	價	六圓五十錢
		送料	四十五錢

東京市牛込區下宮比町 振替東京一七一二番

正興館

各科教材の鄉土化

鄉土教育の極北踏破

東京高等師範學校教授 橋本重次郎
東京女子高等師範學校訓導 坂本豐
前ロイテル電報社記者 安治博道
共著

菊判約四百頁
洋裝函入美本
定價參圓貳拾錢
送料二十四錢

縱橫無盡あらゆる視野から究めつくされたかの感ある現代の鄉土教育にも未だ何人も鶴嘴を入れざる未踏地があつた。吾等のコロンブス等は果して何を發見したか。乞ふ視よ鄉土教育の極北に翩翻と飜へる旗ぞ本書は！ 來れ永住の新大陸へ！

本書は國定教科書並に最近四年間に於ける女學校中學校師範學校の文部省檢定教科書全部に亘つて全教材を縱橫に解剖し系統的に連絡せしめ、之れを各府縣別に排列分類して精しく地方化し實際化したるもの、既に實行期に入れる鄉土教育の實施には缺くべからざる羅針盤である。然もそれ〴〵の教材に關し、數年にわたり全國的に實地踏査し多種多面の研究の上に成れるもの、決して流行性鄉土教育の熱に浮かされた一時的な際物ではない。從つて本書の眞價は各鄉土があやまたず實證するであらうし、又鄉土と共に不滅であらう。

東京市神田區表猿樂町二
南光社
振替東京五七五七
電話神田二五一五

新革大一の授教學數

武藤鐵吉先生名著

高等諸學校受驗最適

中學新制	中學新制	中學新制	中學新制
數學講座 第一卷	數學講座 第二卷	數學講座 第三卷	數學講座 第四卷

專檢・高檢・獨習・最適

算術	代數	幾何	三角
最大速成法講義	最大速成法講義	最大速成法講義	最大速成法講義

內容見本無料進呈

送料	定價	送料	定價	送料	定價	送料	定價	送料	定價	送料	定價	送料	定價
四六版美本	二〇〇	四六版美本	二〇〇	四六版美本	二〇〇	四六版美本	二〇〇	四六版美本	二〇〇	四六版美本	二〇〇	四六版美本	二〇〇
六九〇	十〇	六九〇	十〇	六九〇	十〇	六九〇	十〇	六九〇	十〇	六九〇	十〇	六九〇	十〇
錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢

各卷に・算術・代數・幾何・の三科を登載す

本講座出でて

數學に難關なし・聖戰突破の鍵は正に本講座に握られたり受驗者は卽刻之を讀め

天下に唯一の

最良獨習書は此四冊である諸君は目的達成の爲めに卽刻之を讀め・其の成功は必らず確實である

東京市・神田區錦町三丁目十一番地 數理專修學院 振替・東京第一八七七六番

玉川叢書

28版 **教育の本質觀** 京大教授文學博士 **小西重直** 定價 一・二〇 〒〇・一八
5版 **學習指導法の體系** 奈良女高師訓導 **河野伊三郎** 〒〇・一八
10版 **玉川塾の教育** **小原國芳** 一・五〇 〒〇・一〇
3版 獨逸 **學校改革の精神** 甲南高校教授 **黒川惠寛** 一・〇〇 〒〇・〇六
5版 **數學教育論** 成城學園訓導 **石井掬** 一・〇〇 〒〇・〇六
3版 **プラトン理想國** 成城高校教授 **田中宣太郎** 一・〇〇 〒〇・〇八
3版 **遊戲精選** 玉川學園教授 **齋藤由理男** 一・〇〇 〒〇・〇六
3版 **理科教育の根本問題** 成城學園訓導 **松原惟一** 一・五〇 〒〇・一〇
3版 **公民教育の根本問題** 東北帝大教授 **廣濱嘉雄** 一・〇〇 〒〇・〇八
3版 **兒童保護論** 武藏野學院長 **菊地俊諦** 一・六〇 〒〇・一〇
5版 **吉田松蔭とその教育** 文學士 **後藤三郎** 一・〇〇 〒〇・〇八
3版 **橋本左內研究** **大久保龍** 一・五〇 〒〇・一〇
10版 ペスタロッチーにふさはしき妻 **アンナ** 市村秀志譯 **ザイフアルト**著 一・〇〇 〒〇・〇八
9版 ペスタロッチー **を慕ひて** 文學博士 **小原國芳** 〇・八〇 〒〇・〇六
24版 **勞作教育** 文學博士 **小西重直** 一・五〇 〒〇・〇八
6版 秋吉台の聖者 **本間先生** **小原國芳** 一・〇〇 〒〇・〇八
3版 **遊戲精選** 玉川學園教授 **齋藤由理男** 一・〇〇 〒〇・〇六
3版 **プラトン理想國** 成城高校教授 **田中宣太郎** 一・〇〇 〒〇・〇八
5版 **數學教育論** 成城學園訓導 **石井掬** 一・〇〇 〒〇・〇六
3版 獨逸 **學校改革の精神** 甲南高校教授 **黒川惠寛** 一・〇〇 〒〇・〇六
5版 **學習指導法の體系** 奈良女高師訓導 **河野伊三郎** 〇・八〇 〒〇・〇六
10版 **玉川塾の教育** **小原國芳** 一・五〇 〒〇・一〇
28版 **教育の本質觀** 京大教授文學博士 **小西重直** 定價 一・二〇 〒〇・一八
近刊 **太陽の都市** 石川倹三譯 **カンパネラ**著 未定

東京府下玉川學園出版部 振替東京二六六八五 東京市外大久保五四二一五

兒童圖書館叢書

圖書館協會推薦 茗溪會推薦

成城學園長 玉川學園長 **小原國芳** 監修

低學年用（學一・二・三年用）

モモ 日本昔話 **太郎** 北村壽夫 畫 〇・六〇 〒〇・〇六
こどもイソップ 岸英雄 〇・六〇 〒〇・〇六
こどもグリム 岸英雄 〇・六〇 〒〇・〇六
こどもエスさま 谷口武 一・〇〇 〒〇・〇八
こどもアラビアンナイト 北村壽夫 〇・六〇 〒〇・〇六
おもちや箱 鷲尾知治 〇・六〇 〒〇・〇六
ふしぎなお庭 小原國芳 〇・六〇 〒〇・〇六
幼き日

中學年用（學二・四・五年用）

理科物語 **こどもの理科** 小鹽・貴志 一・〇〇 〒〇・〇八
動物小公子 **動物の武器** 小鹽・貴志 一・〇〇 〒〇・〇八
クオレ物語 賛田喬 一・〇〇 〒〇・〇八
黄金島 **小鳥は空に** 加藤武雄 一・三〇 〒〇・一〇
弓張月 吉田助治 一・〇〇 〒〇・〇八
日本の神話 **日本の精神** 吉田助治 一・〇〇 〒〇・〇八
義經物語 **義經** 熊田國夫 一・〇〇 〒〇・〇八
アンデルセン童話選集 谷口武 一・〇〇 〒〇・〇八
フランダースの犬 鳥谷口武 一・〇〇 〒〇・〇八
私の歐洲土産 猛 一・〇〇 〒〇・〇八

高學年用（學五・六年・中・女學校）

偉人物語 遠藤早泉 二・〇〇 〒一〇
世界偉人 **風俗史** 遠藤早泉 二・〇〇 〒一〇
日本外交史 **上里朝秀** 二・〇〇 〒一〇
日本皇室史話 **仲原善忠** 及川儀右衛門 二・〇〇 〒一〇
日本漂流奇談 **仲原善忠** 二・〇〇 〒一〇
少年の頃 **小原國芳** 二・〇〇 〒一〇
アンデルセンの生ひ立ち **田内靜三譯** 一・五〇 〒一〇
クオヴアヂス物語 **谷口武** 一・五〇 〒一〇
ギリシヤの神話 **中島孤島** 二・〇〇 〒一〇
イリアド **中島孤島** 二・〇〇 〒一〇
白馬 **二千露里** 遠藤早泉 二・〇〇 〒一〇
船の十日 **井田孝平** 一・五〇 〒一〇
物語 **小島義人** 二・〇〇 〒一〇
お天氣と雲の話 **貴志敏雄** 一・五〇 〒一〇
進化の話 **貴志敏雄** 一・五〇 〒一〇
世界謎の生物 **小坂正行** 一・〇〇 〒〇・〇八
數學 **義郎** 一・〇〇 〒〇・〇八
西洋音樂史 **小松耕輔** 二・〇〇 〒一〇
日本美術史 **相良德三** 二・〇〇 〒一〇
西洋美術史 **相良德三** 二・〇〇 〒一〇
東洋美術史 **田邊・鎌倉・宮巴** 二・〇〇 〒一〇
詩文東洋 **編輯幸次郎** 一・五〇 〒一〇
レ・ミゼラブル物語 **齋田喬** 二・〇〇 〒一〇
兒童劇第一 **蝶になる**

小學校兒童 **小學文學讀本** 小原國芳・谷口・田中・岸・英雄 監修
定價一册四十錢 各學年上下二册

小學中等學校の良參考書！

東京府下玉川學園出版部 振替東京六六八五 東京市外大久保五一三 東京市外大久保五四二一 東京府下玉川學園出版部 振替東京六六八五 東京市外大久保五一三

春陽堂版

内容目録進呈

日本橋區通三ノ八
振替東京一六一七

日本小說文庫

菊池寛	有憂華	35	
江戸川亂歩	孤島の鬼	30	
直木三十五	關ケ原	35	
里見淳	闇に開く窓	35	
國枝史郎	隱亡堀	25	
子母澤寛	さんど笠	20	
武者小路實篤	井原西鶴	10	
長谷川伸	紅蝙蝠	前	30
長谷川伸	紅蝙蝠	後	30
白井喬二	第二の巖窟	15	
三上於菟吉	淀君	前	35
三上於菟吉	淀君	後	35
岡本綺堂	半七捕物帳	1	10
岡本綺堂	半七捕物帳	2	10
木村毅	星旗樓祕聞		20
十一谷義三郎	唐人お吉		15
十一谷義三郎	時の敗者 唐人お吉		30
土師清二	砂繪呪縛	前	35
土師清二	砂繪呪縛	後	35
久米正雄	青眉	前	30
久米正雄	青眉	後	25
矢田挿雲	澤村田之助	前	30
矢田挿雲	澤村田之助	後	30
子母澤寛	新選組物語		15
江戸川亂歩	陰獸		10
細田民樹	愛人	前	35
細田民樹	愛人	後	35
野村胡堂	錢形平次捕物控		25
長田幹彦	虹の歌		35
佐々木味津三	右門捕物帖	1	25
佐々木味津三	右門捕物帖	2	25
佐々木味津三	右門捕物帖	3	25
白井喬二	沈鐘と佳人		15
佐々木邦	笑の王國		30
加藤武雄	銀河	前	25
加藤武雄	銀河	後	25
佐々木味津三	仇討五十三次		20
中村武羅夫	愛憎の彼方	前	30
中村武羅夫	愛憎の彼方	後	30
正木不如丘	戀愛黑點	前	30
正木不如丘	戀愛黑點	後	20
櫻井忠溫	草に祈る		15
土師清二	女殺延命院		30
長谷川伸	戸並長八郎	前	30
長谷川伸	戸並長八郎	後	30
岡本綺堂	綺堂讀物集	1	近刊
岡本綺堂	綺堂讀物集	2	近刊
岡本綺堂	綺堂讀物集	3	近刊
村松梢風	清水の次郎長	前	30
村松梢風	清水の次郎長	後	25
大下宇陀兒	蛭川博士		35
甲賀三郎	盲目の目擊者		25
吉川英治	菊一文字		35
佐々木味津三	右門捕物帖	4	25
直木三十五	敵討雜記帳	前	25
直木三十五	敵討雜記帳	後	20
江戸川亂歩	蟲		20
江戸川亂歩	蜘蛛男		30
十一谷義三郎	太陽よ隣人よ	前	30
十一谷義三郎	太陽よ隣人よ	後	30
川端康成	淺草紅團		20
村松梢風	人間飢饉		30
白井喬二	祖國は何處へ	1	近刊
白井喬二	祖國は何處へ	2	近刊
白井喬二	祖國は何處へ	3	近刊
白井喬二	祖國は何處へ	4	近刊
白井喬二	祖國は何處へ	5	近刊

郵税
10—2錢
15—4錢
20—4錢
25
30—6錢
35錢

春陽堂文庫

内容目録進呈

日本橋區通三丁目
振替東京一六一七

春陽堂

白井喬二	祖國は何處へ	6	近刊
白井喬二	祖國は何處へ	7	近刊
岡本綺堂	半七捕物帳	3	10
岡本綺堂	半七捕物帳	4	10
群司次郎正	日本孃（ミスニツポン）	前	近刊
群司次郎正	日本孃（ミスニツポン）	後	近刊
群司次郎正	侍ニツポン		25
平山蘆江	西南戰爭	前	30
平山蘆江	西南戰爭	後	3
佐々木味津三	旗本退屈男	前	近刊
佐々木味津三	旗本退屈男	後	近刊
平山蘆江	唐人船		35
子母澤寛	英五郎ふたり		20
子母澤寛	投げ節彌之		20
子母澤寛	逃げる旗本		20
木村毅	モンテカロル 日本娘		近刊
岡本綺堂	半七捕物帳	5	10
岡本綺堂	半七捕物帳	6	10
江戸川亂歩	黃金假面		近刊
江戸川亂歩	一寸法師		近刊
阿本綺堂	半七捕物帳	7	10
岡本綺堂	半七捕物帳	8	10
三上於菟吉	日輪	前	近刊
三上於菟吉	日輪	後	近刊
三上於菟吉	清川八郎	前	35
三上於菟吉	清川八郎	後	35
國枝史郎	神州纐纈城	前	近刊
國枝史郎	神州纐纈城	後	近刊
小島政二郎	艶麗風土記		近刊
佐々木味津三	神風時雨組		近刊
三上於菟吉	白鬼		35
本山荻舟	忠臣藏八景		近刊
本山荻舟	一刀流物語		近刊
額田六福	諸國捕物帳		近刊
菊池寛	東京行進曲		近刊
加藤武雄	響宴		近刊
龍膽寺雄	珠壺		近刊
龍膽寺雄	掌の上の惡魔		近刊
佐々木味津三	續右門捕物帖	1	近刊
佐々木味津三	續右門捕物帖	2	近刊
下村悅夫	朱面組傳奇	前	近刊
下村悅夫	朱面組傳奇	後	近刊
額田六福	相馬大作		近刊
長谷川伸	沓掛時次郎		近刊
長谷川伸	瞼の母		近刊
下村悅夫	松平長七郎青春記		近刊

——以下續々刊行——

1	瀧口入道	高山樗牛	一五
2	虞美人草	夏目漱石	四〇
3	坊ちやん	夏目漱石	一五
4	土	長塚節	三五
5	草枕	夏目漱石	一五
6	三四郎	夏目漱石	三〇
7	倫敦塔・その他	夏目漱石	一〇
8	村井長庵	河竹默阿彌	二五
9	三人吉三	河竹默阿彌	二五
10	河内山直侍	河竹默阿彌	三五
11	相互扶助論	クロポトキン 大杉榮	三〇
12	それから	夏目漱石	三〇
13	新生第一卷	島崎藤村	三〇
14	新生第二卷	島崎藤村	三〇
15	藤村詩集	島崎藤村	五〇
16	金色夜叉	尾崎紅葉	五〇
17	照葉狂言	泉鏡花	一五
18	門	夏目漱石	二五
19	邪宗門	芥川龍之介	一〇
20	長塚節歌集	長塚節	六〇
21	滿韓ところ〴〵	夏目漱石	一五
22	朝鮮	高濱虛子	三〇
23	彼岸過迄	夏目漱石	三五
24	にごりえ	樋口一葉	二〇
25	片戀・外六篇	二葉亭四迷	三〇
26	硝子戸の中	夏目漱石	一〇

少兵年隊

三勇士 爆彈漫畫

歩兵中尉 荒井一 著
男爵 田中義壽 序
畫

兵隊サンノ書イタ漫畫
デブ・チビ・ホソノ三勇士ガ戰爭ニ行ツテ色々ナ手柄ヲスル面白イ本

定價金六十五錢
送料金六錢

全面漫畫重版又重版好評嘖々！

新調 東京男女學校案内
及各學校入學考查解答
四六判五百五十頁 定價壹圓

新調 東京女子學校案内
及各學校入學考查解答
四六判二百五十頁 定價六十五錢

新調 東京男子學校案内
及學校入學考查解答
四六判三百五十頁 定價七十錢

法學士 宮川寛 著
巡査看守警部補
巡査看守志願者の資格條件、及び試験科目等はどんなものか合格するにはどう云ふ勉強とはどんなものか合格するにはどう云つまり受驗準備はどうするか等委しく説明し、北海道・朝鮮・臺灣・關東州・樺太廳等各地に於ける最近の試驗問題を詳解し實地試驗場に臨むの觀あらしめてある。受驗者の必讀すべき書にして且つ受驗者の一大福音である。
受驗合格案内
試驗問題答案集
滿蒙巡査受驗案内
定價金六十五錢
送料金六錢

東京市神田區神保町八 日昭館書店 振替東京六七八番 電話神田一七三九番

東京市神田區錦町三丁目一番地 日榮堂 振替東京六二九八番 電話下谷一七九三番

門馬直衛著

最新刊 改訂六版 樂典

本書は著者が數年に於て公約したことを實行した所産であります。そして其内容は著者が好文に『此の改訂版は舊版の補訂とか修正とかではありません。私は全部を新しく書きました。勿論舊版の意圖―教科書見を脫した、本當に解り易い、飽きない樂典であること―は確に標榜されました。けれども說明は新しい基礎から新版に用ゐられました。一部分も材料の一部分も、確に前版の文章の一部分も材料の一部分も、確に前版の學說は出來る丈け取り入れられました。一九三一年までの音樂界の學說は出來る丈け取り入れられました。成るべく舊版の方法に從つてと云ふ出版者の要求も無視されて了つたかに見えますが、然し本書は遂に門馬の樂典教科書―や「音樂概論」の焼き直しでなく、模倣でもなく、かと云つて私の一最新樂典」―の將來の本書の目的も正しい指導書としての本書の未來の目的も、決して他の人の著作に基づく說明ではありません。樂典の最も初步な、最も平易な、然し最も正しい指導書として、各學校の副教科書及獨習用指導書として、必ず役立つてせう。』云々と掲げてある通りであります。

四六版二五六頁
定價壹圓廿錢
送料十二錢

最新音樂辭典 樂語樂樂語樂樂 門馬直衛著 定價 一・五〇 送 一八
最新樂典教科書 門馬直衛著 定價 一・九〇 送 一二
最新樂典教科書 門馬直衛著 定價 一・九〇 送 一二
ホーヴアイオリン教則本（第一卷）岡田日榮々編 定價 一・八〇 送 一八
マンドリン教則本（第一卷）（第二卷）門馬直衛閲 定價各一・九〇 送各一・一八
小學唱歌 宮原航次特選曲集 宮原航次著 定價 一・八〇 送 一八
オデル スタンダード著 定價 三・〇〇 送 一八
作曲法 門馬直衛講述 定價 一・九〇 送 一八

岡田日榮堂 東京市神田區錦町三丁目一番地 振替東京六二九八番 電話下谷一七九三番

◇文學士 兒山信一 先生著

新講和歌史

和歌は日本文字の精華であり、和歌史は國文學史の中心をなす。和歌史の研究は學徒の必ず學ばねばならぬ所であるのみならず、和歌に關する知識は日本人の教養として當然把持すべき常識である。一時代の和歌史又は一歌集、一歌人についての論說は從來既に發表せられたるもの必しも少くはない。一貫した組織と全體的の體系とを具へた和歌史は、それが現代の最も強く要求する所でありながら、まだ刊行せられてゐない狀態である。弊堂些かここに鑑みる所あり。著者は現代國文學界一方の雄、殊に詩歌、歌謠の方面における深い造詣に基き、多年研鑽の結果、獨自の見解から筆を執り、かくして萬人の渴望する最も完全なる和歌史を現代唯一の良書としての信念の下に發表せり。本書においては從來混同せられてゐた和歌と歌謠との區別を明らかにし、しかも新しきと共にそれが最も正しく且つ合理的である事が首肯せられるであらう。附錄の和歌史年表は研究の基礎として參考するに最も便り起し、時代の區劃についても極めて新しき見解を示してゐる。利である。國文學の研究者、和歌の愛好者にとつて必讀書であるは勿論、學生諸氏の參考書、特に文檢受驗者にとつては無二の最良指針書である。

定價金五圓 送料廿四錢

內容見本送呈

菊判總布裝・函入
七八〇頁・最上紙
特刷印刷・裝幀美

最新刊

發行所 東京神田區小川町廿七番地 大明堂
振替東京四七七八八番

大好評日英社ノ名著

齋藤秀三郎著

縮刷 **齋藤和英大辭典**
四六倍判 千百七十頁 總布上製 定價 五圓五十錢 送料 三〇錢

熟語本位 **英和中辭典**
四六判 千六百十頁 總布上製 定價 三圓五十錢 送料 二二錢

最新刊

鈴木芳松著 **受驗生の英作文**
四六判 三百三十頁 總クロース 定價 一圓二十錢 送料 十錢

木竹三郎畑著 **常用英文熟語例解**
三六判 三百三十六頁 總クロース 定價 一圓二十錢 送料 六錢

東京千代田町 日英社 電話神田二〇六三番 振替東京四五一番

結婚改造

★現代生活叢書☆

醫學博士
正木不如丘著

此の書を將に結婚せんとする人人に贈る!!

戀愛結婚否か？　見合結婚是か？　諸君の選ばんとするは前者か後者か？　また諸君は何故に「ひのえうま」を選ばぬか？

日頃からこの問題に留意する正木不如丘博士が、その蘊蓄を傾けて新たに書き下した結婚改造論。そしてまた結婚當事者が當然心得へて置かねばならぬ生理的知識、心理的知識、社會的知識を　世の親たちに代つて　思ひ切つて懇切に說いた結婚入門書！　花束に代はるべき親切な貴い贈物である。

新刊

四六判上製二五〇頁
定價一圓廿錢・送料十錢

東京堂　東京神田　振替東京二七〇番

第四部

昭和六年豫約配本目錄

豫約配本目録（昭和六年度）

哲學・思想

◇岩波講座 哲學（岩波書店）

配本月	卷數	配本數	内容	著者
十一月		一	認識論(上)外五篇	高橋里美外五氏
十二月		二	倫理學外四篇	和辻哲郎外四氏

◇哲學講座（誠文堂）

配本月	卷數	配本數	内容	著者
三月	一	一	哲學概說 現代認識論問題	桑木嚴翼 金子筑水
四月	二	二	哲學史概說 明治の哲學回想錄	桑木嚴翼 井上哲次郎
五月	三	三	論理學 現代心理學問題	坂崎侃 稻崎淺太郎
六月	四	四	プラトン哲學 アリストテレス哲學	石原謙 ジーベック
六月	五	五	カント哲學・フイヒテ哲學・ヘーゲル哲學	兒玉達童・中島愼一・紀平正美
七月	六	六	現代歴史哲學問題外二篇	船田三郎外二氏
八月	七 一〇	七 八	現代自然科學哲學問題外二篇 論理主義哲學外二篇	伊藤德之助外二氏 伊藤吉之助外二氏
八月	一一 一三	九 一〇	現象學派の哲學外一篇 イギリス新理想主義哲學外二篇	山内得立外一氏 大島正德
九月	八 一二	一一 一二	現代倫理學問題外二篇 對照論及び意識論の哲學外一篇	藤井健治郎外二氏 市野譯實雄外一氏
十月	九	一三	現代政治哲學問題外二篇	佐々弘雄外二氏
十一月	一四 一五	一四 一五	伊太利の新觀念論外三篇 始めて學ぶ人の爲めの哲學外二篇	吉田靜致外三氏 編輯所編

◇世界大思想全集（春秋社）

配本月	卷數	配本數	内容	著者
一月	二五	四八	實證哲學(上)	コント著 石川三四郎譯
二月	四四	四九	力學對話他二篇	岡邦雄外二氏譯
三月	二一	五〇	代表偉人論・自然論・論文鈔	エマアソン著 柳田泉譯
四月	四〇	五一	ジエームズ眞理の意味・ヘーゲル論理學・バクーニン神と國家	岡島龜次郎外二氏譯
五月	五五	五二	ギユイヨオ 社會學上より見たる藝術	ギユイヨオ著 西宮藤朝譯
六月	四二	五三	マルクス主義の國家觀 カントとマルクス主義	マックス・アドラー著 井原糺譯
七月	五三	五四	支那思想篇	山口譯
八月	五六	五五	歴史哲學・純粹論理學へのプロレゴーメナ	山本泰敎・鬼頭英一譯
九月	六一	五六	ヴエニスの石(上)	ジヨン・ラスキン著 賀川豐彦譯
十月	六〇	五七	經濟と社會・現代の國家と社會科學方法論	向井鹿松・谷藤吉一譯
十一月	六五	五八	古代文明研究(上)	[illegible]リー著 加藤一夫譯
十二月	一五	五九	純粹理性批判	カント著 安藝春夫譯

◇二版 世界大思想全集（春秋社）

配本月	卷數	配本數	内容	著者
三月	三二	二五	ソロー「ウオルデン」「論文集」、ホイツトマン外一篇	古館清太郎・宮島新三郎譯
四月	四	二六	パスカル隨感錄・オーガスチン懺悔錄	柳田泉・宮原晃一郎譯
五月	二	二七	アリストテレス・メタフユジカ ライプニッツ・モナッド論	岩崎勉・松永材譯
六月	六	二八	プリンシピア	ニウトン著 岡邦雄譯
七月	一六	二九	社團的社會主義要綱・勞働階級の政治的能力	ゲ[illegible]ンチ外二氏 加藤朝鳥外二氏譯
八月	九	三〇	繪畫論外二篇	安谷寛一・石川三四郎譯
九月	一七	三一	政治的正義	ゴドウイン著 加藤一夫譯
十一月	三六	三二	憂愁の哲理外二篇	宮原晃一郎外二氏譯
十一月	四八	三三	相對性理論外二篇	石原純外二氏譯
十二月	二一	三四	代表偉人論自然論・論文鈔	エマアソン著 柳田泉譯
十二月	四〇	三五	眞理の意味・論理學・神と國家	岡島龜次郎外二氏譯

◇世界大思想全集 二期（春秋社）

配本月	卷數	配本數	内容	著者
三月	二八	二二	世界文化史(三)	ウエルズ著 北川三郎譯
四月	二五	二三	羅馬衰亡史(五)	ギボン著 内ケ崎作三郎譯
七月	一七	二四	獨逸社會民衆黨史(一)	メーリング著 米田幸雄譯
九月	二〇	二五	獨逸社會民主黨史(四)	メーリング著 [illegible]本三吉譯

配本月	卷數	配本數	内容	著者
十二月	一六	二六	政治思想史（マキアヴエリよりレーニンまで）	フオルレンダー著 服部實外二氏譯

◇二版 大思想エンサイクロペヂア（春秋社）

配本月	卷數	配本數	内容	著者
一月	一六	二八	經濟學(二)	高島素之外八氏
二月	七	二九	宗教思潮(二)	宇野圓空外六氏
三月	一一	三〇	文藝思想(二)	金子馬治外八氏
三月	五	三一	自然科學(三)	竹内時男外六氏
四月	二七	三二	自然科學辭典	春秋社編輯部編
四月	三六	三三	思想名著解題(五)	春秋社編輯部編
六月	三五	三四	思想名著解題(四)	春秋社編輯部編
七月	四	三五	自然科學(一)	岡邦雄外六氏
八月	一	三六	哲學(一)	山内得立外五氏

◇大日本思想全集（先進社）

配本月	卷數	配本數	内容	著者
四月	一七	一	吉田松陰集・佐久間象山集 (附)金澤正志・淺見絅齋集	大日本思想全集刊行會編
五月	一五	二	賴山陽集・山縣大貳集 竹内式部集	同
七月	五	三	貝原益軒集 平賀源内集	同
八月	一四	四	二宮尊德集 大原幽學集	同
九月	八	五	佐藤信淵集 三浦梅園集	同
十月	一六	六	大鹽平八郎集 佐藤一齋集	同

十二月 七 荻生徂來集 太宰春臺集 大日本思想全集刊行會編
十二月 七 中井竹山集 雨森芳洲集 同
十二月 九 八 蒲生君平集 本居宣長集 上田秋成集 同

◇國民思想叢書（大東出版社）

八月 一三 佛教篇（下） 加藤咄堂編

◇國民思想叢書（大東出版社）

普及版

十月 一〇 一 民衆篇 加藤咄堂編
十一月 二 二 國體篇（上） 同
十二月 九 三 士道篇 同

◇日本思想鬪爭史料（東方書院）

三月 一 一〇 鬪異外五篇 鷲尾順敬編

宗教

◇世界聖典全集 乙（改造社）

二月 三 一六 ウパニシヤツト（一） 外 高楠順次郎氏
三月 四 一七 ウパニシヤツト（二） 同
五月 五 一八 ウパニシヤツト（三） 世界聖典全集刊行會編
六月 六 一九 ウパニシヤツト（四） 同
九月 七 二〇 カパーシヤツト（五） 自用雜部乃至末迄

四月 一〇 二 遷宮例文外七篇 神宮司廳編
八月 附錄 一二 豐受大神宮遷宮之圖（六） 神宮司廳編

◇荷田全集（吉川廣文館）

七月 六 神代卷劑記外三篇 官幣大社 荷神社編
十二月 七 大嘗會儀式具釋廿八篇 同

◇前田慧雲全集（春秋社）

四月 五 一 佛教人生觀外三篇 前田慧雲
六月 一 二 大乘佛教史論外三篇 同
七月 六 三 淸辨一嘗外四篇 同

十月 八 二二 ウパニシヤツト（六） 世界聖典全集刊行會編
十二月 九 二三 ウパニシヤツト（七） 木村泰賢外十一氏

◇植村全集（植村全集刊行會）

十二月 三 一 說教篇（下） 植村正久

◇神道講座（四海書房）

一月 一〇 一〇 神社概說外數篇 宮地直一外數氏
五月 一一 二一 神社概說外七篇 宮地直一外七氏
十二月 一二 二二 神社概說（三）外八篇 宮地直一外八氏

◇神宮遷宮記（大神宮故事類纂刊行會）

八月 三 四 國宗問答外四篇 前田慧雲
十月 二 五 天台宗綱要外五篇 同
十一月 四 六 大乘佛說考外四十二篇 同
十二月 七 樂しい人生外四篇 同

◇新井石禪全集（新井石禪全集刊行會）

二月 一二 一三 詩偈歌頌篇 山田霞林編

◇師子王全集（師子王全集刊行會）

七月 一 一 師子王紀行篇 田中智學
七月 二 二 師子王警策篇 同
八月 三 三 師子王講演篇 同
十月 四 四 師子王隨筆篇 同
十一月 五 五 師子王論叢篇 同
十月 六 六 師子王教義篇 同
十一月 七 七 師子王數曲篇 同

二月 六二 七二 續律疏部 高楠順次郎編
四月 七六 七三 續諸宗部（七） 同
五月 七五 七四 續諸宗部（八） 同

◇大正新修大藏經（大正一切經刊行會）

一月 一一 三五 寶積部（上） 高楠順次郎編
二月 二 七 三六 般若部（三） 同
三月 三 二 三七 阿含部（下） 同
四月 四 一四 三八 經集部（一） 同
五月 五 一 三九 阿含部（上） 同
六月 六 一三 四〇 大集部 同
七月 七 一二 四一 寶積部（下）涅槃部（全） 同
八月 八 四二 般若部（四） 同
九月 四三 經集部（三） 同

十月 七 七五 續諸宗部（十） 高楠順次郎編
十月 八 七六 續諸宗部（一一） 同
十月 九 七七 續諸宗部（五） 同
十一月 八〇 七八 續諸宗部（十二） 同
十一月 六一 七九 續諸宗部（十三） 同
十一月 八三 八一 續經疏部（六） 同
十二月 七七 八二 續諸宗部（十四） 同

◇大正新修大藏經（大正一切經刊行會）

◇版三 大正新修大藏經（大正一切經刊行會）

一月	二六	一	經論部（下）	雜阿含經	宮地廓慶次郎監修
二月	二五	二	經集部（四）	雜阿含經	同
三月	一七	三	律部（全）	四分律	同
四月	二六	四	律部（上）	五分律	同
五月	九	五	本緣部（上）	根本說一切有部毘奈耶雜事	同
六月	二七	六	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶雜事	同
七月	一一	七	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
八月	二八	八	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
九月	一	九	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十月	一七	十	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十一月	二九	十一	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十二月	三〇	十二	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
一月	一〇	十三	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
二月	三一	十四	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
三月	二	十五	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
四月	三	十六	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
五月	四	十七	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
六月	五	十八	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
七月	六	十九	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
八月	七	二十	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
九月	八	二一	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十月	九	二二	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十一月	一〇	二三	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十二月	一一	二四	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
一月	一二	二五	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
二月	一三	二六	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
三月	一四	二七	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
四月	一五	二八	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
五月	一六	二九	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
六月	一七	三〇	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
七月	一八	三一	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
八月	一九	三二	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
九月	二〇	三三	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十月	二一	三四	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十一月	二二	三五	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十二月	二三	三六	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
一月	二四	三七	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
二月	二五	三八	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
三月	二六	三九	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
四月	二七	四〇	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
五月	二八	四一	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
六月	二九	四二	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
七月	三〇	四三	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
八月	三一	四四	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
九月	三二	四五	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十月	三三	四六	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十一月	三四	四七	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十二月	三五	四八	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
一月	三六	四九	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
二月	三七	五〇	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
三月	三八	五一	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
四月	三九	五二	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
五月	四〇	五三	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
六月	四一	五四	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
七月	四二	五五	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
八月	四三	五六	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
九月	四四	五七	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十月	四五	五八	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十一月	四六	五九	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十二月	四七	六〇	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
一月	四八	六一	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
二月	四九	六二	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
三月	五〇	六三	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
四月	五一	六四	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
五月	五二	六五	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
六月	五三	六六	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
七月	五四	六七	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
八月	五五	六八	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
九月	五六	六九	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十月	五七	七〇	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十一月	五八	七一	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十二月	五九	七二	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
一月	六〇	七三	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
二月	六一	七四	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
三月	六二	七五	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
四月	六三	七六	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
五月	六四	七七	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
六月	六五	七八	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
七月	六六	七九	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
八月	六七	八〇	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
九月	六八	八一	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十月	六九	八二	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十一月	七〇	八三	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十二月	七一	八四	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
一月	七二	八五	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
二月	七三	八六	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
三月	七四	八七	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
四月	七五	八八	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
五月	七六	八九	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
六月	七七	九〇	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
七月	七八	九一	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
八月	七九	九二	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
九月	八〇	九三	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十月	八一	九四	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十一月	八二	九五	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十二月	八三	九六	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
一月	八四	九七	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
二月	八五	九八	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
三月	八六	九九	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
四月	八七	一〇〇	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
五月	八八	一〇一	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
六月	八九	一〇二	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
七月	九〇	一〇三	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
八月	九一	一〇四	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
九月	九二	一〇五	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十月	九三	一〇六	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十一月	九四	一〇七	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十二月	九五	一〇八	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
一月	九六	一〇九	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
二月	九七	一一〇	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
三月	九八	一一一	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
四月	九九	一一二	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
五月	一〇〇	一一三	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
六月	一〇一	一一四	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
七月	一〇二	一一五	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
八月	一〇三	一一六	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
九月	一〇四	一一七	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十月	一〇五	一一八	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十一月	一〇六	一一九	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十二月	一〇七	一二〇	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
一月	一〇八	一二一	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
二月	一〇九	一二二	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
三月	一一〇	一二三	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
四月	一一一	一二四	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
五月	一一二	一二五	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
六月	一一三	一二六	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
七月	一一四	一二七	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
八月	一一五	一二八	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
九月	一一六	一二九	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十月	一一七	一三〇	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十一月	一一八	一三一	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十二月	一一九	一三二	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
一月	一二〇	一三三	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
二月	一二一	一三四	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
三月	一二二	一三五	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
四月	一二三	一三六	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
五月	一二四	一三七	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
六月	一二五	一三八	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
七月	一二六	一三九	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
八月	一二七	一四〇	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
九月	一二八	一四一	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十月	一二九	一四二	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十一月	一三〇	一四三	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十二月	一三一	一四四	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
一月	一三二	一四五	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
二月	一三三	一四六	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
三月	一三四	一四七	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
四月	一三五	一四八	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
五月	一三六	一四九	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
六月	一三七	一五〇	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
七月	一三八	一五一	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
八月	一三九	一五二	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
九月	一四〇	一五三	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十月	一四一	一五四	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十一月	一四二	一五五	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十二月	一四三	一五六	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
一月	一四四	一五七	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
二月	一四五	一五八	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
三月	一四六	一五九	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
四月	一四七	一六〇	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
五月	一四八	一六一	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
六月	一四九	一六二	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
七月	一五〇	一六三	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
八月	一五一	一六四	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
九月	一五二	一六五	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十月	一五三	一六六	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十一月	一五四	一六七	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十二月	一五五	一六八	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
一月	一五六	一六九	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
二月	一五七	一七〇	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
三月	一五八	一七一	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
四月	一五九	一七二	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
五月	一六〇	一七三	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
六月	一六一	一七四	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
七月	一六二	一七五	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
八月	一六三	一七六	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
九月	一六四	一七七	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十月	一六五	一七八	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十一月	一六六	一七九	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十二月	一六七	一八〇	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
一月	一六八	一八一	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
二月	一六九	一八二	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
三月	一七〇	一八三	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
四月	一七一	一八四	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
五月	一七二	一八五	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
六月	一七三	一八六	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
七月	一七四	一八七	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
八月	一七五	一八八	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
九月	一七六	一八九	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十月	一七七	一九〇	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十一月	一七八	一九一	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十二月	一七九	一九二	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
一月	一八〇	一九三	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
二月	一八一	一九四	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
三月	一八二	一九五	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
四月	一八三	一九六	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
五月	一八四	一九七	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
六月	一八五	一九八	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
七月	一八六	一九九	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
八月	一八七	二〇〇	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
九月	一八八	二〇一	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十月	一八九	二〇二	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十一月	一九〇	二〇三	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十二月	一九一	二〇四	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
一月	一九二	二〇五	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
二月	一九三	二〇六	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
三月	一九四	二〇七	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
四月	一九五	二〇八	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
五月	一九六	二〇九	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
六月	一九七	二一〇	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
七月	一九八	二一一	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
八月	一九九	二一二	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
九月	二〇〇	二一三	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十月	二〇一	二一四	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十一月	二〇二	二一五	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十二月	二〇三	二一六	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
一月	二〇四	二一七	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
二月	二〇五	二一八	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
三月	二〇六	二一九	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
四月	二〇七	二二〇	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
五月	二〇八	二二一	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
六月	二〇九	二二二	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
七月	二一〇	二二三	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
八月	二一一	二二四	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
九月	二一二	二二五	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十月	二一三	二二六	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十一月	二一四	二二七	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十二月	二一五	二二八	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
一月	二一六	二二九	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
二月	二一七	二三〇	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
三月	二一八	二三一	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
四月	二一九	二三二	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
五月	二二〇	二三三	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
六月	二二一	二三四	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
七月	二二二	二三五	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
八月	二二三	二三六	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
九月	二二四	二三七	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十月	二二五	二三八	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十一月	二二六	二三九	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十二月	二二七	二四〇	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
一月	二二八	二四一	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
二月	二二九	二四二	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
三月	二三〇	二四三	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
四月	二三一	二四四	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
五月	二三二	二四五	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
六月	二三三	二四六	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
七月	二三四	二四七	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
八月	二三五	二四八	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
九月	二三六	二四九	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十月	二三七	二五〇	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十一月	二三八	二五一	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十二月	二三九	二五二	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
一月	二四〇	二五三	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
二月	二四一	二五四	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
三月	二四二	二五五	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
四月	二四三	二五六	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
五月	二四四	二五七	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
六月	二四五	二五八	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
七月	二四六	二五九	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
八月	二四七	二六〇	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
九月	二四八	二六一	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十月	二四九	二六二	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十一月	二五〇	二六三	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十二月	二五一	二六四	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
一月	二五二	二六五	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
二月	二五三	二六六	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
三月	二五四	二六七	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
四月	二五五	二六八	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
五月	二五六	二六九	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
六月	二五七	二七〇	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
七月	二五八	二七一	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
八月	二五九	二七二	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
九月	二六〇	二七三	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十月	二六一	二七四	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十一月	二六二	二七五	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十二月	二六三	二七六	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
一月	二六四	二七七	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
二月	二六五	二七八	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
三月	二六六	二七九	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
四月	二六七	二八〇	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
五月	二六八	二八一	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
六月	二六九	二八二	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
七月	二七〇	二八三	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
八月	二七一	二八四	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
九月	二七二	二八五	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十月	二七三	二八六	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十一月	二七四	二八七	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十二月	二七五	二八八	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
一月	二七六	二八九	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
二月	二七七	二九〇	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
三月	二七八	二九一	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
四月	二七九	二九二	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
五月	二八〇	二九三	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
六月	二八一	二九四	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
七月	二八二	二九五	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
八月	二八三	二九六	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
九月	二八四	二九七	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十月	二八五	二九八	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十一月	二八六	二九九	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
十二月	二八七	三〇〇	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
一月	二八八	三〇一	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
二月	二八九	三〇二	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
三月	二九〇	三〇三	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
四月	二九一	三〇四	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
五月	二九二	三〇五	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
六月	二九三	三〇六	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
七月	二九四	三〇七	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
八月	二九五	三〇八	本緣部（下）	根本說一切有部毘奈耶破僧事	同
九月	二九六	三〇九	本緣

九月	一六	大集部三・經集部十	山邊習學・赤沼智善譯
十月	一七	瑜伽部(十二)・毘曇部(十一)	加藤精神・木村泰賢外二氏譯
十一月	一八	密教部(三)・論集部(六)	神林隆淨・平等通昭譯
十二月	一九	本緣部(二)・寶積部(五)(佛本行集經・大寶積經)	常盤大定外一氏・長井眞琴譯

◇國譯一切經 二版 振替（大東出版社）

一月	八	本緣部(三)・寶積部(九)	常盤大定・長井眞琴譯
二月	九	經集部(九)・密教部(二)	佐藤泰舜譯
三月	一〇	大集部(二)・經集部(一)	岩野眞雄編
四月	一一	經集部(四)・經集部(五)	佐藤泰舜譯
五月	一二	阿含部(六)・毘曇部(十)	立花俊道・木村泰賢外二氏譯
六月	一三	阿含部(十)・律部(十)・本緣部	林五邦・西本龍山・岡教邃譯
七月	一四	寶積部(四)・毘曇部(四)	長井眞琴・渡邊楳雄譯
八月	一五	華嚴部(三)・律部(十一)	衞藤即應・西本龍山外一氏譯
九月	一六	大集部三・經集部十	山邊習學・赤沼智善譯
十月	一七	瑜伽部二・毘曇部十一	同
十一月	一八	密教部(三)・論集部(六)	神林隆淨譯
十二月	一九	本緣部(二)・寶積部(五)(佛本行集經・大寶積經)	常盤大定外一氏譯

◇國譯聖教大系（佛教刊行會）

九月	一一	一一	東密部第一卷	伊藤本寛・賢寶法曉編

◇淨土宗教學大系（淨土宗典刊行會）

四月	一一	二	布教篇(五)	淨土宗典刊行會編
五月	二	三	宗義篇(二)	淨土宗典刊行會編
七月	一	四	宗義篇(一)	同
八月	九	五	布教篇(三)	同
十月	三	六	宗義篇(三)	同
十一月	一〇	七	布教編(四)	同

◇國文東方佛教叢書 二輯（東方書院）

七月	一	八	法語部(上)	鷲尾順敬編

◇佛教新布教大系（佛教新布教大系刊行會）

十二月	四	一	特殊教化法	富井隆信外八氏

◇高僧名著全集（平凡社）

一月	一四	一一	日蓮上人・元政上人篇	山本勇夫編
二月	三	一二	源信僧都篇	同
三月	一	一三	傳教大師篇	同
四月	一〇	一四	存覺上人・如雲上人篇	同
五月	一一	一五	澤庵禪師篇	同

六月	一六	一六	恭畏國師・一休禪師篇	同
七月	一七	一七	拔隊禪師・盤珪禪師篇	同
八月	一八	一八	一遍上人・榮西禪師篇	同

◇佛教信仰實話全集（大東出版社）

一月	七	一一	淨土篇(下)	山邊習學・大野法道
二月	四	一二	眞言篇	高見寛恭
三月	一五	一三	靈蹟篇(上)	加藤咄堂
四月	三	一四	天台篇	二宮守人
五月	一八	一五	禪宗篇(續)	清泉芳巖
六月	一六	一六	靈蹟篇(中)	加藤咄堂
七月	一九	一七	在家篇(續)	同
八月	二〇	一八	傳統篇(全)	清泉芳巖
九月	一七	一九	靈蹟篇(下)	加藤咄堂
十二月	一	二〇	皇室篇	鷲尾順敬

◇曹洞宗全書（鴻盟社）

四月	八	語錄一　義雲和尚語錄外十志篇	曹洞宗全書刊行會編
五月	九	清規	同
八月	一〇	禪戒	同

十二月	一一	一二	語錄二	同

◇國譯禪學叢書 二輯（二松堂）

二月	九	九	明暗雙雙集	國譯禪學叢書編輯所編
十月	一〇	一〇	佛頂國師語錄	宮裡祖泰編

◇國譯禪學大成 甲（二松堂）

一月	五六	三	臨濟慧照禪師語錄他二篇・曹山本寂禪師語錄他二篇	國譯禪學大成編輯所編
二月	七八	四	雲臥紀談他二篇・安心頌古他二篇	同
三月	九一〇	五	百丈錄外三篇・宗門十規論・靈源筆語・林間錄	同
四月	一一一二	六	宗門武庫・入衆日用清規・禪苑蒙求・修心訣	同
五月	一三一四	七	大慧語・心要・宗門千字文・大慧書・禪家龜鑑	同
六月	一五一六	八	黃龍心要・正宗贊・博山警語・五家辨正書・尺牘集・竺仙語錄	同
七月	一七一八	九	羅湖野錄外二篇・傳心法要外二篇	同
八月	一九二〇	一〇	聖一國師語錄・五家參詳要路門・一山國師語錄・狂雲集・佛光錄	同
九月	二一二二	一一	大應錄・大燈錄・息耕錄・宗門寶鑑・輔教編・普說	同
十月	二三二四二五	一二	坐禪論・夢窓錄・上宮室・寂室錄・下見桃錄	同

◇國譯禪學大成 乙（二松堂）

一月	三	三	六祖壇經以下三部四卷	國譯禪學大成編輯所編
二月	四	四	洞山語錄・道元語錄・義雲語錄	同

三月	五	五	臨濟錄・祖英集・禪關策進	國譯禪學大成編輯所編
四月	六	六	曹山錄・普濟錄・月坡錄	同
五月	七	七	雲臥紀談・山庵雜錄・無門關	同
六月	八	八	宏智頌古・禪門寶訓・坐禪用心記	同
七月	九	九	百丈錄外三篇	同
八月	一〇	一〇	宗門十規論・靈源筆語・林間錄	同
九月	一一	一一	宗門武庫・入衆日用清規・人天寶鑑	同
十月	一二	一二	禪蒙求・修心訣	同
十一月	一三	一三	圓悟心要・宗文千字文	同
十一月	一四	一四	大隷書・禪家龜鑑	同
十二月	一五	一五	黃龍書尺集・竺仙錄	同

◇國譯祕密儀軌（佛教珍籍刊行會）

一月	九	諸菩薩部	高井觀海外三氏編
三月	一〇	圖像部地之卷	同
五月	一一	諸菩薩部	同
五月	一二	諸菩薩部	同
六月	一三	人之卷	同
八月	一四	諸觀音部	同

十月	一五	圖像部別卷補遺索引	同
十一月	一六	諸觀音部	同
十二月	一七	諸觀音部	同

◇新纂佛像圖鑑（佛教珍籍刊行會）

三月	二	地之卷	高井觀海外三氏編
六月	三	人之卷	同
十月	四	別卷補遺索引	同

◇補訂佛教大辭典縮版（大倉書店）

七月	一	全卷	織田得能

教育・圖書館

◇教育科學（岩波書店）

十月	一	日本に於ける心理學の發達外十三篇	松本亦太郎外十三氏
十一月	二	現象學的教育學 外十一篇	勝部謙造外十六氏
十二月	三	江戸時代以前の教育 外十三篇	高橋俊乘外十三氏

◇學校遊戲講座（京文社）

十一月	一	講述篇・教材篇	印牧バロー研究會編

◇圖書館學講座（圖書館事業研究會）

五月	一二	一二	書齋について（補）外五篇	市島春城外三氏

文學史講座

◇日本文學（岩波書店）

七月	二	日本文學概說（下）外九篇	久松潛一外九氏
八月	三	俳諧史の研究外七篇	穎原退藏外七氏
九月	四	日本文法要論外六篇	山田孝雄外六氏
十月	五	明治時代外五篇	片岡良一外五氏
十一月	六	點本書目外六篇	吉澤義則外六氏
十二月	七	鎌倉・室町時代外七篇	齋藤清衛外七氏

◇二版日本文學講座（新潮社）

五月	一一	一	明治時代（上編）	生田長江外九氏
六月	四	二	平安時代（上編）	尾上八郎外八氏
七月	一〇	三	江戸時代（下篇）	太田水穗外九氏
八月	六	四	鎌倉時代	沼澤龍雄外九氏
九月	一二	五	明治時代（中篇）	柳田泉外八氏
十月	二	六	日本文學と社會生活	澁本誠一外五氏
十二月	九	七	江戸時代（中篇）	山口剛外十一氏

◇國文學講座（文獻書院）

一月	一〇	西鶴五人女評釋外二篇	鈴木敏也加藤順三能勢朝二

◇續國文學講座（文獻書院）

七月	八	新古今和歌集講義 外八篇	佐成謙太郎外七氏

◇二版續國文學講座（文獻書院）

七月	一	上口歌謠外十四篇	井手淳二郎外十二氏
八月	二	上古歌謠外十二篇	井手淳二郎外十一氏
九月	三	上古歌謠外十四篇	井手淳二郎外十二氏
十月	四	古今集選釋外十篇	尾上八郎外九氏
十一月	五	日記文評釋外十一篇	宮田和一郎外十氏
十二月	六	國語學史概說外十篇	吉澤義則外八氏
十二月	七	王朝文學概說外九篇	吉澤義則外七氏

◇二版江戸文學講座（文獻書院）

七月	一	江戸文學概說外十二篇	藤井乙男外十氏
八月	二	江戸文學概說外十二篇	藤井乙男外十二氏
九月	三	江戸文學概說外十二篇	藤井乙男外十氏
十一月	四	謠曲講義外七篇	能勢朝次外七氏
十一月	五	近世和歌史外六篇	能勢朝次外五氏

十二月 六 六 歌舞伎概說外六篇 加藤順三外六氏

◇國文學演習 一期（日本文學社）

十二月 二 二 國文學史外六篇 藤井乙男外六氏

◇漢文講座（弘道館）

二月 九 九 高成田忠風編
四月 一〇 一〇 孝經・論語外二十篇 豐谷温外廿氏
五月 一一 一一 陽明學講話外二十一篇 豐谷温外十九氏
六月 一二 一二 孝經外廿一篇 豐谷温外十八氏
七月 一三 一三 孝經外廿篇 豐谷温外十七氏
十一月 一四 一四 孝經外廿篇 豐谷温外十七氏
十二月 一五 一五 孝經外十八篇 同

◇紀記論究（神代篇 建國篇）（同文館）

三月 一 一 創世記 松岡靜雄
四月 二 二 諸册二尊 同
五月 三 三 高天原 同
六月 四 四 神代篇（四）出雲傳說 同
七月 五 五 國讓 同
八月 六 六 高千穗時代 同

◇世界演劇史（平凡社）

十一月 二 二 中世期 飯塚友一郎
三月 三 三 イギリスの劇場の興亡外二章 飯塚友一郎
四月 四 四 モリエールの以前のフランス劇壇外五章 同
五月 五 五 ドイツ劇壇の黎明外九章 同

◇綜合プロレタリア藝術講座（内外社）

四月 一 一 プロレタリア藝術とは何ぞや外十篇 中野重治外十七氏
六月 二 二 國際藝術運動發達史外十七篇 川口浩外十八氏
七月 三 三 藝術と史的唯物論外十三篇 小宮山明敏外十一氏

◇世界文學講座 普及版（新潮社）

十一月 五 五 一佛蘭西文學篇（上） 吉江喬松外廿一氏
十二月 六 六 一佛蘭西文學篇（下） 吉江喬松外廿六氏
三月 六 一一 佛蘭西文學篇（下） 吉江喬松外廿六氏
四月 二 一二 上代文學篇 野上豐一郎氏外十六氏
七月 一 一三 世界文學總論 吉江喬松外廿氏
十月 七 神武天皇 同
十一月 八 大和絲史時代 同
十二月 九 師木宮 同

十月 四 四 ドイツ・プロレタリア文學史 外十五篇 平林初之輔外十五氏
十一月 五 五 ソヴエート演劇と辯證法的唯物論外十一篇 藏原惟人外十一氏

◇短歌講座（改造社）

十月 一 一 歌史 歌體篇 佐佐木信綱外九氏
十一月 二 二 作法書式篇 入江昌宜外七氏
十二月 七 三 歌人評傳篇 久松潛一外十八氏

國文學・漢文學

◇日本古典全集 三期（日本古典全集刊行會）

二月 三七 二三 うつ藪 宇和物語 歌集（第二） 正宗敦夫編
四月 四四 二三 千 載 宇和物語 歌集 同
六月 四五 二三 新古今 宇和物語 歌集（第三） 同

◇日本古典全集 四期（日本古典全集刊行會）

三月 二 一 倭名類聚鈔（自八卷至十四卷） 正宗敦夫編
四月 三 東海道名所記 東海道分間繪圖 同
五月 四 倭名類聚鈔（自十五卷至二十卷） 同
七月 五 萬葉集 萬葉集誤字私記 考證 同
八月 六 歌林樸樕 同
十月 七 片言付補遺、物類稱呼、浪花聞書、長崎通辭 同

◇短歌講座（改造社）

十月 一 一 歌史 歌體篇 佐佐木信綱外九氏
十一月 二 二 作法書式篇 入江昌宜外七氏
十二月 七 三 歌人評傳篇 久松潛一外十八氏

◇校註日本文學大系（誠文堂）

十一月 五 八 書目集 上 國學書目・諸雜書目・諸雜書目 正宗敦夫編
十二月 六 九 江家次第（自一卷至三卷） 同

◇校註日本文學大系（誠文堂）

二月 一四 一 保元物語・平家物語 中山泰昌編

◇校註日本文學大系（國民圖書株式會社）

三月 二 二 土佐日記外九篇 同
四月 三 三 狂言記 同
六月 四 源氏物語（上）・附忍草 同

◇新釋日本文學叢書 二輯（內外書籍株式會社）

二月 二五 二三 細目錄・索引・國文學研究資料 國民圖書株式會社編
三月 一三 二三 水鏡・大鏡・今鏡・增鏡 同
四月 一四 二四 保元物語・平治物語・平家物語 同
三 二五 土佐日記外五篇 物類品騭外五氏評論 同

◇校註日本文學大系（國民圖書刊行會）

十月 二 二一 狹衣外五篇 同
十二月 一 一八 酒落本代表作集 國民圖書株式會社編
二月 二 二二 十返舍一九集 同
三月 二四 二三 川柳狂歌集 同

四月	二二	二四	落語滑稽本集	國民圖書株式會社編
五月	二一	二五	人情本代表作集	同

◇日本名著全集 甲（興文社）

一月	二八	一四	歌謠・音曲集	日本名著全集刊行會編
一月	四	一五	近松名作集（上）	黑木勘藏校訂

◇日本名著全集 乙（興文社）

一月	二	一四	西鶴名作集	日本名著全集刊行會編
一月	三〇	一五	風俗圖繪集	日本名著全集刊行會編

◇校本萬葉集（岩波書店）

五月	一	一	首卷・附卷	佐々木信綱 外四氏編
七月	三	二	卷第三・卷第四	同
八月	六	三	卷第九・卷第十	同
九月	四	四	卷第五・卷第六	同
十月	七	五	自卷第十一至卷第十三	同
十一月	五	六	卷第七・卷第八	同
十二月	八	七	自卷第十四至卷第十七	同

◇萬葉集總索引（萬葉閣）

一月	三	單語篇	正宗敦夫編	
十二月	四	漢字篇・丁數篇・諸訓說篇	同	

◇校註國歌大系（國民圖書株式會社）

二月	二	二二	萬葉集（全）	國民圖書株式會社編
三月	一	二三	古歌謠集	同
四月	二四	二四	總合索引（一）ア—オ	同
五月	二五	二五	總合索引（二）カ—シ	同
六月	二六	二六	總合索引（三）ス—ノ	同
七月	二七	二七	總合索引（四）ハ—モ	同
九月	二八	二八	總合索引（五）ヤ—ヲ 頭註索引	同

◇二版 校註國歌大系（國民圖書株式會社）

二月	二	二二	萬葉集（全）	國民圖書株式會社編
三月	一	二三	古歌謠集	同
四月	二四	二四	總合索引（一）ア—オ	同
五月	二五	二五	總合索引（二）カ—シ	同
六月	二六	二六	總合索引（三）ス—ノ	同
七月	二七	二七	總合索引（四）ハ—モ	同
九月	二八	二八	總合索引（五）ヤ—ヲ 頭註索引	同

◇二十一代集（太洋社）

六月	一	一	古今和歌集	太洋社編
六月	二	二	拾遺和歌集	同
七月	三	三	後拾遺和歌集	同
八月	四	四	金葉和歌集・詞花和歌集・千載和歌集	同
九月	五	五	新古今和歌集	同
十月	六	六	新勅選集・續後選集・續古今集	同
十一月	七	七	續拾遺和歌集	同
十二月	八	八	續後拾遺和歌集	同

◇日本隨筆大成 三期（日本隨筆大成刊行會）

一月	一〇	一〇	鹽尻（下）	日本隨筆大成編輯部編
二月	一一	一一	翁草（上卷）	同
三月	二〇	二〇	翁草（中卷）	同
四月	一三	一三	翁草（下卷）	同

◇古事類苑（古事類苑刊行會）

五月	三七	一	文學部（一）	神宮司廳編
六月	三三	二	宗教部（一）	同
七月	二三	三	法律部（一）	同
八月	四三	四	樂舞部（一）	同
九月	五五	五	遊戲部	神宮司廳編
十月	五一	六	飲食部	同
十一月	三	七	地部（一）	同
十二月	三二	八	方技部	同

◇新校群書類從（內外書籍株式會社）

一月	九	一五	和歌部（三）	川俣雄一編
七月	四	一六	官職部・律令部・公事部（一）	上田萬年外七氏監修
十月	六	一七	裝束部（二）・文筆部・消息部	同

◇群書類從（群書類從刊行會）

七月	一	一	神祇部	群書類從刊行會編

◇群書類從 正篇（續群書類從完成會）

四月	二七	一八	雜部	續群書類從完成會編
十二月	一五	一九	和歌部六	同

◇續群書類從（續群書類從完成會）

一月	七一	七一	看聞御記（上）	續群書類從完成會編
一月	七二	七二	看聞御記（下）	同

◇續群書類從 甲（續群書類從完成會）

七月	五上 一九上 二一上	一	系圖部（一）・管絃部（三）	續群書類從完成會編

七月 一 術語部・解說部（正田谷 喜幹次郎 百谷 一）

◇能樂謠曲大辭典（吉川弘文館）

七月 一 江戸遊里風俗篇（蘇武綠 編）
二月 五 諸國遊里風俗篇（上）（同）
四月 三 浪花遊里風俗篇（同）
五月 二 江戸岡場風俗篇（同）
六月 七 若衆風俗篇（上）（同）

◇花街風俗叢書（大鳳閣）

二月 三 一事千金他三十一篇（高木好次外二氏編）
六月 六 彙軌本紀外廿六篇（同）
八月 九 南遊記外廿四篇（同）
九月 二 無量談外廿九篇（同）
十月 七 見通三世相外廿三篇（同）
十二月 八 戲作評判花折紙外廿一篇（同）

◇洒落本大系（六合館）

十月 六 武家義理物語外三篇（同）

八月 三 一日玉鉾外二篇（並木宗輔 著）
九月 四 日本道傳永代記（同）
五 武家義理物語外三篇（同）

◇謠曲大觀（明治書院）

三月 三 松風外四十五篇（同）
四月 四 能樂畫譜外三篇（同）
七月 首卷 曲語曲句總覽（同）
十月 六 開曲集（同）
七 謠曲大觀（佐成謙太郎）

◇國譯本草綱目（春陽堂）

二月 七 介部（鈴木真海譯）
六月 八 草部（自十七卷下至廿一卷）（同）
十二月 九 歌・人部（同）

◇續國譯漢文大成 經子史部（國民文庫刊行會）

二月 二三 讀通鑑論（上卷）（國民文庫刊行會編）

◇續國譯漢文大成 文學部（國民文庫刊行會）

十一月 六ノ上 杜少陵詩集（下卷ノ上）（國民文庫刊行會編）
二月 一七上 蘇東坡詩集（第五卷）（同）
四月 一七下 蘇東坡詩集（第六卷）（同）
六月 二三 江戸岡場風俗篇（同）
十月 六下 杜少陵詩集（下卷ノ下）（同）

◇二版 續國譯漢文大成 文學部（國民文庫刊行會）

七月 二 和歌部七・連歌部一・釋家部一（續群書類從完成會編）
十一月 廿五上 廿七上
十二月 廿六上 廿六下

◇二版 續群書類從 甲（續群書類從完成會）

六月 一 （五觀上（系圖部二）十九觀上（管絃部）廿一觀上（合戰部）） 續群書類從完成會編

◇續日本儒林叢書（東洋圖書刊行會）

七月 二 隨筆部第一編 義一郎 編
十二月 二 解說部第一及雜部 同

◇平田篤胤全集（內外書籍株式會社）

九月 七 一 神道道教一 上田萬年・山本信哉・平田盛胤 編

◇二宮尊德全集（二宮尊德遺業宣揚會）

九月 七 一 代男 正宗敦夫 編

◇新註皇學叢書（內外書籍株式會社）

六月 一 一 好色一代男 正宗敦夫 編
十一月 二 二 通俗・大家氏・通俗・百家氏・通俗・百家氏 並木宗輔 著

◇西鶴全集（日本古典全集刊行會）

二月 一 一 令集 解 物集高見 編
三月 二 二 令集 解 物集高見 編
六月 三 三 令集 解 物集高見 編
十一月 四 四 令集 解 物集高見 編

◇增訂故實叢書（吉川弘文館）

十一月 一五 一五 綱文索引 太政官 編

◇復古記（內外書籍株式會社）

十月 一 一 自文明六年至文明十九年 太洋社 編

◇實隆公記（太洋社）

五月 三三 三二 仕法相馬領（三） 佐々井信太郎 編
七月 三四 三三 雜輯（二）日記、書翰 同
九月 三五 三四 雜輯、諸家仕法日記其他 同
十二月 三六 三五 別輯（門人名著集） 同

七月 二 和歌部七・連歌部一・釋家部一（續群書類從完成會編）
八月 廿二上 廿一上
十月 廿二下 廿一下
十二月 廿六上 廿五上

◇二版 續群書類從 甲（續群書類從完成會）

八月 三 一 和歌部・合戰部四・雜部（八） 同
九月 四 系圖部三・和歌部一・雜部九 同
十月 五 公事部二合戰部二雜部五 同
十一月 六 釋家部七・雜部十 同
十二月 七 和歌部三・武家部一・釋家部三 同

◇續群書類從 甲（續群書類從完成會）

六月 一 （五觀上（系圖部二）十九觀上（管絃部）廿一觀上（合戰部）） 續群書類從完成會編

◇續日本儒林叢書（東洋圖書刊行會）

七月 二 隨筆部第一 義一郎 編
十二月 二 解說部第一及雜部 同

◇平田篤胤全集（內外書籍株式會社）

九月 七 一 神道道教一 上田萬年・山本信哉・平田盛胤 編

◇二宮尊德全集（二宮尊德遺業宣揚會）

九月 七 一 代男 正宗敦夫 編

◇新註皇學叢書（內外書籍株式會社）

六月 一 一 好色一代男 正宗敦夫 編
十一月 二 二 通俗・大家氏・通俗・百家氏 並木宗輔 著

◇西鶴全集（日本古典全集刊行會）

二月 一 一 令集 解 物集高見 編
三月 二 二 令集 解 物集高見 編
六月 三 三 令集 解 物集高見 編
十一月 四 四 令集 解 物集高見 編

◇增訂故實叢書（吉川弘文館）

十一月 一五 一五 綱文索引 太政官 編

◇復古記（內外書籍株式會社）

十月 一 一 自文明六年至文明十九年 太洋社 編

◇實隆公記（太洋社）

五月 三三 三二 仕法相馬領（三） 佐々井信太郎 編
七月 三四 三三 雜輯（二）日記、書翰 同
九月 三五 三四 雜輯、諸家仕法日記其他 同
十二月 三六 三五 別輯（門人名著集） 同

文藝作品全集

二月 一 石川啄木 全集 石川啄木
二月 二 山本有三 全集 山本有三
二月 三（一ある女） 有島武郎 全集 有島武郎 其他
三月 四 里見弴 全集（第一卷） 里見弴
三月 五 志賀直哉 全集 志賀直哉
四月 六 菊池寬 全集（第一卷） 菊池寬
四月 七 有島武郎 全集（第二卷） 有島武郎
五月 八 有島武郎 全集（第三卷） 同
五月 九 佐藤春夫 全集（第一卷） 佐藤春夫
十月 一〇 正岡子規 全集（第一卷） 正岡子規

◇日本文學大全集（改造社）

二月 一 杜少陵詩集（下卷ノ上） 國民文庫刊行會編
四月 二 杜少陵詩集（第五卷） 同
六月 三 蘇東坡坡集（第六卷） 同
十月 四 杜少陵詩集（下卷ノ下） 同

◇版二 續國譯漢文大成 經子史部（國民文庫刊行會）

三月 二 宋名臣言行錄 國民文庫刊行會編
五月 三 貞觀政要 同
十一月 四 讀通鑑論（上卷） 同

◇昭和漢文叢書（弘道館）

二月 一 韓非子新釋（上） 平澤東晉
二月 二 韓非子新釋（中） 同
三月 三 韓非子新釋（下卷） 坂井曉三
四月 四 日本外史新釋（貞册一） 稻成一
五月 五 日本外史新釋（貞册二） 同
六月 六 韓非子新釋（下） 平澤東晉
十一月 二四 十八史略新解（下卷二） 中山久四郎 野口新次郎

◇現代日本文學全集（改造社）

一月 一 明治開花期文學集 三宅雪嶺 其他
一月 二 プロレタリア文學集 林房雄 外八氏
二月 三 新興藝術派文學集 十一谷義三郎 外四氏
三月 四 江戸文學集 古谷綱武 外十七氏
四月 五 死線を越えて 外二篇 賀川豐彥
四月 六 三上於菟吉集 三上於菟吉
五月 七 恋愛曲線 第三篇 中村吉藏 外五氏
六月 八 東京の顏 加藤武雄
七月 九 歌舞伎座 佐藤紅綠
八月 一〇 和歌・俳諧・俳論 正岡子規
九月 一一 短篇集（第一） 江口渙 外十一氏
十月 一二 雪中梅 外八篇 末廣鐵腸 外五氏
十一月 一三 江戸川亂歩集 江戸川亂歩 外三氏
十二月 一四 佐々木味津三集 佐々木味津三
十二月 一五 細田民樹・牧野信一集 細田民樹 外四氏
十二月 一六 大佛次郎集 大佛次郎
十二月 一七 佐々木邦 外二氏
十二月 一八 外山正一 外六十七氏

◇現代大衆文學全集（平凡社）

一月 一 三上於菟吉集 三上於菟吉
二月 二 香掛時次郎 外十四篇 長谷川伸
三月 三 江戸三國志 吉川英治
四月 四 血ろくろ傳奇 外四篇 土師清二
五月 五 朝子 野行士狀記 直木三十五
六月 六 巷說化鳥地獄 他三篇 行友李風
七月 七 本朝二十不孝 直木三十五
八月 八 三國志 吉川英治
九月 九 小栗風葉集 小栗風葉
十月 一〇 佐藤紅綠集 佐藤紅綠
十一月 一一 國枝史郎集 國枝史郎
十二月 一二 白井喬二集 白井喬二

◇明治大正文學全集 明治大正昭和文學全集（春陽堂）

二月 一 四一 藤森成吉、豊島與志雄、加能作次郎、松岡譲、田村俊子篇 藤森成吉 外四氏
三月 二 五八 四六 當世書生氣質 坪内逍遙
四月 三 四五 新時代の女性 長谷川時雨
五月 四 尾崎紅葉集 尾崎紅葉
六月 五 一 樋口一葉集 樋口一葉
六月 六 二 北村透谷集 北村透谷
七月 七 三 谷崎潤一郎集 谷崎潤一郎
八月 八 四 島崎藤村集 島崎藤村
九月 九 五 國木田獨歩集 國木田獨歩
十月 一〇 六 菊池寬集 菊池寬

◇版二 現代日本文學全集（改造社）

十一月 一一 五二 宗教文學集 綱田行讓 外八氏
十二月 一二 五七 六二 小泉八雲集・ラフカヂオ・ハーン集・野口米次郎集 小泉八雲 外二氏
別卷 六三 現代日本文學大年表 （附）社會略年表 齋藤昌三 編

◇明治大正文學全集 明治大正昭和文學全集（春陽堂）

二月 一 四一 藤森成吉、豊島與志雄、加能作次郎、松岡譲、田村俊子篇 藤森成吉 外四氏
三月 二 五八 四六 當世書生氣質 坪内逍遙
四月 三 四五 新時代の女性 長谷川時雨
五月 四 尾崎紅葉集 尾崎紅葉
六月 五 一 樋口一葉集 樋口一葉
六月 六 二 北村透谷集 北村透谷
七月 七 三 谷崎潤一郎集 谷崎潤一郎
八月 八 四 島崎藤村集 島崎藤村
九月 九 五 國木田獨歩集 國木田獨歩
十月 一〇 六 菊池寬集 菊池寬

◇現代大衆文學全集（平凡社）

一月 一 六 四六 三上於菟吉集 三上於菟吉
二月 二 四 四七 巷說化鳥地獄 他三篇 行友李風
三月 三 八 四八 本朝二十不孝 直木三十五
四月 四 九 四九 血ろくろ傳奇 外四篇 土師清二
五月 五 一〇 五〇 江戸三國志 吉川英治
六月 六 二 五一 香掛時次郎 外十四篇 長谷川伸
七月 七 五 五五 小栗風葉集 小栗風葉
八月 八 三 五八 新時代の女性 外四篇 佐藤紅綠
九月 九 四 五四 最後の一人 外四篇 國枝史郎
十月 一〇 六 五九 石地藏尊 外四篇 白井喬二
十一月 一一 八 六一 宗教文學集 綱田行讓 外八氏
十二月 一二 一一 六二 小泉八雲集・ラフカヂオ・ハーン集・野口米次郎集 小泉八雲 外二氏
別卷 六三 現代日本文學大年表 （附）社會略年表 齋藤昌三 編

◇版二 現代日本文學全集（改造社）

七月 七 五五 小栗風葉集・佐藤紅綠・加能作次郎・豊島與志雄・長谷川時雨・國枝史郎・白井喬二・小泉八雲・ラフカヂオ・ハーン・野口米次郎・齋藤昌三 編
八月 八 五八 新時代の女性・佐藤紅綠・加能作次郎・豊島與志雄・長谷川時雨・國枝史郎・白井喬二・小泉八雲・ラフカヂオ・ハーン・野口米次郎・齋藤昌三 編
九月 九 五四 最後の一人・石地藏尊・佐藤紅綠・國枝史郎・白井喬二・小泉八雲・ラフカヂオ・ハーン・野口米次郎・齋藤昌三 編
十月 一〇 五九 宗教文學集 綱田行讓 外八氏
十一月 一一 六一 短篇集（第一） 江口渙 外十一氏
十二月 一二 六二 江戸川亂歩集・大下宇陀兒篇 江戸川亂歩 外三氏
一月 一三 五〇 五一 明治開花期文學集 三宅雪嶺 其他
二月 一四 五二 プロレタリア文學集 林房雄 外八氏
三月 一五 五三 新興藝術派文學集 十一谷義三郎 外四氏
四月 一六 五五 新聞文學集 古谷綱武 外十七氏
五月 一七 五六 死線を越えて 外二篇 賀川豐彥
六月 一八 五七 詩篇 外山正一 外六十七氏

七月	一二	五二	勤王女仙傳・江戸の詩	前田曙山
八月	一三	五三	錦繪俠人・名鑑受地獄	國枝史郎
九月	一四	五四	からす組	大佛次郎
十月	一五	五五	身代り紋三	野村胡堂
十一月	一六	五六	都一番風流男・お洒落狂女	本田美禪
十二月	一七	五七	島原大秘錄	生田蝶介
十二月	一八	五八	新選探偵小說集	保篠龍緒外二氏

◇現代大衆文學全集 二版 續（平凡社）

一月	二二	三七	澤田撫松集	澤田撫松
二月	三三	三八	染吉の朱盆他七篇	國枝史郎
三月	五	三九	落花の舞外三篇	前田曙山
四月	一一	四〇	新撰組外三篇	白井喬二
五月	一〇	四一	江戸三國志	吉川英治
六月	續一	四二	新版大岡政談・つゞれ烏羽玉	林不忘
七月	五	四三	西南戰爭外二篇	平山蘆江
八月	六	四四	淀君外二篇	三上於菟吉
九月	七	四五	巷說化鳥地獄外三篇	行友李風
十月	四	四六	蛙川博士外十三篇	大下宇陀兒

十一月	九	四七	血ろくろの傳奇・青[illegible]集	土師清二
十二月	八	四八	本朝野士縱[illegible]記・踊子行狀記	直木三十五
十二月	一一	四九	沓掛時次郎外十四篇	長谷川伸

◇世界文學全集 二期（新潮社）

二月	一八	八	世界の力・人の生	ヨハン・ボーエル著 宮原晃一郎譯
三月	三	九	レニエ・燃え上る青春 デュアメル・深夜の告白	中村星湖・堀口大學譯
五月	一四	一〇	決闘・ヤーマ	クープリン著 昇曙夢譯
六月	七	一一	トーノ・バンゲイ	ウエルズ著 宮島新三郎譯
九月	五	一二	ジエイン・エア	ブロンテ著 十一谷義三郎譯
十月	六	一三	クローム・イエロー・ドージ[illegible]	谷崎精二・森田草平譯
十二月	九	一四	ジエニー・ゲルハート・白い牙	高垣松雄・北村喜八譯

◇世界文學大全集（改造社）

十二月	一	ルパン全集一（怪紳士外四篇）	モーリス・ルブラン 保篠龍緒譯
十二月	二	ドイル全集（一）緋色の研究外四篇	延原謙外二氏譯

◇世界大衆文學全集（改造社）

一月	五八 六三	三七	千夜一夜物語（戀愛篇）他五篇・ウオータベヒ	森田草平・阿部知二譯
二月	五九 六七	三八	モーブラ・西遊記	大村[illegible]・弓館小鰐譯
三月	六六 六八	三九	[illegible]	[illegible]

四月	六九 七〇	四〇	巖窟王（上下二卷）	[illegible]
五月	七二 八〇	四一	新聞記者スミス他二篇・有効期間十日間他三篇	木村毅・小野七郎譯
六月	七四 七七	四二	フラウ・ゾルゲ他四篇・正義の人々	池谷信三郎・水野泰譯
七月	七六 七八	四三	愛國俠盜傳・悲壯博士・倫敦塔	寺田鼎・石田幸太郎譯
八月	七三 七五	四四	カーステンの家・善良な男他三篇	早坂二郎・木村信兒譯
九月	七一 七九	四五	獅子狩の人他二篇・赤狼城秘譚・失踪夫人	秦豐吉・藤田[illegible]譯

◇世界探偵小說全集（平凡社）

一月	八	二〇	夜の冒險	ドウーゼ作 木[illegible]譯

◇世界性愛談奇全集（山東社）

二月	一	一	戀愛術（上）	梅原北明譯述
五月	二	二	世界艷情小說集	小生夢坊・梅原北明譯

◇世界獵奇全集（平凡社）

一月	一	三	歡樂の二夜外五篇	ミユツセ著 丸木砂土譯
二月	二	四	求愛術	マゾッホ著 木村毅譯
三月	五	五	ボルジヤ家罪惡史	デュマ著 楠山正雄譯
四月	七	六	情熱の娼	サーストン著 寺田鼎譯
五月	一一	七	女の迷宮	丸木砂土・和田圓太郎譯
八月	八	八	惡魔の殿堂	ベン・ヘクト著 近藤經一譯

九月	六	九	市俄古女盜傳	シカゴ・メー著 本田滿津二譯
十二月	一一	一〇	世界スパイ戰秘話	南方八郎

◇新興文學全集（平凡社）

一月	三	二四	英國篇（二）	大作みつ子外三氏譯

◇トルストイ全集（岩波書店）

一月	二〇	一四	日露戰爭について外卅篇	八杉貞利・深見尙行譯
二月	三	一五	初期中短篇集「雪あらし」他十二篇	米川正夫・中村白葉譯
三月	一九	一六	藝術論・社會問題（一）	河野與一・黑田辰男譯
五月	一七	一七	教義神學批判・神の王國は汝等のうちに在り	除村吉太郎譯
五月	九	一八	アンナ・カレーニナ（下）	中村白葉譯
六月	一八	一九	宗教論	深見尙行譯
七月	一三	二〇	遺稿集	米川正夫・中村白葉譯
八月	七	二一	戰爭と平和	米川正夫譯
十月	二一	二二	書簡・日記	除村吉太郎譯

◇ゴーリキイ全集（改造社）

一月	八	一二	どん底他二篇	昇曙夢譯
二月	三	一三	一月九日他十六篇	岡澤秀虎譯
四月	一八	一四	隱遁者外八篇	外村史郎譯

五月 二二 一五（クリム・サムギンの生涯 四十年第一部上） 西谷雅義譯
六月 二二 一六 幼年時代・隨筆 湯淺芳子譯
七月 二三 一七 人々の中・主人 高野哲藏譯
八月 二四 一八 隨筆・會見記他一篇 上田敏譯
十月 二五 一九（クリム・サムギンの生涯 四十年第一部下） 西谷雅義譯
十一月 二六 二〇 憂鬱他十篇 長一平譯
十二月 二七 二一（クリム・サムギンの生涯 四十年第二部上） 上田敏譯

◇小泉八雲全集 學生版（第一書房）

一月 七 四 骨董・怪談其他 田部隆二外二氏譯
二月 二 五 佛領西印度の二年間 大谷正信譯
三月 一〇 六 書簡集（二） 落合貞三郎外三氏譯
四月 一二 七 文學論 小泉八雲
五月 八日 六 雜本・雜感 同
六月 九 一〇 書簡（一） 同
七月 八 一〇 神國日本 同
八月 一三 詩論（一） 同

◇子規全集（改造社）

一月 一八 一八 補遺・年譜・藏書目錄 正岡子規
二月 一九 一九 編著 同
三月 二〇 二〇 編著・補遺（補卷二） 同
四月 二二 二一 編著（補卷三） 同
五月 二三 二二 編著・補遺（補卷四） 同

◇上田敏全集（改造社）

七月 補卷 九 談話及講演外五篇 上田敏

◇小山内薰全集（春陽堂）

五月 五 藝術女眞下五卷 小山内薰

◇鷗外全集（鷗外全集刊行會）

二月 一三 一四 藝術論篇（中） 森林太郎
四月 一四 一四 史傳篇帝諡考外九篇（一） 同
五月 一六 一五 史傳篇（三） 同
七月 一三 一六 飜譯小說詩篇（下） 同
十一月 一七 一七 史傳篇（四）外二篇 同
十二月 一四 一四 詩論（二） 小泉八雲
三 一五 知られぬ日本の面影 同

八月 四 六 決闘外九篇 小山内薰
十一月 七 七 明治廿一世外八—廿九年の劇評 同

◇谷崎潤一郎全集（改造社）

一月 六 七 中篇小說及飜譯 谷崎潤一郎
三月 一 八 長篇小說（一） 同
四月 九 一〇 短篇小說及映畫脚本 同
六月 九 一〇 私篇小說及八篇 同
八月 一三 一一 長編小說（三） 鬼の面外二篇 同
十月 一二 一三 紀行文外四篇 同

◇久米正雄全集（平凡社）

一月 一三 一三 小品・隨筆篇 久米正雄

◇吉田絃二郎全集（新潮社）

二月 一二 一 小鳥の來る日・生命の微光 吉田絃二郎
四月 一 二 草の中・生の記錄 同
五月 七 三 第一夜・長篇小說集 同
六月 一二 四 第光・二人静 同
七月 六 五 短篇小說集（六篇） 同
八月 二 六 第二・短篇小說集（外廿三篇） 同
九月 一三 七 第三・感想集（本に就いて外二篇） 吉田絃二郎
十月 一七 八 第二長篇小說集 同
十一月 一四 九 第五短篇小說集（芭蕉外廿篇） 同
十二月 一〇 一〇 第四・感想集（靜かなる土外二篇） 同

◇生田春月全集（新潮社）

一月 七 二 感想集（一） 生田春月
二月 二 三 詩集（二）悌草紙外六篇 同
四月 八 四 感想集（二） 旅ゆく一人外二篇 同
五月 三 五 時代人の詩（附遺書） 同
六月 五 六 相寄る魂（下）生死相伴 同
七月 一一 七 詩集（第一）雲魂の秋・其他 同
八月 一〇 八 評論集・附年表 同
九月 六 九 小說集（美女の毒他五篇） 同
一〇 九 一〇 感想・書簡 同

◇白秋全集（アルス）

一月 一五 四 詩集海豹と雲其他 北原白秋

◇長篇三人全集（新潮社）

二月 一二 一二 炎 女三上於菟吉
一二 一二 たゞ路地を 同

二月	一二	一二	炎を踏む女	三上於菟吉
二月	一三	一三	地獄	中村武羅夫
三月	一四	一四	新結婚哲學	加藤武雄
五月	一五	一五	銀河・綠の城・生活の盃	三上於菟吉
六月	一九	一六	藥園の犧牲	中村武羅夫
六月	一七	一七	美貌・地獄の花嫁	加藤武雄
八月	一六	一八	地上の愛	中村武羅夫
九月	二〇	一九	霧の海・假面の女	加藤武雄
十一月	一八	二〇	愛の戰車	三上於菟吉
十二月	二一	二一	夢の戰車	中村武羅夫
			彼女の太陽	
			焰の歌・血闘	
			王冠（夏子の卷）	

◇吉川英治全集（平凡社）

十月	一	一	金忠輔・劍難女難	吉川英治
十一月	二	二	貝殼一平	同
十二月	三	三	牢獄の花嫁	同
十二月	四	四	カンカン蟲は唄ふ	同
			春秋編笠ぶし	

◇江戸川亂歩全集（平凡社）

五月	八	一	魔術師外四篇	江戸川亂歩
六月	一	二	陰獸外四篇	同
七月	五	三	孤島の鬼外三篇	江戸川亂歩
八月	四	四	湖畔亭事件外八篇	同
九月	一〇	五	黃金假面外五篇	同
十月	二	六	一寸法師外五篇	同
十一月	六	七	蜘蛛男外十篇	同
十二月	七	八	獵奇の果外三篇	同
十二月	三	九	闇に蠢く外四篇	同

◇白井喬二全集（平凡社）

三月	一	一	祖國は何處へ（上）	白井喬二
四月	五	二	中篇集「沈鐘と佳人」外八篇	同
五月	九	三	捕物集	同
四月	二	四	祖國は何處へ行く（中）	同
七月	四	五	新撰組	同
八月	一〇	六	富士に立つ影（一）	同
九月	一一	七	富士に立つ影（二）	同
十月	一四	八	興味特作集	同
十一月	六	九	短篇集	同
十二月	七	一〇	源平盛衰記（上）	同

◇伊藤痴遊全集 續（平凡社）

一月	一〇	四	壯士物語	伊藤痴遊
四月	三	五	陸奥宗光	同
五月	五	六	續怪傑傳（下）	同
六月	二	七	佐幕派の傑人	同
七月	一二	八	政界回顧錄	同
八月	六	九	山縣有朋・板垣退助	同
九月	七	一〇	大隈重信・犬養毅・江島新平	同
十月	八	一一	伊藤己治代・田健治郎・後藤新平	同
十一月	九	一三	富豪傳	同

◇浪六全集（玉井清文堂）

一月	四五	三九	石田三成	村上浪六
二月	三一	四〇	牛肉一斤	同
三月	二〇	四一	無遠慮	同
四月	二三	四二	豐太閤	同
五月	三二	四三	うらと表	同
六月	三三	四四	うらと表（續）	同
七月	四三	四五	いたづらもの	同

◇櫻井忠溫全集（誠文堂）

一月	六	五	土の上水の上外二篇	櫻井忠溫
二月	一	六	肉彈	同
三月		七	櫻井忠溫漫畫集	同

◇佐々木邦全集（講談社）

一月	三	三	珍太郎日記外六篇	佐々木邦
二月	四	四	愚弟賢兄ゴンドラ村外七篇	同
三月	五	五	凡人傳親鳥子鳥外六篇	同
四月	六	六	のらくら倶樂部外七篇	同
五月	七	七	脫線息子外七篇	同
六月	八	八	負けない男外五篇	同
七月	九	九	ガラマサどん外六篇	同
八月	一〇	一〇	人生漫畫面外四篇	同

◇現代ユーモア全集 正（小學館）

一月	一〇	八	當世浮世大學	大泉黑石
二月	二	九	櫻の國地震の國	堺利彥
三月	一一	一〇	らく我記	高田義一郎
四月	三	一一	樂天地獄	戸田秋骨

五月	一	一二	後生樂	坪内逍遙

◇現代ユーモア全集 續（小學館）

一月	一九	八	凸凹放送局	池部釣
二月	二二	九	ヴェランダの椅子	牧逸馬
三月	二〇	一〇	哄笑極樂	吉岡島平
四月	一八	一一	漫談レヴイウ	徳川夢聲外二氏
五月	二四	一二	命のばし	保積樹天 長崎坡天

◇現代語西鶴全集（春秋社）

六月	五	一	好色五人女 好色一代女	長田幹彦
七月	三	二	武道傳來記 武家義理物語	菊池寛
九月	六	三	近年諸國咄外二篇	久保田万太郎
十月	一	四	好色一代男	里見弴
十一月	七	五	本朝二十不孝 本朝櫻陰比事	吉井勇
十二月	二	六	好色二代男	久米正雄

◇曾我廼家五郎全集（アルス）

一月	七	七	土曜日の夕外八篇	和田久一
七月	八	八	陰日向外七篇	同

◇二版 世界戲曲全集（世界戲曲全集刊行會）

三月	一一	三二	獨墺篇（一）ゲーテ集	森鷗外 關口存男譯
四月	二五	三三	露西亞近代劇集	アンドレエフ外三氏 作・小山内薫外四氏譯
五月	三一	三四	佛蘭西古典劇集	井上勇外三氏譯
六月	二二	三五	中歐現代劇集	モルナアル外二氏 小山内薫外三氏譯
六月	一八	三六	獨逸現代劇集	小山内薫外七氏譯
七月	一	三七	希臘古典劇集	アイスキユロス 村松正俊譯
七月	二四	三八	露西亞近代劇集	チエエホフ外二氏 小山内薫外五氏譯
八月	三五	三九	佛蘭西現代劇集	ヴイルドラツク外八氏 作・神部孝外六氏譯
八月	二〇	四〇	墺太利古典近代劇集	ゲリルパルツエル外四氏作・中島清外五氏譯

◇近代劇全集（第一書房）

二月	別冊	四四	舞臺寫眞帖	岩田豐雄編

◇日本戲曲全集 歌舞伎篇（春陽堂）

二月	八	二五	寛政期京阪仇討狂言篇	諸美清太郎編
三月	一七	二六	寛政期江戸世話狂言集	同
四月	二四	二七	お家狂言篇	同
六月	三	二八	石川五右衛門狂言篇	同
七月	二六	二九	續義太夫狂言時代物集	同
八月	二三	三〇	天保嘉永度狂言集	同

八月	二	三一	不破名古屋狂言集	諸美清太郎編
九月	一	三二	中古江戸狂言集	同
十月	四三	三三	京阪二の替狂言集	同
十一月	三五	三四	俠客狂言集	同
十二月	三四	三五	太閤記狂言集	同

◇喜劇全集（講談社）

二月	中	二	縛られた旬樂他十九篇	吉井勇外十五氏
三月	下	三	江戸ッ子道中外十九篇	森曉紅外十五氏

◇現代短歌全集（改造社）

二月	八	一六	金子薬閣集、太田水穂集	金子薬閣 太田水穂
三月	一八	一七	今井邦子・相原白蓮・外三氏集	今井邦子外四氏
四月	一	一八	八田知紀・井上文雄・外四氏集	八田知紀外五氏
五月	一六	一九	尾山篤二郎・松村英一・外一氏集	尾山篤二郎・松村英一・吉植庄亮
九月	一九	二〇	相馬御風外四氏集	相馬御風外四氏
十一月	二一	二一	口語短歌集・新興短歌集	西村陽吉外十九氏
	二〇	二二	岩谷莫哀・橋田東聲外三氏集	岩谷莫哀外四氏

美術・書道

◇二版 世界美術全集（平凡社）

一月	二	一六	希臘と後期埃及先奏秦代	木村莊八以下七氏
二月	一八	一七	文藝復興期（下）明初其他	同
三月	九	一八	プレ・ローマネスク・天平時代（下）	伊東忠太外十五氏
四月	二五	一九	ルイ王朝（三）徳川元寶文暦時代	伊東忠太外二十氏
五月	二二	二〇	フランドル・清及徳川時代（二）	伊東忠太外廿六氏
六月	二三	二一	ルイ王朝（一）・清朝初期	伊東忠太外十七氏
七月	一	二二	先史時代と埃及	伊東忠太外十六氏
八月	二九	二三	印象初派期と明治初期其他	伊東忠太外卅一氏
九月	二六	二四	古典派・浪漫派・ルイ王朝（四）・印度教及徳川時代	伊東忠太外廿氏
十月	一七	二五	ルネサンスと東山時代	今泉雄作外十五氏
十一月	七	二六	ビザンチンと白鳳時代	伊藤忠太外十五氏
十二月	二四	二七	ルイ王朝（二）・清朝中期及徳川（寶永・享保）時代	伊藤忠太外廿一氏

◇世界美術全集 別卷（平凡社）

一月	一	四	壁畫篇（上）	森口多里以下三氏
二月	一六	五	陶磁篇	同
三月	一三	六	庭園篇	田村譜外八氏解説
四月	六	七	素描篇	石井柏亭外十五氏
五月	一〇	八	室内裝飾及家具篇	石井柏亭外九氏
六月	五	九	宗像圖像篇	一氏義良外九氏
七月	一七	一〇	工藝篇（上）	石井柏亭外七氏
八月	八	一一	東洋版畫篇	石井柏亭外十三氏

九月 一二 服飾篇 今和次郎外七氏
十月 一三 建築裝飾篇 石井柏亭外九氏
十一月 一四 繪巻及ミニアチュール篇 石井柏亭外八氏
十二月 一五 工藝篇（下） 六角紫水外八氏

◇世界裸體美術全集（平凡社）

七月 一〇 九世紀 太田三郎編
八月 二 文藝復興期 同
九月 六 現代 同
十月 三 十七・八世紀 同
十一月 四 近代及び中世 同
十二月 一 古代及び中世 同

◇世界風俗畫全集（忠誠堂）

三月 三 一十七八世紀西洋篇 鯖木清方 日口鏡次郎編

◇日本國寶全集（日本國寶全集刊行會）

二月 八 一六 西洋之部 人體篇下卷 アトリエ社編

◇東西素描大成（アトリエ社）

三月 一〇 光琳派 飯塚桑邨編
四月 一二 圓山派（一） 同
五月 三 宗派（一） 同
六月 三 北宗派（一） 同
七月 五 狩野派（一） 同
八月 二 南宗派（一） 同
九月 一四 佛畫（一） 同
十月 一六 四條派 同
十一月 七 狩野派（三） 同
十二月 一 大和繪（一） 同
一〇 南宗派（二） 同

◇日本畫大成（東方書院）

八月 四四 國寶數十圖 文部省編
九月 四五 觀世音菩薩像外十七圖 同
十月 四六 藥師如來兩脇侍像外十七圖 同
十一月 四七 阿彌陀三尊像外十六圖 同

◇日本裸體美術全集（高見澤木版社）

三月 一 德川中期 上村益郎編
四月 二 德川末期 高見澤忠雄編
五月 三 明治全期 同

◇歌麿裸體稀版畫集（高見澤木版社）

六月 七 清長筆（興產婦の圖）（花見踊の圖） 高見澤遊竹筒
七月 八 利信・（吉原雪）寫樂・（市川男女藏） 同
九月 九 政信・（中村七三郎）列一葉 同
十月 一〇 寫樂・（五代目團十郎）列一葉 同
十一月 一一 寫樂（大谷鬼治） 政信（武藏の月） 同
十二月 一二 寫樂（富三郎と萬世） 清倍（鏡臺の美人） 同
一月 一三 寫樂（梅川忠兵衛） 清倍（一文字屋太夫） 同
二月 一四 春信・（都の春） 同
三月 一五 清倍（少將龜の尺八） 同
清豐（常磐津龜の音色） 同

◇浮世繪板畫名作集 二期（第一書房）

一月 一二 華行燈屋物語繪卷 長坂珊吾編
二月 一二 西行中行事繪卷（上） 同
三月 一三 年中行事繪卷（中） 同
四月 一四 年中行事繪卷（下） 同
五月 一五 法然上人行狀繪圖（上） 同
六月 一六 法然上人行狀繪圖（下） 同
九月 一七 鳥獸人物畫卷 同
十二月 一八 粉河寺緣起繪卷・十二因緣繪卷 同

◇日本繪卷物集成（雄山閣）

八月 二四 鐘馗——德川初期 上村益郎 高見澤忠雄編
九月 一五 推古・天平・藤原篇 同
十一月 六 大正・昭和篇 同

◇山中常盤（第一書房）

一月 一二 岩佐又兵衛 同
三月 一二 同

◇浮世繪板畫名作集 二期（第一書房）

一月 五 鳥居淸信（寢の重荷）（藍の暮色） 高見澤遊竹筒
二月 一二 安藤廣重 同
三月 一二 同

◇日本六十餘州名所圖會（大倉書店）

七月 一 山城・駿河・上野・筑後 和田萬吉 鹽崎
九月 二 丹波・丹後・阿波 同
十月 三 近江・伯耆・出雲・對馬 同

◇歌麿裸體稀版畫集（高見澤木版社）

六月 一 婦女人相十品 高見澤忠雄編
三月 四 婦女人相十品 同
五月 五 婦女人相十品 同
六月 六 婦女人相十品 同

十一月		四	越中・備後・安藝	和田萬吉監修
十二月		五	甲斐・江戸・周防・日向	同

◇浮世繪大成（東方書院）

一月	六	三	爛熟時代（一）	吉田暎二編
二月	九	四	爛熟時代（四）	同
三月	一一	五	廢頽時代（二）	同
四月	八	六	爛熟時代（三）	同
五月	二	七	販畫創始時代（一）	同
六月	一二	八	廢頽時代（三）	同
七月	三	九	販畫創始時代（二）	同
八月	五	一〇	錦繪初期時代（二）	同
九月	七	一一	爛熟時代（二）	同
十月	一	一二	初期浮世繪時代	同

◇浮世繪大家集成（大鳳閣）

二月	一二	一	喜多川歌麿篇	吉田暎二編
三月	一八	二	廣重・清親篇	同
四月	三	三	懷月堂派 宮川長春篇	同
五月	六	四	湖龍・清滿篇	同
六月	七	五	一筆齋文調篇	同
七月	一六	六	英山・英泉篇	吉田暎二編
八月	一四	七	寫樂・豐國篇	同
十月	九	八	清長・春潮篇	同
十月	五	九	鈴木春信篇	同
十二月	一一	一〇	榮之・俊滿篇	同
十二月	一七	一一	國貞・國芳篇	同

◇現代作家美人畫全集（新潮社）

十月	二	一	日本畫篇（中卷）	鏑木清方外三氏編
十二月	四	二	洋畫篇（上卷）	同

◇油繪新技法講座（アトリヱ社）

六月	一	一	油繪總論外六篇	中川一政外六氏
八月	二	二	技法・材料篇	硲伊之助外六氏
八月	三	三	人物畫技法	津田青楓外八氏
十月	四	四	風景畫技法	森田恒友外七氏
十一月	五	五	靜物畫技法	中川一政外六氏
十二月	六	六	油繪沿革篇	森田龜之助外四氏
十二月	七	七	西洋畫派解說篇	大隅爲三外三氏

◇素描新技法講座（アトリヱ社）

十月	二	一	素描技法（上卷）	小林萬吾外八氏
十一月	一	二	素描總論	森田恒友外七氏
十二月	四	三	素描名作解說集（上卷）	アトリヱ社編

◇非水百花譜（春陽堂）

二月	一〇	一〇	てんなんしやう、しらん、ふぢ、こくちなし、うめばちさう	杉浦非水
七月	一二	一二	せんにんさう外四葉	同
十月	一三	一三	じゆずだま外四篇	同

◇萬國圖案大辭典（萬國圖案大辭典刊行會）

二月	二一	二一	索引	大隅爲三編

◇アルス美術大講座（アルス）

一月	二	一〇	水彩畫總論外七篇	原忠二以下六氏

◇三版 アルス寫眞大講座（アルス）

一月	一〇	一〇	修整法外二篇	久米關衛以下三氏
六月	一一	一一	活動寫眞法外二篇	寺內純一外二氏
七月	一三	一三	藝術寫眞總論外六篇	福原信三外六氏
八月	一三	一三	風景作畫法外五篇	平福百穗外六氏
九月	一四	一四	天然色寫眞法外三篇	江副春顯外一氏

◇色名總鑑（春秋社）

八月			全一卷	和田三造編

◇書道全集（平凡社）

一月	一九	一一	鎌倉時代・高麗・宋・元	野本白雲編
二月	四	一二	三國及西晉	同
三月	六	一三	東晉・前秦・北涼・宋・梁・北魏	同
四月	一六	一四	平安朝草假名（四）	同
五月	二〇	一五	織豐時代朝鮮・明時代	同
六月	一四	一六	平安朝草假名（二）	同
七月	一一	一七	平安朝（一）・新羅・晩唐	同
八月	二二	一八	江戸時代（二）朝鮮（三）清朝（中）	同
九月	三	一九	漢晉代木簡・其他眞蹟 瓦當・博・印・璽・封泥	同
十月	一	二〇	殷・周・秦	同
十一月	一七	二一	平安朝草假名（五） 鎌倉時代草假名（一）	同
十二月	七	二二	北魏・西魏・東魏・北齊・後周	同

◇日本名筆全集（雄山閣）

一月	二	古今集	尾上柴舟編
二月	三	書狀集	尾上柴舟編
三月	四	高僧名蹟集	岩橋小彌太編
五月	五	詩卷・朗詠集	高柳光壽編
六月	六	倭漢朗詠集(二)	尾上柴舟編
七月	七	金石文集	同
八月	八	色紙集	入田整三
九月	九	寫經集	尾上柴舟
十月	一〇		石田茂作編

◇俳人眞蹟全集（平凡社）

一月	一一	化政時代	石田元季編
三月	五	元祿時代(下)	勝峰晋風編
九月	四	元祿時代(上)	巖谷小波編

◇書道講座（雄山閣）

一月	一四	名碑百選	中村不折
二月	一五	和樣概說	尾上柴舟
三月	一六	篆隸帖及研究	高田竹山
四月	一七	六朝書法	中村不折
五月	一八	書論及書法	樋口銅牛

六月	一九	竟山學古	山本竟山
七月	二〇	常用漢字帖(上)	水島修三編
九月	二一	正臣假名帳	阪正臣
九月	二二	書範(下)草書の書方	田代秋鶴
十一月	二三	春堂假名帳	中村春堂
十二月	二四	學書津梁	神田泰麓

◇書道講座 二期（雄山閣）

四月	一	書範(上)	丹羽海鶴
五月	二	手紙の書方	中村春堂
六月	三	六朝の書法	中村不折
七月	四	竟山學古	山本竟山
八月	五	常用漢字帳(上)	水島望鶴編
九月	六	正臣假名帳	阪正臣
十月	七	書範(下)草書の書方	田代秋鶴
十一月	八	硯及筆紙墨研究	後藤朝太郎
十二月	九	書論及書法	樋口銅牛

音樂

◇世界音樂全集（春秋社）

一月	一八	日本音樂集	田邊尚雄
二月	一七	オルガン曲集	草川宣雄編
二月	二五	近世日本音樂集	田邊尚雄編
三月	二三	世界歌曲集	門馬直衛編
四月	一九	明治大正昭和流行歌曲集	堀内敬三 町田嘉章編
五月	二四	日本童謠曲集(二)	本居長世編
六月	一六	世界唱歌集	外山國彥編
七月	二六	マンドリン・ギタア曲集	大河原義衛編
八月	二二	日本童謠曲集(三)	山田耕作編
九月	二九	ヴアイオリン小曲集(二)	田中英太郎編
十月	二八	ピアノ小曲集	ジエームスダン編
十一月	三〇	舞踏音樂集	石井漠編
十二月	二〇	音樂辭典(一)	門馬直衛編

◇世界音樂全集 學生版（春秋社）

十月	七	世界獨唱曲集	門馬直衛編
十一月	一四	日本童謠曲集(一)	小松耕輔編
十一月	九	日本獨唱曲集	山田耕作編
十二月	二	ピアノ名曲集	マキシムシヤピロ 近衛秀麿共編

◇山田耕作全集（春秋社）

一月	一	歌謠曲集(一)	山田耕作
三月	七	國民歌謠曲集	山田耕作
五月	三	歌謠曲集(三)	同
六月	五	童謠曲集(二)	同
七月	一一	ピアノ曲集(二)	同
九月	一二	室內樂曲集	同

◇ピアノ名曲全集（京文社）

十二月	二	ベートヴエンの名曲集	榊原直編

◇オルガン名曲全集（京文社）

十二月	二	學校・教會オルガン名曲集	草川宣雄 津川主一編

◇童謠・唱歌名曲全集（京文社）

十一月	一	尋一程度の部 尋二程度の部	田村虎藏外二氏編
十一月	二	尋三程度の部 尋四程度の部	同
十二月	三	尋五程度の部 尋六程度の部	同

語學

◇英文學叢書 第五輯（研究社）

一月 プロミシューズ解縛 研究社編
二月 ジョン・ブル島の夏の夜の夢 舟橋聖一譯註
三月 ソン河畔の水車場 岡田みつ譯註
四月 眞夏の夜の夢 舟橋聖一譯註
五月 ロッス河畔の水車場 岡田みつ譯註
六月 アーノルド詩選 矢野峰人 倉田三郎譯註
七月 エンデイミオン・白鯨 齋藤勇 富田彬譯註
八月 盧遊談 中山竹二郎譯註
九月 權柄ある者 都村宣次郎譯註
十月 ハズリット隨筆選 山宮允 竹友藻風譯註

◇英米近代文學叢書 （春陽堂）

一月 現代物一幕傑作集 宮森麻太郎譯
二月 密告者黒・髪運轉士・其他 窗基俊吉譯註
三月 近代英米短篇集 富田彬譯
四月 ヤマ夫人の國・其他 ウィンタミア河畔 吉譯註
五月 この最後の者にも其他 川津雪四郎譯註
六月 牡丹燈籠・夏の日の夢・其他 山本修平譯註
七月 厚化粧の女他十三篇 舟橋聖一譯註
八月 虹・盲目の人 松本泰譯註

◇譯註英文名著全集 二輯 （英文學社）

一月 ロードジム 土井晩翠譯
二月 ピチャイルド・ハロウドの巡禮
三月 チャイルド・ハロウドの巡禮 土井晩翠譯
一月 八 論文講義外八篇 山口孤吉外八氏

◇二版 譯註英文名著全集 二輯 （英文學社）

三月 三 チャイルド・ハロウドの巡禮 土井晩翠譯
五月 一 發音講座外三篇 權田保之助譯述
六月 二 文法講座外三篇 同
八月 三 文法講座外三篇 同
十月 四 文法講座（四）外三篇 同
十一月 五 文法講座（五）外三篇 同

◇最新獨逸語講座 （有朋堂）

五月 一 發音講座外三篇 權田保之助譯述
六月 二 文法講座外三篇 同
八月 三 文法講座外三篇 同
十月 四 文法講座（四）外三篇 同
十一月 五 文法講座（五）外三篇 同

◇獨逸語大講座 （外國語研究社）

一月 一 自二十六講・至三十四講 同 口存男編
二月 二 本講の部 同
三月 三 自三十五講 至四十五講 同
四月 四 發音に關する諸種の智識 同
五月 五 無言の議員 薄田榮譯
六月 六

◇六版 新ドイツ語講座 （獨逸語研究社）

一月 一 現代物一幕傑作集 宮森麻太郎譯
二月 二 密告者黒・髪運轉士・其他 窗基俊吉譯註
三月 三 近代英米短篇集 富田彬譯
四月 四 ヤマ夫人の國・ウィンタミア河畔 吉譯註
五月 五 この最後の者にも其他 川津雪四郎譯註
六月 六 牡丹燈籠・夏の日の夢・其他 山本修平譯註
七月 七 厚化粧の女他十三篇 舟橋聖一譯註
八月 八 虹・盲目の人 松本泰譯註

二月 九 ゲエテの羅馬哀歌に就て外九篇 山岸光宣譯
三月 一〇 ゲエテの羅馬哀歌に就て外九篇 穗井天暹外九氏
四月 一一 ゲエテの羅馬哀歌に就て外九篇 早川文哉外三氏
五月 一二 獨逸文法外三篇

◇新ドイツ語講座 黃組 （獨逸語研究社）

一 文字と發音外四篇 小柳篤二外三氏
二 煙草納屋の祕密外五篇 舟木重信外四氏
三 獨逸の詩の話外七篇 中谷博外七氏
四 結婚物語外九篇 舟木重信外九氏
五 ニーベルンゲンの歌外九篇 小森三好外九氏
六 デエメルの詩に就いて外九篇 穗井天暹外八氏
七 ゲーテの羅馬哀歌 外八篇 同
八 ゲエテの羅馬哀歌 同
九 ゲエテの羅馬哀歌 穗井天暹外九氏
十 ゲエテの羅馬哀歌 外九篇
十一 ゲエテの羅馬哀歌 同
十二 ゲエテの羅馬哀歌 穗井天暹外九氏

◇新ドイツ語講座 青組 （獨逸語研究社）

一 煙草納屋の祕密外五篇 舟木重信外五氏
二 獨逸の詩の話外七篇 舟木重信外四氏
三 中谷博外七氏
十月 一
十一月 二
十二月 三

◇佛蘭西語大講座 （佛語研究社）

一月 一 組織的佛語研究 佛語研究社編輯部編
二月 二
三月 三
四月 四
五月 五
六月 六
七月 七
八月 八
九月 九
十月 一〇
十一月 一一
十二月 一二

◇ロシヤ語講座 （白揚社）

五月 一〇 第三學期第二號 昔合文雄編

◇ギリシヤ＝ラテン講座 第一部 （鐵塔書院）

六月 一 ギリシヤ（一） プラトン＝アリストテレス學會編
七月 二 ギリシヤ（二） 同

◇ギリシヤ＝ラテン講座 第二部 （鐵塔書院）

五月 一 ラテン（一） プラトン＝アリストテレス學會編
七月 二 ラテン（二） 同

◇プロレタリアエスペラント講座 （鐵塔書院）

三月 四 第一週より第四週まで エスペラント研究會編
六月 五 新エスペラント文集 同
十月 六 新エスペラント詞華集 同

◇現代支那語講座（太平洋書房）

十一月	七	研究講座外三篇	宮島吉敏外一氏
十二月	八	研究講座 聲音異同便覽	宮島吉敏

辭典

◇大百科事典（平凡社）

十一月	一	ア—イ カ	平凡社編

◇圖解現代百科辭典（三省堂）

十一月	一	ア—オ	三省堂百科辭典編輯部編

◇日本家庭大百科事彙（富山房）

十一月	四	補遺索引	富山房百科辭典編纂部編

◇改修言泉 普及版（大倉書店）

十一月	一	あ—か	落谷直文著 芳賀矢一改修
十二月	二	き—さ	同

歷史・地理

◇現代史學大系（共立社）

四月	四	一 歷史と社會組織 歷史と經濟組織	瀧川政次郎 石濱知行
五月	一二	二 東洋史精粹	松井等
十二月	一五	三 史學名著解題	千代田謙外二氏

◇國民の日本史（早稻田大學出版部）

九月	九	一 江戸時代創始期	西村眞次
十一月	八	二 安土桃山時代	同
十二月	一〇	三 江戸時代（興隆期）	高須芳次郎

◇日本歷史圖錄（日本歷史圖錄刊行會）

二月	一七	一七	長崎他十七圖
二月	一八	一八	德川吉宗他十七圖

◇國史講座（平凡社）

一月	三	一〇	平安朝史・鎌倉時代史	下村三四吉 松本新次郎

◇國史大系（吉川弘文館）

一月	四一	一〇	德川實記（第四篇）	黑板勝美編
三月	一四	一一	續史愚抄（中篇）	同
五月	四二	一二	德川實記（第五篇）	同
六月	一五	一三	續史愚抄（後篇）	同
八月	一七	一四	今昔物語集（本朝）	同
十月	四三	一五	德川實記（第六篇）	同

◇異說日本史（雄山閣）

三月	四	一	人物篇（四）	雄山閣編輯局編
五月	五	二	人物篇（五）	同
六月	九	三	女性篇（一）	同
八月	六	四	人物篇（六）	同
十月	二	五	人物篇（二）	同
十一月	三	六	人物篇（三）	同

◇赤穗義士史料（雄山閣）

三月	上	一	御徒方萬年記外十九篇	中央義士會編
七月	中	二	義士の處分外三篇	同
八月	下	三	義士關係書狀外二篇	同

◇德川禁令考（吉川弘文館）

七月	一	後聚第一帙	司法省藏版
八月	二	前聚第一帙	同
八月	三	前聚篇第二帙	同
九月	四	後聚第二帙	同
十月	五	後聚第三帙	同
十一月	六	前聚第三帙	同
十二月	七	前聚第四帙	同

◇明治大正史（朝日新聞社）

一月	四	世相篇	柳田國男編
二月	五	藝術篇	土岐善麿編
三月	六	政治篇	野村秀雄編

◇六國史（朝日新聞社）

一月	一〇	年表・索引	佐々木有義編

◇異國叢書（駿南社）

五月	別卷	シーボルトの最後日本紀行	小澤敏夫譯註

九月 一二 クルウゼンシュテルン日本紀行(上) 羽仁五郎譯註
一三 クルウゼンシュテルン日本紀行(下) 同

◇東洋史レクチユア（東洋史講座刊行會）

七月 一 東洋史研究法外四篇 中山久四郎外四氏
八月 二 東洋史研究法外五篇 中山久四郎外五氏
十月 三 東洋史研究法外四篇 中山久四郎外四氏
十二月 四 東洋史研究法外四篇 中山久四郎外四氏

◇東洋史講座（雄山閣）

二月 一〇 朝鮮の美術工藝 關野貞
三月 一一 支那建築史 伊東忠太
五月 一二 支那佛教史外二篇 常盤大定外二氏

◇東洋藝術史講座（雄山閣）

十一月 一 日本近世舞踊史 小寺融吉

◇大支那大系（萬里閣）

三月 一〇 七美術工藝篇(上) 春日部忠夫一氏編
七美術工藝篇(下) 春日部忠夫一氏編

◇中華民國歷史地圖（東洋圖書刊行會）

十月 一 河南省歷史地圖 大宮德平

◇世界古代文化史 普及版（東京堂）

十二月 一 緒論・先史時代觀・アジヤ文化 西村眞次

◇世界古代文化史 裝飾版（東京堂）

十二月 一 全 卷 西村眞次

◇世界興亡史論（平凡社）

一月 一 史論 エリン・グ著 井上哲次郎譯
二月 二 羅馬 イエリン・グ著 井上哲次郎譯
三月 三 歐洲民族文化史 イエリン・グ著 井上哲次郎譯
四月 四 支那革命外史 北一輝
五月 五 英國憲政論 バジョット著 吉田巳之助譯
六月 六 宋朝史論 王桂荃等・前川三郎譯
七月 七 武家興亡觀 中村孝也
八月 八 支那近世政治思潮 黃宗羲外一氏 松井等譯
九月 九 普魯西勃興史 トライチユケ著 藤井甚太郎譯
十月 一〇 亞歷山遠征史 アリアス・フラウス著 坂本健一譯
十一月 一一 帝國主義國策及批判 吉田熊次 長谷川萬次郎 高橋龜吉 共著

◇西洋史講座（雄山閣）

一月 八 ギリシヤ史外十三篇 村田數之亮 外十三氏
二月 九 ギリシヤ史其他數篇 村田數之亮 外數氏
三月 一〇 ギリシヤ史外十二篇 村田數之亮 外十二氏
五月 一一 古代東方諸國史外十一篇 石山晉二 外十一氏
六月 一二 ギリシヤ史外十二篇 村田數之亮 外十二氏
七月 一三 十八世紀史外十一篇 時野谷常三郎 外十氏
一四 第十八世紀史外十篇 時野谷常三郎 外九氏
八月 一五 文藝復興時代史外八篇 大類伸 外七氏
十月 一六 第十八世紀史外七篇 時野谷常三郎 外七氏
十一月 一七 第十八世紀史外六篇 時野谷常三郎 外六氏

◇佛蘭西大革命史（平凡社）

三月 四 共和國 ジヤン・ジヨレス著 村松正俊譯
五月 五 佛蘭西革命とヨーロツパ 同
十一月 六 山嶽黨 同

◇ロシア大革命史（平凡社）

六月 一二 月革命 大竹博吉譯
七月 一三 ラスプーチン 同

◇偉人傳全集（改造社）

一月 一 ナポレオン傳 菊池寛
二月 二 伊藤博文傳 小笠原長生
三月 三 鄉平八郎傳 久米正雄
四月 四 滋野清彥傳 上原勇作
五月 五 榮一傳 土屋喬雄
六月 六 マルクス傳 石堂清倫
七月 七 エラスマス傳 大竹博吉
八月 八 ルーテル傳 石原謙
九月 九 ワシントン傳 斯波貞吉
十月 一〇 ビスマルク傳 大竹博吉
十一月 一一 ウエリントン傳 大竹博吉
十二月 一二 ナポレオン傳 大竹博吉

◇鄉土史研究講座（雄山閣）

九月 一 鄉土史の研究外三篇 柴田常恵外三氏
十一月 二 鄉土史と史料外三篇 岩橋小彌太外三氏
十二月 三 鄉土文化と青年團外二篇 關谷辰治郎外二氏
十二月 四 部落有林野史外二篇 小野武夫外二氏

◇鄉土科學講座（四海堂）

九月 一 鄉土科學に就いて外十一篇 柳田國男外十氏

◇地理學講座（地人書館）

月	號	篇	著者
二月	四	經濟地理(一)外七篇	小田琢治外七氏
三月	五	人口地理學外七篇	飯本信之外七氏
五月	六	地理學序論(三)外六篇	石橋五郎外七氏
六月	七	支那上代の歷史地理外五篇	小田琢治外七氏
七月	八	地理學發達史(二)外六篇	藤田元春外五氏
九月	九	日本の歷史地理(一)外六篇	小野鵬二外七氏
十月	一〇	人口地理學(三)外六篇	喜田貞吉外六氏
十二月	一一		石橋五郎外七氏

◇大日本地誌大系（雄山閣）

月	號	篇	著者
四月	三	御府內備考(三)	雄山閣編輯局編
六月	一七	山洲名跡志(二)	藍田伊人編
七月	四	御府內備考(四)	雄山閣編輯局編
八月	二八	三州地理志稿	藍田伊人編
八月	八	新編武藏風土記稿(四)	同
九月	二九	御府內備考(五)	雄山閣編輯局編
十月	九	新編武藏風土記稿(五)	藍田伊人編
十二月	〇	新編武藏國風土記稿(六)	同

◇日本地理風俗大系（新光社）

月	號	篇	著者
一月	一七	朝鮮篇(下)	仲摩照久編
二月	九	近畿地方篇(下)	同
四月	一	關東總論集	同
六月	一五	臺灣篇	同
七月	八	近畿篇(上)	同
七月	別卷	歷代風俗寫眞大觀	江馬務編
十月	二	大東京篇	仲摩照久編

◇日本地理大系（改造社）

月	號	篇	著者
二月	六日	中部篇(下)	改造社編
四月	別三	海外發展地篇(上)	青木新外三十氏
五月	八	中國・四國篇	澤沼儀一郎外七十氏
七月	別四	海外發達地篇	伊崎等外四十六氏
八月	一—二	總論篇	石橋五郎外八氏
九月	別五	富士山	武田久吉編

◇世界地理風俗大系（新光社）

月	號	篇	著者
一月	二四	北極地方篇	改造社編
三月	一一	ドイツ篇	同
五月	六	中央アジヤ篇	同
八月	別卷	世界風景大觀	渡邊萬次郎監輯
十一月	別卷	世界遺蹟大觀	仲摩照久編
十二月	二五	總論・索引篇	同

◇二版 世界地理風俗大系（新光社）

月	號	篇	著者
一月	二四	北極地方	仲摩照久編
三月	一一	ドイツ	同
五月	六	中央アジヤ	同
五月	五	インド	同
六月	一八	アラスカ・中米 カナダ・西インド	同
七月	一二	フランス	同
八月	四	南洋	同
八月	一〇	イギリス	同
九月	一七	アフリカ	同
十月	二	支那(二)	同
十一月	一四	イタリヤ・地中海	同
十一月	一九	アメリカ合衆國(上)	同
十二月	二五	總論・索引	同

◇世界探檢全集（萬里閣）

月	號	篇	著者
一月	三	日本探檢	原田三夫 松山思水編
二月	七	濠太利探檢	同
三月	六	アフリカ探檢(下)	原田三夫 松山思水編
四月	四	亞細亞探檢	同

政治・法律・社會

◇現代政治學全集（日本評論社）

月	號	篇	著者
一月	一二	自治制度論	渡邊宗太郎
三月	八	選擧制度論	森口繁治
十月	四	政治學說史	今中次麿

◇現代公民講座（雄風館）

月	號	篇	著者
一月	一三	國際問題	松原一雄
三月	一二	社會問題	永井亨
三月	三	自治政策	入江俊郎
四月	三(乙)	公民政治論	蠟山政道
五月	七	日本財政論	太田正孝
六月	四(乙)	工業概論	秋保安治
七月	五(甲)	日本文化史	笹川種郎
九月	五(乙)	產業貿易	佐藤弘
十月	九	商業經營	增地庸治郎

◇現代法學全集（日本評論社）

一月 三六 國際私法外六篇 山田三良 以下七氏
二月 三七 相續法・農業法・農資法 穗積重遠外六氏
三月 三八 債權法・治安維持法外二篇
八月 三九 商行爲法外五篇 竹田省外五氏
強制執行法・國際私法・總索引 加藤正治 山田三良

◇二版 現代法學全集（日本評論社）

一月 一三 會社法外三篇 松本烝治 以下三氏
二月 一四 會社法外四篇 松本烝治外四氏
三月 一五 民事訴訟法外四篇 菊井維大外四氏
四月 一六 海法・民事訴訟法・國際公法 岸清一郎・菊井維大外四氏
一七 民事訴訟法外一篇 菊地雄大外二氏
五月 一八 平時國際公法 立作太郎
一九 民事訴訟法外一篇 立作太郎外二氏
六月 二〇 平時國際公法外一篇 立作太郎外二氏
七月 二一 破產法外二篇 加藤正治外二氏
八月 二二 物權法外二篇 我妻榮外二氏
九月 二三 親族法外三篇 穗積重遠外三氏
十月 二四 戰時國際公法外一篇 立作太郎外二氏
十一月 二五 戰時國際公法 立作太郎
十二月 二六 海法・民事訴訟法・國際公法・戰時國際公法 松波仁一郎・菊井維大・立作太郎・鳥賀陽然良

◇世界現狀大觀（新潮社）

一月 一 社會科學概論外七篇 森戸辰男外七氏
二月 二 日本經濟の現勢外八篇 高橋亀吉外八氏
三月 三 印度濠洲加奈陀篇 大川周明外十二氏
四月 四 ソヴエト・ロシア篇 川上俊彥外十六氏
五月 五 英吉利篇 腰原時治外十六氏
六月 六 伊太利・西班牙篇 松田道一外十九氏
九月 七 新興國篇 松島肇外十四氏
八月 八 土耳其・バルカン諸國篇 澁田貞治外十三氏
十一月 九 佛蘭西篇 町田梓樓外十五氏
十二月 一〇 中華民國篇 大西齊外二氏

◇現代職業總覽（春秋社）

一月 一 公務・自由業篇（一） 社會調査協會編
二月 二 商業篇（二） 同

◇社會科學講座（誠文堂）

一月 一 社會科學概論外七篇 森戸辰男外七氏
二月 二 日本經濟の現勢外八篇 高橋亀吉外八氏

◇思想犯罪叢書（天人社）

一月 五 思想犯罪篇 松谷與二郎
七月 五 謎の殺人篇 前田蓮山

◇社會科學選集（解放社）

一月 一 社會主義運動文獻集 守田有秋
五月 三 日本學生社會運動史外九篇 菊川忠雄外七氏
六月 四 マルキシズム概說外五篇 河野密外四氏
七月 五 統計學汎論外八篇 高野岩三郎外八氏
八月 六 農村問題概論外九篇 杉山元治郎外四氏
九月 七 プロレタリヤ文學論外十篇 同 青木秀夫外六氏
十月 八 政治學概論外十二篇 蠟山政道外七氏
十一月 九 失業經濟學外十篇 林要外十氏
十月 一〇 レーニン主義の哲學外十二篇 青山孝一外九氏
十一月 一一 農業綱領外十篇 山田保清外五氏

◇社會思想全集（平凡社）

一月 一 社會主義運動と國家の把握外二篇 エンゲルス著 田中九一外一氏譯
三月 二 家族私有財産及國家の起源 エンゲルス著 戸田貞三外一氏譯
三八 三七 資本主義と社會主義外二篇 マルクス著 松下芳男外二氏譯
十月 三六 家族私有財産及國家の起源 外二篇 エンゲルス著 戸田貞三外一氏譯
十二月 三七 資本主義と社會主義外二篇 マルクス著 松下芳男外二氏譯
二月 二〇 伯林大學時代文に寄せたる手紙 他廿一篇 羽田德三 外十五氏譯
二〇 「聖マックス」外十篇 羽田德三 外十五氏譯
四月 二一 グレバー兄弟宛ての手紙 外廿四篇 森田勇藏郎外四氏譯
五月 二二 剩餘價値學說史（第二卷） 猪俣津南雄譯
七月 一〇 グレバー兄弟宛の手紙 外十七篇 風本三吉外九氏譯
八月 二三 ウィーンに於ける第九篇 羽田貞一外九氏
二四 大會への觀察 外九篇 岡田宗司外四氏譯
九月 二五 一青年の思想に當面せる諸問題 外七篇 山口修外七氏譯
十二月 二六 一青年の思想に當面せる諸問題 外七十九篇 山口修外七氏譯

◇レーニン選集（希・望閣）

二月 一五 金融資本論 ヒルファディング著 林要譯
三月 二〇 通俗資本論 ボルハルト著 水谷長三郎譯
四月 二六 財産とは何か 遊田研一譯
五月 三一 財産とは何か 遊田研一譯
一九 文學者と文化革命論 武藏野書院 茂森唯士譯
三二 無產階級文化論 茂森唯士譯
六月 二五 革命及び反革命外二篇 マルクス外一氏譯 後藤貞治外一氏譯
七月 三三 革命及び反革命外二篇 エム・レーニン著 後藤貞治外一氏譯
八月 一〇 プロレタリア革命と背教者カウツキー外二篇 山田勇榮外一氏譯
九月 二七 無政府主義經濟學外一篇 荻原良英一譯
二九 金融資本論 ヒルファディング著
三〇 通俗資本論 ボルハルト著 水谷長三郎譯
二六 財産とは何か 遊田研一譯
三一 財産とは何か 遊田研一譯
一九 文學者と文化革命論 武藏野書院 茂森唯士譯
三二 無產階級文化論 茂森唯士譯
二五 革命及び反革命外二篇 マルクス外一氏譯 後藤貞治外一氏譯
三三 革命及び反革命外二篇 エム・レーニン著 後藤貞治外一氏譯
三四 背教者カウツキー外二篇 山田勇榮外一氏譯
一〇 プロレタリア革命と
二七 無政府主義經濟學外一篇 荻原良英一譯

◇綜合シヤーナリズム講座（內外社）

三月 五 愉文集 幸德傳次郎
六月 六 珍文集 同

◇幸德傳次郎全集（解放社）

一月 一 ロシア第一革命の社會經濟的諸前提 帝國勞働調査所ブロレタリア科學研究所譯

二月	五	五	新聞界新史其他	橘篤郎編
三月	六	六	政治とヂャーナリズム外廿四篇	馬場恒吾外廿三氏
四月	七	七	近代思想とジャーナリズム 外廿篇	千葉龜雄外廿氏
五月	八	八	廣告とヂャーナリズム外廿六篇	瀬木博尚外卅三氏
六月	九	九	日本ヂャーナリズムの現勢 外廿七篇	杉村楚人冠外二十四氏
七月	一〇	一〇	新聞ヂャーナリズム外四篇	太田正孝外廿四氏
十月	一一	一一	日本圖書雜誌發禁史外十六篇	尾佐竹猛外廿一氏
十二月	一二	一二	ヂャーナリズムと輿論の構成外廿篇	杉山榮外廿六氏

經濟・商業

◇經濟學全集（改造社）

一月	三八	二八	商業學（下）	野村兼太郎外四氏
二月	一三	二九	部門經濟學	小林行昌外六氏
三月	一二	三〇	資本論體系（下）	向坂逸郎
四月	一五	三一	經濟政策（上）	河津暹外二氏
五月	四六	三二	金解禁を中心とせる我國經濟及金融	山室宗文
六月	四五	三三	經濟法令集	田中清太郎編
七月	四七	三四	カルテル・トラスト・コンツェルン（上）	有澤廣巳
八月	四七下	三五	カルテル・トラスト・コンツェルン（下）	美濃部亮吉
九月	一一	三六	資本論大系（中）	宇野弘藏 山田盛太郎
十月	二七 別卷	三七	マルクス經濟學說の發展（下） 世界恐慌と國際政治の危機	山川均外四氏 有澤廣巳外一氏
十一月	三三	三八	恐慌下の日本資本主義	猪俣津南雄
十二月	三四上	三九	世界經濟統計圖表	有澤廣巳 高橋正雄

◇現代經濟學全集 甲（日本評論社）

五月	二三	二八	土地經濟論・人口論・植民政策	河田嗣郎・永井亨・金持一郎
八月	八	二九	社會政策原理	河合榮次郎
九月	二四	三〇	經營經濟學	中西寅雄
十月	二	三一	經濟原論	小泉信三
十二月	二六	三二	世界經濟圖表	猪間驥一編

◇現代經濟學全集 乙（日本評論社）

四月	一五	二一	農業政策	那須皓
五月	二三	二二	土地經濟論・人口論・植民政策	河田嗣郎・永井亨・金持一郎
八月	八	二三	社會政策原理	河合榮次郎
九月	二四	二四	經營經濟學	中西寅雄
十月	二	二五	經濟原論	小泉信三
十二月	二六	二六	世界經濟・圖表	猪間驥一編

◇現代經濟學全集 丙（日本評論社）

十二月	二六	八	世界經濟圖表	猪間驥一編

◇現代經濟學全集 二版（日本評論社）

一月	一〇	一五	貨幣論	橋爪明男
二月	五	一六	歐洲經濟史	本位田祥男
三月	一七	一七	商業政策	上田貞次郎
四月	一四	一八	金融論	牧野輝智
五月	二五	一九	日本經濟圖表	猪間驥一編
六月	一二	二〇	銀行論	高垣寅次郎
七月	一五	二一	農業政策	那須皓
八月	二二	二二	土地經濟論外二篇	河田嗣郎外二氏
九月	八	二三	社會政策原理	河合榮治郎
十月	二四	二四	經營經濟學	中西寅雄
十一月	二	二五	經濟原論	小泉信三
十二月	二六	二六	世界經濟圖表	猪間驥一編

◇經濟學辭典（岩波書店）

二月	二	二	キ―コ	大阪商科大學研究所編
四月	三	三	サ―セ	同
十月	四	四	ソ―ハ	同

◇左右田喜一郎全集（岩波書店）

二月	一	四	初期の論文	左右田喜一郎
五月	五	五	獨乙文著作集	左右田喜一郎

◇マルクス資本論 二版（改造社）

一月	三	五	第三卷（下）	高畠素之譯

◇實際經濟問題講座（平凡社）

五月	三	六	內外經濟の諸問題	小汀利得
六月	九	七	我國に於ける農業政策と其の批判	內ケ崎虔二郎
八月	一三	八	我國に於ける勞働問題	河野密

◇日本經濟大典 二版（啓明社）

一月	四一 四四	二一	中外錢史・治具十三條	瀧本誠一編
二月	四二 四五	二二	本朝度量權衡考滄浪夜話	同
三月	四三 四六	二三	地方凡例錄嘉永[illegible]	同
四月	四七 五三	二四	某氏意見書徳川理財會要（乾）	同
五月	四八 五四	二五	農家調外徳川理財會要（坤）	同

◇日本經濟全史（日本經濟全史刊行會）

四月	一	一	史料篇	西內青藍編

◇明治前期財政經濟史料集成（改造社）

五月 一 一 松方伯財政論策集 大内兵衛編
八月 一八 二 興業意見書（上） 同 土屋喜久雄
十月 一七 三 工部省沿革報告 會計檢査院 同

◇現代貨殖全集（春秋社）

一月 一〇 二 黄金街を行く 谷孫六
二月 一四 三 宣傳時代 相同
三月 七 四 金派太功記 同
四月 八 五 財界診たり 鱗術 同
五月 三 六 儲けた人々 民 同
六月 六 七 新商賣往來 同
七月 一一 八 貨殖百物語 同
八月 二 九 萬國物語 同
九月 一〇 一 新投資策 術 同
十月 一二 二 新混同秘策 同
十一月 九 三 神算鬼謀錄 同
十二月 一三 四 孫子夜話 同

◇銀行信託講座（斯文書院）

一月 一〇 二〇 一七 信託經營論 野守廣
二月 一四 三三 一八 經營統計 小林新
三月 二一 一九 倉庫論 内池廉吉
四月 三九 二〇 商業概論 淵田敬太郎
五月 四〇 二一 販賣心理 上野陽一
七月 一三 二二 取引所論 藤田國之助
八月 三七 二三 商品學 坂口武之助
九月 四一 二四 金融統制論 高島佐一郎
十月 一七 二五 事務管理總論 金子利八郎
十一月 三二 二六 商業數學 佐々木道雄
十二月 二七 二七 簿記學 原口亮平

◇商學全集（千倉書房）

一月 一六 一 工場經營論 國枝繁書
二月 一六 一 工業大辭典（春陽堂）
四月 三三 キ —— ケ 工業大辭典編輯局編
七月 四 コ サ 工業大辭典編輯局編
十月 五 シ ス 同
十二月 六 セ ツ 同

工業・工學

◇高等土木工學（常磐書房）

一月 一四 二 港灣工學 鈴木雅次
三月 三 測量工學 圓信雄
四月 九 一六 橋梁工學 三浦七郎
五月 一六 五 鐵道工學 岡平井喜久松
六月 一〇 六 土木工事用具機械 志水直
七月 七 七 隧道工學 牧野雅樂之丞
八月 八 九 道路工學 吉田彌七永田年
十月 六 一〇 鐵筋混凝土工學 河口協助茂麓忠次郎
十一月 一二 一一 上水工學 下水工學 内山新之助伊部貞吉
十二月 一七 一二 都市計畫 建築工學 福田次吉
一月 一三 一三 河川工學 福田次吉

◇電氣工學論叢（コロナ社）

二月 四 一四 交流整流子機（第二卷） シエンケル著 山本貫三郎譯
五月 一 一五 電力系統の自働制御方式 子安武夫
七月 一六 一六 電機設計原論 宮本及雄譯

◇綜合工學全集 丙（工學全集刊行會）

十一月 一四 一四 蒸汽關工學（上卷） 山口修一
十二月 一五 一五 造船工學 野中末雄
一六 一六 建築裝飾及意匠の理論並沿革 武田五一

◇綜合工學全集 乙（工學全集刊行會）

十二月 五 五 建築裝飾及意匠の理論並沿革 武田五一

◇綜合工學全集 甲（工學全集刊行會）

八月 九 九 蒸汽關工學（上卷） 山口修一
十一月 一〇 一〇 造船工學 野中末雄

◇綜合工學全集 B（工學全集刊行會）

十月 一 一 蒸氣機關工學（上） 山口修一
十二月 二 二 關口傳八重吉加藤鎗郎

◇綜合工學全集 C（工學全集刊行會）

二版

◇綜合工學全集 甲（工學全集刊行會）

二版

十月 一 電氣機械(上) 山本忠興
十二月 二 電氣機械(下) 同

◇綜合工學全集 D（工學全集刊行會）

十月 一 河川及運河 山田陽青
十二月 二 構造力學特論 廣部屋龍平

◇最新通信工學名著叢書（コロナ社）

四月 一 光電管 原本徳壽 原著
六月 二 無線工學の理論と實際 パルマー著 上田保譯
七月 三 電話傳送學 ワインバック著 早川保譯
八月 四 無線工學の理論と實際 パルマー著 上田保譯
十月 五 電子原論・增幅器 伊藤庸二譯
十月 六 光電管 本堂毅原著
十一月 七 無線工學の理論と實際(三) 永福東作譯
十二月 八 電話傳送學(第二卷) 早田保實譯

◇現代建築大觀（構成社）

一月 一 一五 和蘭自耳義篇(其二) 今井兼次以下三氏
三月 一七 一六 露西亞・波蘭篇(其二) 同

◇アルス建築大講座（アルス）

一月 一 一〇 意匠及び裝飾論 武田五一
六月 二 七 住宅建築外二篇 佐藤功一外二氏
七月 一一 建築 一二 山崎勝太郎外六氏
八月 五 ホテル建築外四篇 堀口捨己外二氏
九月 一〇 耐震建築外二篇 永田德本郎外二氏
十一月 一四 材料 一五 構造力學 一一 建築材料外三篇 中村達太郎外三氏

◇アルス電氣工學大講座（アルス）

一月 一 一〇 鐵道信號 井上豐太郎 後藤安太郎
六月 一七 一一 電氣機械 野村達一郎
七月 一六 一二 電農村電燈 佐藤昌化 內藤二郎
八月 一三 電動機應用外二篇 高橋幸人外二氏
九月 一四 練習問題 山本忠興
十一月 一五 電氣磁氣測定及測定器(下) 沼倉三郎
十二月 二〇 高等數學概要(一部) アルス編

◇アルス機械工學大講座（アルス）

七月 一七 一二 流體力學(七)外六篇 宮城音五郎外五氏
九月 八 一八 機械力學外七篇 野口廣一外六氏

◇アルス自動車大講座（アルス）

六月 四 一六 自六十六講至九十五講 アルス編輯部編
八月 五 一六 自九十六講至百廿九講 同

農業・造園

◇日本農業年鑑（富民協會）

十月 一 昭和七年版 富民協會編

◇造園叢書（雄山閣）

五月 一 一 日本式庭園 龍居松之助
五月 二〇 二 花壇と芝生 飯三郎
六月 九 三 庭木と庭石 上原敬二
六月 一四 一 別莊の庭 金見健一
六月 一九 五 並木 三浦伊八郎
七月 六 公園の設計 井下清

理科學

◇萬有科學大系（新光社）

三月 一〇 續篇索引 仲摩照久編

◇萬有科學大系 正（新光社）

九月 一 一 天體及宇宙 山本一清
十月 五 二 動物 內田亨・平岩馨邦・內田恵太郎

七月 一七 一二 支那の風景と庭園 後藤朝太郎
八月 一三 八 運動遊戲設備 相川要一
九月 二四 九 茶席と露路 保岡時也
九月 一〇 一〇 庭園と衛生 遠山檜吉
九月 八 一一 造園と草花園藝 石井勇義
九月 七 一二 敷石飛石手水鉢 大江新太郎
十月 一二 一三 庭木の病蟲害 堀正太郎
十一月 一六 一四 日時計とフアウンテン 吉田孚二
十一月 一四 一五 洋風の庭園 田村剛
十二月 二三 一六 日本造庭法祕傳 飯居松之助
十二月 二二 一七 社寺の林苑 本鄕高徳

十一月	七	三 鑛物と岩石	渡邊萬次郎
十二月	一二	四 人類及人種	鳥居龍藏

◇萬有科學大系 續 版二 （新光社）

九月	一五	一 兵器	青木保
十月	一六	二 船舶	山本武藏
十一月	一一	三 化學工業	永井雄一郎・西澤勇志智
十二月	一三	四 航空機	內藤邦策

◇最新科學圖鑑 （アルス）

一月	一四	二 動物圖譜	谷津直秀・佐藤金治
六月	一	三 科學文明史	岡邦雄
七月	一三	四 地球の科學	渡邊萬次郎外五氏
九月	二	五 天空の科學	鈴木敬信・富田一
十一月	八	六 電氣時代	河合晋次外四氏
十二月	一一	七 製造工業の世界(上)	大島義清外三氏

◇輓近高等物理化學講座 A （共立社）

二月	三[illegible]	物理學（十四）	共立社編
二月	三一	化學（十七）	富永齊外六氏
三月	二二	物理學（十四）	山口昇外六氏
七月	二三	物理學（十五）	小野澄之助外八氏
七月	二四	物理學（十六）	石原純外七氏

◇物理學及化學 甲 版二 （岩波書店）

六月	物理一	一 物理學（一）	石原純外五氏
七月	化學一	二 物理化學概論外五篇	玉蟲文一外五氏
八月	物理二	三 計算法及び計算器械外五篇	小平吉男外四氏
九月	化學二	四 電氣化學外六篇	龜山直人外六氏
十月	物理三	五 流體力學外五篇	田丸卓郎外五氏
十一月	化學三	六 化學量論外五篇	千谷利三外五氏
十二月	物理四	七 物理學に應用する數學外二篇	寺澤寬一外二氏
十二月	化學四	八 光化學外五篇	塚本義之外五氏

◇物理學及化學 乙 （岩波書店）

二月	物十三	一三 物理學（十三）	石原純外五氏
三月	物十四	一四 物理學（十四）	山口昇外六氏
七月	物十五	一五 物質接觸に依る物理現象外七篇	小野澄之助外八氏
七月	物十六	一六 物理學史概觀外六篇	石原純外七氏

◇物理學及化學 乙 版二 （岩波書店）

三月	三二	化學（第十八卷）	富永齊外七氏
五月	三三	化學（十九卷）	箕作新六外九氏
五月	三四	物理學（第十五）	矢島祐利外五氏
六月	三五	金相學外五篇	濱住松二郎外五氏
八月	三六	化學（廿一）	箕作新六外五氏
十一月	三七	化學（廿二）	松野吉松外五氏

◇輓近高等物理化學講座 B （共立社）

二月	一四	物理學（第十四）	共立社編
五月	一五	物理學（第十五）	矢島祐利外五氏

◇輓近高等物理化學講座 C （共立社）

二月	一七	化學（十七）	富永齊外六氏
三月	一八	化學（第十八卷）	富永齊外七氏
五月	一九	化學（十九卷）	箕作新六外九氏
六月	二〇	金相學外五篇	濱住松二郎外五氏
八月	二一	化學（廿一）	箕作新六外五氏
十一月	二二	化學（廿二）	松野吉松外五氏

◇物理學及化學 甲 （岩波書店）

二月	二二	物理學（十三）	岩波書店編
六月	物理一	一 物理學（一）	石原純外五氏
八月	物理二	二 計算法及び計算器械外五篇	小平吉男外四氏
十月	物理三	三 流體力學外五篇	田丸卓郎外五氏
十二月	物理四	四 物理學に應用する數學外二篇	寺澤寬一外二氏

◇物理學及化學 丙 版二 （岩波書店）

七月	化學一	一 物理化學概論外五篇	玉蟲文一外五氏
九月	化學二	二 化學二（電氣化學外六篇）	龜山直人外六氏
十一月	化學三	三 化學量論外五篇	千谷利三外五氏
十二月	化學四	四 光化學外五篇	塚本義之外五氏

◇地質學及び古生物學・礦物學及び岩石學・地理學（A） （岩波書店）

二月		一 地質・鑛物（一）	岩波書店編
三月		二 地理學（一）	岩根保重外六氏
四月		三 地質ヶ鑛物（二）	本間不二男外六氏
五月		四 地理學（二）	德田貞一外六氏
六月		五 地質・礦物（三）	半澤正四郎外五氏
七月		六 地理學（三）	北田宏藏外五氏
八月		七 地質・鑛物（四）	小林貞一外五氏
九月		八 海洋學外四篇	小倉伸吉外四氏
十月		九 地質・礦物（五）	中村新太郎外六氏

十一月	一〇	氣候變化外五篇	羅井英一郎外五氏
十二月	一一	地質・礦物（六）	上治寅次郎外六氏

◇地質學及び古生物學礦物學及び岩石學・地理學（B）（岩波書店）

二月	一	地質・鑛物（一）	岩波書店編
四月	二	地質・礦物（二）	本間不二男外六氏
六月	三	地質・礦物（三）	半澤正四郎外五氏
八月	四	地質・礦物（四）	小林貞一外五氏
十月	五	始生代及原生代外七篇	中村新太郎外六氏
十二月	六	地質圖學外六篇	上治寅次郎外六氏

◇地質學及び古生物學・礦物學及び岩石學・地理學（C）（岩波書店）

三月	一	地理學（一）	岩根保重外六氏
五月	二	孤狀山脈外六篇	德田貞一外六氏
七月	三	解析地圖投影法外五篇	北田宏藏外五氏
九月	四	海洋學外四篇	小倉伸吉外四氏
十一月	五	氣候變化外五篇	羅井英一郎外五氏

◇生物學（岩波書店）

二月	一三	生物學概論他五篇	丘英通外五氏
三月	一四	實驗發生學外七篇	岡田要外七氏
四月	一五	核學外九篇	桑田義備外十氏
五月	一六	變異とメンデル性遺傳外八篇	木原均外八氏
六月	一七	進化要因論外九篇	小泉丹外七氏
九月	一八	細胞學の過去及び現狀外十七篇	藤井健次郎外十七氏

◇ウエルズ生命の科學（平凡社）

一月	四	生物進化の確證外一篇	小野俊一其他譯
四月	五	發育及進化の道程と能因	同
六月	六	發育及び進化の道程と能因外一篇	同
十月	七	生命の歷史と企圖	同

◇優生學講座（雄山閣）

十二月	一	優生學原理と人類遺傳學	古屋芳雄

◇二版 全譯性の心理（春秋社）

三月	九	一九	戀愛と苦感	エリス著 増田一朗譯

◇性科學全集（武俠社）

一月	二	近代文化と性生活	杉田直樹
二月	五	生物界の兩性生活	櫻山桐郎
三月	六	產兒調節の理論と實際	馬島僊
四月	七	人類性文化史	西村眞次
五月	八	人生醫學	正木不如丘
六月	九	變態性慾考	高田義一郎
七月	一〇	性慾の科學	富士川游
八月	一一	戀愛の史的考察	石原純
九月	一二	吸血妖魅考	日夏欣之介

◇二版 誰にもわかる科學全集（學洋社）

二月	二	空の神祕	原田三夫
七月	九	最新發明ローマンス	同
七月	三	地球の今昔	同
八月	六	草木の世界	同
九月	一〇	化學工業の進步	同
十月	五	生命の不思議	同
十一月	四	日常氣象學	同
十二月	七	蟲魚禽獸	同

◇二版 フアブル科學知識全集（アルス）

二月	六	田園の惡戲者	宮島資夫譯
六月	一二	本能の祕密	大木篤夫譯
七月	九	植物の世界	草生葉留譯
八月	四	科學の不思議	安成二郎譯
九月	一三	農業科學の話	安谷寛一譯
十一月	一一	昆蟲の習性	平林初之輔譯
十二月	七	鳥獸の進化	安成二郎譯

◇フアブル昆蟲記（アルス）

一月	一一	フアブルの生活	ルダロ著 安谷寛一譯
四月	一	しんせいよろひむし外廿一篇	岩田豐雄
六月	九	ナルボンヌいたみどくぐも外廿四篇	豐島與志雄 川口篤譯
七月	一〇	みすきろよひむし（巣）外廿一篇	山田珠樹 水野亮譯
九月	四	ペロペウスばち外十七篇	落合太郎 河盛好藏譯
十二月	一二	螢外四篇	安谷寛一譯

◇日本水產動植物圖集（大日本水產會）

五月	一	（上編）自第一圖版至五十圖版	大日本水產會編

◇鳥類寫生圖譜 三期（鳥類寫生圖譜刊行會）

數學

◇續輓近高等數學講座（共立社）

二月 三 櫃・鳥・鷄 小泉岡藤良
三月 四 小鴨・虎・鵜 岡同
五月 五 數珠掛鳩・鶯 民同
六月 六 大鵬鵬 同
七月 七 雉・田鳧 和同
十月 八 佛法僧・白鷺 同
十二月 九 百合鷗・山鳥 同

◇二版 輓近高等數學講座（共立社）

一月 一五 近世綜合幾何學其他 菊池德三郎外二氏
二月 一〇 立體解析幾何學他四篇 中田音吉外四氏
三月 一〇 立體解析幾何學外四篇 同
五月 一二 續數學雜談外五篇 高木貞次郎外五氏
六月 一三 橢圓函數論外五篇 國枝元治外五氏
七月 一四 常微分方程式外五篇 吉江琢兒外五氏
八月 一五 近世數學史談外四篇 高木貞治外四氏
十一月 一六 高等解析學外六篇 坂井英太郎外五氏

◇現代醫學大辭典 學生版（春秋社）

五月 二四 内分泌學篇 小川藤一外二十三氏
七月 二五 生化學篇 赤松茂外十五氏

◇醫學常識（東西醫學社）

一月 八 腹痛外二篇 桑園順二郎外二氏
八月 九 癌の常識外二篇 長與又郎外二氏

◇臨牀大醫典（春秋社）

一月 二 眼科 藤原謙造外廿一氏
四月 三 齒科 岡田穰外十八氏

◇家庭醫學全集（誠文堂）

一月 九 衛生細菌病理藥理學科篇 戸田正三以下八氏

◇二版 輓近初等數學講座（共立社）

一月 一六 東西數學史他四篇 三上義夫外四氏
三月 一七 微分方程式初步外三篇 坂井英太郎外三氏
五月 一八 集合論初步外四篇 辻正次外四氏

醫學・衛生

◇現代醫學大辭典（春秋社）

一月 二二 理學的治療學篇 安藤肇一外廿八氏
二月 二三 補遺篇 單行四氏

◇最新健康講座（テトラ社）

五月 一 初等數學概要外七篇 國枝元治外七氏
六月 二 初等數學概要外九篇 國枝元治外八氏
七月 三 初等數學概要外八篇 國枝元治外七氏
七月 四 初等數學概要外九篇 國枝元治外八氏
九月 五 初等數學概要外十一篇 國枝元治外十氏
九月 六 初等數學概要外十篇 國枝元治外九氏
十月 七 初等數學概要外十二篇 國枝元治外十一氏
十一月 八 初等數學概要外十篇 國枝元治外九氏
十二月 九 初等數學概要外十篇 國枝元治外九氏

◇臨床家庭醫典（平凡社）

十一月 一 外科外四篇 津田博雄編

◇民間治療全集（春陽堂）

九月 一 皮膚・泌尿生殖器・性病篇 稻毛晉二
十月 一 鍼灸、指壓、溫鍊、水治、整法全集 平田内藏吉
十一月 二 和漢洋治療藥營養療法全集 同
十一月 三 經路・經穴刺戟療法全集 同
十二月 四 治病鍼灸健康法全集 同

趣味・娯樂

六月 一 解剖外十一篇 西成甫外九氏
八月 二 解剖外十一篇 西成甫外十二氏
九月 三 解剖外十一篇 西成甫外十二氏
十月 四 解剖外九篇 西成甫外七氏
十一月 五 解剖外九篇 西成甫外十一氏
十二月 六 解剖外九篇 西成甫外十氏

◇圍碁大衆講座（平凡社）

一月	六	六	定石篇外五篇	加藤信外二氏
二月	七	七	定石篇外五篇	同
三月	八	八	定石篇外五篇	同
四月	九	九	定石篇外五篇	同
五月	一〇	一〇	定石篇外五篇	同
六月	一一	一一	定石篇外六篇	同
七月	一二	一二	定石篇外六篇	同
八月	一三	一三	定石篇外五篇	同
九月	一四	一四	定石篇外五篇	同
十月	一五	一五	定石篇外二篇	同

◇名人圍碁全集（誠文堂）

五月	四	二三四子	布石法	本因坊秀哉
七月	五	五	互先定石（中卷）	同
十二月	六		圍碁實戰軌範	同

◇圍碁はめ手はまる手はまらぬ手（玄々堂）

十二月	上	一	大斜走篇外四篇	石居初夫

◇將棋大全集 實戰篇（誠文堂）

一月	四	金易二郎實戰集	金易二郎
三月	五	花田長太郎實戰篇	花田長太郎
五月	六	天野宗歩實戰集	大崎熊雄
十月	七	木見金治郎實戰集	木見金治郎
十一月	八	關根金次郎實戰集	關根金次郎

◇將棋大全集 定跡篇（誠文堂）

三月	四	將棋上達法	關根金次郎
十月	五	香落定跡篇	木村義雄

◇將棋大講座（春陽堂）

二月	自九至一二	自九至十二	大崎熊雄編

◇釣魚大全（洋々社）

一月	一一	一一	婦人子供の釣（釣の手引）	上田尚
三月	一〇	一二	海魚の釣	同

◇義太夫名曲全集（玉井清文堂）

一月	二四	鏡山田錦繪・戀娘黄八丈	清文堂編
二月	二五	七福神寶入船・敵討雅文談	同

◇寶生正本 昭和版（ほんや書店）

一月	一八		寶生重英
四月	一九	氷室外九篇	同

◇二版 寶生正本 昭和版（ほんや書店）

一月	一	高砂他四篇	寶生重英編
一月	二	難波他四篇	同
二月	三	老松他四篇	同
三月	四	志賀外四篇	同
三月	五	蟻通外四篇	同
三月	六	海人外四篇	同
四月	七	放生川外四篇	同
四月	八	和布刈外四篇	同
四月	九	項羽外四篇	同
五月	一〇	吳服外四篇	同
五月	一一	松尾外四篇	同
五月	一二	金札外四篇	同
六月	一三	內十三（蘆刈外四篇）	同
六月	一四	內十四（右近外四篇）	寶生重英編
六月	一五	別卷（翁外三篇）	同
七月	一六	內十三（龍田外四篇）	同
七月	一七	外九（弓八幡外四篇）	同
七月	一八	外十（岩船外四篇）	同
八月	一九	內四（鶴龜外四篇）	同
八月	二〇	內五（養老外四篇）	同
八月	二一	外十五（張良外四篇）	同
八月	二二	外十六（皇帝外四篇）	同
八月	二三	內十四（春日調神外四篇）	同
八月	二四	內十五（山姥外四篇）	同
九月	二五	外十三（大蛇外四篇）	同
九月	二六	外十四（枕慈童外四篇）	同
九月	二七	內十八（三輪外四篇）	同
十一月	二八	內六（竹生島外四篇）	同
十一月	二九	外十一（綸馬外四篇）	同
十一月	三〇	外十二（飛雲外四篇）	同
十二月	三一	內十九（氷室外四篇）	同
十二月	三二	內二十（鵜鶘外四篇）	同
十二月	三三	外四（草薙外四篇）	同
七月	中下	ハリ節に關する解說 外七篇 節附に關する解說 外四篇	江島伊兵衛編
十月		初版正誤並ニ補修錄	同

◇觀世流宗家正本 昭和版（檜謠曲書店）

四月 一 内一（高砂外四篇）・外一（養老外四篇） 観世左近
五月 二 内二（鐘渡外四篇）・外二（西王母外四篇） 同
七月 三 内三（老松外四篇）・外三（嵐山外四篇） 同
八月 四 内四（白樂天外四篇）・外四（項羽外四篇） 同
十月 五 内五（養老外四篇）・外五（張良外四篇） 同
十一月 六 内六（竹生島外四篇）・外六（住吉詣外四篇） 同
十二月 七 内七（志賀外四篇）・外七（吉野天人外四篇） 同

◇観世流參考謠本 一次（観世流改訂本刊行會）

九月 別卷 能 謠 語 彙 観世流改訂本刊行會編

◇観世流參考謠本 三次（観世流改訂本刊行會）

一月 三 養老他二十四篇 九冊 柱
二月 四 頂羽他二十四篇 同
三月 五 玉井外十九篇 同
四月 六 天外二十一篇 同
五月 七 自内十三至内十六 同

◇観世流改訂謠本 復興版（観世流改訂本刊行會）

九月 別卷 能 謠 語 彙 観世流改訂本刊行會編

六月 一 高砂外四篇・竹生島外四篇 梅若六郎
八月 二 大社外四篇・右近外四篇 同
十月 三 代主外四篇・白髭外四篇 同
十二月 四 三輪外四篇・綸馬外四篇 同

◇評判講談全集（講談社）

四月 一 遠山左衛門尉外五篇 伯山貞一 貞吉
五月 二 甲斐の紺天他五篇 南陵 松鯉
六月 三 里見八犬傳外五篇 旭堂南陵外五氏

◇梅若流謠本（梅若流謠本會）

十一月 一 高砂外十九篇 九冊 柱
十二月 二 弓八幡外廿三篇 同

◇観世流改訂謠本 復興版（観世流改訂本刊行會）

八月 一 自別一至別五 九冊 柱
九月 二 内一（高砂外四篇）・外一（養老外四篇） 同
十月 三 内二（鐘渡外四篇）・外二（西王母外四篇） 同
十一月 四 内三（老松外四篇）・外三（嵐山外四篇） 同
十二月 五 内四（白樂天外四篇）・外四（項羽外四篇） 同
六 内五（養老外四篇）・外五（張良外四篇） 同
七 内六（竹生島外四篇）・外六（住吉詣外四篇） 同
八 内七（志賀外四篇）・外七（吉野天人外四篇） 同
九 内十七・内十九 同
十 内十八・内二十 同
一〇 綸馬外十五篇 同
別冊 観世流改訂本解說 同

四月 七 左甚五郎外五篇 鏡城書房 山外五氏
五月 八 菊水の旗風外五篇 桃川若燕外五氏
六月 九 毛谷村六助外五篇 太田貞水外五氏
七月 一〇 鈴木主水外五篇 伊東陸湖外五氏
八月 一一 三家三勇士外五篇 大島伯鶴外五氏
九月 一二 快男子外五篇 同

◇評判講談（講談社）

一月 一 鼠小僧次郎吉外二篇 松林伯知外二氏
二月 二 猿飛佐助外二篇 旭堂南陵外二氏
三月 三 寛永御前試合外二篇 一龍齋貞山外二氏

◇樂天全集（アトリエ社）

一月 一 明治大正昭和社會漫畫集 北澤樂天
二月 二 女百態エログロ漫畫集 同
三月 三 金言警句川柳漫畫集 同
四月 四 凸茶目漫畫集 同

◇川柳漫畫全集（平凡社）

二月 三 腑茶問答（安永の卷） 矢野錦浪編
三月 四 榮養學講話外三篇 原 實外五氏

◇アルス婦人大講座（アルス）

一月 一 戀愛篇・婦人職業篇 塚本安部磯雄外十一氏
二月 二 住宅篇・結婚篇 高野敬輔外十三氏
三月 三 スポーツ篇・家庭醫學篇 佐藤慶次郎外十三氏
四月 四 社會科學篇・料理篇 吉野作造外十氏
五月 五 音樂篇・服飾篇 山崎延吉外十氏
六月 六 政治經濟篇・美容科學篇 堺利彦外十二氏
七月 七 最新科學篇・育兒篇 鹽原又策外十氏
八月 八 美術篇・結婚準備篇 石井柏亭外九氏
九月 九 演劇映畫篇・手藝篇 倉橋惣三外八氏
十月 一〇 社交篇・裁縫篇 藤田嗣治外十二氏
十一月 一一 中村吉藏外十二氏 杉浦非水外十一氏 山脇房子外十四氏 置鹽清外八氏
十二月 一二 小山内薫外十氏

婦人・家庭

◇婦人公論大學（中央公論社）

三月 一 大笑讀本（天明の卷） 矢野錦浪編
五月 一〇 大笑讀本（文化の卷） 代田收一外九氏
六月 一一 大笑讀本（人情大學） 矢野錦浪 田上三太郎 挿畫
八月 一一 世間哲學（元祿實錄の卷） 矢野錦浪 田上三太郎 挿畫

◇アルス婦人大講座 三期（アルス）

六月 八 二二 法律の一般知識外四篇 片山哲外四氏
七月 一 二三 近代自然科學外三篇 大町文衛外三氏

◇家庭科學大系（文化生活研究會）

一月 三三 おもと新栽培法外一篇 北神晉外一氏

◇羽仁もと子著作集（婦人の友社）

一月 六九 二 惱める夜のために外一冊 羽仁もと子
二月 二三〇 三 思想しつゝ生活しつゝ（中）同
三月 一三 四 家庭教育篇（上）・夫婦論 同
四月 一三一 五 若き姉妹に寄す・家庭教育篇（下） 同
五月 一四一 六 人間篇・惱める友のために（下） 同
七月 一四五 七 思想しつゝ生活しつゝ（下）半生を顧る 同
六月 一 八 信仰篇 同

◇子供研究講座（先進社）

一月 三 三 幼兒の心理と教育其他 倉橋・岡部・野上・秦木
二月 四 四 母のための教育講話他二篇 小西重直外二氏

◇女子技藝講習錄（大日本圖書株式會社）

八月 一 一 食物・菜 藤巻良知
九月 四 二 育兒・看護・結婚（生理・衛生） 留戸勝平
三 家事經濟 松平友子

◇家事裁縫手藝講座（玄海堂）

十一月 六 一 晩夏初秋挿花集成花形解說 船釣り生け 角谷勝三編

◇現代花道全集（春秋社）

三月 五 五 子供の生活の見方外三篇 青木誠四郎外四氏
四月 六 六 子供の病氣と手當外五篇 竹内薫兵外五氏
五月 七 七 一般心理學外七篇 松本孝次郎外七氏
六月 八 八 子供と文學外七篇 松村武雄外七氏
七月 九 九 子供と法律外六篇 牧野英一外六氏
八月 一〇 一〇 日本の子供外二篇 武政太郎外二氏

◇婦人子供洋服裁縫大講習錄（婦人之友社）

一月 四 一 和服裁縫外十一篇 共立女子職業學校編
二月 四 二 共立女子職業學校編

兒童讀物

十月 一 一 婦人子供服の作り方外五篇 福島芳太郎外七氏
十二月 二 二 下着一切の作り方外六篇 福島芳太郎外七氏

◇世界童話大系（誠文堂）

一月 一九 三 アラビヤンナイト（上卷） 中島孤島譯
二月 一六 四 オタランダ童話集 馬場勝夫譯
三月 一二 五 スペイン童話集 中村白葉譯
四月 五 六 ロシア童話集 山宮允譯
五月 八 七 トルコ童話集（下） 米川正夫譯
六月 一三 八 フランス童話集 佐々木孝丸譯
七月 一七 九 ウ部フ童話集 及川恒也譯
八月 二〇 一〇 ゲルマン童話集（下） 金田鬼一譯

◇世界家庭文學全集（平凡社）

一月 五 一 少年 オルコット作 齋藤キング譯
三月 一〇 二 水の國の赤ん坊 スレイ作 酒井明譯

◇世界童話大系（誠文堂）

一月 一九 三 アラビヤンナイト（上卷） 中島孤島譯
二月 一六 四 オタランダ童話集 馬場勝夫譯
三月 一二 五 スペイン童話集 中村白葉譯
四月 五 六 ロシア童話集 山宮允譯
五月 八 七 トルコ童話集（下） 米川正夫譯
六月 一三 八 フランス童話集 佐々木孝丸譯
七月 一七 九 ウ部フ童話集 及川恒也譯
八月 二〇 一〇 ゲルマン童話集（下） 金田鬼一譯

◇小學生全集（興文社）

一月 一 一 日本童話集（上） 菊池寛編
二月 二 二 デンマルク童話集（上） 同
四月 一一 三 イソップ童話集（下） 同
一二 四 世界少年少女文學集 小學生全集編輯部編

◇小學生全集 初級用（興文社）

十二月 二 一 西遊記物語 高木卓著
四月 二 二 ガリバー旅行記 ヒーリー著 中村星湖譯
七月 九 三 ロビンソン漂流記 デフォー著 中村星湖譯
一四 四 ヒーターパン 中村星湖譯

◇小學生全集（興文社）

一月 一 一 日本童話集（上） 菊池寛編
二月 二 二 デンマルク童話集（上） 同
四月 一一 三 イソップ童話集（下） 同
一二 四 世界少年少女文學集 小學生全集編輯部編

◇少年少女教育講談全集（講談社）

一月 三 一 源九郎義經外六篇 幾間結行其下七氏
二月 四 二 東鄉元帥他六篇 小笠原長生外六氏
三月 五 三 楠公父子外六篇 岡田東魚外六氏
四月 六 四 眞田幸村外六篇 大河内翠山外六氏
五月 七 五 乃木大將外六篇 本間瑞三外六氏

六月	八	八	大石内藏助外六篇	大河内翠山外六氏
七月	九	九	水戸黄門外六篇	同
八月	一〇	一〇	西郷隆盛外六篇	伊藤研齊外六氏
九月	一一	一一	元和三勇士外六篇	坂東太郎外六氏
十月	一二	一二	梁川庄八外六篇	大河内翠山外六氏

◇少年講談（講談社）

十一月		一	塚原卜傳	大日本雄辯會講談社編
十二月		二	近藤勇	同

文學論攷

早稻田大學教授

本間久雄著

發賣！

菊判函入四九〇頁
バツクラム裝美本
挿圖十一葉入
定價參圓貳拾錢
郵送料十八錢

飽く迄も純眞なる鑑賞的態度を緯とし、飽く迄も透徹せる文化史家的態度を經とし、更に比較文學の方法論を參酌して研鑽、又研鑽、以て本書を成す。收むるところ、東西文學に關する十四の長大論文。以て、外國文學が、いかに國文學の立場より檢討せらるべきか、國文學、又、いかに外國文學の立場より吟味せらるべきかを明かにす。加之、その研究對象のいかに獵奇的にして而も亦文化史的興味に富めるかは左の目次に依つても推知せらるべく、文學研究上、最近の一大收穫として敢て大方の清讀を待つ所以也

（内容目次）

「吟遊詩人論」、「英國唯美派の經路」、「オスカア・ワイルドト獄考」、「英國近代藝術と「日本」」、「元祿文學と化政度文學」、「艶道通鑑論」、「近世惡魔主義の文學」、「近松雜考」、「北村透谷論」、「明治毒婦物の考察」、「明治初期の文學論」他數篇。

東京神田三

東京堂發行

振替東京二七〇

第五部 雜誌總目錄

（昭和七年四月現在・發行所番地附）

女人藝術

月刊・思想藝術雜誌

世界と日本の女性の動きが一目で解る

新女性の慾望を、熱情を、理性を、論說や、小說や、劇や、詩や、その他あらゆる形式で發表してゐる。全日本の新興者よ！讀め、而して新女性の進路を知れ。

定價四十錢

一般雜誌目錄

昭和七年四月現在

◇幼年

誌名	月刊回數	形體	定價	發行所	
一年の小學生	一	菊判	三五	一統社	神田區一ツ橋通二
一年生のエバナシ	一	菊判	三〇	全甲社	市外下落合七三五
六才の子供	一	菊判	三〇	ボケット講談社	神田區錦町三ノ一一
二年の小學生	一	菊判	三五	一統社	神田區一ツ橋通二
ボッチヤン	一	菊判	二五	〃	〃
標準コドモエ文庫	一	四六倍判	三五	東方書院	〃
トモダチ	一	四六倍判	三五	青蘭社	芝區田町一ノ二
オミヤゲ	一	菊判	二〇	文武堂	本郷區本郷四ノ三
オハナシノクニ	一	四六倍判	五〇	文教書院	神田區一ツ橋通町二〇
チヤウチヤン	一	菊判	二五	一統社	神田區一ツ橋通二
幼年畫報	一	菊判	二五	博文館	日本橋區本町三ノ八
幼女の友	一	菊判	二五	幼女の友社	牛込區矢來町一〇二
幼女エバナシ	一	菊判	二〇	文武堂	本郷區本郷四ノ三
幼女の世界	一	菊判	二〇	宏文社	市外西大久保町五
ヨキ子供	一	菊判	二五	一統社	神田區一ツ橋通二
よい子の友	一	菊判	二〇	文教社	市外澁谷町伊達七六

誌名	月刊回數	形體	定價	發行所	
幼女クラブ	一	菊判	二〇	〃	〃
幼稚園	一	菊判	三五	小學館	神田區表神保町六
幼稚園優等生	一	菊判	三五	博英社	市外集鴨町一ノ一四
四才のコドモ	一	菊判	二五	ボケット講談社	神田區錦町三ノ一一
男子幼稚園	一	菊判	三〇	集英社	神田區表神保町六
男子の友	一	菊判	二五	學習社	牛込區矢來町一〇二
七才の子供	一	菊判	三〇	ボケット講談社	神田區錦町三ノ一一
美しい幼女	一	新菊判	三〇	〃	〃
ウチヌキエホン	一	四六倍判	二五	〃	〃
エバナシ	一	菊判	二〇	全甲社	市外下落合七三五
乘物畫報	一	四六倍判	三〇	ボケット講談社	神田區錦町三ノ一一
子供の世界	一	菊判	二〇	コドモ社	小石川區林町五七
子供之友	一	新菊判	二五	婦人之友社	市外雑司ヶ谷上り屋敷一一四八
子供界	一	菊判	二〇	宏文社	市外西大久保町五
子供園	一	菊判	三〇	小學館	神田區表神保町六
コドモエホン	一	不定	三五	集英社	神田區表神保町六
コドモノクニ	一	四六倍判	五〇	東京社	芝區南佐久間町二ノ一〇
コドモアサヒ	一	菊判	二五	朝日新聞社	大阪市北區中之島三ノ三
コドモ	一	菊判	二〇	コドモ社	小石川區林町五七
コドモキング	一	四六倍判	四〇	兒童教育社	神田區表神保町二
コドモノニホン	一	四六倍判	四〇	成海堂	神田區錦町三ノ一一
コドモクラブ	一	菊判	二〇	文教社	市外澁谷町伊達七六
コドモのテキスト	一	四六倍判	二〇	日本放送出版協會	日本橋區呉服橋二ノ三
ゴホービ	一	菊判	二〇	オサナゴ社	京橋區南八丁堀一ノ四
五才のコドモ	一	菊判	二五	ボケット講談社	神田區錦町三ノ一一
アイウエオ	一	菊判	一五	兒童教育社	神田區表神保町二
キユーピー	一	菊判	二〇	オサナゴ社	京橋區南八丁堀一ノ四

女子幼稚園	一	菊判	三〇	集英社	神田區表神保町六
尋常小學一年	一	菊判	三五	文武堂	本郷區湯島四ノ三
尋常小學二年	一	菊判	三五	〃	〃
尋常一年優等生	一	菊判	三五	博英社	市外巣鴨町一ノ一四
尋常二年優等生	一	菊判	三五	〃	〃
尋常三年優等生	一	菊判	三五	〃	〃
尋常四年優等生	一	菊判	三五	〃	市外巣鴨町一ノ一四
尋常一學年	一	菊判	三五	盛市社	本所區東兩國一ノ五
尋常二學年	一	菊判	三五	〃	〃
日の丸	一	菊判	二〇	文教社	市外澁谷町伊達七六
せうがく一年生	一	菊判	三五	小學館	神田區表神保町六
せうがく二年生	一	菊判	三五	〃	〃
せうがく三年生	一	菊判	三五	〃	〃
○					
幼年倶樂部	一	菊判	四〇	大日本雄辯會講談社	本郷區駒込坂下町四八
幼年の友	一	菊判	三〇	幼年の友社	京橋區銀座西一ノ三實業ビルヂング内
幼年の國	一	菊判	四〇	婦女界社	麹町區丸の内ビルヂング三五五區
優良の友	一	菊判	四〇	博英社	市外巣鴨町一ノ一四
小學四年生	一	菊判	三五	小學館	神田區表神保町六

◇少年・少女

面白い理科	一	菊判	三〇	こども理學會	神田區錦町三ノ五
科學玩具	一	菊判	三五	資文堂	麹町區飯田町二ノ三
子供の科學	一	四六倍判	五〇	子供の科學社	神田區錦町一ノ一九誠文堂内
サイエンス	一	四六倍判	三五	國民科學普及會	麹町區有樂町二ノ四電氣日報社内

少年少女冒險物語	一	四六倍判	三〇	旭光社	神田區錦町三ノ一一
少年少女譚海	一	四六倍判	二〇	博文館	日本橋區本町三ノ八
少年少女美談	一	四六倍判	二〇	幼年社	神田區錦町三ノ二五
少年少女冒險探偵綺談	一	四六倍判	三五	集英社	神田區表神保町六
小學五年生	一	菊判	四〇	小學館	神田區表神保町六
小學六年生	一	菊判	四五	〃	〃
○					
日本少年	一	菊判	四〇	實業之日本社	京橋區銀座西一丁目三
少年倶樂部	一	菊判	五〇	大日本雄辯會講談社	本郷區駒込坂下町四八
少年世界	一	菊判	四〇	博文館	日本橋區本町三ノ八
○					
令女界	一	菊判	四〇	寶文館	日本橋區本銀町三丁目
少女倶樂部	一	菊判	五〇	大日本雄辯會講談社	本郷區駒込坂下町四八
少女畫報	一	菊判	四〇	東京社	芝區南佐久間町二ノ一〇
少女の友	一	菊判	五〇	實業之日本社	京橋區銀座西一丁目三
女學生日本	一	菊判	三五	女學生之日本社	市外瀧野川町西ヶ原一六〇

◇婦人・流行

母性	一	菊判	二五	白日社	府下碑衾町自由ヶ丘
料理の友	一	菊判	五〇	大日本料理研究會	府下巣鴨町一ノ一四
家庭洋服の畫報	一	菊倍判	五〇	家庭洋服畫報社	小石川區白山御殿町一二六
家事及裁縫	一	菊判	五〇	家事及裁縫社	牛込區矢來町二二
婦女新聞	週	四六倍判	三	婦女新聞社	市外淀橋局内角筈九三
婦女界	一	菊判	五〇	婦女界社	麹町區丸ノ内ビルデング三五五
婦人世界	一	菊判	五〇	婦人世界社	芝區愛宕下町一ノ一

婦人の友	一	菊判	五〇	婦人之友社	市外雜司ヶ谷上り屋敷一一四八
婦人公論	一	菊判	五〇	中央公論社	麹町區丸ノ内ビルヂング五八八區
婦人畫報	一	四六倍判	八〇	東京社	芝區南佐久間町二ノ一〇
婦人倶樂部	一	菊判	五〇	講談社	本郷區駒込坂下町四八
婦人と新社會	一	四六判	一〇	婦人と新社會社	四谷區南伊賀町四一
婦人と生活	一	菊判	四〇	婦人と生活社	赤坂區表町一ノ九
婦人と修養	一	菊判	一〇	大日本婦人修養會	麹町區丸ビル三五五區
婦人サロン	一	菊判	四〇	文藝春秋社	麹町區內幸町一ノ三大阪ビル
婦人春秋	一	菊判	一五	婦人春秋社	市外大森局區新井宿五三一
婦人と子供	一	四六倍判	一〇	婦人と子供社	日本橋區通二ノ一
子供服エプロン雜誌	年四	四六倍判	一〇	子供服エプロン雜誌社	日本橋區横山町大通り
處女の友	一	菊判	一五	社會教育協會	小石川區白山御殿町一二七
主婦之友	一	菊判	五〇	主婦之友社	神田區駿河臺南甲賀町一四
助産婦と看護	一	菊判	二〇	産婆看護婦學會	牛込區藥王寺町二〇
女性	一	菊判	二五	一成社	神田區南神保町一六
美容體育	一	四六倍判	五〇	美容社	神田區美土代町二ノ一

◇娯樂

犯罪科學	一	菊判	六〇	武俠社	芝區南佐久間町二ノ一〇
犯罪公論	一	菊判	五〇	四六書院	神田區通神保町一
犯罪實話	一	菊判	五〇	駿南社	京橋區入舟町二ノ一
([illegible])ニツポン	一	菊判	二五	ニツポン社	牛込區若松町五二
ポケツト講談	一	四六判	三〇	ポケツト講談社	神田區錦町三丁目一一
獵奇	一	菊判	三〇	獵奇社	大阪市北區若松町三九
夜の東京	一	菊判	二〇	夜の東京社	芝區三田四國町二
探偵小說	一	菊判	五〇	博文館	日本橋區本町三ノ八
(文藝春秋)オール讀物號	一	菊判	五〇	文藝春秋社	麹町區內幸町一ノ三大阪ビル
オール東京	一	菊倍判	一〇	オール東京社	京橋區銀座西五ノ一スキヤビル
漫談	一	菊判	五〇	駿南社	京橋區入舟町二ノ一
文藝倶樂部	一	菊判	五〇	博文館	日本橋區本町三ノ八
冨士	一	菊判	五〇	大日本雄辯會講談社	本郷區駒込坂下町四八
講談倶樂部	一	菊判	五〇	〃	〃
講談雜誌	一	四六判	三〇	博文館	日本橋區本町三ノ八
講談落語界	一	菊判	三五	講談落語社	神田區淡路町一ノ一
デカメロン	一	菊判	五〇	風俗資料刊行會	本郷區坂下町七六
朝日	一	菊判	五〇	博文館	日本橋區本町三ノ八
キング	一	菊判	五〇	大日本雄辯會講談社	本郷區駒込坂下町四八
共樂	一	菊判	三五	博英社	市外巣鴨町一ノ一四
新青年	一	菊判	六〇	博文館	日本橋區本町四ノ八
實話時代	一	菊判	四〇	非凡閣	小石川區表町一〇九
實話雜誌	一	菊判	四〇	實話時代社	本郷區本郷四丁目四
モダン日本	一	四六倍判	一五	モダン日本社	麹町區內幸町一ノ三大阪ビル文藝春秋社內
モダン東京	一	四六倍判	一五	モダン東京社	芝區西久保廣町三四
○東京パツク	一	菊倍判	一五	東京パツク社	府下巣鴨町宮下一六六三
大阪パツク	二	四六四倍判	二〇	大阪パツク社	大阪市東區横堀二ノ一六
社會春秋	一	菊倍判	二〇	大阪出版社	大阪市南區上本町二丁目

◇映畫

日活映畫	一	菊判	三〇	映畫世界社	麹町區三年町二
日活スタチオ	一	菊判	三〇	一統社	神田區錦町三ノ一二
日活	一	菊判	三〇	豐國社	小石川區小日向水道町五三

東活映畫	一	菊判	三〇	一統社	田神區錦町三ノ一二
蒲田	一	菊判	三〇	蒲田雜誌社	麴町區三年町二
大松竹	一	菊判	三〇	映光社	牛込區袋町四
大日活	一	菊判	三〇	大日活雜誌社	芝區櫻田備前町二七
プロレタリア映畫	一	菊判	三〇	新鋭社	京橋區木挽町四ノ九豐玉ビル內
國際映畫新聞	一	四六倍判	三〇	國際映畫新聞社	京橋區銀座一ノ五銀座一ビル三階
映畫時代アラモード	一	菊判	三〇	映畫時代社	麴町區內幸町一丁目大阪ビル一號館
映畫と演藝	一	四六四倍判	五〇	朝日新聞社	麴町區有樂町二ノ三
映畫科學研究	年四	菊判	一、〇〇	往來社	麴町區內幸町一ノ六商興ビル第三號館
映畫往來	一	菊判	三〇	〃	〃
映畫の友	一	四六倍判	四〇	映畫世界社	麴町區三年町二
キネマ	一	菊判	四〇	豐國社	小石川區小日向水道町五三
キネマ週報	一	四六倍判	一〇	キネマ週報社	京橋區銀座西八ノ五日吉ビル
キネマ旬報	三	四六倍判	三〇	キネマ旬報社	麴町區內幸町一ノ三
シネマ王國	一	菊判	三〇	シネマ王國社	市外代々木初臺五八四
松竹	一	菊判	三〇	豐國社	小石川區小日向水道町五三
新映畫	一	菊判	四〇	新映畫社	市外大井町四〇九七

◇演劇

藝術殿	一	菊判	五〇	梓書房	神田區北甲賀町四
劇作	一	菊判	三〇	白水社	神田區小川町三〇
舞臺	一	菊判	五〇	舞臺社	市外杉並町阿佐ヶ谷二八九
新興戲曲	一	菊判	四〇	新興戲曲社	赤坂區氷川町四二
プロット	一	菊判	二五	日本プロレタリア演劇同盟出版部	京橋區銀座西八ノ九九州ビル內
演劇	一	菊判	五〇	演劇研究社	麴町區紀尾伊町三
演藝畫報	一	四六倍判	七〇	演藝畫報社	本郷區駒込動坂町一一〇

◇文藝

一橋文藝	年四	菊判	二〇	東京商科大學本科會文藝部	府下國立町東京商科大學內
生きて行く道	一	菊判	二〇	人生創造社	千葉市向寒川二五四
蠟人形	一	菊判	三〇	蠟人形社	市外柏木四三三
勞働藝術家	一	菊判	一五	勞働藝術社	市外長崎町地藏堂九四三
女人藝術	一	菊判	四〇	女人藝術社	赤坂區檜町三
報告	一	菊判	三〇	チップトップ書店	市外入新井町木原山一七一一
同志文學	一	菊判	二〇	素人社	本郷區眞砂町一五
地平線	一	菊判	二〇	交文社	神田區表猿樂町二一
雄鷄	一	菊判	三〇	紀伊國屋書店	東京新宿角筈
若草	一	菊判	二五	寶文館	日本橋區本銀町三丁目
關西文藝	一	菊判	二〇	關西文藝協會	大阪市西區江戸堀下通四丁目高尾印刷所內
大衆の友	一	菊判	二五	日本プロレタリア文化聯盟出版所	神田區美土代町四ノ五小川町ビル
つばさ	一	菊判	三〇	つばさ發行所	神田區淡路町二ノ九
ナップ	一	菊判	三五	全日本無産者藝術團協議會	市外落合町上落合四六〇
農民	一	菊判	一〇	全國農民藝術聯盟	府下杉並町成宗一一三
グロテスク	一	菊判	五〇	グロテスク社	神田區小川町一
ヤポンナ	一	菊判	一〇	雅博傘書房	赤坂區傳馬町二ノ八
文學往來	一	菊判	二五	新藝術家聯盟本部	市外落合町下落合一五七九
文藝サロン	一	菊判	一〇	素人社	本郷區曙町二
文學時代	一	菊判	四〇	新潮社	牛込區矢來町七一
文藝春秋	一	菊判	四〇	文藝春秋社	麴町區內幸町一ノ三大阪ビル
文戰	一	菊判	三〇	文藝戰線社	市外中野町上町二八勞農藝術家聯盟內
文藝	一	菊判	二五	文藝社	牛込區新小川町二ノ四
文藝汎論	一	菊判	一五	文藝汎論社	市外大井町庚申塚四九二八

文藝調編輯所	市外日暮里町一一〇九	菊判	一〇〇	一
プロレタリア時代社	本郷區駒込千駄木町五八	菊判	一〇〇	一
日本プロレタリア作家同盟	市外落合町上落合四六〇	菊判	一〇〇	一
斯文書院	神田區駿河臺西紅梅町一三	菊判	一〇〇	一
白水社	神田區小川町三〇	菊判	一〇〇	一
黒色戰線社	市外目黒町下目黒九三〇	菊判	一〇〇	一
黒色戰線社	本所區向島請地一二	菊判	一〇〇	一
新興派聯盟社	京橋區銀座西八ノ九	菊判	一〇〇	一
ぁるでんな書房	赤坂區傳馬町二ノ八	菊判	一〇〇	一
やぼんな書房	四谷區谷町二ノ一二	菊判	一〇〇	一
昌弘堂	神田區通新石町一六	菊判	一〇〇	一
作品社	麹町區土手三番町一九	菊判	一〇〇	一
近代生活社	芝區三田慶應義塾内	菊判	一〇〇	一
三田文學會	府下西巢鴨町九五八	菊判	一〇〇	一
民衆の藝術社	京橋區銀座西四ノ五井上ビル	菊判	一〇〇	一
文藝レビュー社	市外大森不入斗八四八	菊判	一〇〇	一
小說文學社	神田區今川小路一ノ四	菊判	一〇〇	一
新文學派社	牛込區矢來町七一	菊判	一〇〇	一
金星堂	四谷區新宿一ノ五一文友社内	菊判	一〇〇	一
新潮社	四谷區番衆町二	菊判	一〇〇	一
新科學的藝術社	神田區佐久間町二ノ八松村方	菊判	一〇〇	一
新早稻田文學社	市外代々幡町代々木初臺六二一	菊判	一〇〇	一
新進作家聯盟	市外中目黒一四八〇	菊判	一〇〇	一
大衆日本社	千葉市向寒川二五四	菊判	一〇〇	一
女性時代社	芝區高輪南町七	菊判	一〇〇	一
人生創造社				

◇詩

セルパン	戰星雲旗	菊判	一〇〇	一
生活的藝術	第一戰旗	菊判	一〇〇	一
	日向堂	菊判	一〇〇	一
	生活的藝術社	菊判	一〇〇	一

地上樂園	麹町區一番町五	菊判	一〇〇	一
プロレタリア詩人會	市外代々木六一八壺井方	菊判	一〇〇	一
交蘭社	神田區表猿樂町二	菊判	一〇〇	一
民謠レビュー社	市外中目黒一四八〇	菊判	一〇〇	一
詩神社	千葉市向寒川二五四	菊判	一〇〇	一
現代評論社	芝區白金臺町二ノ二〇	菊判	一〇〇	一
詩人時代社	牛込區富久町一一八	菊判	一〇〇	一
帝都書院				

◇歌

大地舍	市外高田町雜司ヶ谷龜原六一	菊判	一〇〇	一
プロレタリア詩人會	市外下落合五五八	菊判	一〇〇	一
交蘭社	小石川區江戸川町一八	菊判	一〇〇	一
民謠レビュー社	市外杉並町高圓寺一九三	菊判	一〇〇	一
詩神社	芝區琴平町一九山田章方	菊判	一〇〇	一
現代評論社	府下杉並町高圓寺八五七	菊判	一〇〇	一
詩人時代社	芝區白金臺町二ノ二〇	菊判	一〇〇	一
帝都書院	牛込區富久町一一八	菊判	一〇〇	一

八合社	本郷區駒込神明町二〇	菊判	一〇〇	一
多柏發行所	府下井荻町下荻窪一一九	菊判	一〇〇	一
潮音社	府下瀧ノ川町字田端二八三	菊判	一〇〇	一
からすのいえ	市外上高井戸五〇〇	菊判	一〇〇	一
短歌雜誌社	下谷區入谷町九九紅玉堂内	菊判	一〇〇	一
短歌月刊社	四谷區霞ヶ丘町一六	菊判	一〇〇	一
白帝書房	牛込區藥王寺町五三	菊判	一〇〇	一

歌	一	菊判	三〇	大日本歌道奬勵會
勁草	一	菊判	三〇	勁草社
現代生活	一	菊判	二〇	現代生活社
心の花	一	菊判	三五	竹柏會出版部
香蘭	一	菊判	五〇	香蘭詩社
アララギ	一	菊判	七〇	アララギ發行所
あざみ	一	菊判	三〇	薊社
阿迦雲	一	菊判	五〇	子規庵歌會
水甕	一	菊判	五〇	水甕社
詩歌	一	菊判	六〇	白日社
新綠	一	菊判	二〇	新綠社

赤坂區青山北町一ノ八
本郷區駒込東片町二二
赤坂區青山南町五ノ六六
日本橋區本石町一ノ一
市外淀橋角筈九二
赤坂區青山南町六ノ二一
市外杉並町高圓寺四一三菊池方
下谷區上根岸町八二
名古屋東區新出來町一ノ三五
市外西大久保一二八
府下西巣鴨町巣鴨一三

◇俳句

俳句月刊	一	菊判	四〇	俳句月刊社
ホトトギス	一	菊判	五五	ほととぎす發行所
同人	一	菊判	五〇	同人社
千鳥	一	菊判	五〇	俳句と添削社
ぬかご	一	菊判	五〇	ぬかご社
黃橙	一	菊判	五〇	黃橙發行所
海紅	一	菊判	五〇	海紅社
鹿火屋	一	菊判	四五	かびや發行所
玉藻	一	菊判	四〇	玉藻社
層雲	一	菊判	五〇	層雲社
草上	一	菊判	四〇	草上書屋
木太刀	一	菊判	四〇	木太刀社

本郷區眞砂町一五
麴町區丸ノ内二ノ二丸ビル八七六區
大阪市東區南北濱二丁目
本所區向島請地町一二
麴町區丸ノ内三ノ一二
市外杉並町高圓寺七三〇
府下駒澤町新町九〇
麻布區本村町一一六
麴町區丸ノ内二ノ二丸ビル八七六區
麻布區新堀町三
市外西大久保一三六
牛込區水道町四一

澁柿	一	菊判	四〇	澁柿社
水明	一	菊判	四五	水明社

牛込區余丁町四一
市外杉並町天沼四七七

◇美術

版藝術	一	四六倍判	五〇	白と黑社
形	一	菊判	二五	建築研究社
カメラ	一	四六倍判	八〇	アルス
寧樂	年四	四六倍判	一、二〇	寧樂發行所
浮世繪藝術	一	四六倍判	一、〇〇	浮世繪藝術社
國華	一	四六四倍判	五、〇〇	國華社
アトリエ	一	四六倍判	一、二〇	アトリエ社
アサヒカメラ	一	四六倍判	八〇	朝日新聞社
アマチユア・ムービース	一	四六倍判	三〇	日本アマチユア・シネマリーグ
アマチユア・カメラ	一	菊判	二〇	紀文閣
みづゑ	一	四六倍判	一、〇〇	春鳥會
書畫骨董雜誌	一	四六倍判	三五	書畫骨董雜誌社
書道研究	一	四六倍判	四五	斯華會
書道	一	四六倍判	五〇	雄山閣
寫眞月報	一	菊判	五〇	東京寫眞專門學校出版部
寫眞新報	一	菊判	五〇	寫眞新報社
新美術研究	一	菊判	二〇	美術研究社
美術新論	一	菊判	一、〇〇	美術新論社
美之國	一	菊判	八〇	美之國社
美・批評	年一〇	菊判	二〇	美批評社

市外落合町葛ヶ谷三七
下谷區上野櫻木町三九
神田區今川小路二ノ一
奈良市東大寺龍松院
下谷區池之端仲町五大鳳閣書房内
麻布區市兵衛町二ノ一
牛込區喜久井町三四
麴町區有樂町二ノ三
京橋區銀座西五ノ二
神田區錦町一ノ一二
小石川區關口駒井町三
牛込區南山伏町一二
神田區猿樂町三丁目
麴町區飯田町六ノ二三
府下代々幡町幡ヶ谷三二五
日本橋區本町二丁目淺沼商會内
小石川區戸崎町三
本郷區駒込上富士前町七三
市外高田町雜司ヶ谷九四七
京都市左京區田中大堰町二二

◇音樂

童謠劇	一	四六倍判	五〇	ビクター出版社	日本橋區伊勢町一〇
音樂新潮	一	菊判	四五	音樂新潮發行所	京橋區銀座三丁目十字屋樂器店内
音樂世界	一	菊判	四〇	音樂世界社	神田區小川町四一
謠曲界	一	菊判	四〇	謠曲界發行所	神田區今川小路三ノ九
大觀世	一	菊判	五〇	大觀世發行所	赤坂區中ノ町二〇能樂書院内
レコード	一	菊判	三五	音樂世界社	神田區小川町四一
レコード音樂	一	菊判	三五	名曲堂	神田區表猿樂町二二
ムジカ	一	四六倍判	三五	春秋社	日本橋區吳服橋二ノ五
能樂畫報	一	四六倍判	八五	能樂書院	赤坂區中ノ町二〇
月刊樂譜	一	菊判	四〇	山野樂器店	京橋區銀座四ノ二
舞踏藝術	一	菊判	三〇	全日本舞踏協會	京橋區西銀座八ノ五日吉ビル内
尺八界	一	四六判	一五	家庭尺八講習會	下谷區上野櫻木町四四

◇科學

放送タイムス	二	菊倍判	二〇	放送タイムス社	麹町區内幸町一ノ三大阪ビル新館
放送サービス	一	四六倍判	五〇	放送サービス社	日本橋區通三丁目八齋藤ビル
理學界	一	菊判	四〇	理學界社	神田區表神保町一〇
科學	一	四六倍判	三五	岩波書店	神田區一ッ橋通町三
科學知識	一	四六倍判	五〇	科學知識普及會	麹町區丸の内二ノ六（丸の内東九號館 西寄別館）
科學畫報	一	四六倍判	六〇	新光社	神田區錦町一ノ一九
ラヂオの日本	一	四六倍判	六〇	日本ラヂオ協會	麹町區有樂町一ノ三電氣倶樂部内
ラヂオと自作	一	四六倍判	三二	ラヂオと自作社	神田區堅大工町二二
無線と實驗	一	四六倍判	八〇	無線實驗社	神田區錦町三ノ一九
無線電話	一	四六倍判	五〇	日本無線電話普及會	日本橋區通一丁目（野村ビル内） 大阪市北區太融寺町五四
グライダー	一	菊判	三〇	正興館	牛込區下宮比町一五

◇運動

ローン・テニス	一	菊倍判	五〇	ローンテニス社	府下田端五二一
ベースボール	一	四六倍判	四〇	ベースボール社	麹町區丸の内時事新報社ビル
陸上競技	一	菊判	二五	一成社	神田區南神保町一六
角道	年二	四六倍判	六〇	角道編輯部	本所區東兩國國技館
學校體育	一	菊判	四〇	日本體育學會	牛込區矢來町二六
體育と競技	一	菊判	四〇	目黒書店	神田區南甲賀町五
野球界	一	四六倍判	七〇	野球界社	牛込區若宮町三八
拳闘	一	四六倍判	五〇	拳道社	京橋區銀座八ノ二
ゴルフ	一	菊倍判	七五	目黒書店	神田區南甲賀町五
國民體育	一	菊判	二五	日本體育會	府下大井町一一八四
アサヒスポーツ	二	四六四倍判	三〇	朝日新聞社	大阪市北區中ノ島三ノ三
アスレチックス	一	菊判	五〇	大日本體育協會	麹町區丸ノ内二ノ一〇仲十四號館三
スポーツマン	一	四六倍判	三〇	帝國運動社	大阪市北區堂島濱通一ノ二二
スポーツ	一	四六倍判	七〇	誠文堂	神田區錦町一ノ一〇
柔道	一	菊判	二〇	講道館文化會	小石川區大塚坂下町一一四

◇青年・修養

日本青年魂	一	菊判	三五	日本魂社	京橋區南八丁堀一ノ九、一〇
獨立青年	一	菊判	一五	帝國教育會出版部	神田區一ッ橋通町

我が家	一	菊判	七	帝國在鄉軍人會本部	牛込區原町三ノ八
海之世界	一	菊判	五〇	日本海員掖濟會	京橋區明石町五一
作興	一	菊判	一〇	講道館文化會	小石川區大塚坂下町一一四
雄辯	一	菊判	五〇	大日本雄辯會講談社	本郷區駒込坂下町四八
修養世界	一	四六倍判	二五	修養世界社	芝區白金三光町三〇八
戰友	一	菊判	一〇	帝國在鄉軍人會本部	牛込區原町三ノ八
青年	一	菊判	一〇	大日本聯合青年團	四谷區霞丘明治神宮外苑（日本青年會館內）

◇語學

一年の英語	一	菊判	三〇	研究社	麹町區富士見町六ノ五
ローマ字世界	一	菊判	二〇	日本のローマ字社	本郷區駒込曙町二四
ロシヤ語	一	菊判	三五	橘書店	神田區美土代町二ノ一
露語研究	一	菊判	三五	南北書院	麹町區下二番町七〇
二年の英語	一	菊判	三〇	研究社	麹町區富士見町六ノ五
日進英語	一	菊判	一五	日進英語學校	神田區北甲賀町二二
日本とアメリカ	一	四六倍判	二〇	ローマ字普及會	京都府龜岡町
獨逸語學雜誌	一	四六倍判	四〇	日獨書院	本郷區東竹町三二
獨逸語	一	四六倍判	三〇	獨逸語編輯部	小石川區駕籠町一四六
獨・佛・英・醫家の語學	一	菊判	一五	醫家の語學社	本郷區瀧岡町一四六
獨語研究	一	菊判	三五	有朋堂	神田區錦町一ノ一九
獨文世界思潮	一	菊判	三〇	橘書店	神田區美土代町二ノ一
Living English	一	菊判	一五	春陽堂	日本橋區通三丁目八
カレント・オブ・ザ・ワールド	一	菊判	五〇	世界時潮社	本郷區西片町一〇
カマラード	一	菊判	一〇	日本プロレタリア・エスペランテイスト同盟	神田區北神保町一一
ふらんす	一	菊判	三〇	白水社	神田區小川町三〇

英語研究	一	菊判	五〇	研究社	麹町區富士見町六ノ五
英語の研究と教授	一	四六倍判	二〇	〃	〃
英語青年	二	四六倍判	三〇	英語青年社	小石川區白山御殿町一〇七
英文大阪毎日學習號	一	四六倍判	二五	大阪出版社	大阪市南區上本町二丁目
英學生新聞	一	四六倍判	一八	英學生新聞社	神田區一ツ橋通町
三年の英語	一	菊判	三〇	研究社	麹町區富士見町六ノ五
大タイムス	一	菊倍判	二五	大小タイムス出版所	市外千駄ヶ谷町八一五
小タイムス	一	菊倍判	二五	〃	〃
新佛蘭西語雜誌	一	四六倍判	三〇	平原社	神田區一ツ橋教育會館內
新英米文學	一	菊倍判	三〇	新英米文學社	市外澁谷町櫻ヶ丘四
上級英語	一	菊判	三五	研究社	麹町區富士見町六ノ五
初級ドイツ語	一	菊判	二〇	尚文堂	神田區南神保町一六

◇受驗參考書

一年の數學	一	菊判	三〇	研究社	麹町區富士見町六ノ五
二年の數學	一	菊判	三〇	〃	〃
考へ方	一	菊判	四〇	考へ方研究社	神田區一ツ橋通町二
學粹	一	菊判	一〇	慶文堂	神田區錦町一ノ一九
文檢世界	一	菊判	五〇	國民教育會	市外巣鴨町字巣鴨一一五二
文檢受驗生	一	菊判	四〇	大明堂	神田區小川町三七
國家試驗	一	四六判	五〇	育成洞	本郷區森川町七一
高等數學研究	一	四六倍判	四〇	東京數學研究社	神田區三崎町二ノ一
電氣受驗生	一	菊判	三〇	電氣青年社	麹町區下六番町四八
遞試	一	四六倍判	三五	遞試社	京橋區銀座八ノ二市博ビル
三年の數學	一	菊判	三〇	研究社	麹町區富士見町六ノ五

教員受験生	一	菊判	三〇	大明堂	神田區小川町三七
上級數學	一	菊判	三五	研究社	麹町區富士見町六ノ五
受験と學生	一	菊判	四〇	研究社	麹町區富士見町六ノ五
受験新誌	一	菊判	一五	受験新誌社	神田區仲猿樂町一七
受験界	一	菊判	三五	受験界社	牛込區藥王寺町七一
受験生	一	菊判	三〇	受験生社	神田區小川町三七
受験數學	一	菊判	三〇	數學研究社	京都市左京區吉田橋町三一
初等數學研究	一	菊判	二五	東京數學研究所	神田區三崎町二ノ一
受験研究	一	菊判	二〇	受験研究社	麹町區飯田町二ノ三
青少年の進路	一	菊判	一〇	受験時代社	四谷區東信濃町二
專検	一	菊判	二八	遞試社	京橋區銀座八ノ二帝博ビル

◇教育

童話研究	一	菊判	四〇	日本童話協會	神田區一ツ橋通二
地理教育	一	菊判	五〇	地理教育研究會	小石川區大塚仲町四一
地理歴史教育	一	菊判	一五	地理歴史研究會	府下代々幡町代々木四八九
地理と歴史	一	菊判	四〇	正光社	市外澁谷町宇田川五三
理科教育	一	菊判	四〇	理科教育研究會	小石川區雑司ヶ谷町八七
倫理教育研究	年四	菊判	一、〇〇	寶文館	日本橋區本銀町三丁目
音樂と遊戯	一	菊判	三五	京文社	神田區淡路町二ノ二
家事技藝教育	一	菊判	五〇	創文社	牛込區若宮町三八
學校教育	一	菊判	四〇	寶文館	日本橋區本銀町三丁目
學習研究	一	菊判	四〇	目黒書店	神田區南甲賀町五
學校體育	一	菊判	四〇	日本體育學會	牛込區矢來町二六
學園日記	一	菊判	二〇	玉川學園出版部	市外西大久保五一五

幼兒の教育	一	菊判	三五	日本幼稚園協會	東京女子高等師範學校附屬幼稚園內
歴史教育	一	菊判	五〇	歴史教育研究會	府下巣鴨町宮下一六九四
圖畫教育	一	菊判	三〇	圖畫手工社	小石川區春日町二九
綴方教育	一	菊判	三五	文録社	京橋區銀座西一ノ七
綴方生活	一	菊判	二五	郷土社	神田區錦町一ノ二
農業教育	一	菊判	三〇	農業教育研究會	東京駒場東京帝大農學部構內
現代教育	一	菊判	四〇	現代教育研究所	赤坂區青山南町二ノ三二
構成教育	一	菊判	三〇	東洋圖書株式會社	神田區表神保町一〇
國語教育	一	四六倍判	四〇	育英書院	牛込區白銀町二九
公民常識	一	四六倍判	二五	公民教育會	神田區駿河臺袋町一六
高一の教育	一	菊判	五〇	日本教育學會	本郷區蓬莱町六六
高二の教育	一	菊判	五〇	〃	〃
高一教材集錄	一	菊判	三	南光社	神田區表猿樂町二
高二教材集錄	一	菊判	三	〃	〃
講話揭示教育	二	菊判	一〇	南光社	神田區表猿樂町二
帝國教育	二	菊判	一五	帝國教育會	神田區一ツ橋通三〇
算術教育	一	菊判	五〇	モナス	小石川區竹早町三七
算術新教育	一	菊判	三〇	教育研究社	麹町區富士見町五ノ九
教育論叢	一	菊判	五〇	文教書院	神田區一ツ橋通町二〇
教育研究	一	四六倍判	五〇	初等教育研究會	小石川區大塚窪町東京高師附屬小學校
教育時論	三	四六倍判	一八	開發社	麹町區三番町六三
教育學術界	一	菊判	五〇	モナス	小石川區竹早町三七
教育心理研究	一	菊判	四〇	培風館	神田區錦町三ノ一七
教育公論	一	菊判	四〇	第一出版協會	麹町區四番町七
教材集錄	一	菊判	五〇	南光社	神田區表猿樂町二
教育問題研究	一	菊判	四〇	第一出版協會	麹町區四番町七
教育・國語教育	一	菊判	四〇	厚生閣	麹町區下六番町四八

教育修身研究	一	菊判	五〇	日本教育學會	本鄕區駒込蓬萊町六六
教育評論	一	四六判	一〇	高踏社	市外淀町柏木一四二
教育農藝	一	菊判	四〇	地人書館	神田區錦町三ノ一〇
鄕土教育	一	菊判	三五	刀江書院	神田區北甲賀町二三
近代教育	一	菊判	二五	拓人社	市外野方町下沼袋九五〇
遊戲と唱歌	一	菊判	五〇	大正書院	市外戸塚町下戸塚五三二
小學校	一	菊判	四〇	同文館	神田區通神保町一
主任訓導界	一	菊判	五〇	高踏社	府下淀橋町柏木一四二
兒童教育	一	菊判	四〇	東洋圖書株式合資會社	神田區表神保町一〇 大阪市南區内安堂寺町二丁目
修身教育	一	菊判	四〇	文化書房	本鄕區向ヶ岡彌生町三
尋一學習指導	一	菊判	四〇	小學館	神田區表神保町六
尋二學習指導	一	菊判	四〇	〃	〃
尋三學習指導	一	菊判	四〇	〃	〃
尋四學習指導	一	菊判	四〇	〃	〃
尋五學習指導	一	菊判	五〇	〃	〃
尋六學習指導	一	菊判	五〇	〃	〃
尋一學級教育	一	菊判	五〇	高踏社	市外淀橋町柏木一四二
尋二學級教育	一	菊判	五〇	〃	〃
尋三學級教育	一	菊判	五〇	〃	〃
尋一の教育	一	菊判	五〇	日本教育學會	本鄕區蓬萊町六六
尋二の教育	一	菊判	五〇	〃	〃
尋三の教育	一	菊判	五〇	〃	〃
尋四の教育	一	菊判	五〇	〃	〃
尋五の教育	一	菊判	五〇	〃	〃
尋六の教育	一	菊判	五〇	〃	〃
尋一教材王國	一	菊判	五〇	文化書房	本鄕區向ヶ丘彌生町三
尋二教材王國	一	菊判	五〇	〃	〃

尋三教材王國	一	菊判	五〇	〃	〃
尋四教材王國	一	菊判	五〇	〃	〃
尋五教材王國	一	菊判	六〇	〃	〃
尋六教材王國	一	菊判	六〇	〃	〃
尋一教材集錄	一	菊判	三	南光社	神田區表猿樂町二
尋二教材集錄	一	菊判	三	〃	〃
尋三教材集錄	一	菊判	三	〃	〃
尋四教材集錄	一	菊判	三	南光社	神田區表猿樂町二
尋五教材集錄	一	菊判	三	〃	〃
尋六教材集錄	一	菊判	三	〃	〃
職業指導	一	菊判	三〇	大日本職業指導協會	麹町區大手町文部省構内
新興教育	一	菊判	三〇	新興教育研究所	神田區神保町ビル
青年教育	一	四六倍判	五〇	實業補習教育研究會	文部省構内

◇法・律

判例彙報	二	菊判	四〇	判例彙報社	麹町區飯田町五ノ三八
法學協會雜誌	一	菊判	五〇	法學協會	本鄕區東京帝大學構内
法學志林	一	菊判	五〇	法政大學	麹町區富士見町四ノ一二
法學新報	一	菊判	五〇	法學新報社	神田區駿河臺中央大學内
法學論叢	一	四六判	五〇	京都帝國大學法學會	京都市京都帝大法學部内
法曹會雜誌	一	菊判	五〇	法曹會	麹町區西日比谷町一
法律論叢	一	菊判	五〇	明大學會	神田區駿河臺明治大學内
法律評論	一	菊判	一、二〇	法律評論社	神田區小川町五三
法律新聞	一二	四六倍判	一〇	法律新聞社	日本橋區本銀町四ノ九
法律新報	三	菊判	二〇	法律新報社	麹町區丸ノ内三ノ十二(仲通三號館)
法律時報	一	四六倍判	五〇	日本評論社	麹町區丸ノ内昭和ビル三一八

法律春秋	一	菊判	二〇	南郊社	牛込區矢來町二五
法律學研究	一	菊判	五〇	日本法政學會	神田區三崎町日本大學法學部內
法律戰線	一	菊判	二〇	生活運動社	府下高田町雜司ヶ谷八一五
裁判と法律	一	四六倍判	三〇	法律顧問社	京橋區木挽町二ノ一三
大審院判例集	一	菊判	六〇	法曹會	麹町區西日比谷町一
大審院判決抄錄	一	菊判	一、〇〇	〃	〃
無産者法律	一	菊判	二〇	無産法律社	芝區新櫻田町一九
行政裁判所判決錄	年四	菊判	六〇	行政裁判所	麹町區紀尾井町三

◇政治・社會

勞農	一	菊判	三〇	勞農社	小石川區八千代町三三
勞農運動	一	菊判	一〇	解放社	芝區新櫻田町一九
働く婦人	一	菊判	二五	日本プロレタリア文化聯盟出版所	神田區美土代町四ノ五小川町ビル內
日本及日本人	二	四六倍判	五〇	政教社	芝區南佐久間町二ノ一七
日本國民	一	菊判	五〇	日本國民社	麹町區內山下町帝國ホテル內
日本思想	一	菊判	二〇	錦旗會本部	牛込區喜久井町三四
日本社會主義	一	菊判	二〇	日本社會主義研究所	牛込區中町三十一
日本新論	一	菊判	三〇	日本新論協會	麹町區富士見町一ノ二〇(九段ビル內)
人間味	一	三六判	一五	人間味社	松山市新玉町一ノ七〇
東洋	一	菊判	五〇	東洋協會	麹町區內幸町一ノ三
東方公論	一	菊判	四〇	東方公論社	市外巣鴨町一三四九
都市公論	一	菊判	五〇	都市研究會	麹町區大手町內務省內
都市問題	一	菊判	五〇	東京市政調査會	麹町區日比谷公園市政會館內
東亞	一	菊判	五〇	東亞經濟調査局	麹町區內山下町一ノ一
中央公論	一	菊判	八〇	中央公論社	麹町區丸の內丸ビル五八八區

地方行政	一	菊判	三五	帝國地方行政學會	京橋區銀座西七ノ一
大原社會問題研究所雜誌	一	菊判	一、〇〇	同人社	神田區西江梅町七
大倉學會誌	年三	菊判	四〇	大倉學會	赤坂區葵町大倉高商內
改造	一	菊判	五〇	改造社	芝町愛宕下町四ノ四〇
解放	一	四六判	二〇	解放社	芝區新櫻田町一九
會議	一	菊判	四〇	創建社	日本橋區江戸橋町二ノ六
解剖時代	一	菊判	二五	純正ジャアナリスト同盟	神田區皆川町二〇
外交時報	二	菊判	五〇	外交時報社	麹町區中六番町一四
我觀	一	菊判	三〇	我觀社	京橋區銀座西五ノ三
海外	二	菊判	四〇	海外社	市外落合町文化村
海外之日本	一	四六倍判	二五	海外之日本社	赤坂區溜池町一、三會堂ビル五階
海外雄飛	一	四六倍判	五〇	海外雄飛社	名古屋市東區千種町野輪三三
大衆國成	一	菊判	二〇	[illegible]部	麹町區元平河町一〇
大衆時代	一	菊判	二〇	大衆時代社	市外千駄ヶ谷五六二
大衆往來	一	菊判	二〇	大衆往來社	市外千駄ヶ谷原宿三〇五
探訪	一	菊判	二〇	ロケット社	芝區濱松町一ノ三一
レーニン研究	一	菊判	三〇	南北書院	京橋區銀座西五ノ五、秀吉ビル
祖國	一	菊判	五〇	學苑社	麹町下二番町七〇
創造	一	菊判	三〇	創造社	芝區松本町四四
ソヴエート聯邦事情	一	菊判	五〇	滿洲鐵道株式會社	麹町區丸ノ內二ノ二
ソヴエート經濟	一	菊判	三〇	ソヴエート研究會	市外澁谷町金王七四
ソヴエートの友	一	菊倍判	一五	ソヴエートの友の會	京橋區銀座三丁目、三間ビル一〇七號
ソヴエート評論	一	菊判	三〇	日露貿易通信社	麹町區丸の內三ノ二、三菱二十一號館
農本社會	一	菊判	一〇	農本聯盟	神田區北神保町八
マルクス主義の旗の下に	一	菊判	五〇	プロレタリア科學研究所・ソヴエート同盟研究會	神田區今川小路一ノ一江戸ビル內
現代	一	菊判	五〇	大日本雄辯會講談社	本郷區駒込坂下町四八
原理日本	一	菊判	二〇	原理日本社	麻布區富士見町五三

ブラジル	一	菊判	二〇	日伯協會	神戸市海岸通一丁目
プロレタリア科學	一	菊判	三五	プロレタリア科學研究所	神田區今川小路一ノ一、江戸ビル內
プロレタリア文化	一	菊判	二〇	日本プロレタリア文化聯盟出版所	神田區美土代町四ノ五
國家學會雜誌	一	菊判	三五	國家學會	本鄕區東京帝大法學部研究室內
國際法外交雜誌	一	菊判	五〇	國際法學會	〃
國民時論	一	四六倍判	五〇	國民時論社	麴町區元園町二ノ一〇
國本	一	菊判	三〇	國本社	麴町區平河町六ノ二六
國際資料	一	菊判	五〇	國際資料協會	京橋區本八丁堀四ノ五
產業勞働時報	一	四六判	五〇	產業勞働調査所	町麴區內幸町一ノ六
共存	一	菊判	三〇	新日本協會	市外淀橋町柏木九九
社會運動往來	一	菊判	三〇	社會運動往來社	市外西巣町宮仲二四四六
社會政策時報	一	菊判	五〇	協調會	芝區公園六號地
社會問題研究	不定期	菊判	二〇	同人社	神田區西江梅町七
社會學徒	一	菊判	二五	社會學徒社	市外荏原町下蛇窪二八〇
新聞及新聞記者	一	菊判	五〇	新聞研究所	京橋區銀座西三ノ三
新聞戰線	一	菊判	三〇	新聞戰線社	市外井荻町上荻窪二九二
新使命	一	菊判	三〇	新使命社	芝區白金三光町三〇八
新亞細亞	一	菊判	三五	亞細亞時報社	芝區南佐久間町一ノ二
斯民	一	菊判	三〇	中央報德會	四谷區三光町八
植民	一	菊判	五〇	日本植民通信社	麴町區下六番町五〇
支那	一	菊判	四〇	東亞同文會	麴町區三年町一
支那時報	一	菊判	五〇	支那時報社	麴町區下六番町五
市町村雜誌	一	菊判	三〇	市町村雜誌社	芝區田村町五二
自治研究	一	菊判	四〇	良書普及會	小石川區江戸川町一五
自治機關	一	菊判	三〇	自治館	神田區今川小路二ノ一一
自衞	一	菊判	二五	自衞社	府下千駄ヶ谷町七七五
自由評論	一	菊判	三〇	自由評論社	芝區愛宕下町一ノ一一

眞相	一	四六判	三〇	チャーナリスト社	赤坂區溜池
時代評論	一	四六倍判	二〇	時代評論社	京橋區北槇町一ノ一
批判	一	菊判	三〇	我等社	市外中野町上ノ原六
人の噂	一	四六倍判	三〇	月旦社	麴町區內幸町幸ビル
政經論叢	年四	菊判	八〇	明大學會	神田區明治大學內
政治經濟時論	一	菊判	五〇	政治經濟時論社	麻布區材木町六七
政治經濟	一	四六倍判	四〇	政治經濟通信社	芝區南佐久間町一ノ二
政友	一	菊判	一五	立憲政友會々報局	麴町區內山下町一ノ一
政界往來	一	菊判	三〇	政界往來社	芝區琴平町二、虎之門會館內
政界春秋	一	菊判	三五	政界春秋社	麴町區平河町五ノ四
政治公論	一	菊判	三〇	政治公論社	市外駒澤町上馬二三五
赤色建設	一	菊判	三〇	南蠻書房	神田區西今川町五
世界知識	一	四六倍判	六〇	新光社	神田區錦町一ノ一九
進め	一	四六倍判	一〇	進め社	市外大井町南濱川一六五八

◇財政・經濟・商業

勞働經濟	一	四六倍判	三〇	勞働經濟社	芝區三田四國町二ノ六
販賣科學	一	四六判	三〇	販賣科學社	麴町區有樂町二ノ四、電日ビル
貿易	一	菊判	二五	日本貿易協會	京橋區銀座西七丁目三
ポリコン研究	年二	菊判	五〇	ポリコン研究會	市外中野町氷川二八、大島方
東洋經濟新報	週	四六倍判	三〇	東洋經濟新報社	日本橋區本町一ノ九
東亞經濟研究	年四	菊判	五〇	山口高等商業學校東亞經濟研究會	山口市山口高等商業學校內
東邦經濟	一	四六倍判	三〇	東邦經濟社	麴町區內幸町一ノ三、大阪ビル

中央經濟評論	一	四六倍判	三〇	中央經濟評論社	大阪市西區阿波堀通一ノ五二森ビル内
中外財界	一	四六倍判	二〇	中外商業新報社	日本橋區北島町一ノ二一
大阪銀行通信錄	一	四六倍判	五〇	大阪銀行集會所	大阪市北區中之島一ノ二九
會計	一	菊判	五〇	森山書店	神田區美土代町四ノ五小川町ビル
街頭經濟	一	菊判	二〇	新街頭經濟社	日本橋區江戸橋三ノ三
家庭經濟	一	菊判	一五	經濟事情研究所	市外岩淵町稻付一二三四
解剖	一	四六倍判	四〇	解剖社	大阪市北區堂島ビルヂィング二階
株式之日本	一	菊判	四〇	株式之日本社	府下大森町不入斗八〇九
株式之研究	一	菊判	四〇	株式之研究社	日本橋區瀬戸物町一四
海運	一	四六倍判	一、〇〇	神戸海運集會所出版部	神戸市明石町三二
ダイヤモンド	三	四六倍判	四〇	ダイヤモンド社	麹町區内幸町二ノ三
ダイヤグラム	一	四六倍判	一五	ダ・イヤグラム社	京橋區新川町一ノ六
大衆經濟	一	四六倍判	二〇	大衆經濟社	芝區琴平町二
内外商工時報	一	四六倍判	三五	内外商工時報發行所	京橋區築地一ノ二〇ノ一
無盡之研究	一	菊判	五〇	無盡之研究社	神田區小川町小川町ビル内
農業經濟研究	年四	菊判	八〇	岩波書店	神田區一ツ橋通町三
マネジメント	一	四六倍判	五〇	マネジメント社	四谷區新宿一丁目武シートビル内
經營經濟研究	年二	菊判	一、〇〇	同文館	神田區通神保町一
經濟法律論叢	年二	菊判	一、〇〇	專修大學々會	神田區今川小路專修大學内
經濟學論集	一	菊判	五〇	東京帝國大學經濟學會	本郷區東京帝國大學經濟學部内
經濟資料	不定期	菊判	八〇	東亞經濟調査局	麹町區内山下町東洋ビル内
經濟論叢	一	菊判	五〇	京都帝國大學經濟學會	京都市左京區吉田町京都帝國大學經濟學部内
經濟公報	一	四六倍判	四〇	經濟公報社	四谷區舟町五〇
經濟往來	一	菊判	四〇	日本評論社	麹町區丸ノ内昭和ビル三一八
經濟之日本	一	四六倍判	三〇	經濟之日本社	京橋區寶町一丁目東京ビル
經濟タイムス	一	菊判	三〇	經濟タイムス社	芝區櫻田伏見町一〇

經濟時報	一	菊判	四〇	大阪商科大學經濟研究所	大阪商科大學内
經濟時相	一	菊判	三〇	經濟時相社	芝區愛宕下町三ノ一〇
經濟知識	一	菊判	五〇	經濟知識社	麹町區丸ノ内ビル三〇四
經濟情報	一	四六倍判	三五	經濟情報社	麹町區丸ノ内二ノ一八
經濟時代	一	菊判	三〇	經濟時代社	日本橋區江戸橋三ノ三
經濟史研究	一	菊判	五〇	經濟史研究會	京都市左京區田中門前町三五ノ二
經濟市場	一	四六倍判	二〇	經濟市場社	本郷區駒込千駄木町八
經濟と實際	一	菊判	二〇	經濟と實際社	日本橋區通三丁目春陽堂
國勢グラフ	年六	四六倍判	二〇	國勢社	京橋區第一相互館
國民經濟雜誌	一	菊判	五〇	寳文館	日本橋區本銀町三ノ一四
公民講座	一	菊判	二五	國民同志會市民講座部	大阪市南區鰻谷仲之町五六
廣告界	一	四六倍判	八〇	廣告界社	神田區錦町一ノ一九誠文堂内
エコノミスト	二	四六倍判	三〇	大阪毎日新聞社	大阪市北區堂島上二丁目三六
財政經濟時報	一	菊判	四〇	財政經濟時報社	麹町區有樂町一ノ四
財界觀測	二	菊判	二五	野村證券株式會社調査部	大阪市東區安土町二丁目
財界之指針	一	四六倍判	三〇	財界之指針社	芝區新幸町一八
サラリーマン	一	四六倍判	三〇	サラリーマン社	京橋區寶町一丁目
銀行通信錄	一	四六倍判	五〇	東京銀行集會所	麹町區丸ノ内一丁目八ノ一
銀行論叢	一	菊判	五〇	銀行問題研究會	大阪市北區曾根崎町中二ノ二一
銀行研究	一	菊判	六〇	銀行研究社	麹町區飯田町二ノ六七
銀行判例	一	菊判	二〇	〃	〃
銀行總典	一	菊判	四〇	銀行問題研究會	大阪市北區曾根崎町中二ノ二一
銀行人	一	菊判	二〇	銀行研究社	麹町區飯田町二ノ六七
企業經營	一	菊判	四〇	文雅堂	麹町區飯田町二丁目
金融三曆	一	四六倍判	四〇	金融三曆社	牛込區新小川町一ノ一三
明大商學論叢	一	菊判	四〇	明大學會	神田區駿河臺明治大學内
三田廣告研究	一	菊判	三〇	三田廣告研究會	芝區三田慶應義塾内

商店界	一	四六倍判	五〇	商店界社	神田區錦町一ノ一九誠文堂
商業界	一	四六倍判	三〇	商業界社	下谷區上野櫻木町一七
商店研究	一	四六倍判	二〇	仕入案內社	日本橋區小傳馬町三ノ一六
實業之日本	二	四六倍判	三〇	實業之日本社	京橋區銀座西一ノ三
實業之世界	一	四六倍判	三〇	實業之世界社	芝區芝公園五號地一〇ノ三
實業界	一	四六倍判	四〇	實業界社	麴町區平河町六ノ二四
實業時代	一	四六倍判	四〇	實業時代社	京橋區松屋町一ノ六
實業旬刊	三	菊判	三〇	實業旬刊社	日本橋區江戸橋一ノ九
實業展望	一	四六倍判	三〇	實業展望社	本郷區西竹町二
新興經濟	一	四六倍判	二五	新興經濟社	京橋區寶町三ノ二
新經營	一	四六倍判	三〇	新經營社	京橋區銀座西五ノ五
事業之日本	一	四六倍判	四〇	事業之日本社	日本橋區通二ノ四
ビジネス	一	菊判	三〇	ビジネス社	芝區三田北寺町九
稅界	一	菊判	三五	帝國地方行政學會	京橋區銀座西七ノ一
世界經濟	一	菊判	五〇	同文館	神田區通神保町一
山口商學雜誌	年二	菊判	八〇	山口高等商業學校商學會	山口市山口高等商業學校內

◇工業

印刷雜誌	一	四六倍判	四五	印刷雜誌社	牛込區矢來町五一
發明	一	四六倍判	三五	帝國發明協會	麴町區丸ノ內三ノ一〇
日本建築士	一	四六倍判	六〇	日本建築士會	麴町區永樂町一ノ一海上ビル內
日本自動車界	一	四六倍判	二〇	日本自動車界社	市外池上町德持二
オーム	一	菊倍判	五〇	オーム社	神田町錦町三ノ一八
オート	一	四六倍判	五〇	オート社	大阪市西區薩摩堀東之町四三
オートバイ	一	四六倍判	五〇	オートバイ雜誌社	日本橋區松島町三〇

化學工藝	一	四六倍判	四〇	化學工藝社	桐生市天神町一ノ二二一
家庭の電氣	一	菊判	三〇	家庭電氣普及會	麴町區有樂町一ノ三
內外工業時報	一	四六倍判	五〇	最新工學普及會	赤坂區溜池町一、三會堂ビル
建業世界	一	四六倍判	七〇	建築世界社	京橋區京橋二丁目二ノ四
建築畫報	一	四六倍判	五〇	建築畫報社	芝區琴平町四〇
建築研究	一	菊判	三〇	建築研究社	下谷區上野櫻木町三九
國際建築	一	四六倍判	六〇	國際建築協會	麻布區市兵衛町二ノ四六
交通之日本	一	四六倍判	二〇	交通之日本社	大阪市天王寺區大道四ノ二七
交通研究	年三	菊判	四〇	早稻田大學交通政策會	牛込區早稻田
交通時代	一	四六倍判	三〇	交通時代社	小石川區西原町二ノ二七
工業化學雜誌	一	四六倍判	九〇	工業化學會	麴町區丸ノ內三ノ四有樂館內
工業之大日本	一	菊倍判	五〇	工業之大日本社	大阪市北區中ノ島宗是町一大阪ビル六一六號
工業雜誌	一	四六倍判	三五	工業雜誌社	京橋區銀座西六丁目一
工學	一	四六倍判	五〇	東京工學社	小石川區駕籠町六
工事畫報	一	四六倍判	七〇	工事畫報社	麴町區丸ノ內三ノ六
港灣	一	四六倍判	四〇	港灣協會	麴町區大手町一ノ六
航空時代	一	四六倍判	五〇	航空時代社	麴町區內幸町一ノ七、幸ビル
エンヂニヤリング	一	菊倍判	五〇	エンヂニヤリング社	大阪市北區曾根崎町上三ノ八
電氣之友	二	四六倍判	三五	電氣之友社	京橋區銀座八ノ一
電氣工學	一	四六倍判	三五	電氣工學社	芝區鍛冶町三
電氣評論	一	四六倍判	六〇	電氣評論社	京都市左京區田中下柳町八
電氣受驗生	一	菊判	三〇	電氣青年社	麴町區下六番町四八
電氣の世界	一	菊判	一五	電氣の世界社	本郷區本郷五ノ四〇
機械	一	四六倍判	四〇	工政會出版部	麴町區丸ノ內三ノ四
建築工藝アイシーオール	一	菊判	三〇	洪洋社	牛込區市ヶ谷臺町一〇
極東モーター	一	四六倍判	三五	極東モーター社	大阪市此花區上福島南二ノ二一
シビル	一	菊倍判	六〇	シビル社	神田區鍋町アーチ三號